

川崎市 子ども・子育て支援に関する  
利用ニーズ調査報告書

平成31年3月

川 崎 市



# —目次—

I	調査概要	1
1	調査の目的	1
2	調査の種類と調査数	1
3	抽出方法	1
4	調査方法	1
5	調査期間	1
II	データの見方	3
III	調査結果（概要）	4
IV	調査結果（詳細）	15
1	子どもと家族の状況について	15
(1)	居住区	15
(2)	子どもの年齢	15
(3)	子どもの人数	16
(4)	子どもが2人以上のときの一番下の子の年齢	16
(5)	調査票の回答者	17
(6)	子どもの家族の同居・近居の状況	17
(7)	家族構成の状況	18
(8)	子育てを主に行っている方	19
2	子どもの育ちをめぐる環境について	20
(1)	子育て（教育を含む）に日常的にかかわっている人や施設	20
(2)	子育てに対する支え	21
(3)	子育てに関する相談の状況	24
(4)	安心して子育てを行うために、あればよいと思うサポート	27
3	保護者の就労状況について	29
(1)	母親の就労状況	29
(2)	父親の就労状況	30
(3)	世帯（母親と父親）の就労状況	31
(4)	母親の就労状況の詳細	33
(5)	父親の就労状況の詳細	39
4	日中の定期的な教育・保育の事業等の利用状況について	45
(1)	定期的な教育・保育の事業の利用有無	45

(2)	定期的な教育・保育の事業の利用状況	46
(3)	定期的な教育・保育の事業の利用日数・利用時間	48
(4)	現在最も長時間利用している教育・保育の事業の実施場所	50
(5)	現在最も長時間利用している教育・保育の事業の実施場所を選んだ理由	50
(6)	定期的な教育・保育の事業を利用している理由	51
(7)	定期的な教育・保育の事業を利用していない理由	52
(8)	定期的な教育・保育の事業の今後の利用希望について	53
(9)	定期的な教育・保育の事業の希望日数・希望時間	55
(10)	利用したい定期的な教育・保育の事業の希望する実施場所	57
(11)	利用したい定期的な教育・保育施設の実施場所を選んだ理由	57
(12)	特別なサポートを希望する内容	58
5	地域子育て支援センター等の地域の子育て支援事業の利用状況について	59
(1)	地域子育て支援センターの認知度	59
(2)	現在の地域子育て支援センターの利用有無	59
(3)	今後の地域子育て支援センターの利用希望	61
(4)	地域子育て支援センターを利用していない理由	63
(5)	こども文化センターの認知度	64
(6)	こども文化センターの利用頻度	64
(7)	こども文化センターへの今後の要望	64
(8)	各事業の認知度、利用有無及び利用時の満足度、今後の利用意向	65
6	土・日曜日や長期休暇中の定期的な教育・保育の事業等の利用について	69
(1)	土曜日の教育・保育の事業等の利用状況	69
(2)	日曜日・祝日の教育・保育の事業等の利用状況	71
(3)	休日の教育・保育の事業等を利用している理由	73
(4)	土曜日の教育・保育の事業等の利用希望	74
(5)	日曜日・祝日の教育・保育の事業等の利用希望	75
(6)	休日の教育・保育の事業等を利用したい理由	77
(7)	幼稚園・認定こども園（1号）利用者の夏休みなど長期休業期間中の事業の利用状況	77
(8)	夏休みなど長期休業期間中の事業の利用希望	79
(9)	夏休みなど長期休業期間中の事業を利用したい理由	81
7	子どもが病気の際の対応について	82
(1)	子どもが病気等で休んだ場合の対応	82
(2)	休んだときの対処方法	83
(3)	就労している父親・母親が見た際の病児・病後児保育の利用意向	86
(4)	就労している父親・母親以外が見た場合の状況	89
8	一時的または宿泊を伴う預かり事業の利用について	92
(1)	不定期の事業の利用状況	92
(2)	不定期の事業を利用していない理由	95

(3) 平日の夜間や休日の一時預かりの状況	96
(4) 保護者の用事による宿泊を伴う一時預かりの状況	97
(5) 親族や知人に預けた場合の困難度	99
(6) 短期入所生活援助（ショートステイ）事業の利用希望	99
9 小学校就学後の放課後事業の利用希望について（4歳以上の就学前子ども）	100
(1) 低学年のうちの保護者が希望する子どもの放課後の過ごし方	100
(2) 高学年のときの保護者が希望する子どもの放課後の過ごし方	101
10 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について	102
(1) 健康保険料及び厚生年金保険料の免除制度の認知度	102
(2) 育児休業制度の取得状況	102
(3) 育児休業取得後の職場復帰の状況	104
(4) 短時間勤務制度の取得状況	110
11 幼児教育・保育の無償化について	112
(1) 幼児教育・保育の無償化制度の認知度	112
(2) 幼児教育・保育の無償化に伴い新たに利用したい事業	114
12 社会的養育と里親制度について	115
(1) 養育里親の認知度	115
(2) 里親家庭や児童養護施設、乳児院についての認知度	116
(3) 養育里親として児童を養育することへの考え方	117
13 小学校就学後の放課後事業の利用状況について（就学子ども）	118
(1) 放課後事業の利用について	118
(2) わくわくプラザの利用について	120
14 わくわくプラザ以外の放課後事業について（就学子ども）	128
(1) 民間学童保育について	128
(2) ふれあい子育てサポートについて	131
15 こども文化センターの利用について（就学子ども）	133
(1) こども文化センターの利用頻度	133
(2) 異なる年代の人との交流	133
(3) 異なる年代の人との交流を希望する内容	134
(4) 子育てに地域の大人が関わることについて	134
(5) こども文化センターへの今後の要望	135
16 自由意見	136
(1) 就学前子どもの自由意見	136
(2) 就学子どもの自由意見	139
参考 調査票	141
(1) 調査票（小学校就学前子どもの保護者用）	141
(2) 調査票（小学校就学子どもの保護者用）	173



# I 調査概要

## 1 調査の目的

子ども・子育て支援法第61条に基づく市町村子ども・子育て支援事業計画の第2期計画（平成32～36年度）の策定にあたり、教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の現在の利用状況を把握するとともに、保護者の利用希望を把握し、これらを踏まえて教育・保育及び地域子ども・子育て支援事業の量の見込を推計することを目的とする。

## 2 調査の種類と調査数

調査の種類としては、小学校就学前子ども（以下「就学前子ども」）の保護者用調査、小学校就学子ども（以下「就学子ども」）の保護者用調査の2種類を実施した。

調査の種類	対象年齢	配布数	回収数	回収率
就学前子どもの保護者用	0～5歳	15,000件	8,374件	55.8%
就学子どもの保護者用	小学校1～6年生	3,000件	1,739件	58.0%

## 3 抽出方法

年齢別、地域別の分析が可能となるように、住民基本台帳および外国人登録原票より無作為に抽出を行った。また、同一世帯に複数の調査票を送付しないよう抽出した。

就学前子どもの対象者は、教育・保育の事業等の利用状況・ニーズを把握するため、低年齢を中心に、0歳児、1～2歳児、3～5歳児の3区分で抽出した。

就学子どもの対象者は、放課後児童健全育成事業である「わくわくプラザ」等の利用状況・ニーズを把握するため、主な利用者である低学年を中心に、1年生、2～3年生、4～6年生（高学年）の3区分で抽出した。抽出した年齢ごとのサンプル数は以下に示すとおりである。

### ■就学前子どもの保護者用の内訳

年齢区分	抽出数	合計
0歳児	4,300	4,300
1歳児	2,514	5,000
2歳児	2,486	
3歳児	2,044	5,700
4歳児	1,796	
5歳児	1,860	

### ■就学子どもの保護者用の内訳

年齢区分	抽出数	合計
1年生（6歳児）	1,000	1,000
2年生（7歳児）	477	1,000
3年生（8歳児）	523	
4年生（9歳児）	317	1,000
5年生（10歳児）	350	
6年生（11歳児）	333	

## 4 調査方法

郵送配布／郵送回収

## 5 調査期間

平成31年1月18日～1月31日



## II データの見方

- 百分率（%）の計算は、小数第2位を四捨五入し、小数第1位まで表示した。そのため、単数回答においても、%を足し合わせても100%にならない場合がある。
- グラフ内のNは、各設問の回答者数である。
- 調査結果内のSAは単一回答であり、MAは複数回答を意味する。
- MA(複数回答)の場合、基数をその設問の回答対象人数としているものは、合計比が100%を超えることがある。
- 回答者の中には、性別や年齢など属性に関する質問に回答していない人がいるため、各設問の全体の回答者数と、性別、年齢別などの属性別の回答者数の合計は一致しない。
- 属性別や設問間のクロス集計表は、合計に回答者数の件数、選択肢ごとの内訳を%で示した。

### Ⅲ 調査結果（概要）

#### 1 子どもと家族の状況について（P15）

子どもと家族の状況について尋ねたところ、家族構成の状況は「核家族」が就学前 88.8%、就学 81.8%と家族構成の中で最も多く、続いて「親族同居家族」が就学前 6.5%、就学 8.9%、「単身赴任」が就学前 1.3%、就学 3.0%となっている。

子育てを主に行っている方について尋ねたところ、「父親、母親ともに」が就学前 64.3%、就学 59.5%、「母親」が就学前 34.1%、就学 37.8%となっている。

#### 2. 子どもの育ちをめぐる環境について（P20）

子育て（教育を含む）に日常的にかかわっている人や施設について聞いたところ、「父親、母親ともに」が 70.0%で最も多く、次いで、「保育所」が 33.2%、「母親」が 25.2%と続いている。

日頃、子どもをみてもらえる親族及び知人について尋ねたところ、「緊急時または用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」が就学前 59.4%、就学 50.4%と最も多くなっている。また「いずれもない」が就学前 23.7%、就学 18.9%となっている。

祖父母等の親族に預かってもらえる場合の問題の有無について聞いたところ、「安心して子どもをみてもらえる」は就学前 67.0%、就学 69.7%と最も多くなっており、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」は就学前 28.1%、就学 27.9%と続いている。

友人・知人に預かってもらえる場合の問題の有無について聞いたところ、「安心して子どもをみてもらえる」は就学前 63.0%、就学 66.8%と最も多くなっており、「親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」が就学前 29.1%、就学 34.6%と続いている。

子育てに関する相談先の有無について聞いたところ、「いる／ある」は就学前 91.5%、就学 84.2%となっている。

子育てに関する相談先について尋ねたところ、「祖父母等の親族」が就学前 81.5%、就学 82.8%と最も多く、次いで「友人や知人」が就学前 74.2%、就学 74.8%、「近所の子育て仲間」が就学前 27.9%、就学 33.3%、「利用している保育所の保育士」が就学前 29.4%、「通学する小学校（先生）」が就学 29.5%と続いている。

安心して子育てを行うために、あればよいと思うサポートについて尋ねたところ、「保育所・幼稚園など希望する事業が利用できる環境」が 64.3%と就学前で最も多く、「子どもを遊ばせる場や機会の提供」が就学前 55.5%、就学 52.9%、「親のリフレッシュの場や機会の提供」が就学前 54.0%、就学 33.9%と就学前・就学とも上位 3 項目に入っており、「子育てに関する総合的な情報提供」が 36.4%と就学では 2 番目に多くなっている。

### 3 保護者の就労状況について (P29)

母親の就労状況について尋ねたところ、就学前では「以前は就労していたが、現在は就労していない」が31.6%と最も多く、次いで、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)」が30.6%、「フルタイムだが、産休・育休・介護休業中」が19.4%と続いている。就学では「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)」が36.5%と最も多く、次いで、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)」が31.3%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が26.2%と続いている。

父親の就労状況について尋ねたところ、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)」が就学前95.3%、就学91.7%と最も多くなっている。

世帯(母親と父親)の就労状況について聞いたところ、就学前では「フルタイムで共働き」が47.9%と最も多く、次いで、「専業主婦(夫)」が32.6%、「パートを含む共働き」が15.5%と続いている。就学では「パートを含む共働き」が35.5%と最も多く、次いで、「専業主婦(夫)」が29.4%、「フルタイムで共働き」が28.7%となっている。

母親のフルタイム・パートタイム勤務の状況について聞いたところ、「就労日数」では、「5日」が就学前で77.5%、就学が53.5%と最も多くなっている。「就労時間」では、「8時間」が就学前で36.3%、就学で27.3%と最も多くなっている。「家を出る時間」では、「8時」が就学前で44.4%、就学で48.7%と最も多くなっている。「帰宅時間」では、「18時」が就学前で35.7%、「15時まで」が就学で28.7%と最も多くなっている。

パート・アルバイト就労のフルタイムへの転換希望について聞いたところ、「パート・アルバイトで引き続き就労予定」が就学前で58.6%、就学が67.1%と最も多くなっている。

母親の今後の就労希望について尋ねたところ、就学前では「1年より先」が39.9%、就学では「子育てや家事に専念したい(就労の予定はない)」が28.8%と最も多くなっている。就労希望の時期について聞いたところ、就学前では「3歳」が24.4%、就学では「7歳以上」が66.2%で最も多くなっている。希望する就労形態について聞いたところ、「パート・アルバイト等による就労」が就学前で58.1%、就学で73.2%と最も多くなっている。希望する就労条件について聞いたところ、就学前では、「3日」が52.3%、「4時間」が41.9%、就学では、「3日」が57.4%、「4時間」が38.6%と最も多くなっている。

父親のフルタイム・パートタイム勤務の状況について聞いたところ、「就労日数」では、「5日」が就学前で75.5%、就学が71.8%と最も多くなっている。「就労時間」では、「10時間」が就学前で24.9%、就学で24.5%と最も多くなっている。「家を出る時間」では、「7時」が就学前で33.3%、就学で33.5%と最も多くなっている。「帰宅時間」では、「22時以降」が就学前で22.8%、就学で20.2%と最も多くなっている。

父親のパート・アルバイト就労のフルタイムへの転換希望について聞いたところ、就学前では「パート・アルバイトで引き続き就労予定」が44.2%と最も多くなっている。

父親の今後の就労希望について聞いたところ、就学前では「すぐにでも、または1年以内に就労したい」が25.7%と最も多くなっている。

#### 4 日中の定期的な教育・保育の事業等の利用状況について (P45)

日中の定期的な教育・保育の事業等の利用状況について尋ねたところ、定期的な教育・保育の事業の利用有無は「利用している」が61.6%、「利用していない」が36.6%となっている。

定期的な教育・保育の事業の利用状況について尋ねたところ、「認可保育所」が52.0%と最も多く、次いで、「幼稚園」が28.9%、「川崎市が認定した認可外保育施設」が10.5%と続いている。

利用日数は「幼稚園・認定こども園の預かり保育」「事業所内保育施設」「その他の認可外保育施設」「居宅訪問型保育（ベビーシッター）」「ふれあい子育てサポート事務」「障害のある子どものための施設・事業」を除いて「5日」の利用が80%を超えている。

現在利用している定期的な教育・保育の事業の実施場所について聞いたところ、「住んでいる区内」が86.7%と最も多くなっている。

現在利用している定期的な教育・保育の事業の実施場所を選んだ理由について聞いたところ、「自宅が近いから」が13.9%と最も多くなっている。

定期的な教育・保育の事業を利用している理由について聞いたところ、「子育てをしている方が現在就労している」が66.5%と最も多く、次いで、「子どもの教育や発達のため」が50.8%となっている。

定期的な教育・保育の事業を利用していない理由について聞いたところ、「親がみているので利用する必要がない」が33.4%と最も多く、次いで、「子どもがまだ小さいため」が32.2%、「教育・保育の事業に空きがない」が15.2%と続いている。

定期的な教育・保育の事業の今後の利用希望について聞いたところ、「認可保育所」が41.6%と最も多く、次いで、「幼稚園」が26.9%、「幼稚園・認定こども園の預かり保育」が17.3%と続いている。

希望日数でみると、「認可保育所」「幼稚園」「認定こども園」「川崎市が認定した認可外保育施設」「幼稚園」で「5日」が90%前後と最も多い。

利用したい定期的な教育・保育の事業の希望する実施場所について聞いたところ、「住んでいる区内」が89.7%となっている。住んでいる区外を利用したい場合は、「中原区」が27.8%、「高津区」が26.8%であった。

利用したい定期的な教育・保育施設の実施場所を選んだ理由について聞いたところ、「自宅から近いから」が72.4%と最も多く、「利便性と教育・保育の内容がよいから」が8.2%となっている。

## 5 地域子育て支援センター等の地域の子育て支援事業の利用状況について (P60)

地域子育て支援センターの認知度について聞いたところ、「知っている」が 73.8%と最も多く、次いで「聞いたことがあるが内容は知らない」が 18.0%、「知らない」が 6.9%と続いている。

現在の地域子育て支援センターの利用有無について聞いたところ、「利用している」が 18.8%、「利用していない」が 78.0%となっている。

今後の地域子育て支援センターの利用希望について聞いたところ、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が 65.3%と最も多く、次いで、「利用していないが、今後利用したい」が 19.9%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が 8.8%と続いている。

地域子育て支援センターを利用していない理由について聞いたところ、「保育所や幼稚園などを定期的に利用している」が 47.4%と最も多く、次いで、「特に利用する必要性を感じない」が 21.8%、「施設で何をしているのかわからない」が 16.8%と続いている。

こども文化センターの認知度について聞いたところ、「知っている」が 52.9%と最も多く、次いで、「知らない」が 30.5%、「聞いたことがあるが内容は知らない」が 15.9%と続いている。

こども文化センターの利用頻度について聞いたところ、「月 1 回以下(行ったことがある)」が 30.7%となっている。

こども文化センターの今後の要望について聞いたところ、「いろいろな年代の方が利用できるようにしたほうがよい」が 35.0%と最も多く、次いで、「部屋を区切って、いろいろな年代の方が利用できるようにしたほうがよい」が 27.2%、「子どもたちだけで利用できるようにした方がよい」が 11.4%と続いている。

各事業の認知度について聞いたところ、「マタニティマーク」が 92.3%と最も多く、次いで、「妊婦健診費用助成」が 83.8%、「新生児訪問」が 83.3%と続いている。

各事業の利用状況について聞いたところ、「妊婦健診費用助成」が 83.4%と最も多く、次いで、「新生児訪問」が 75.7%、「かわさきし子育てガイドブック」が 48.1%と続いている。

各事業を今後利用したいか聞いたところ、「かわさきし子育てガイドブック」が 30.0%と最も多く、次いで、「かわさきし子育てナビ」が 28.3%、「幼稚園・認定こども園における子育て支援事業」が 24.2%と続いている。

利用した際の各事業の満足度を聞いたところ、「満足」と「やや満足」を合わせると、「妊婦健診費用助成」が 13.1%と最も多く、次いで、「産前・産後家庭支援ヘルパー派遣事業」が 11.9%、「地域療育センター」が 8.9%と続いている。一方、「不満」の割合が多い事業は、「産後ケア事業」が 77.2%と最も多く、次いで、「保育所における地域活動事業」が 72.4%、「産前・産後家庭支援ヘルパー派遣事業」が 71.0%と続いている。

## 6 土・日曜日や長期休暇中の定期的な教育・保育の事業等の利用について (P70)

土曜日の教育・保育の事業等の利用状況を聞いたところ、「ほぼ毎週利用している」と「月に1～2回は利用している」を合わせると8.7%となっている。

日曜日・祝日の教育・保育の事業等の利用状況について聞いたところ「ほぼ毎週利用している」と「月に1～2回は利用している」を合わせて0.7%となっている。

休日の教育・保育の事業等を利用している理由を聞いたところ、「仕事のため」が87.0%と最も多くなっている。

土曜日の教育・保育の事業等の利用希望について聞いたところ、「ほぼ毎週利用したい」と「月に1～2回は利用したい」を合わせて30.0%となっている。

日曜日・祝日の教育・保育の事業等の利用希望について聞いたところ、「ほぼ毎週利用したい」と「月に1～2回は利用したい」を合わせて16.9%となっている。

休日の教育・保育の事業等を利用したい理由について聞いたところ、「仕事」が69.4%と最も多く、「冠婚葬祭等の用事のため」が16.5%となっている。

幼稚園・認定こども園(1号)の夏休みなど長期休業期間中の事業の利用状況について聞いたところ、「利用している」が5.3%、「利用していない」が31.8%となっている。

夏休みなど長期休業期間中の事業の利用希望について聞いたところ、「利用したい」が17.4%、「利用したいと思わない」が24.1%となっている。

夏休みなど長期休業期間中の事業を利用したい理由について聞いたところ、「仕事のため」が71.6%と最も多くなっている。

## 7 子どもが病気の際の対応について (P83)

この1年間に子どもが病気やケガで学校を休んだことがあったか聞いたところ、「あった」は就学前で58.2%、就学で77.7%となっている。

休んだ時の対処方法について聞いたところ、「就労している母親が休んで見た」が就学前62.2%、就学41.2%と最も多くなっている。就学前では「就労している父親が休んで見た」が39.2%、「父親又は母親のうち就労していない方の保護者が見た」が32.3%と続いている。就学では、「父親又は母親のうち就労していない方の保護者が見た」が26.8%、「就労している父親が休んで見た」が13.8%と続いている。

対処した日数でみると、就学前では、「就労している母親が休んで見た」が「10日」で17.3%と多く、「就労している父親が休んで見た」が「2日」で16.7%と多い。就学では「就労している母親が休んで

見た」が「1日」で27.6%、「就労している父親が休んで見た」が「1日」で48.1%と最も多い。就学は就学前に比べて、対処した日数が全体的に少なくなっている。

病児・病後児保育の利用希望について聞いたところ、「利用したい」は就学前で31.9%、就学で25.2%となっている。

病児・病後児保育を利用したい年間日数について聞いたところ、「1～5日」は就学前で51.0%、就学で「69.4%」となっている。

希望する病児・病後児保育の事業形態について聞いたところ、就学前では「小児科に併設・隣接した施設で子どもを保育する事業」が76.0%と最も多く、次いで、「保育所等に併設・隣接した施設で子どもを保育する事業」が71.5%となっている。就学では「小児科に併設・隣接した施設で子どもを保育する事業」が84.4%と最も多くなっている。

病児・病後児保育の利用を希望しない理由について聞いたところ、就学前では「病児・病後児は父母が看るほうがよいと思う」が51.0%と最も多く、次いで、「手続きや申込みが面倒」が38.8%、「親が仕事を休んで対応できる」が32.9%と続いている。就学では「病児・病後児は父母が看るほうがよいと思う」が54.6%と最も多く、次いで、「親が仕事を休んで対応できる」が50.4%、「手続きや申込みが面倒」が32.0%と続いている。

就労している父親・母親が仕事を休んで看ることができるか聞いたところ、「休んで看ることは難しい」が就学前で36.1%、就学で34.9%となっている。

休んで看ることが可能な日数について聞いたところ、「1～5日」が就学前で57.6%、就学で64.6%となっている。

休んで看ることが難しい理由について聞いたところ、「仕事が忙しくて休めない」が就学前で76.4%、就学で66.0%となっている。

## 8 一時的または宿泊を伴う預かり事業の利用について (P93)

利用している事業について聞いたところ、「幼稚園・認定こども園の預かり保育」が16.7%となっている。

利用の目的について聞いたところ、「私用(買い物、習い事等)・リフレッシュ」が69.9%と最も多く、次いで、「保護者の病気、冠婚葬祭」が61.5%、「不定期の就労」が60.1%と続いている。

今後利用したい施設類型について聞いたところ、「幼稚園・認定こども園の預かり保育」が80.4%と最も多く、「認可保育所における一時保育」が71.5%となっている。

不定期の事業を利用していない理由について聞いたところ、「4日以上定期保育を利用しているから必要ない」が49.0%と最も多く、「特に利用する必要がない(親や友人・知人に預けている)」が31.7%、「どんな事業があるか分からない」が20.4%と続いている。

平日の夜間や休日の一時預かりの状況について聞いたところ、「親族や知人にみてもらった」が82.4%と最も多く、次いで、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」が76.3%、「仕方なく子どもを同行させた」が71.6%と続いている。

保護者の一時預かりの状況について聞いたところ、就学前では「親族(同居者を含む)や知人にみてもらった」が18.4%となっている。就学では「親族(同居者を含む)や知人にみてもらった」が87.4%、「仕方なく子どもを同行させた」が28.3%となっている。

親族や知人に預けた場合の困難度について聞いたところ、「非常に困難」と「どちらかという困難」を合わせると30.1%となっている。

短期入所生活援助(ショートステイ)事業の利用希望について聞いたところ、「利用したい」が3.6%、「特に利用する必要がない」が13.0%となっている。

#### 9 小学校就学後の放課後事業の利用希望について(4歳以上の就学前子ども)(P101)

低学年のうちの保護者が希望する子どもの放課後の過ごし方について聞いたところ、「習い事(ピアノ、サッカー、学習塾など)」が60.4%と最も多く、次いで、「わくわくプラザ」が60.2%、「自宅」が55.1%となっている。

高学年のときの保護者が希望する子どもの放課後の過ごし方について聞いたところ、「習い事(ピアノ、サッカー、学習塾など)」が72.7%と最も多く、次いで、「自宅」が62.7%、「公園」が39.3%となっている。

#### 10 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について(P103)

健康保険料及び厚生年金保険料の免除制度の認知度について聞いたところ、「育児休業給付、保険料免除とも知っている」が49.6%と最も多く、次いで、「育児休業給付のみ知っている」が24.9%、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らない」が19.9%と続いている。

育児休業制度の取得状況について聞いたところ、「取得した」と「育児休業中である」を合わせると母親が52.9%、父親が5.2%となっている。

取得しなかった理由について聞いたところ、母親では、「子育てや家事に専念するため退職した」が39.1%と最も多く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった」が17.2%、「仕事に戻るのが難しそうだった」が11.2%と続いている。

職場復帰の状況について聞いたところ、「職場に復帰した」は母親が88.7%、父親が91.1%となっている。

職場復帰のタイミングについて聞いたところ、母親が「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」79.7%、父親が「それ以外だった」が84.7%となっている。

実際の取得期間については、母親が「7~12ヶ月」で38.6%、父親が「~6ヶ月」で56.6%と最も多い。希望の取得期間については、母親が「7~12ヶ月」で30.7%、父親が「~6ヶ月」で37.6%と、いずれも実際の取得期間の割合よりも少なくなっている。

希望の時期に職場復帰しなかった理由について聞いたところ、希望より早く復帰した方では、母親が「希望する保育所に入るため」が75.6%、父親が「経済的な理由で早く復帰する必要があった」31.9%となっている。希望より遅く復帰した方では、母親が「希望する保育所に入れなかったため」が57.3%となっている。

育児休業明けに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得するか聞いたところ、「必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得したい」が母親で78.9%、父親で61.1%となっている。

短時間勤務制度の取得有無について聞いたところ、「短時間勤務制度を利用した」が母親で70.8%、父親で4.2%となっている。

短時間勤務制度を利用しなかった理由について聞いたところ、母親では「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」が35.7%と最も多く、次いで、「仕事が忙しかった」が26.9%、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が25.0%と続いている。父親では「仕事が忙しかった」が35.7%と最も多く、次いで、「配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した」が34.0%、「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」が32.0%と続いている。

#### 1.1 幼児教育・保育の無償化について (P113)

3歳から5歳の利用料の無償化の認知度について聞いたところ、「知っていた」が76.0%と最も多く、次いで、「聞いたことはあるが内容は知らなかった」が16.8%、「知らなかった」が6.5%と続いている。

0歳から2歳の住民税非課税世帯での無償化の認知度について聞いたところ、「知らなかった」が45.3%と最も多く、次いで、「知っていた」が38.0%、「聞いたことはあるが内容は知らなかった」が16.0%と続いている。

預かり保育の利用料無償化の認知度について聞いたところ、「知らなかった」が59.8%と最も多く、次いで、「知っていた」が22.8%、「聞いたことはあるが内容は知らなかった」が16.6%と続いている。

認可外保育施設等の利用料負担軽減の認知度について聞いたところ、「知らなかった」が49.2%と最も多く、次いで、「知っていた」が34.8%、「聞いたことはあるが内容は知らなかった」が15.2%と続いている。

発達支援を利用する3歳から5歳の利用料無償化の認知度について聞いたところ、「知らなかった」が78.8%と最も多く、次いで、「知っていた」が10.5%、「聞いたことはあるが内容は知らなかった」が9.8%と続いている。

幼稚園・保育所・認定こども園と障害児通園施設を利用する場合の無償化の認知度について聞いたところ、「知らなかった」が83.5%と最も多く、次いで、「知っていた」が7.6%、「聞いたことはあるが内容は知らなかった」が7.0%と続いている。

幼児教育・保育の無償化にともない新たに利用したい事業について聞いたところ、「認可保育所」が40.4%と最も多く、次いで、「幼稚園」が33.1%、「幼稚園・認定こども園の預かり保育」が24.4%と続いている。

## 1 2 社会的養育と里親制度について (P116)

養育里親の認知度について聞いたところ、「知っていた」は就学前で 42.7%、就学で 38.0%となっている。

里親家庭や児童養護施設、乳児院についての認知度について聞いたところ、就学前では「児童養護施設などのほか、養育里親の家庭で生活していることを知っていた」が 50.7%と最も多く、次いで、「児童養護施設などの施設のみで生活していると考えていた」が 26.5%、「自分の家庭で暮らせない子どもたちがいることは知っていたが、どこで生活しているかは知らなかった」が 11.4%と続いている。就学では「児童養護施設などのほか、養育里親の家庭で生活していることを知っていた」が 47.8%と最も多く、次いで、「児童養護施設などの施設のみで生活していると考えていた」が 31.9%、「自分の家庭で暮らせない子どもたちがいることは知っていたが、どこで生活しているかは知らなかった」が 9.8%と続いている。

養育里親として児童を養育することへの考え方について聞いたところ、就学前では「自分の子どもがいるため、養育里親になることを今は考えていない」が 72.7%と最も多く、次いで、「養育里親として子どもを養育することを考えていない」が 18.6%となっている。就学では「自分の子どもがいるため、養育里親になることを今は考えていない」が 31.8%、次いで、「養育里親として子どもを養育することを考えていない」が 12.5%となっている。

## 1 3 小学校就学後の放課後事業の利用状況について (就学子ども) (P119)

放課後事業に関する情報源について聞いたところ、「学校」が 53.3%と最も多く、次いで「友人・知人」が 9.0%となっている。

放課後の居場所について聞いたところ、「わくわくプラザ」が 90.0%、「民間の事業者が行う放課後児童クラブ」が 19.3%となっている。

いずれも利用していない理由について聞いたところ、「児童が帰宅する時間に保護者が自宅にいるから」が 60.6%と最も多く、次いで、「習い事(ピアノ、サッカー、学習塾など)に通っているから」が 55.0%、「子どもが行きたがらないから」が 46.2%と続いている。

今後利用したい事業について聞いたところ、「わくわくプラザを利用したい」が 41.6%と最も多く、次いで、「今後も利用したいとは思わない」が 33.7%、「民間の事業者が行う放課後児童クラブ(学童保育)を利用したい」が 11.2%と続いている。

わくわくプラザの1週間の利用日数について聞いたところ、「5日」が 28.7%と最も多く、次いで「1日」が 23.3%、「2日」が 15.5%と続いている。

現在の利用状況について聞いたところ、「月～金曜日」が 51.0%、「夏休み等長期休暇期間中」が 29.7%となっている。

臨時休校時に過ごしている場所について聞いたところ、「自宅(家族等住宅)」が 65.4%と最も多く、次いで、「祖父母・親族・友人・知人宅」が 25.4%、「自宅(子どものみ)」が 23.8%と続いている。

利用者負担について聞いたところ、「延長時間については負担してもよい」が 47.7%と最も多く、次いで、「一定の負担はしてもよい」が 29.1%、「負担があるなら利用しない」が 21.1%と続いている。

わくわくプラザを利用していきたい学年について聞いたところ、「3年生ぐらいまで」が33.3%と最も多く、次いで、「4年生ぐらいまで」が31.4%、「6年生ぐらいまで」が22.3%と続いている。

利用している理由について聞いたところ、「安全に放課後を過ごせるから」が74.0%と最も多く、次いで、「就労などで保護者が家庭にいないから」が71.9%、「利用料が無料だから」が47.7%と続いている。

19時までの時間延長の利用状況と意向について聞いたところ、「利用していない、また、今後の利用予定もない」が77.1%と最も多く、次いで、「利用している」が11.3%、「今は利用していないが、利用したい」が10.3%と続いている。

わくわくプラザ参加後の子どもの変化について聞いたところ、「いろいろな遊びを覚えた」が49.9%と最も多く、次いで、「友だちが増えた」が45.9%、「学校へ行くのが楽しくなった」が10.4%と続いている。

わくわくプラザの満足度について聞いたところ、「満足」と「やや満足」を合わせて64.4%となっている。

わくわくプラザに今後望むことを聞いたところ、「活動内容の充実」が55.1%と最も多く、次いで「児童の安全確保」が35.2%、「施設の充実」が29.0%と続いている。

わくわくプラザで今後充実させてほしい内容について聞いたところ、「実習・工作教室などの体験プログラム」が52.6%と最も多く、次いで、「体育館、校庭などを使用した自由な遊び」が49.6%、「宿題をしっかりとさせること」が39.9%と続いている。

#### 1.4 わくわくプラザ以外の放課後事業について（就学子ども）（P129）

民間学童保育の1週間の利用日数について聞いたところ、「5日」が30.6%と最も多く、次いで、「3日」が21.5%、「2日」が20.8%と続いている。

現在の利用状況について聞いたところ、「月～金曜日」が56.9%、「夏休み等長期休暇期間中」が38.9%となっている。

利用している理由について聞いたところ、「独自のサービスを受けられるから」が65.3%と最も多く、「預けていると安心だから」が61.8%、「利用できる時間が長いから」が50.0%と続いている。

#### 1.5 こども文化センターの利用について（就学子ども）（P133）

こども文化センターの利用頻度について聞いたところ、「月1回以下(行ったことがある)」が47.3%と最も多く、次いで、「利用したことがない」が30.8%、「月2・3回程度」が10.6%と続いている。

異なる年代の人との交流について聞いたところ、「いつも交流している」が3.5%、「行事の時は交流している」が19.0%、「交流していない」が70.1%となっている。

異なる年代の人との交流を希望する内容について聞いたところ、「将棋やコマなどの遊びを教えて欲しい」が20.6%と最も多く、次いで、「卓球やゲームと一緒に遊んでみたい」が18.7%、「話をしてみたい」が7.1%と続いている。

子育てに地域の大人が関わることについて聞いたところ、「子どもの成長にとって必要だと思う」が

53.0%、「地域全体にとって必要だと思う」が 43.0%となっている。

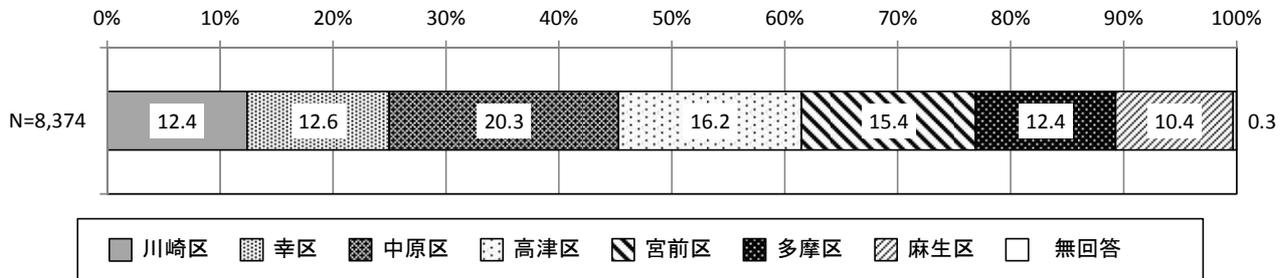
こども文化センターへの今後の要望について聞いたところ、「いろいろな年代の方が利用できるようにしたほうがよい」が 59.6%と最も多く、次いで、「部屋を区切って、いろいろな年代の方が利用できるにしたほうがよい」が 12.5%、「時間帯を区切って、いろいろな年代の方が利用できるにしたほうがよい」が 10.3%と続いている。

## IV 調査結果（詳細）

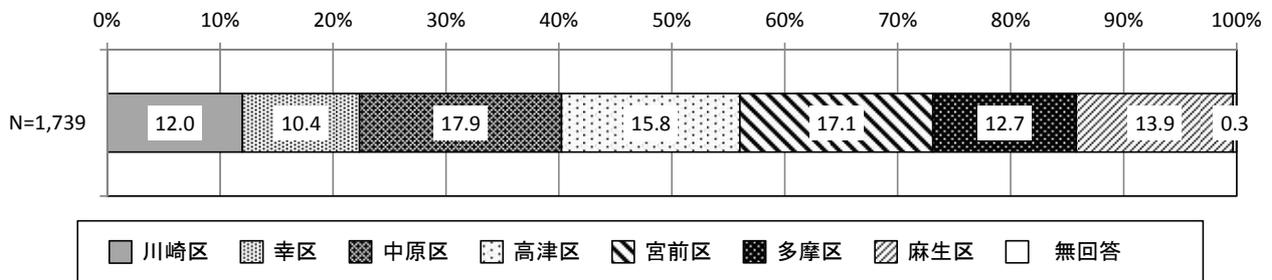
### 1 子どもと家族の状況について

#### (1) 居住区

##### ■ 就学前子ども（問1-1）（SA）

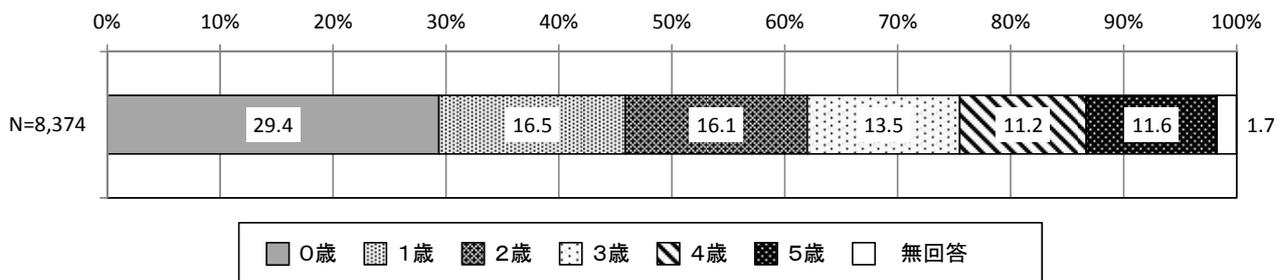


##### ■ 就学子ども（問1-1）（SA）

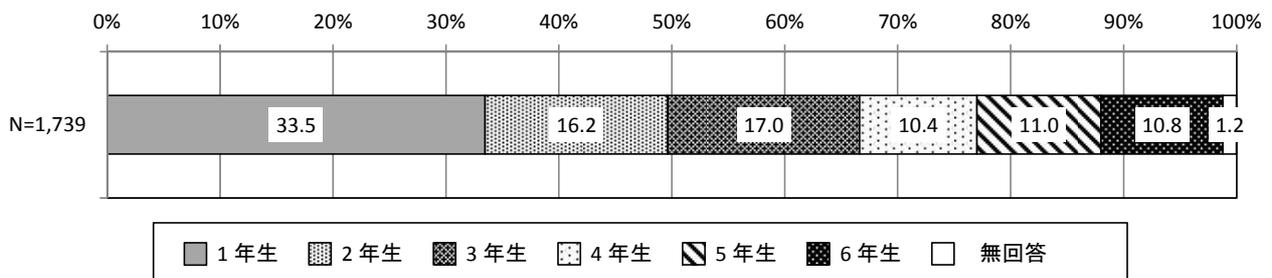


#### (2) 子どもの年齢

##### ■ 就学前子ども（問1-3）（SA）

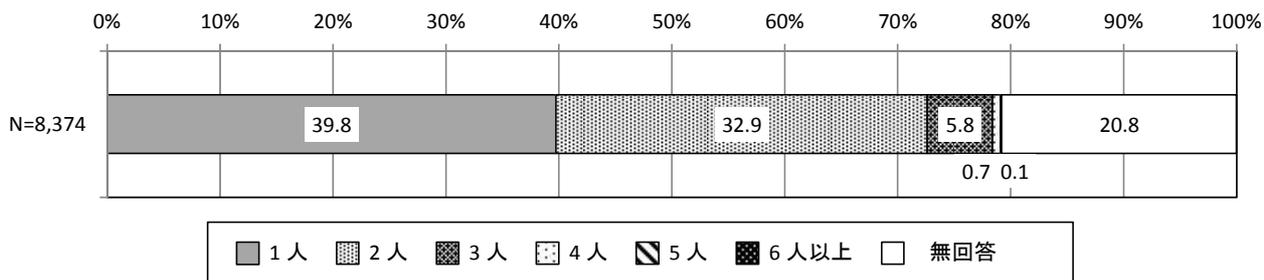


##### ■ 就学子ども（問1-3）（SA）

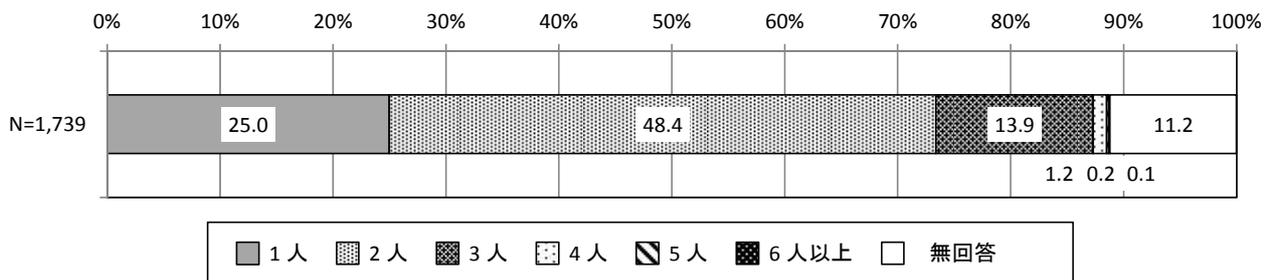


### (3)子どもの人数

#### ■就学前子ども(問1-4)(SA)

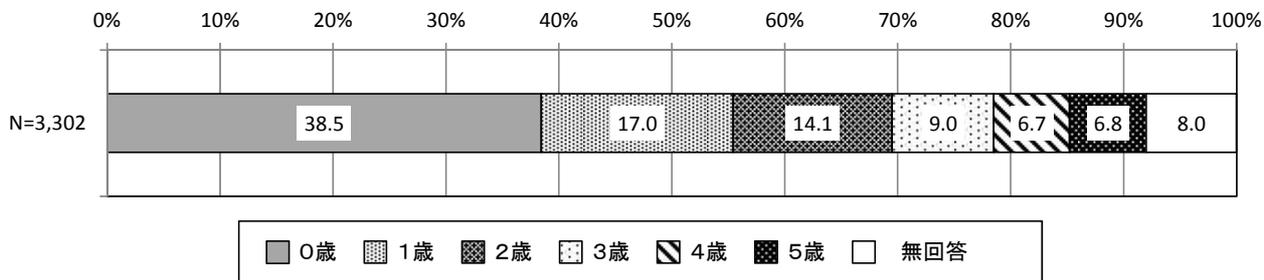


#### ■就学子ども(問1-4)(SA)

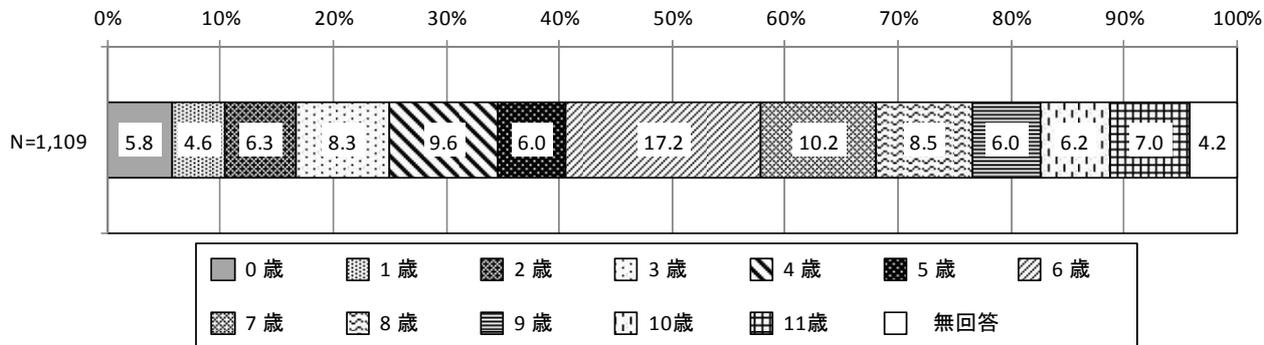


### (4)子どもが2人以上のときの一番下の子の年齢

#### ■就学前子ども(問1-4)(SA)

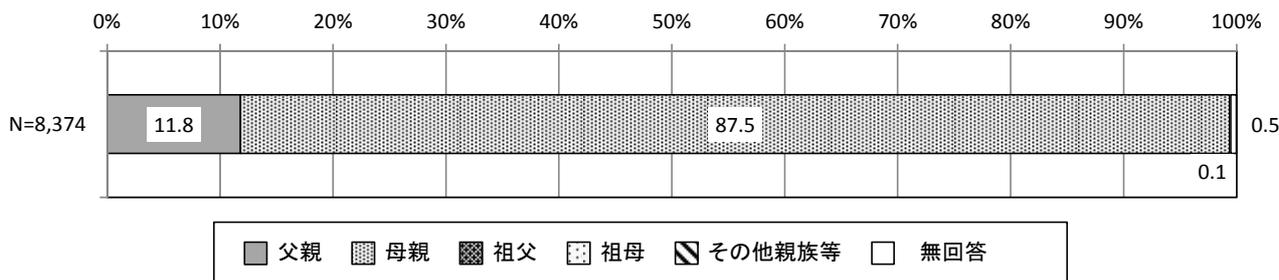


#### ■就学子ども(問1-4)(SA)

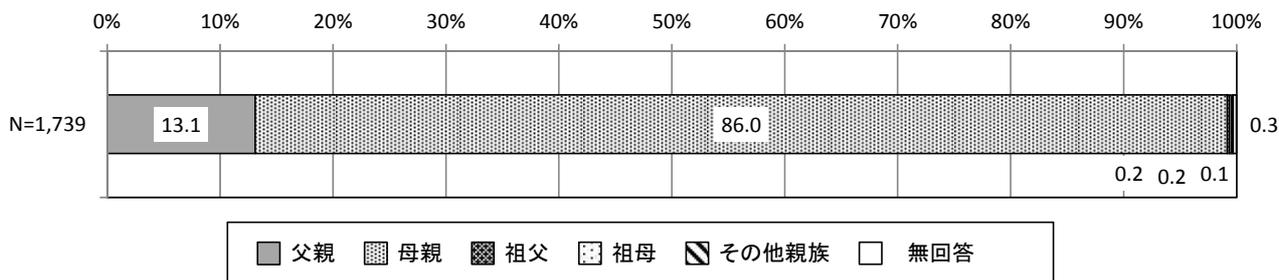


**(5) 調査票の回答者**

■ 就学前子ども(問1-5) (SA)

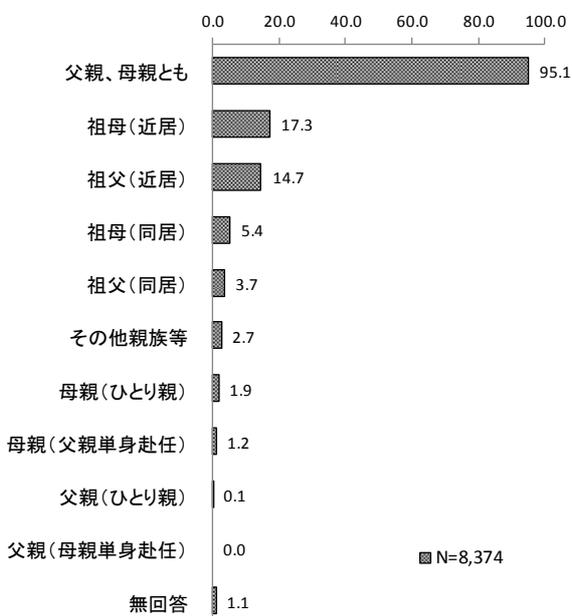


■ 就学子ども(問1-5) (SA)

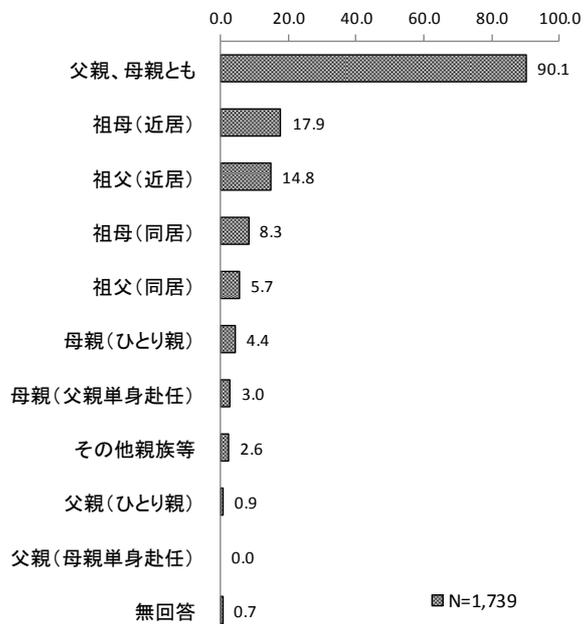


**(6) 子どもの家族の同居・近居の状況**

■ 就学前子ども(問1-6) (MA)



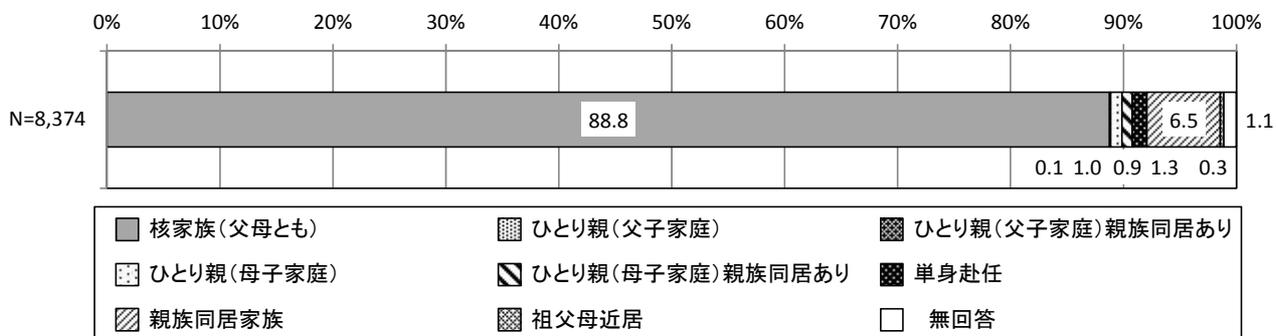
■ 就学子ども(問1-6) (MA)



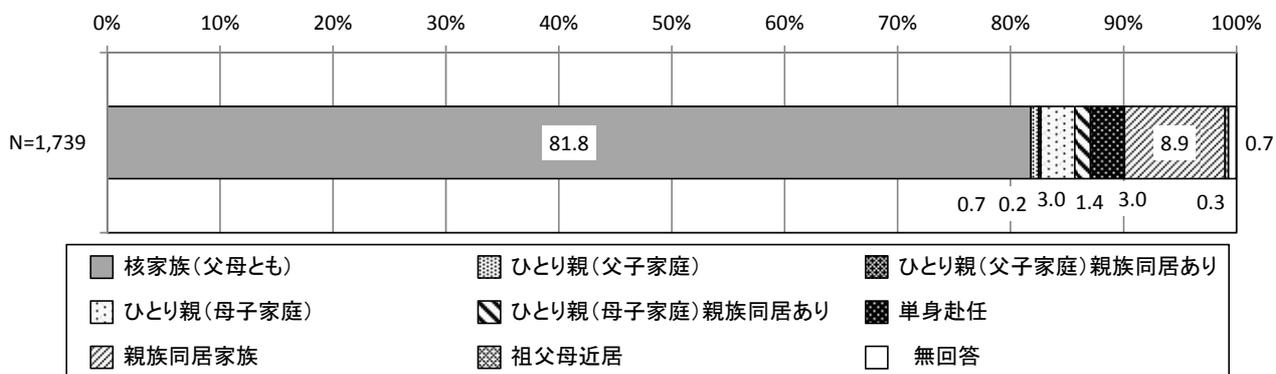
## (7) 家族構成の状況

家族構成の状況について聞いたところ、「核家族」世帯は就学前子どもで88.8%、就学子どもで81.8%であり、家族構成の中で最も多く、「親族同居家族」世帯は、就学前子どもで6.5%、就学子どもで8.9%、「単身赴任」世帯は、就学前子どもで1.3%、就学子どもで3.0%となっている。

### ■ 就学前子ども(問1-6) (SA)



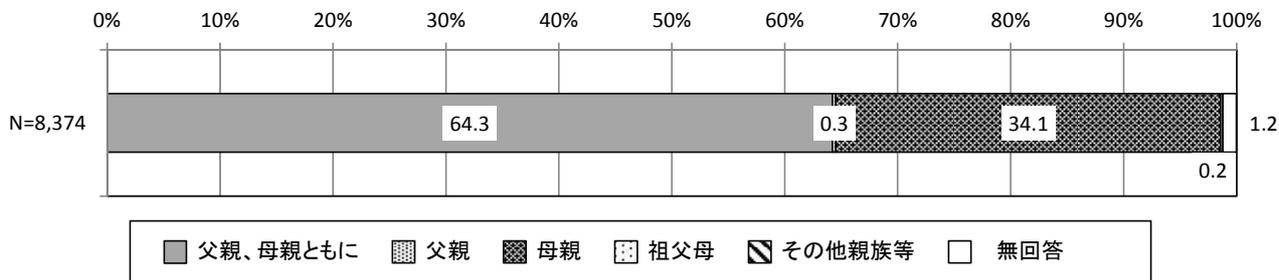
### ■ 就学子ども(問1-6) (SA)



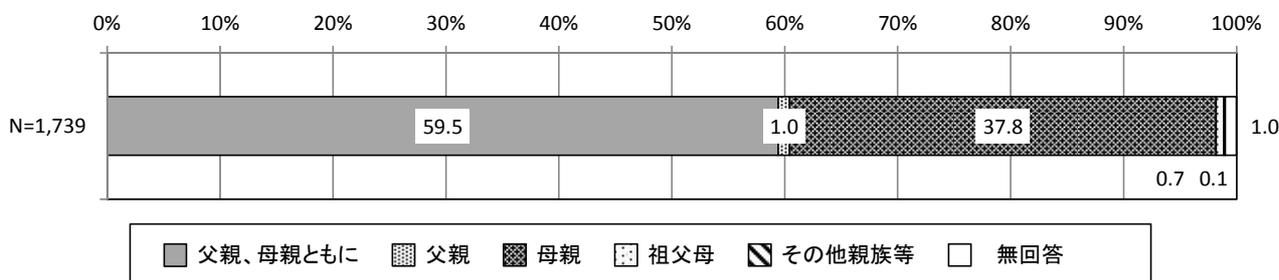
**(8)子育てを主に行っている方**

子育てを主に行っている方について聞いたところ、「父親、母親ともに」は就学前子どもが64.3%、就学子どもが59.5%、「母親」は、就学前子どもが34.1%、就学子どもが37.8%となっている。

■就学前子ども(問1-7)(SA)



■就学子ども(問1-7)(SA)

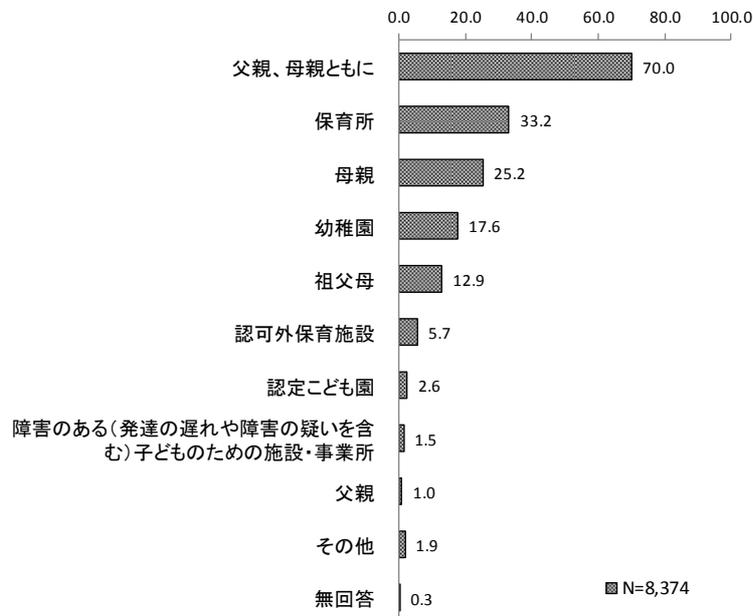


## 2 子どもの育ちをめぐる環境について

### (1) 子育て(教育を含む)に日常的にかかわっている人や施設

子育て(教育を含む)に日常的にかかわっている人や施設について聞いたところ、「父親、母親ともに」が70.0%で最も多く、次いで、「保育所」が33.2%、「母親」が25.2%と続いている。

#### ■ 就学前子ども(問2-1)(MA)

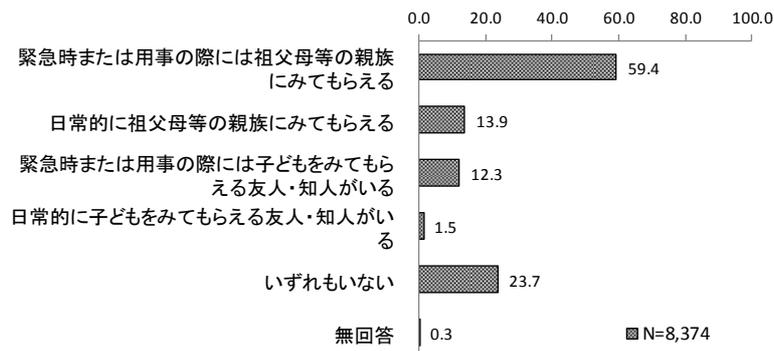


## (2)子育てに対する支え

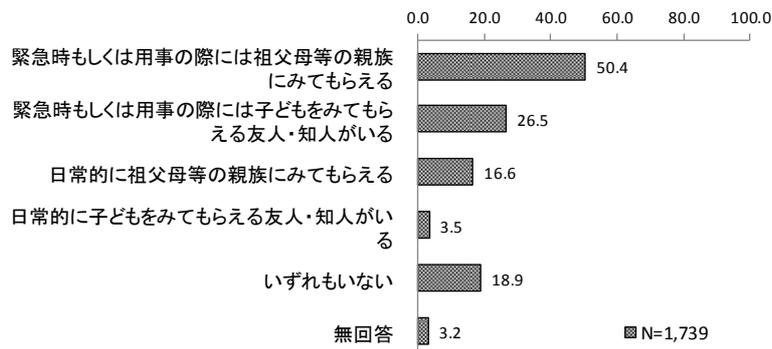
ア 日頃、子どもをみてもらえる親族及び知人について

日頃、子どもをみてもらえる親族及び知人について聞いたところ、「緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる」は就学前子どもが59.4%、就学子どもが50.4%となっている。「緊急時または(もしくは)用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる」は、就学前子どもが12.3%に対し、就学子どもが26.5%であった。

### ■就学前子ども(問2-2)(MA)



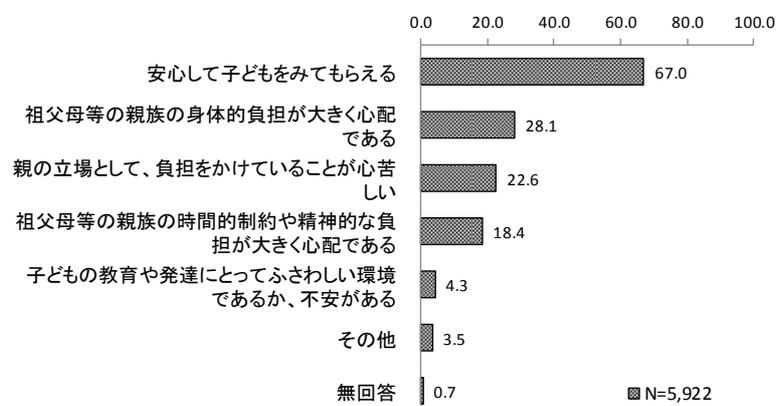
### ■就学子ども(問2-1)(MA)



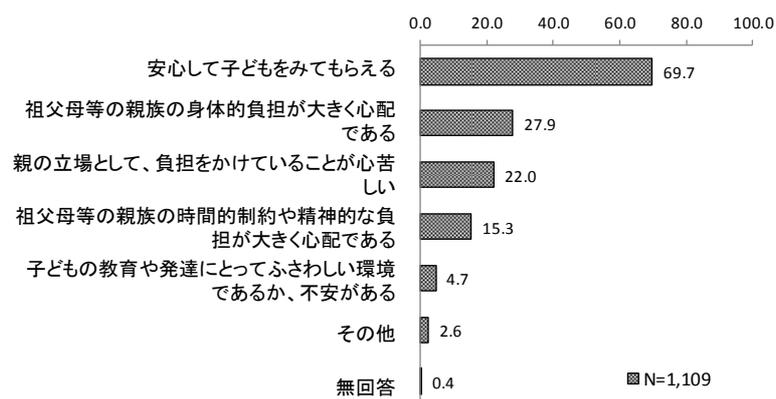
イ 祖父母等の親族に預かってもらえる場合の問題の有無

祖父母等の親族に預かってもらえる場合の問題の有無について聞いたところ、「安心して子どもをみてもらえる」は就学前子どもが67.0%、就学子どもが69.7%、「祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である」は就学前子どもが28.1%、就学子どもが27.9%となっている。

■ 就学前子ども(問2-3) (MA)



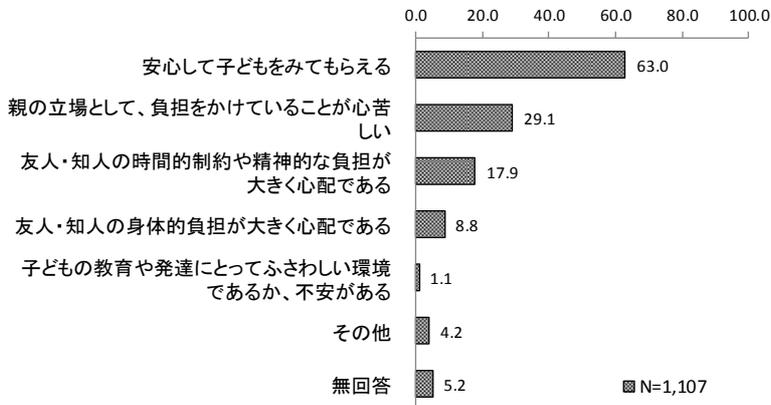
■ 就学子ども(問2-2) (MA)



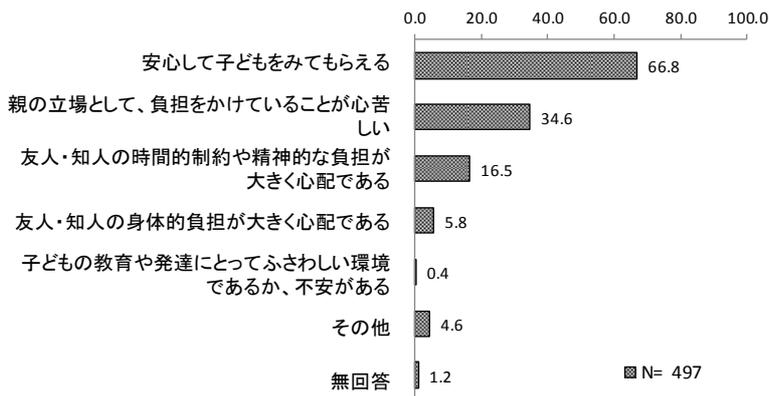
ウ 友人・知人に預かってもらえる場合の問題の有無

「安心して子どもをみてもらえる」は就学前子どもが 63.0%、就学子どもが 66.8%、  
 「親の立場として、負担をかけていることが心苦しい」は就学前子どもが 29.1%、就学  
 子どもが 34.6%となっている。

■ 就学前子ども (問 2 - 4) (MA)



■ 就学子ども (問 2 - 3) (MA)

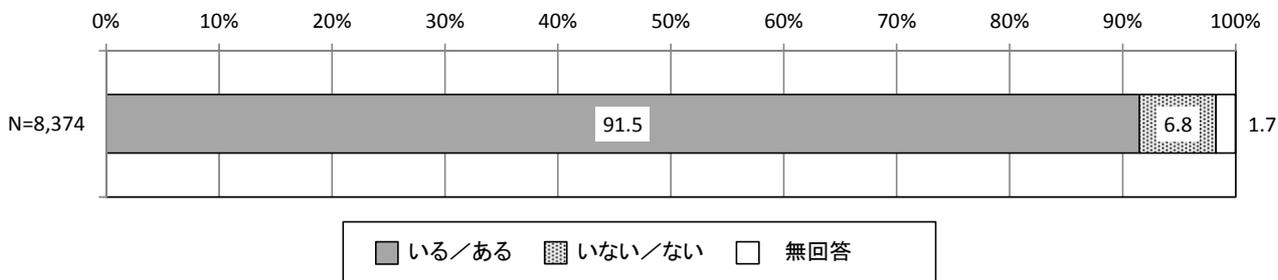


### (3)子育てに関する相談の状況

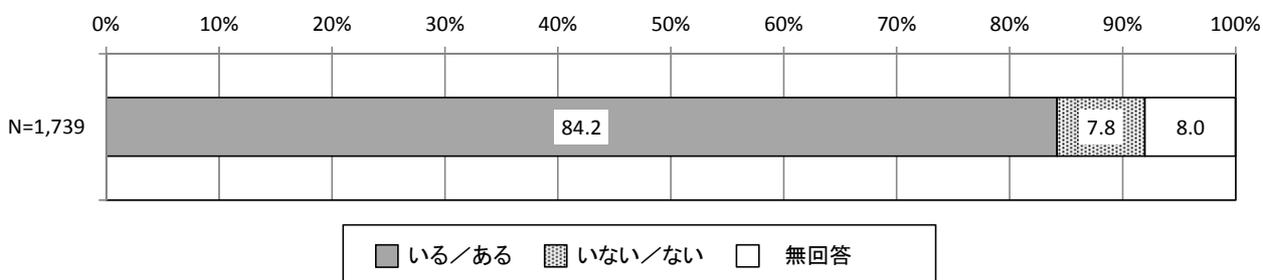
#### ア 子育てに関する気軽な相談先の有無

子育てに関する気軽な相談先の有無について聞いたところ、「いる／ある」は就学前子どもが91.5%、就学子どもが84.2%となっている。

#### ■ 就学前子ども(問2-5) (SA)



#### ■ 就学子ども(問2-4) (SA)



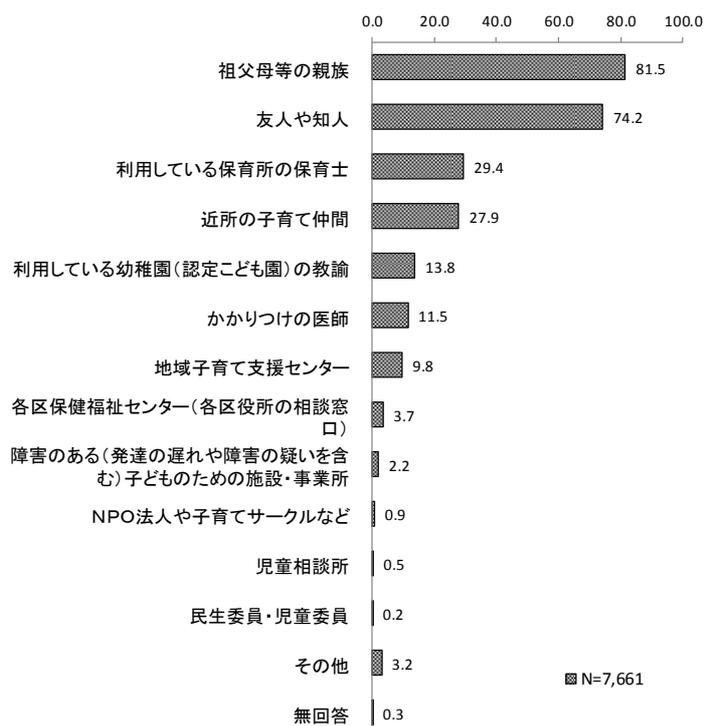
## イ 子育てに関する相談先（人・施設等）

子育てに関する相談先（人・施設等）について聞いたところ、就学前子どもでは、「祖父母等の親族」が81.5%と最も多く、次いで、「友人や知人」が74.2%、「利用している保育所の保育士」が29.4%と続いている。

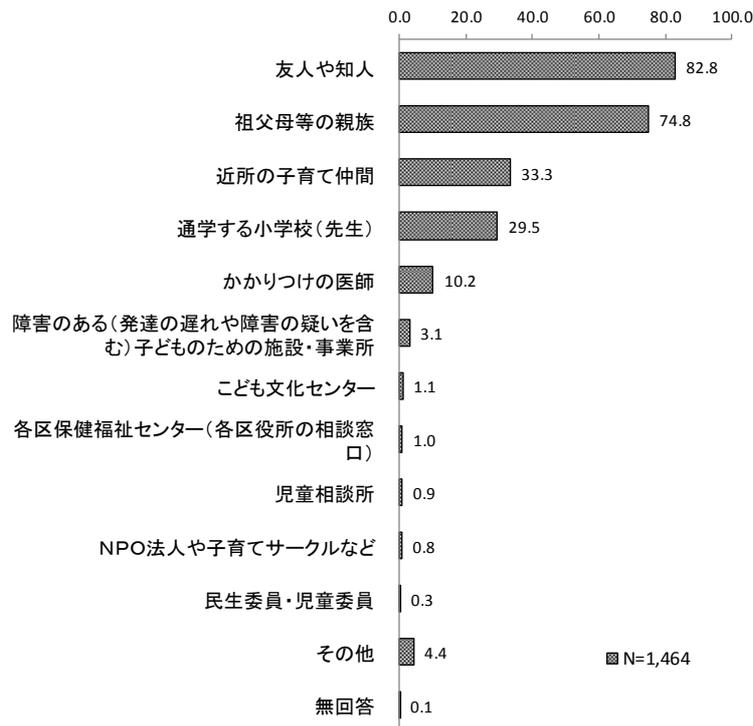
就学子どもでは、「友人や知人」が82.8%と最も多く、次いで、「祖父母等の親族」が74.8%、「近所の子育て仲間」33.3%と続いている。

年齢別の相談先をみると、全体的な傾向と差異はないが、2歳で「保育士」が42.7%と最も高くなり、就学子どもの6年生以上において、「近所の子育て仲間」が24.2%と低くなっている。

### ■ 就学前子ども（問2-6）（MA）



■就学子ども(問2-5)(MA)



■年齢別の相談先

(就学前子ども)(問2-6×問1-3)

	合計(N)	祖父母等の親族 (%)	友人や知人 (%)	近所の子育て仲間 (%)	各区保健福祉センター(各区役所の相談窓口) (%)	児童相談所 (%)	地域子育て支援センター (%)	利用している保育所の保育士 (%)	利用している幼稚園(認定こども園)の教諭 (%)	民生委員・児童委員 (%)	かかりつけの医師 (%)	NPO法人や子育てサークルなど (%)	障害のある(発達の遅れや障害の疑いを含む)子どものための施設・事業所 (%)	その他 (%)	無回答 (%)
全体	7661	81.5	74.2	27.9	3.7	0.5	9.8	29.4	13.8	0.2	11.5	0.9	2.2	3.2	0.3
0歳	2271	86.4	74.6	21.1	7.0	0.6	18.0	15.5	2.4	0.2	13.7	1.1	0.5	4.1	0.4
1歳	1254	83.0	71.2	28.9	2.7	0.3	10.0	39.2	5.6	0.3	9.8	0.9	1.2	2.8	0.3
2歳	1240	80.6	72.8	30.2	3.1	0.3	8.2	42.7	11.2	0.2	10.4	0.8	3.1	2.7	0.5
3歳	1034	80.4	75.3	32.6	2.0	0.6	4.8	32.7	27.8	0.2	10.6	0.9	3.3	3.2	0.2
4歳	861	77.1	77.4	33.3	1.9	0.6	3.3	29.2	29.4	0.2	11.4	0.7	4.3	3.0	-
5歳	890	74.3	75.7	29.7	1.0	0.4	2.9	29.1	26.9	0.1	11.3	0.8	3.8	2.5	0.3

\*全体±5%以上を網掛け

(就学子ども)(問2-5×問1-3)

	合計(N)	祖父母等の親族 (%)	友人や知人 (%)	近所の子育て仲間 (%)	各区保健福祉センター(各区役所の相談窓口) (%)	児童相談所 (%)	こども文化センター (%)	通学する小学校(先生) (%)	民生委員・児童委員 (%)	かかりつけの医師 (%)	NPO法人や子育てサークルなど (%)	障害のある(発達の遅れや障害の疑いを含む)子どものための施設・事業所 (%)	その他 (%)	無回答 (%)
全体	1464	74.8	82.8	33.3	1.0	0.9	1.1	29.5	0.3	10.2	0.8	3.1	4.4	0.1
1年生	495	76.0	83.4	36.8	1.2	0.8	1.2	27.5	0.2	13.1	1.0	2.2	4.4	0.2
2年生	241	76.3	79.3	36.5	1.7	0.8	2.1	34.0	0.4	10.4	1.2	2.9	3.3	-
3年生	251	73.3	84.9	31.9	0.4	0.4	1.2	28.3	0.4	7.6	0.8	4.4	4.8	-
4年生	156	75.6	85.9	34.0	1.3	1.9	-	30.8	0.6	7.7	-	3.8	3.2	-
5年生	149	74.5	81.9	29.5	0.7	-	1.3	34.2	-	12.8	0.7	2.7	4.0	-
6年生	157	71.3	79.0	24.2	-	1.9	-	26.8	-	5.1	0.6	4.5	7.0	-

\*全体±5%以上を網掛け

#### (4) 安心して子育てを行うために、あればよいと思うサポート

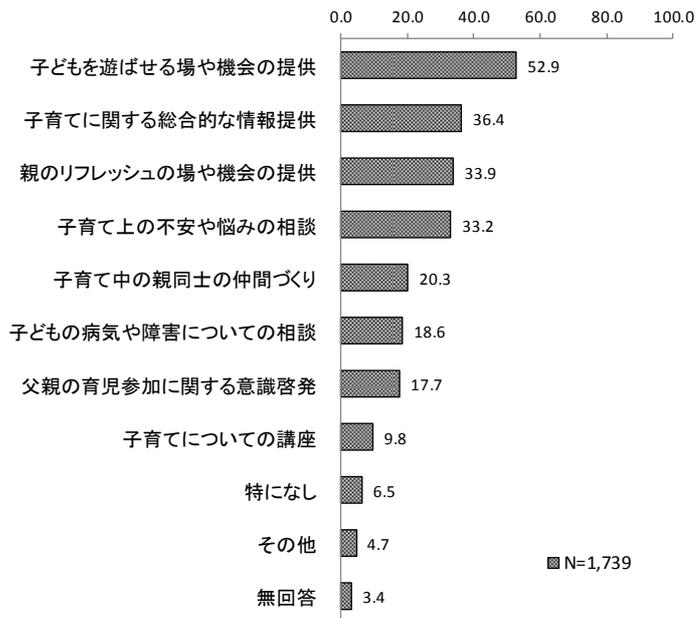
安心して子育てを行うために、あればよいと思うサポートについて聞いたところ、就学前子どもでは「保育所・幼稚園など希望する事業が利用できる環境」が64.3%と最も多く、次いで、「子どもを遊ばせる場や機会の提供」が55.5%、「親のリフレッシュの場や機会の提供」が54.0%と続いている。

就学子どもでは「子どもを遊ばせる場や機会の提供」が52.9%と最も多く、次いで、「子育てに関する総合的な情報提供」が36.4%、「親のリフレッシュの場や機会の提供」が33.9%と続いている。

#### ■ 就学前子ども（問2-7）（MA）



■就学子ども(問2-6)(MA)



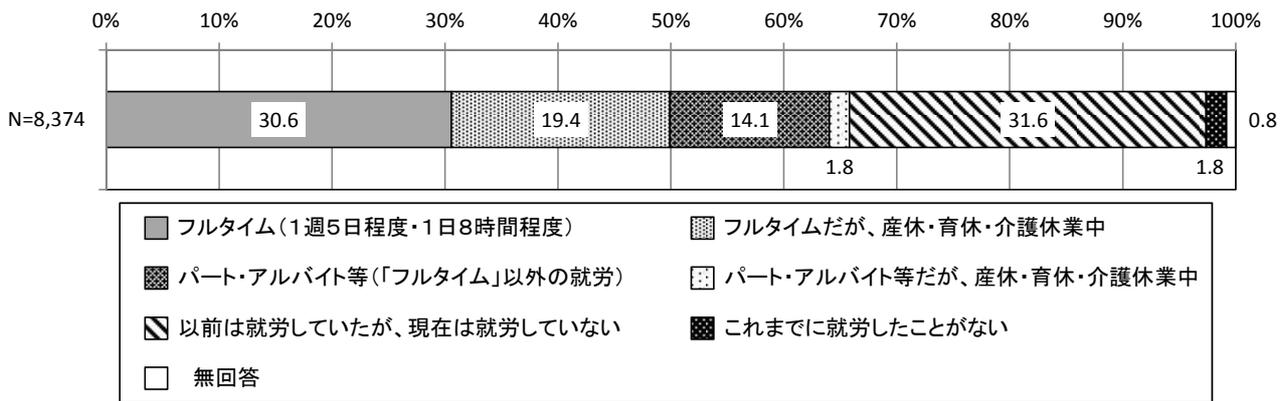
### 3 保護者の就労状況について

#### (1) 母親の就労状況

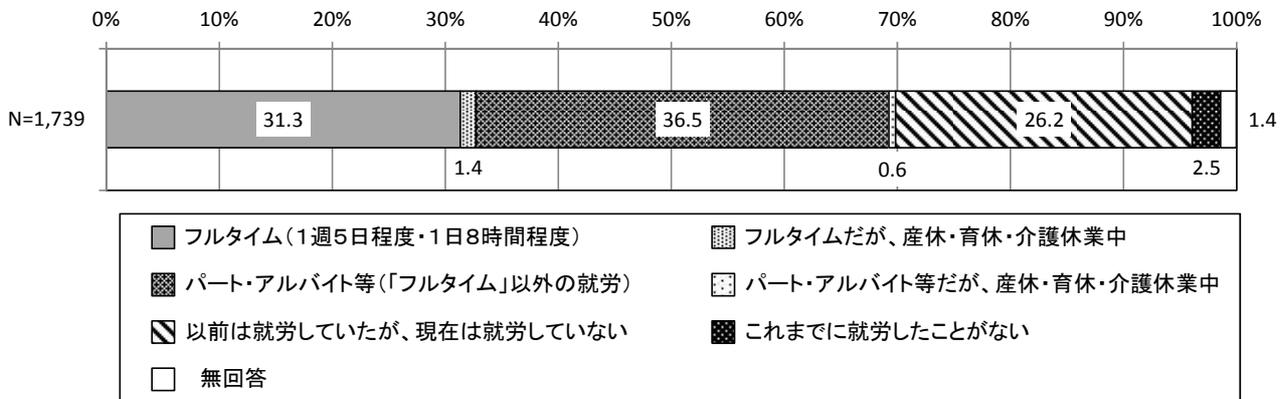
母親の就労状況について聞いたところ、就学前子どもでは「以前は就労していたが、現在は就労していない」が31.6%と最も多く、次いで、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)」が30.6%、「フルタイムだが、産休・育休・介護休業中」が19.4%と続いている。

就学子どもでは「パート・アルバイト等(「フルタイム」以外の就労)」が36.5%と最も多く、次いで、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)」が31.3%、「以前は就労していたが、現在は就労していない」が26.2%と続いている。

#### ■ 就学前子ども(問3-1) (SA)



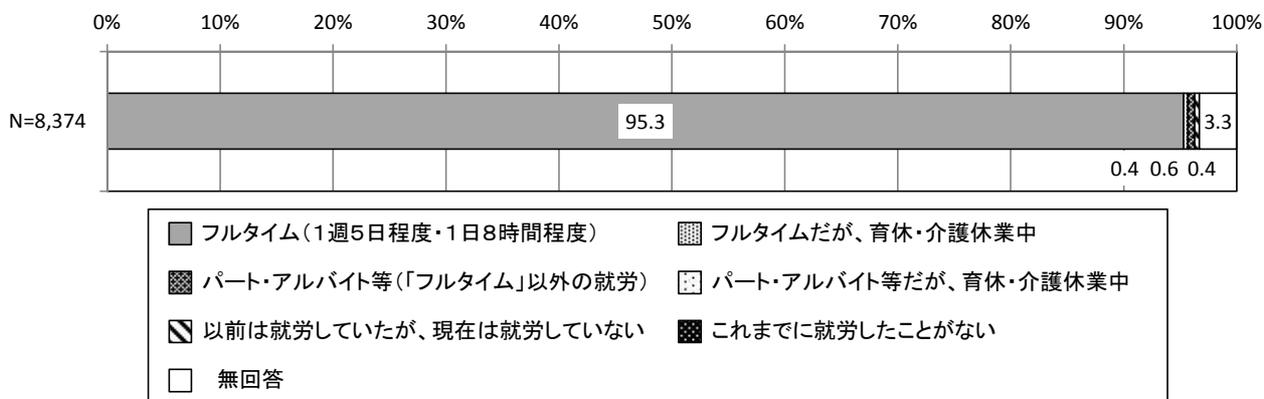
#### ■ 就学子ども(問3-1) (SA)



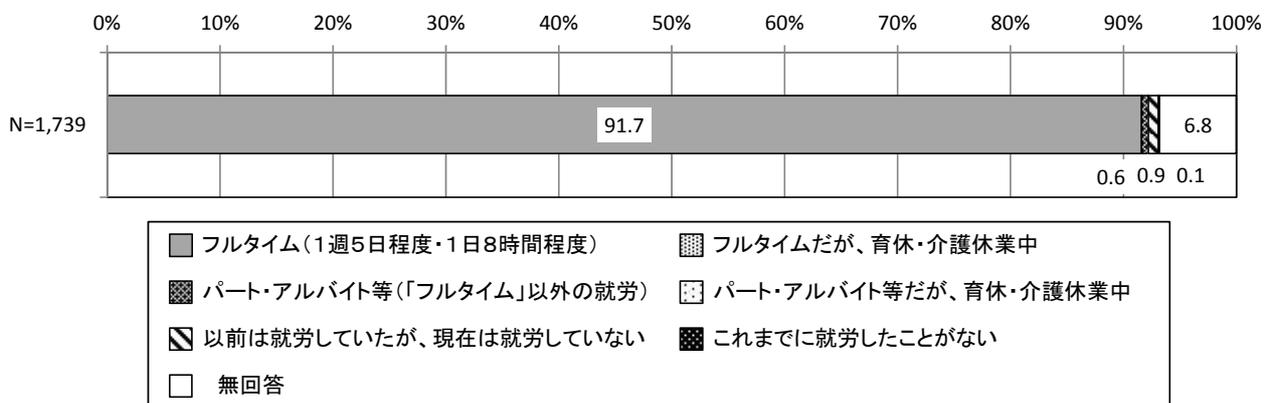
## (2) 父親の就労状況

父親の就労状況について聞いたところ、「フルタイム(1週5日程度・1日8時間程度)」が就学前子どもで95.3%、就学子どもで91.7%と最も多くなっている。

### ■ 就学前子ども(問3-1) (SA)



### ■ 就学子ども(問3-1) (SA)



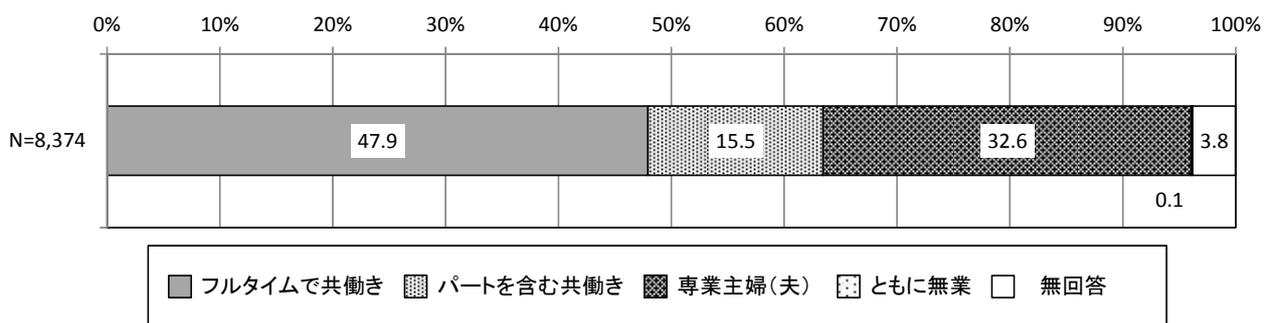
### (3) 世帯(母親と父親)の就労状況

世帯(母親と父親)の就労状況について聞いたところ、就学前子どもでは「フルタイムで共働き」が47.9%と最も多く、次いで、「専業主婦(夫)」が32.6%、「パートを含む共働き」が15.5%と続いている。

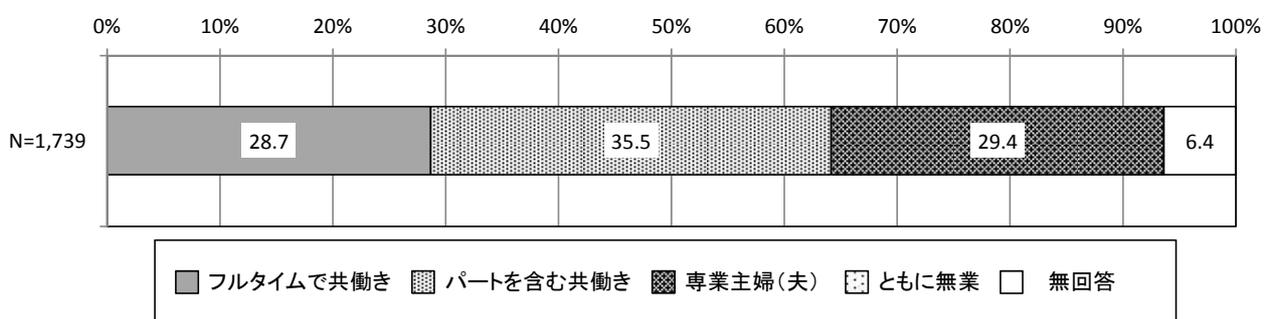
就学子どもでは「パートを含む共働き」が35.5%と最も多く、次いで、「専業主婦(夫)」が29.4%、「フルタイムで共働き」が28.7%となっている。

家族構成別の就労状況をみると、「フルタイムで共働き」「パートを含む共働き」「専業主婦(夫)」において「核家族」が就学前子どもで90%前後、就学子どもで80%を超えている。

#### ■ 就学前子ども(問3-1)(SA)



#### ■ 就学子ども(問3-1)(SA)



■家族構成別の就労状況

(就学前子ども) (問3-1×問1-6)

	合計 (N)	核家族 (父母と も) (%)	ひとり親 (父子家 庭) (%)	ひとり親 (父子家 庭) 親族 同居あり (%)	ひとり親 (母子家 庭) (%)	ひとり親 (母子家 庭) 親族 同居あり (%)	単身赴任 (%)	親族同居 家族 (%)	祖父母近 居 (%)	無回答 (%)
全 体	8374	88.8	0.1	0.0	1.0	0.9	1.3	6.5	0.3	1.1
フルタイムで共働き	4015	92.6	-	-	-	-	1.4	4.9	0.2	0.9
パートを含む共働き	1300	88.9	-	-	-	-	0.6	8.5	0.6	1.3
専業主婦(夫)	2731	89.6	-	-	-	0.0	1.3	7.9	0.3	0.9
ともに無業	10	90.0	-	-	10.0	-	-	-	-	-

\*全体±5%以上を網掛け

(就学子ども) (問3-1×問1-6)

	合計 (N)	核家族 (父母と も) (%)	ひとり親 (父子家 庭) (%)	ひとり親 (父子家 庭) 親族 同居あり (%)	ひとり親 (母子家 庭) (%)	ひとり親 (母子家 庭) 親族 同居あり (%)	単身赴任 (%)	親族同居 家族 (%)	祖父母近 居 (%)	無回答 (%)
全 体	1739	81.8	0.7	0.2	3.0	1.4	3.0	8.9	0.3	0.7
フルタイムで共働き	499	88.2	-	-	0.2	-	2.4	8.4	0.2	0.6
パートを含む共働き	617	84.6	-	-	-	-	3.9	10.2	0.5	0.8
専業主婦(夫)	512	87.1	0.2	-	0.6	0.6	2.9	8.0	0.2	0.4
ともに無業	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

\*全体±5%以上を網掛け

#### (4) 母親の就労状況の詳細

ア フルタイム・パートタイム勤務の状況（産休・育休・介護休業者の休業前の状況を含む）

母親のフルタイム・パートタイム勤務の状況について聞いたところ、「就労日数」では、「5日」が就学前子どもで77.5%、就学子どもが53.5%と最も多くなっている。

「就労時間」では、「8時間」が就学前子どもで36.3%、就学子どもで27.3%と最も多くなっている。

「家を出る時間」では、「8時」が就学前子どもで44.4%、就学子どもで48.7%と最も多くなっている。

「帰宅時間」では、「18時」が就学前子どもで35.7%、「15時まで」が就学子どもで28.7%と最も多くなっている。

#### ■ 就学前子ども（問3-2）（SA）

#### ■ 就学子ども（問3-2）（SA）

（1週あたりの就労日数）

	合計(N)	(%)
1日	73	1.3
2日	157	2.8
3日	265	4.8
4日	368	6.7
5日	4277	77.5
6日	206	3.7
7日	13	0.2
無回答	160	2.9
全体	5519	100.0

	合計(N)	(%)
1日	15	1.2
2日	62	5.1
3日	227	18.7
4日	179	14.7
5日	649	53.5
6日	53	4.4
7日	-	-
無回答	29	2.4
全体	1214	100.0

（1日あたりの就労時間）

	合計(N)	(%)
1時間	11	0.2
2時間	26	0.5
3時間	82	1.5
4時間	223	4.0
5時間	319	5.8
6時間	733	13.3
7時間	1014	18.4
8時間	2006	36.3
9時間	408	7.4
10時間	301	5.5
11時間	45	0.8
12時間	60	1.1
13時間	11	0.2
14時間以上	11	0.2
無回答	269	4.9
全体	5519	100.0

	合計(N)	(%)
1時間	3	0.2
2時間	16	1.3
3時間	40	3.3
4時間	149	12.3
5時間	170	14.0
6時間	155	12.8
7時間	161	13.3
8時間	332	27.3
9時間	76	6.3
10時間	45	3.7
11時間	8	0.7
12時間	9	0.7
13時間	2	0.2
14時間以上	9	0.7
無回答	39	3.2
全体	1214	100.0

（家を出る時間）

	合計(N)	(%)
～5時	40	0.7
6時	154	2.8
7時	1685	30.5
8時	2449	44.4
9時	663	12.0
10時	120	2.2
11時	28	0.5
12時～	93	1.7
無回答	287	5.2
全体	5519	100.0

	合計(N)	(%)
～5時	3	0.2
6時	18	1.5
7時	182	15.0
8時	591	48.7
9時	288	23.7
10時	48	4.0
11時	5	0.4
12時～	22	1.8
無回答	57	4.7
全体	1214	100.0

(帰宅時間)

	合計(N)	(%)		合計(N)	(%)
～15時	567	10.3	～15時	348	28.7
16時	151	2.7	16時	86	7.1
17時	686	12.4	17時	154	12.7
18時	1968	35.7	18時	276	22.7
19時	1249	22.6	19時	211	17.4
20時	364	6.6	20時	52	4.3
21時	122	2.2	21時	21	1.7
22時～	118	2.1	22時～	6	0.5
無回答	294	5.3	無回答	60	4.9
全体	5519	100.0	全体	1214	100.0

世帯就労別で母親の就労状況をみると、「フルタイムで共働き」は就学前子ども・就学子ども共に就労日数「5日」が90%を超えており、就労時間についてはいずれも「8時間」が最も多い。「パートを含む共働き」の日数について、就学前子どもで「5日」が32.3%と最も多く、就学子どもでは「3日」が35.7%と割合に差がある。また、「パートを含む共働き」の時間について、就学前子どもで「6時間」が23.4%、就学子どもでは「5時間」が24.6%でそれぞれ最も高くなっている。

■世帯就労状況別の母親の就労状況

(就学前子ども) (問3-2×問3-1)

	合計(N)	1日 (%)	2日 (%)	3日 (%)	4日 (%)	5日 (%)	6日 (%)	7日 (%)	無回答 (%)
全体	5519	1.3	2.8	4.8	6.7	77.5	3.7	0.2	2.9
フルタイムで共働き	4015	0.0	0.1	0.0	1.0	92.5	4.1	0.2	2.1
パートを含む共働き	1300	5.2	11.4	19.7	23.9	32.3	1.8	0.4	5.2
専業主婦(夫)	16	-	-	12.5	6.3	56.3	-	-	25.0

	合計(N)	1時間 (%)	2時間 (%)	3時間 (%)	4時間 (%)	5時間 (%)	6時間 (%)	7時間 (%)	8時間 (%)	9時間 (%)	10時間 (%)	11時間 (%)	12時間 (%)	13時間 (%)	14時間以上 (%)	無回答 (%)
全体	5519	0.2	0.5	1.5	4.0	5.8	13.3	18.4	36.3	7.4	5.5	0.8	1.1	0.2	0.2	4.9
フルタイムで共働き	4015	-	0.0	-	0.1	1.1	10.3	20.0	45.0	9.3	7.0	1.0	1.3	0.2	0.1	4.6
パートを含む共働き	1300	0.8	1.8	6.2	15.8	20.3	23.4	13.5	8.9	1.5	0.7	0.1	0.5	0.1	0.5	6.0
専業主婦(夫)	16	-	-	-	6.3	6.3	-	25.0	25.0	6.3	-	-	6.3	-	-	25.0

\*全体±5%以上を網掛け

(就学子ども) (問3-2×問3-1)

	合計(N)	1日 (%)	2日 (%)	3日 (%)	4日 (%)	5日 (%)	6日 (%)	7日 (%)	無回答 (%)
全体	1214	1.2	5.1	18.7	14.7	53.5	4.4	-	2.4
フルタイムで共働き	499	-	0.2	-	0.6	92.8	5.4	-	1.0
パートを含む共働き	617	2.4	9.2	35.7	26.6	20.7	2.4	-	2.9
専業主婦(夫)	12	-	-	-	-	100.0	-	-	-

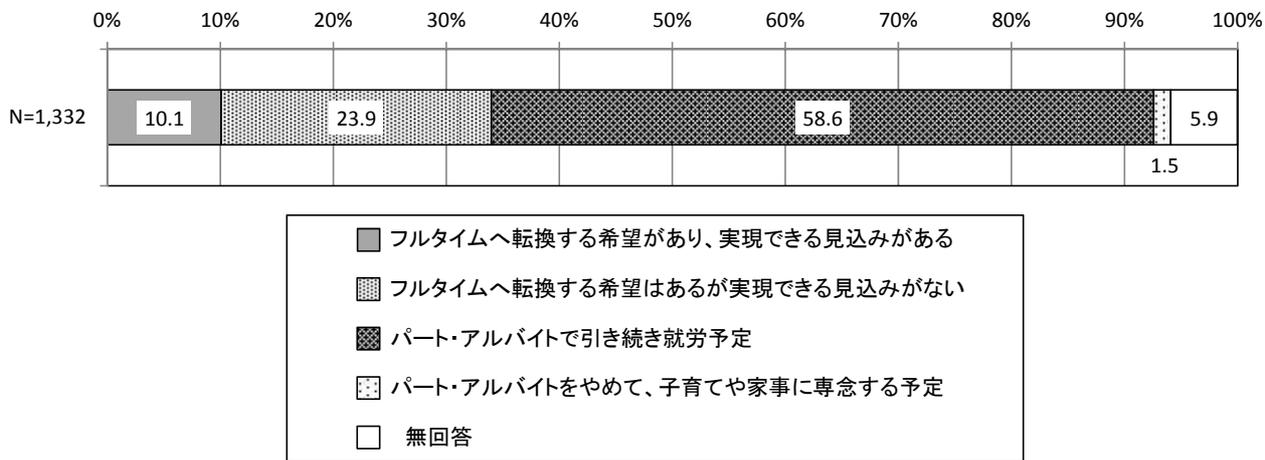
	合計(N)	1時間 (%)	2時間 (%)	3時間 (%)	4時間 (%)	5時間 (%)	6時間 (%)	7時間 (%)	8時間 (%)	9時間 (%)	10時間 (%)	11時間 (%)	12時間 (%)	13時間 (%)	14時間以上 (%)	無回答 (%)
全体	1214	0.2	1.3	3.3	12.3	14.0	12.8	13.3	27.3	6.3	3.7	0.7	0.7	0.2	0.7	3.2
フルタイムで共働き	499	0.2	-	-	0.2	2.0	4.4	17.8	52.1	11.6	6.6	1.4	0.8	0.4	0.2	2.2
パートを含む共働き	617	0.3	2.6	6.3	23.2	24.6	20.3	9.9	6.3	0.6	1.0	-	0.5	-	1.0	3.4
専業主婦(夫)	12	-	-	-	-	-	8.3	8.3	58.3	8.3	16.7	-	-	-	-	-

\*全体±5%以上を網掛け

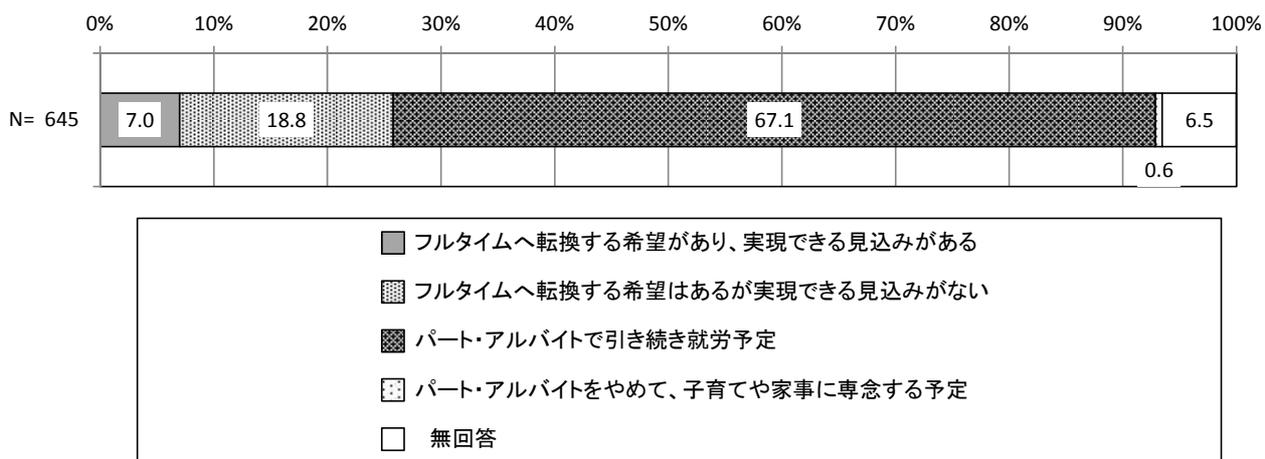
イ パート・アルバイト就労のフルタイムへの転換希望

パート・アルバイト就労のフルタイムへの転換希望について聞いたところ、「パート・アルバイトで引き続き就労予定」が就学前子どもで58.6%、就学子どもが67.1%と最も多くなっている。

■ 就学前子ども (問3-3) (SA)



■ 就学子ども (問3-3) (SA)



ウ 現在非就労の今後の就労希望と希望する時期や就労条件

母親の今後の就労希望について聞いたところ、就学前子どもでは「1年より先」が39.9%、就学子どもでは「子育てや家事に専念したい(就労の予定はない)」が28.8%と最も多くなっている。

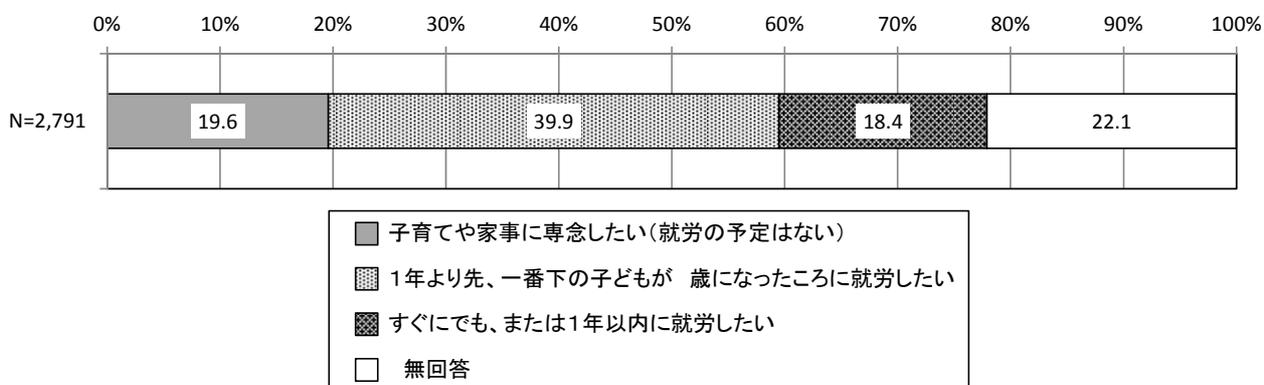
就労希望の時期について聞いたところ、就学前子どもでは「3歳」が24.4%、就学子どもでは「7歳以上」が66.2%で最も多くなっている。

希望する就労形態について聞いたところ、「パート・アルバイト等による就労」が就学前子どもで58.1%、就学子どもで73.2%と最も多くなっている。

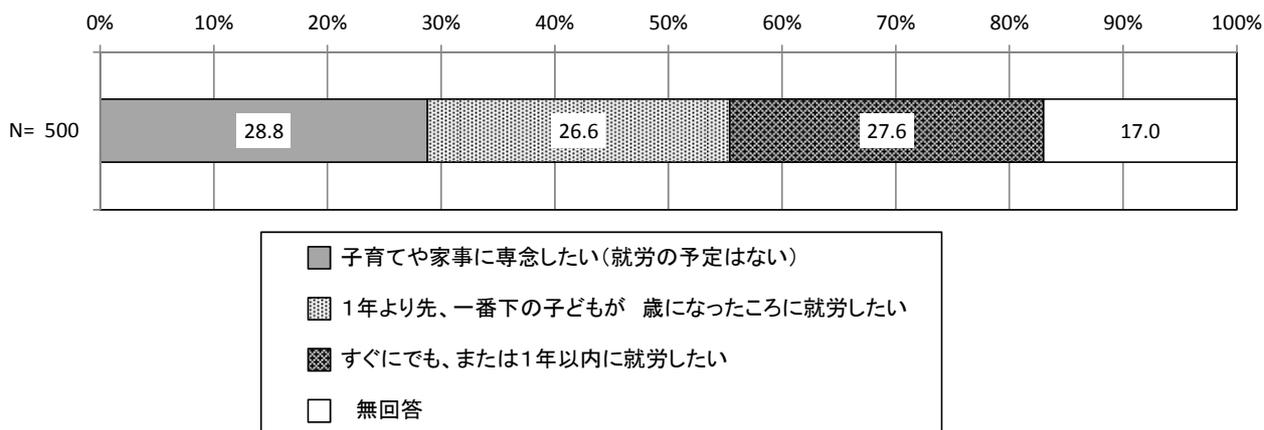
希望する就労条件について聞いたところ、就学前子どもでは、「3日」が52.3%、「4時間」が41.9%、就学子どもでは、「3日」が57.4%、「4時間」が38.6%と最も多くなっている。

①今後の就労希望

■ 就学前子ども(問3-4) (SA)



■ 就学子ども(問3-4) (SA)



②就労希望の時期（一番下の子が何歳になったら働きたいか）

■就学前子ども（問3-4）（SA）

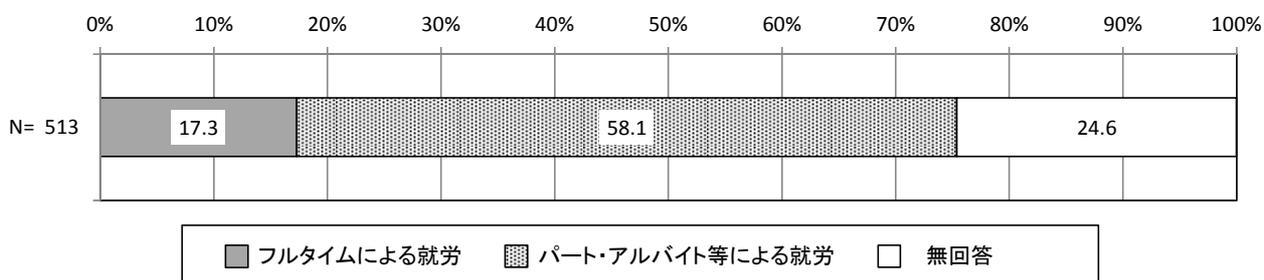
	合計(N)	(%)
1歳	24	2.2
2歳	45	4.0
3歳	272	24.4
4歳	234	21.0
5歳	59	5.3
6歳	149	13.4
7歳	183	16.4
8歳以上	128	11.5
無回答	21	1.9
全体	1115	100.0

■就学子ども（問3-4）（SA）

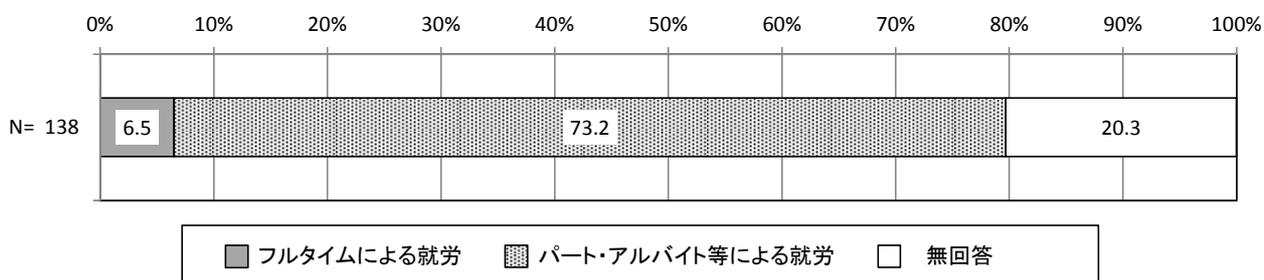
	合計(N)	(%)
~2歳	1	0.8
3歳	8	6.0
4歳	11	8.3
5歳	6	4.5
6歳	16	12.0
7歳以上	88	66.2
無回答	3	2.3
全体	133	100.0

③希望する就労形態（すぐにでも、1年以内に就労したい方の希望）

■就学前子ども（問3-4）（SA）



■就学子ども（問3-4）（SA）



④希望する就労条件（パート・アルバイトを希望する方の就労条件）

■就学前子ども（問3-4）（SA）

	合計(N)	(%)
1日	3	1.0
2日	34	11.4
3日	156	52.3
4日	69	23.2
5日	34	11.4
6日	-	-
7日	-	-
無回答	2	0.7
全体	298	100.0

	合計(N)	(%)
1時間	-	-
2時間	1	0.3
3時間	14	4.7
4時間	125	41.9
5時間	98	32.9
6時間	39	13.1
7時間	8	2.7
8時間	10	3.4
9時間以上	-	-
無回答	3	1.0
全体	298	100.0

■就学子ども（問3-4）（SA）

	合計(N)	(%)
1日	2	2.0
2日	15	14.9
3日	58	57.4
4日	18	17.8
5日	6	5.9
6日	-	-
7日	-	-
無回答	2	2.0
全体	101	100.0

	合計(N)	(%)
1時間	1	1.0
2時間	1	1.0
3時間	4	4.0
4時間	39	38.6
5時間	31	30.7
6時間	19	18.8
7時間	2	2.0
8時間以上	-	-
無回答	4	4.0
全体	101	100.0

## (5) 父親の就労状況の詳細

ア フルタイム・パートタイム勤務の状況（育休・介護休業者の休業前の状況を含む）

父親のフルタイム・パートタイム勤務の状況について聞いたところ、「就労日数」では、「5日」が就学前子どもで75.5%、就学子どもが71.8%と最も多くなっている。

「就労時間」では、「10時間」が就学前子どもで24.9%、就学子どもで24.5%と最も多くなっている。

「家を出る時間」では、「7時」が就学前子どもで33.3%、就学子どもで33.5%と最も多くなっている。

「帰宅時間」では、「22時以降」が就学前子どもで22.8%、就学子どもで20.2%と最も多くなっている。

### ■ 就学前子ども(問3-2) (SA)

	合計(N)	(%)
1日	1	0.0
2日	7	0.1
3日	33	0.4
4日	53	0.7
5日	6092	75.5
6日	1343	16.7
7日	98	1.2
無回答	438	5.4
全体	8065	100.0

### ■ 就学子ども(問3-2) (SA)

	合計(N)	(%)
1日	-	-
2日	2	0.1
3日	2	0.1
4日	4	0.2
5日	1153	71.8
6日	255	15.9
7日	15	0.9
無回答	174	10.8
全体	1605	100.0

	合計(N)	(%)
1時間	5	0.1
2時間	3	0.0
3時間	4	0.0
4時間	3	0.0
5時間	12	0.1
6時間	25	0.3
7時間	96	1.2
8時間	1917	23.8
9時間	1262	15.6
10時間	2011	24.9
11時間	564	7.0
12時間	871	10.8
13時間	261	3.2
14時間以上	280	3.5
無回答	751	9.3
全体	8065	100.0

	合計(N)	(%)
1時間	-	-
2時間	1	0.1
3時間	1	0.1
4時間	2	0.1
5時間	2	0.1
6時間	2	0.1
7時間	14	0.9
8時間	384	23.9
9時間	259	16.1
10時間	393	24.5
11時間	73	4.5
12時間	153	9.5
13時間	38	2.4
14時間以上	55	3.4
無回答	228	14.2
全体	1605	100.0

	合計(N)	(%)
～5時	230	2.9
6時	920	11.4
7時	2688	33.3
8時	2630	32.6
9時	711	8.8
10時	131	1.6
11時	48	0.6
12時～	126	1.6
無回答	581	7.2
全体	8065	100.0

	合計(N)	(%)
～5時	57	3.6
6時	181	11.3
7時	538	33.5
8時	455	28.3
9時	128	8.0
10時	25	1.6
11時	6	0.4
12時～	23	1.4
無回答	192	12.0
全体	1605	100.0

	合計(N)	(%)
～15時	779	9.7
16時	22	0.3
17時	117	1.5
18時	524	6.5
19時	1137	14.1
20時	1631	20.2
21時	1403	17.4
22時～	1837	22.8
無回答	615	7.6
全体	8065	100.0

	合計(N)	(%)
～15時	151	9.4
16時	6	0.4
17時	23	1.4
18時	109	6.8
19時	215	13.4
20時	293	18.3
21時	285	17.8
22時～	325	20.2
無回答	198	12.3
全体	1605	100.0

世帯就労別で父親の就労状況をみると、就学前子ども・就学子ども共に「フルタイムで共働き」「パートを含む共働き」で、就労日数「5日」が70%を超えている。また、時間について、就学前子ども・就学子ども共に「フルタイムで共働き」では「8時間」が最も多く、「パートを含む共働き」では就学前子どもでは「8時間」27.0%、就学子どもでは「10時間」が27.9%でそれぞれ最も高くなっている。

### ■世帯就労状況別の父親の就労状況

(就学前子ども) (問3-2×問3-1)

	合計(N)	1日 (%)	2日 (%)	3日 (%)	4日 (%)	5日 (%)	6日 (%)	7日 (%)	無回答 (%)
全体	8065	0.0	0.1	0.4	0.7	75.5	16.7	1.2	5.4
フルタイムで共働き	4015	-	0.1	0.2	0.3	82.3	14.7	1.1	1.3
パートを含む共働き	1300	0.1	0.2	0.7	1.5	73.1	20.5	1.5	2.5
専業主婦(夫)	2715	-	0.0	0.6	0.8	66.9	17.6	1.1	12.9

	合計(N)	1時間 (%)	2時間 (%)	3時間 (%)	4時間 (%)	5時間 (%)	6時間 (%)	7時間 (%)	8時間 (%)	9時間 (%)	10時間 (%)	11時間 (%)	12時間 (%)	13時間 (%)	14時間以上 (%)	無回答 (%)
全体	8065	0.1	0.0	0.0	0.0	0.1	0.3	1.2	23.8	15.6	24.9	7.0	10.8	3.2	3.5	9.3
フルタイムで共働き	4015	0.1	0.0	-	-	-	0.2	1.5	26.5	16.2	26.4	7.6	10.7	2.8	2.8	5.0
パートを含む共働き	1300	-	0.1	0.2	0.2	0.5	0.8	0.8	27.0	16.9	24.5	6.9	9.5	3.2	3.5	5.9
専業主婦(夫)	2715	0.0	-	0.0	-	0.2	0.2	0.9	15.2	14.3	22.9	6.1	11.5	3.9	4.3	17.3

\*全体±5%以上を網掛け

(就学子ども) (問3-2×問3-1)

	合計(N)	1日 (%)	2日 (%)	3日 (%)	4日 (%)	5日 (%)	6日 (%)	7日 (%)	無回答 (%)
全体	1605	-	0.1	0.1	0.2	71.8	15.9	0.9	10.8
フルタイムで共働き	499	-	0.2	-	0.2	83.6	13.8	0.4	1.8
パートを含む共働き	617	-	-	-	0.5	73.7	20.7	1.0	4.1
専業主婦(夫)	474	-	0.2	0.4	-	57.0	11.8	1.5	29.1

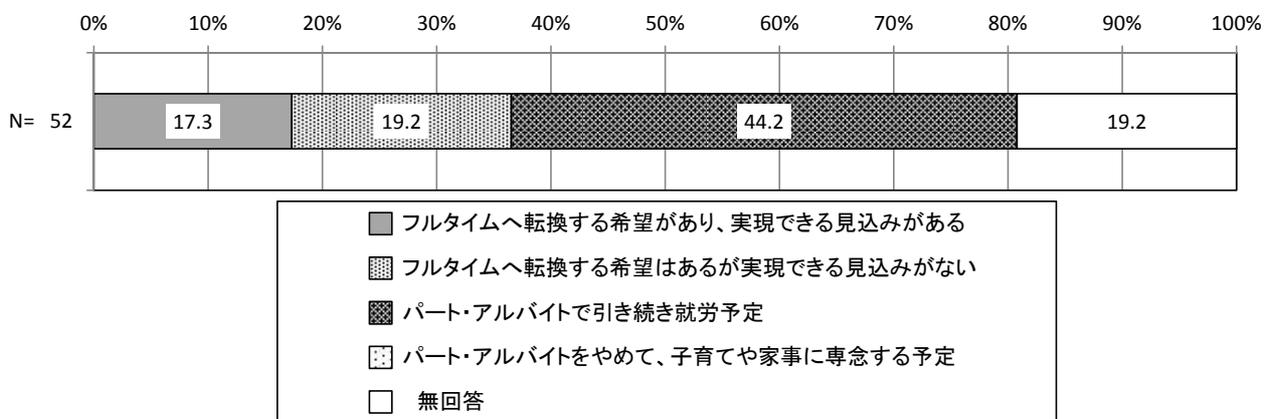
	合計(N)	1時間 (%)	2時間 (%)	3時間 (%)	4時間 (%)	5時間 (%)	6時間 (%)	7時間 (%)	8時間 (%)	9時間 (%)	10時間 (%)	11時間 (%)	12時間 (%)	13時間 (%)	14時間以上 (%)	無回答 (%)
全体	1605	-	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.9	23.9	16.1	24.5	4.5	9.5	2.4	3.4	14.2
フルタイムで共働き	499	-	0.2	-	-	-	0.2	1.0	33.9	18.4	24.8	6.0	8.8	1.6	1.8	3.2
パートを含む共働き	617	-	-	0.2	0.3	0.3	0.2	0.6	23.7	16.9	27.9	4.5	11.3	1.6	3.4	9.1
専業主婦(夫)	474	-	-	-	-	-	-	0.8	12.9	13.1	20.0	3.2	8.0	4.2	5.3	32.5

\*全体±5%以上を網掛け

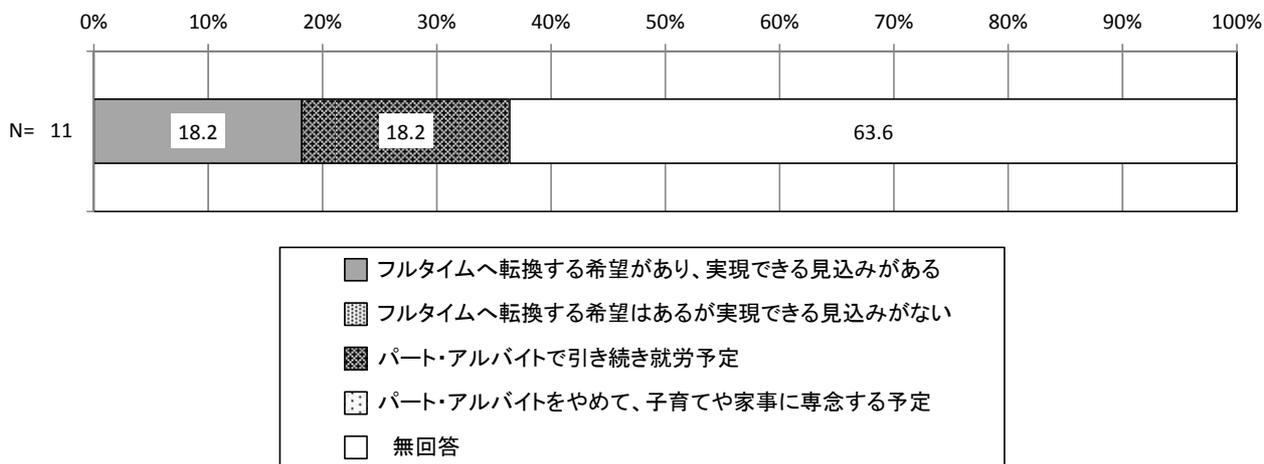
### イ パート・アルバイト就労のフルタイムへの転換希望

父親のパート・アルバイト就労のフルタイムへの転換希望について聞いたところ、就学前子どもでは「パート・アルバイトで引き続き就労予定」が44.2%と最も多くなっている。

#### ■ 就学前子ども(問3-3) (SA)



#### ■ 就学子ども(問3-3) (SA)

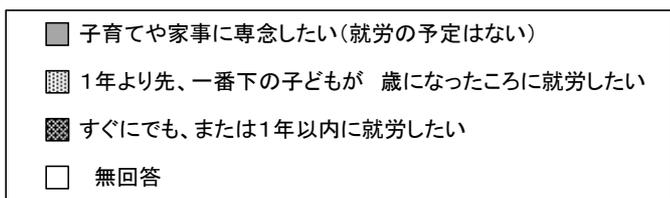
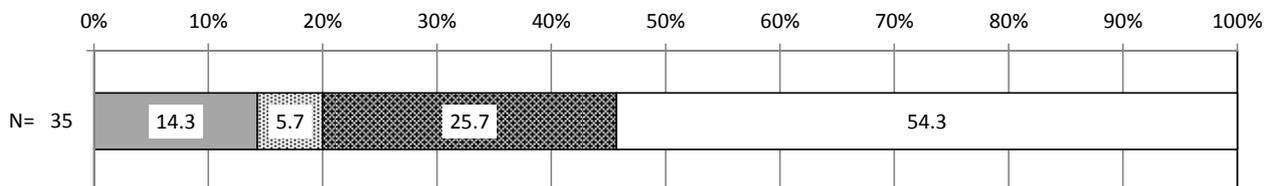


ウ 現在非就労の今後の就労希望と希望する時期や就労条件

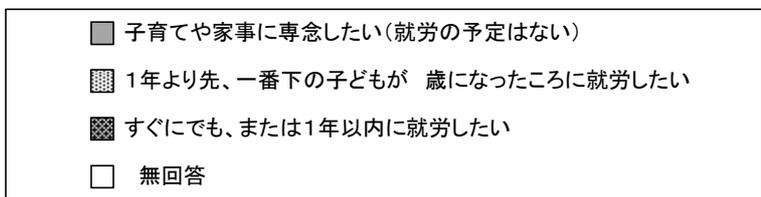
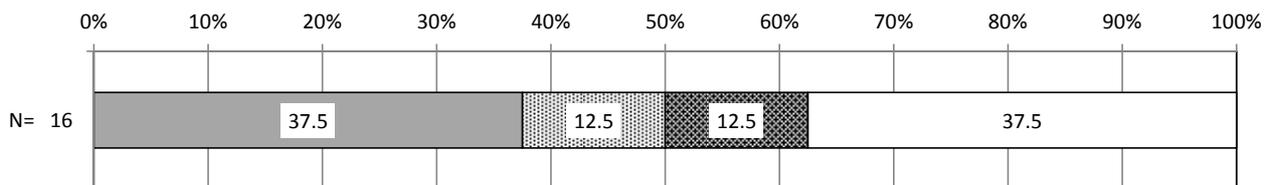
父親の今後の就労希望について聞いたところ、就学前子どもでは「すぐにでも、または1年以内に就労したい」が25.7%と最も多くなっている。

①今後の就労希望

■就学前子ども(問3-4) (SA)



■就学子ども(問3-4) (SA)



②希望する就労の時期（一番下の子が何歳になったら働きたいか）

■就学前子ども（問3-4）（SA）

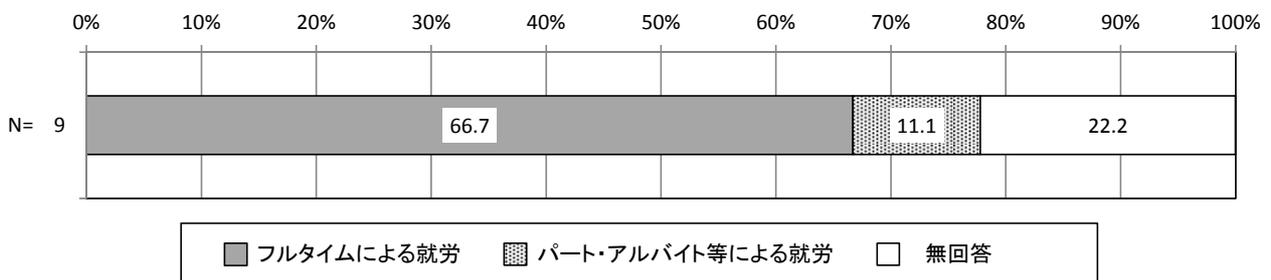
	合計(N)	(%)
1歳	-	-
2歳	1	50.0
3歳	-	-
4歳	-	-
5歳	-	-
6歳	-	-
7歳	1	50.0
8歳以上	-	-
無回答	-	-
全体	2	100.0

■就学子ども（問3-4）（SA）

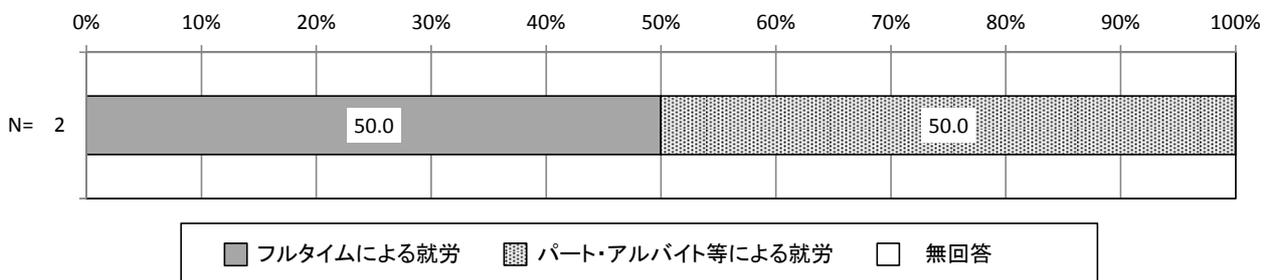
	合計(N)	(%)
~2歳	-	-
3歳	-	-
4歳	-	-
5歳	-	-
6歳	1	50.0
7歳以上	1	50.0
無回答	-	-
全体	2	100.0

③希望する就労形態（すぐにでも、1年以内に就労したい方の希望）

■就学前子ども（問3-4）（SA）



■就学子ども（問3-4）（SA）



④希望する就労条件（パート・アルバイトを希望する方の就労条件）

■就学前子ども(問3-4) (SA)

	合計(N)	(%)
1日	-	-
2日	-	-
3日	-	-
4日	-	-
5日	1	100.0
6日	-	-
7日	-	-
無回答	-	-
全体	1	100.0

■就学子ども(問3-4) (SA)

	合計(N)	(%)
1日	-	-
2日	-	-
3日	-	-
4日	-	-
5日	-	-
6日	-	-
7日	-	-
無回答	1	100.0
全体	1	100.0

	合計(N)	(%)
1時間	-	-
2時間	-	-
3時間	-	-
4時間	-	-
5時間	-	-
6時間	-	-
7時間	-	-
8時間	1	100.0
9時間以上	-	-
無回答	-	-
全体	1	100.0

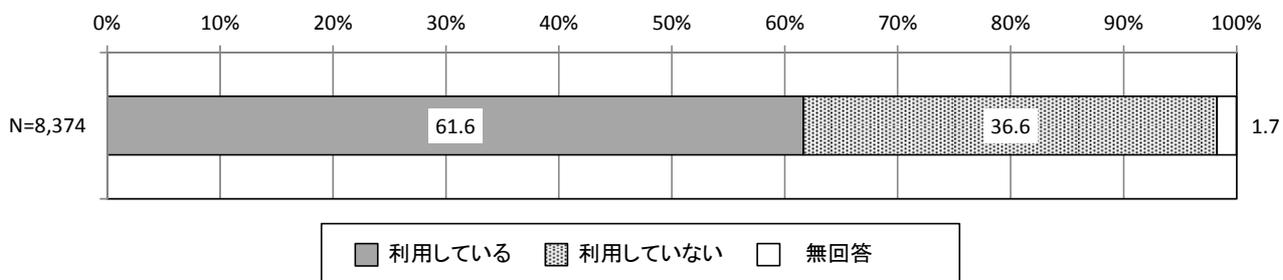
	合計(N)	(%)
1時間	-	-
2時間	-	-
3時間	-	-
4時間	-	-
5時間	-	-
6時間	-	-
7時間	-	-
8時間以上	-	-
無回答	1	100.0
全体	1	100.0

## 4 日中の定期的な教育・保育の事業等の利用状況について

### (1) 定期的な教育・保育の事業の利用有無

定期的な教育・保育の事業の利用有無について聞いたところ、「利用している」が61.6%、「利用していない」が36.6%となっている。年齢別で見ると0歳が「利用していない」が77.9%と最も多く、3・4・5歳では「利用している」が90%台である。

#### ■就学前子ども(問4-1)(SA)



#### ■年齢別の定期的な教育・保育の事業の利用有無(問4-1×問1-3)

	合計 (N)	利用して いる (%)	利用して いない (%)	無回答 (%)
全 体	8374	61.6	36.6	1.7
0 歳	2462	20.8	77.9	1.3
1 歳	1381	56.8	41.3	2.0
2 歳	1349	64.0	34.3	1.6
3 歳	1130	93.3	4.5	2.2
4 歳	937	96.9	1.3	1.8
5 歳	971	97.4	1.2	1.3

\*全体±5%以上を網掛け

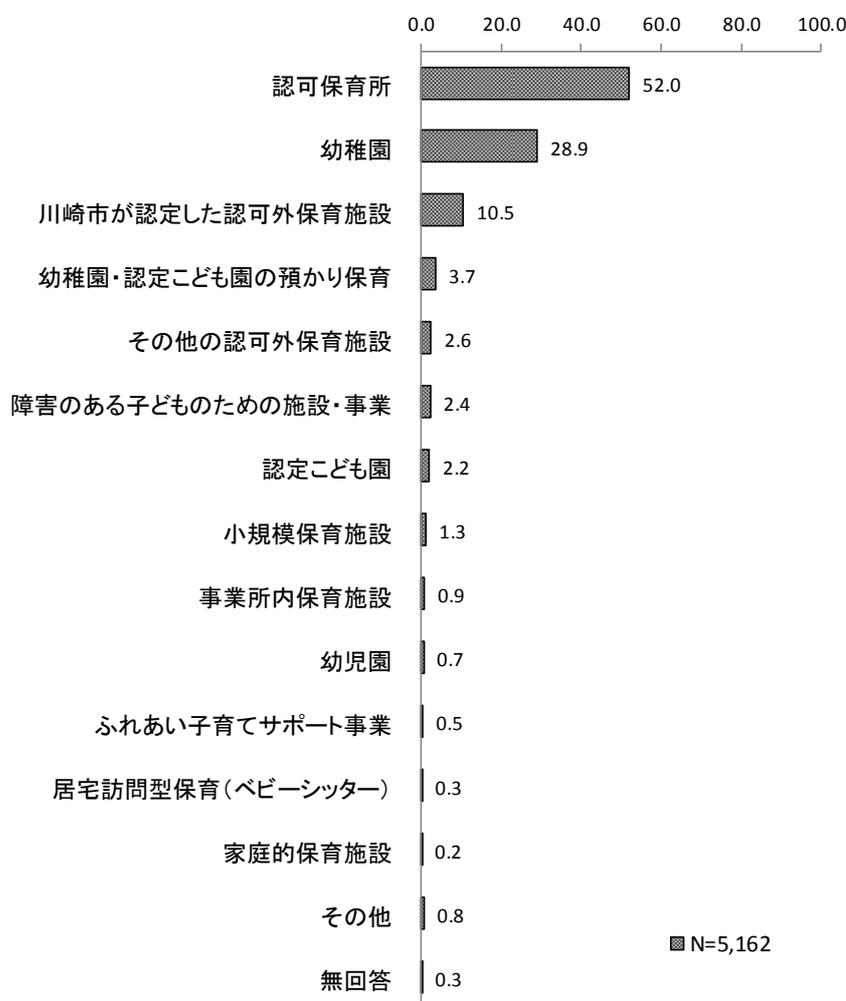
## (2) 定期的な教育・保育の事業の利用状況

定期的な教育・保育の事業の利用状況について聞いたところ、「認可保育所」が52.0%と最も多く、次いで、「幼稚園」が28.9%、「川崎市が認定した認可外保育施設」が10.5%と続いている。

年齢別の利用事業で見ると、「認可保育所」が1・2歳が約65%と多く、3・4・5歳で「幼稚園」の利用が45%前後と多い（0～2歳児において「幼稚園」の年齢対象外であるが、若干の利用がある）。「川崎市が認定した認可外保育施設」について、0歳で22.7%、1・2歳で10%台の利用がある。

世帯就労別の利用事業で見ると、「フルタイムで共働き」については、「認可保育所」が76.6%、「川崎市が認定した認可外保育施設」が13.7%である。「パートを含む共働き」については、「幼稚園」が39.6%、「認可保育所」が35.9%である。また、「専業主婦（夫）」では「幼稚園」が84.9%となっている。

### ■ 就学前子ども（問4-2）（MA）



■年齢別の定期的な教育・保育の事業の利用事業(問4-2×問1-3)

	合計 (N)	認可保育 所 (%)	幼稚園 (%)	幼稚園・ 認定こども 園の預 かり保育 (%)	認定こども 園 (%)	小規模保 育施設 (%)	家庭的保 育施設 (%)	事業所内 保育施設 (%)	川崎市が 認定した 認可外保 育施設 (%)	その他の 認可外保 育施設 (%)	居宅訪問 型保育 (ベビー シッター) (%)	ふれあい 子育てサ ポート事 業 (%)	幼稚園 (%)	障害のある 子どもの ための 施設・事 業 (%)	その他 (%)	無回答 (%)
全 体	5162	52.0	28.9	3.7	2.2	1.3	0.2	0.9	10.5	2.6	0.3	0.5	0.7	2.4	0.8	0.3
0歳	512	59.0	3.5	0.6	0.8	2.1	0.2	2.9	22.7	6.6	0.6	0.8	-	1.0	1.4	0.8
1歳	784	65.9	2.9	0.4	0.9	3.7	0.6	1.5	18.0	5.1	0.4	1.0	0.1	1.4	0.9	0.6
2歳	864	65.4	8.6	0.2	1.2	2.5	0.5	1.0	15.4	2.3	0.7	0.7	0.8	3.5	1.2	0.7
3歳	1054	46.4	42.2	5.5	3.2	0.3	-	0.3	6.3	1.6	-	0.5	0.9	2.3	0.6	-
4歳	908	42.1	48.2	6.4	3.6	0.1	-	0.1	3.7	1.1	0.4	-	0.6	3.2	0.6	0.2
5歳	946	41.3	48.4	6.4	2.7	-	-	0.5	4.7	1.1	-	0.2	1.1	2.4	0.4	0.1

\*全体±5%以上を網掛け

■世帯就労別の定期的な教育・保育の事業の利用事業(問4-2×問3-1)

	合計 (N)	認可保育 所 (%)	幼稚園 (%)	幼稚園・ 認定こども 園の預 かり保育 (%)	認定こども 園 (%)	小規模保 育施設 (%)	家庭的保 育施設 (%)	事業所内 保育施設 (%)	川崎市が 認定した 認可外保 育施設 (%)	その他の 認可外保 育施設 (%)	居宅訪問 型保育 (ベビー シッター) (%)	ふれあい 子育てサ ポート事 業 (%)	幼稚園 (%)	障害のある 子どもの ための 施設・事 業 (%)	その他 (%)	無回答 (%)
全 体	5162	52.0	28.9	3.7	2.2	1.3	0.2	0.9	10.5	2.6	0.3	0.5	0.7	2.4	0.8	0.3
フルタイムで共働き	2825	76.6	3.1	1.8	1.1	1.6	0.2	1.0	13.7	2.5	0.5	0.6	0.3	1.1	0.5	0.5
パートを含む共働き	985	35.9	39.6	10.5	3.8	1.9	0.2	1.6	12.6	4.1	0.2	0.1	0.9	2.3	0.9	0.1
専業主婦(夫)	1136	3.8	84.9	2.6	3.6	0.2	0.1	0.1	1.2	0.9	-	0.6	1.4	5.5	1.0	0.3
ともに無業	5	40.0	20.0	-	-	-	-	-	20.0	-	-	-	-	20.0	20.0	-

\*全体±5%以上を網掛け

### (3) 定期的な教育・保育の事業の利用日数・利用時間

利用日数は、「事業所内保育施設」「ふれあい子育てサポート事務」「障害のある子どものための施設・事業」「その他」を除いて「5日」の利用が80%を超えている。

利用時間数は、「幼稚園」では4～7時間が多く、「認可保育所」では9～12時間、「幼児園」では6～8時間が多くなっている。

#### ア 事業別の利用日数

##### ■ 就学前子ども(問4-3×問4-2)(MA)

	合計 (N)	1日(%)	2日(%)	3日(%)	4日(%)	5日(%)	6日(%)	7日(%)	無回答 (%)
全体	5125	1.3	1.0	1.0	3.8	90.2	1.9	-	0.9
認可保育所	2635	0.5	0.5	0.8	2.8	92.2	2.9	-	0.3
幼稚園	1471	2.2	1.2	0.2	4.0	91.6	0.2	-	0.5
幼稚園・認定こども園の預かり保育	185	1.6	3.2	3.8	3.8	85.4	0.5	-	1.6
認定こども園	113	0.9	1.8	2.7	10.6	84.1	-	-	-
小規模保育施設	64	1.6	3.1	-	1.6	90.6	3.1	-	-
家庭的保育施設	10	-	-	-	-	90.0	-	-	10.0
事業所内保育施設	49	2.0	4.1	2.0	24.5	63.3	4.1	-	-
川崎市が認定した認可外保育施設	530	0.2	0.4	0.6	8.1	89.8	0.6	-	0.4
その他の認可外保育施設	131	-	3.8	6.9	13.7	69.5	5.3	-	0.8
居宅訪問型保育(ベビーシッター)	11	-	-	-	-	100.0	-	-	-
ふれあい子育てサポート事業	25	24.0	-	4.0	-	60.0	8.0	-	4.0
幼児園	33	6.1	-	-	3.0	87.9	3.0	-	-
障害のある子どものための施設・事業	130	13.1	7.7	6.9	24.6	46.9	-	-	0.8
その他	13	-	23.1	7.7	-	61.5	-	-	7.7

\* 上位1位を網掛け

#### イ 事業別の利用時間数

##### ■ 就学前子ども(問4-3×問4-2)(MA)

	合計 (N)	1時間未満 (%)	1～2時間 (%)	2～3時間 (%)	3～4時間 (%)	4～5時間 (%)	5～6時間 (%)	6～7時間 (%)	7～8時間 (%)	8～9時間 (%)	9～10時間 (%)	10～11時間 (%)	11～12時間 (%)	12～13時間 (%)	13～14時間 (%)	14時間以上 (%)	無回答 (%)
全体	5125	0.3	0.6	0.5	1.0	16.3	10.4	3.5	9.0	11.7	23.7	15.8	4.5	0.4	-	0.8	1.5
認可保育所	2635	0.1	0.1	0.1	0.1	0.3	0.1	2.7	13.0	14.5	34.1	25.1	7.6	0.9	-	0.7	0.7
幼稚園	1471	0.3	1.5	1.5	2.2	50.7	34.1	4.8	0.7	1.4	0.6	0.2	-	-	-	1.0	1.2
幼稚園・認定こども園の預かり保育	185	5.4	13.0	24.9	23.2	9.7	2.2	2.2	3.8	3.8	5.4	2.7	1.1	-	-	0.5	2.2
認定こども園	113	-	-	3.5	-	43.4	14.2	2.7	6.2	6.2	15.0	6.2	0.9	-	-	-	1.8
小規模保育施設	64	3.1	-	1.6	1.6	-	-	1.6	10.9	15.6	43.8	17.2	3.1	-	-	-	1.6
家庭的保育施設	10	-	-	-	-	-	-	-	20.0	50.0	20.0	-	-	-	-	-	10.0
事業所内保育施設	49	2.0	-	-	4.1	4.1	6.1	10.2	14.3	14.3	26.5	16.3	-	-	-	-	2.0
川崎市が認定した認可外保育施設	530	0.4	0.4	0.4	-	0.9	0.8	2.5	9.4	24.7	39.8	16.0	2.8	-	-	1.1	0.8
その他の認可外保育施設	131	-	-	2.3	1.5	6.1	3.1	6.1	15.3	19.8	24.4	11.5	6.9	-	-	1.5	1.5
居宅訪問型保育(ベビーシッター)	11	-	18.2	9.1	36.4	18.2	-	-	-	9.1	9.1	-	-	-	-	-	-
ふれあい子育てサポート事業	25	28.0	32.0	12.0	4.0	-	-	-	4.0	-	4.0	-	-	-	-	-	16.0
幼児園	33	-	-	3.0	3.0	18.2	6.1	24.2	24.2	6.1	9.1	3.0	-	-	-	3.0	-
障害のある子どものための施設・事業	130	25.4	22.3	3.8	33.8	3.1	3.8	1.5	-	0.8	-	-	-	-	-	-	5.4
その他	13	30.8	15.4	7.7	7.7	7.7	-	15.4	7.7	-	7.7	-	-	-	-	-	-

\* 上位3位を網掛け

事業別の開始時間でみると、「幼稚園」では8:31～9:00、「認可保育所」では7:31～8:30、「事業所内保育施設」では7:31～8:30が多くなっている。

事業別の終了時間でみると、「幼稚園」では16:31～17:00（「幼稚園の預かり保育」は13:31～14:00）、「認可保育園」では13:31～14:00、「川崎市が認定した認可外保育施設」では17:31～18:00が多くなっている。

■就学前子ども(問4-3)(MA)

(開始時間)

	合計 (N)	～6:30 (%)	6:31～ 7:00 (%)	7:01～ 7:30 (%)	7:31～ 8:00 (%)	8:01～ 8:30 (%)	8:31～ 9:00 (%)	9:01～ 9:30 (%)	9:31～ 10:00 (%)	10:01～ 10:30 (%)	10:31～ 11:00 (%)
全体	5125	0.1	3.4	12.8	20.3	23.4	31.7	4.8	1.8	0.1	0.1
認可保育所	2635	0.0	5.7	20.2	27.2	26.5	18.6	1.1	0.2	-	-
幼稚園	1471	0.3	0.1	0.1	2.8	18.2	61.3	12.7	2.9	0.1	0.1
幼稚園・認定こども園の預かり保育	185	-	0.5	2.7	5.9	23.2	51.4	8.1	-	-	-
認定こども園	113	-	0.9	8.0	9.7	8.8	56.6	7.1	0.9	-	-
小規模保育施設	64	-	3.1	21.9	34.4	21.9	12.5	-	3.1	-	1.6
家庭的保育施設	10	-	-	-	10.0	70.0	10.0	-	-	-	-
事業所内保育施設	49	-	6.1	12.2	22.4	32.7	16.3	6.1	-	-	4.1
川崎市が認定した認可外保育施設	530	-	2.3	14.2	35.3	27.4	18.9	0.4	0.8	-	-
その他の認可外保育施設	131	-	3.8	13.7	26.7	19.8	21.4	7.6	5.3	0.8	-
居宅訪問型保育(ベビーシッター)	11	-	-	9.1	27.3	27.3	36.4	-	-	-	-
ふれあい子育てサポート事業	25	4.0	4.0	20.0	4.0	16.0	24.0	-	16.0	4.0	-
幼児園	33	-	-	-	18.2	12.1	54.5	9.1	3.0	-	-
障害のある子どものための施設・事業	130	-	1.5	3.8	10.8	10.8	32.3	8.5	27.7	2.3	-
その他	13	-	-	7.7	15.4	15.4	38.5	15.4	-	-	-

	合計 (N)	11:01～ 11:30 (%)	11:31～ 12:00 (%)	12:01～ 12:30 (%)	12:31～ 13:00 (%)	13:01～ 13:30 (%)	13:31～ 14:00 (%)	14:01～ 14:30 (%)	14:31～ 15:00 (%)	15:01～ 15:30 (%)	無回答 (%)
全体	5125	-	-	-	0.0	0.0	0.2	0.0	-	0.1	1.3
認可保育所	2635	-	-	-	-	-	-	-	-	0.1	0.5
幼稚園	1471	-	-	-	-	-	0.1	-	-	0.1	1.2
幼稚園・認定こども園の預かり保育	185	-	-	-	-	0.5	4.9	0.5	-	0.5	1.6
認定こども園	113	-	-	-	-	0.9	4.4	0.9	-	-	1.8
小規模保育施設	64	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1.6
家庭的保育施設	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10.0
事業所内保育施設	49	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
川崎市が認定した認可外保育施設	530	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.9
その他の認可外保育施設	131	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.8
居宅訪問型保育(ベビーシッター)	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
ふれあい子育てサポート事業	25	-	-	-	-	-	-	-	-	8.0	-
幼児園	33	-	-	-	-	-	-	-	-	3.0	-
障害のある子どものための施設・事業	130	-	-	-	0.8	-	0.8	-	-	-	0.8
その他	13	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.7

(終了時間)

	合計 (N)	～11:00 (%)	11:01～ 11:30 (%)	11:31～ 12:00 (%)	12:01～ 12:30 (%)	12:31～ 13:00 (%)	13:01～ 13:30 (%)	13:31～ 14:00 (%)	14:01～ 14:30 (%)	14:31～ 15:00 (%)	15:01～ 15:30 (%)	15:31～ 16:00 (%)
全体	5125	1.1	0.3	0.4	0.1	0.4	1.1	18.9	4.3	3.6	1.2	2.8
認可保育所	2635	0.7	-	0.2	0.0	0.1	0.0	0.2	-	0.2	0.2	3.0
幼稚園	1471	1.6	0.4	0.7	0.2	0.8	3.4	59.8	13.9	11.0	2.7	1.0
幼稚園・認定こども園の預かり保育	185	1.1	0.5	-	-	0.5	4.3	51.9	9.2	4.3	2.7	3.2
認定こども園	113	0.9	-	-	-	-	-	42.5	3.5	6.2	2.7	2.7
小規模保育施設	64	1.6	-	1.6	-	1.6	-	1.6	-	-	-	3.1
家庭的保育施設	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10.0
事業所内保育施設	49	-	-	2.0	-	2.0	-	4.1	8.2	2.0	6.1	4.1
川崎市が認定した認可外保育施設	530	1.3	-	-	-	-	0.2	1.7	0.2	0.6	0.2	5.1
その他の認可外保育施設	131	-	0.8	-	-	-	0.8	6.1	2.3	0.8	2.3	6.1
居宅訪問型保育(ベビーシッター)	11	-	-	-	-	-	-	9.1	-	-	-	-
ふれあい子育てサポート事業	25	12.0	8.0	4.0	-	-	4.0	-	-	-	-	-
幼児園	33	3.0	-	3.0	-	3.0	-	18.2	3.0	6.1	6.1	18.2
障害のある子どものための施設・事業	130	3.8	3.8	3.8	0.8	3.1	2.3	40.8	4.6	0.8	3.1	2.3
その他	13	-	-	7.7	7.7	7.7	-	38.5	-	-	-	-

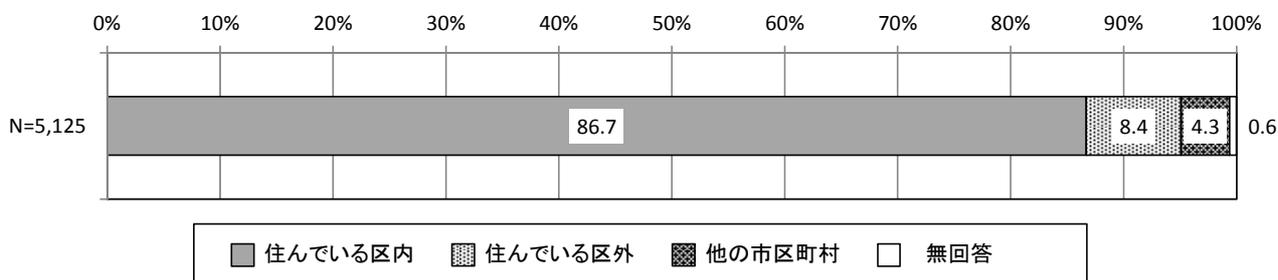
	合計 (N)	16:01～ 16:30 (%)	16:31～ 17:00 (%)	17:01～ 17:30 (%)	17:31～ 18:00 (%)	18:01～ 18:30 (%)	18:31～ 19:00 (%)	19:01～ 19:30 (%)	19:31～ 20:00 (%)	20:01～ 20:30 (%)	無回答 (%)
全体	5125	6.6	8.7	10.8	22.0	8.7	5.8	1.5	0.5	0.1	1.3
認可保育所	2635	10.2	10.4	15.1	32.4	14.0	9.1	2.7	0.9	0.1	0.5
幼稚園	1471	0.5	1.0	0.8	0.7	0.2	0.1	-	-	-	1.1
幼稚園・認定こども園の預かり保育	185	2.2	8.1	3.8	4.3	1.6	1.1	-	-	-	1.1
認定こども園	113	4.4	10.6	5.3	10.6	8.0	0.9	0.9	-	-	0.9
小規模保育施設	64	6.3	15.6	20.3	26.6	18.8	1.6	-	-	-	1.6
家庭的保育施設	10	20.0	30.0	20.0	10.0	-	-	-	-	-	10.0
事業所内保育施設	49	12.2	16.3	10.2	22.4	10.2	-	-	-	-	-
川崎市が認定した認可外保育施設	530	5.1	16.8	18.1	34.9	7.0	7.7	0.6	-	-	0.6
その他の認可外保育施設	131	6.9	16.0	10.7	27.5	7.6	8.4	1.5	1.5	-	0.8
居宅訪問型保育(ベビーシッター)	11	-	-	18.2	45.5	27.3	-	-	-	-	-
ふれあい子育てサポート事業	25	4.0	8.0	-	24.0	20.0	8.0	8.0	-	-	-
幼児園	33	9.1	15.2	3.0	9.1	3.0	-	-	-	-	-
障害のある子どものための施設・事業	130	4.6	3.8	2.3	9.2	6.9	1.5	1.5	-	-	0.8
その他	13	7.7	7.7	-	15.4	-	-	-	-	-	7.7

\*上位3位を網掛け

#### (4) 現在最も長時間利用している教育・保育の事業の実施場所

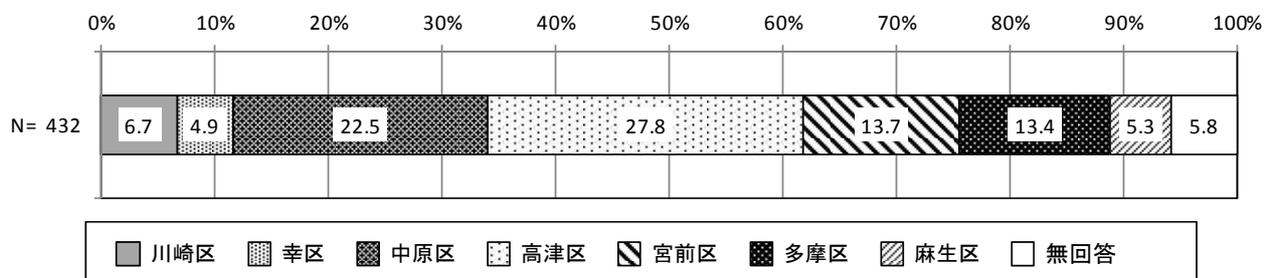
現在最も長時間利用している教育・保育の事業の実施場所について聞いたところ、「住んでいる区内」が86.7%と最も多くなっている。

##### ■ 就学前子ども(問4-4) (SA)



##### ア 住んでいる区外を利用している場合

##### ■ 就学前子ども(問4-4) (SA)



##### イ 他の市町村を利用している場合

東京都 (世田谷区、大田区、文京区、目黒区)

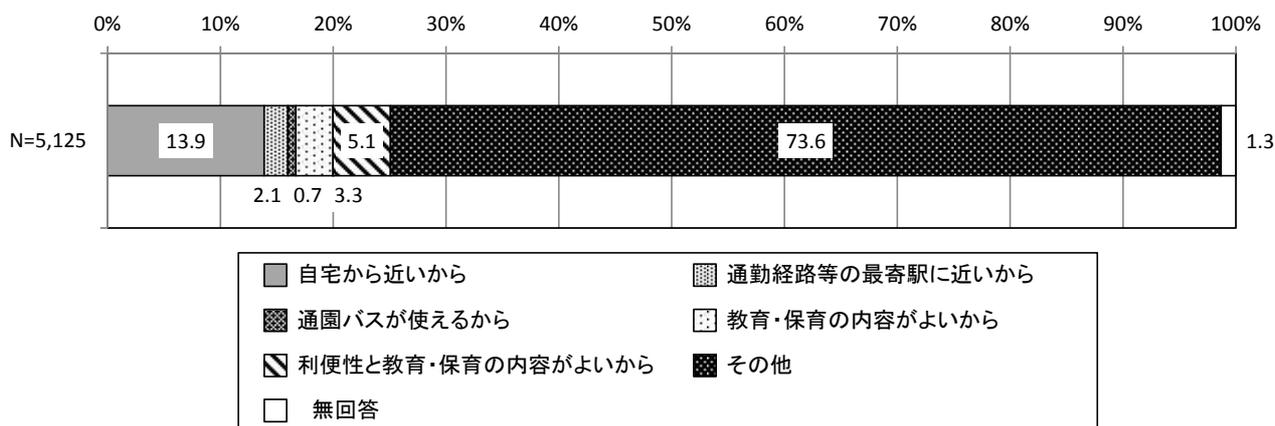
横浜市 (青葉区、都筑区、港北区、神奈川区)

町田市、調布市、多摩市、稲城市

#### (5) 現在最も長時間利用している教育・保育の事業の実施場所を選んだ理由

現在最も長時間利用している教育・保育の事業の実施場所を選んだ理由について聞いたところ、「自宅が近いから」が13.9%と最も多くなっている。

##### ■ 就学前子ども(問4-5) (SA)

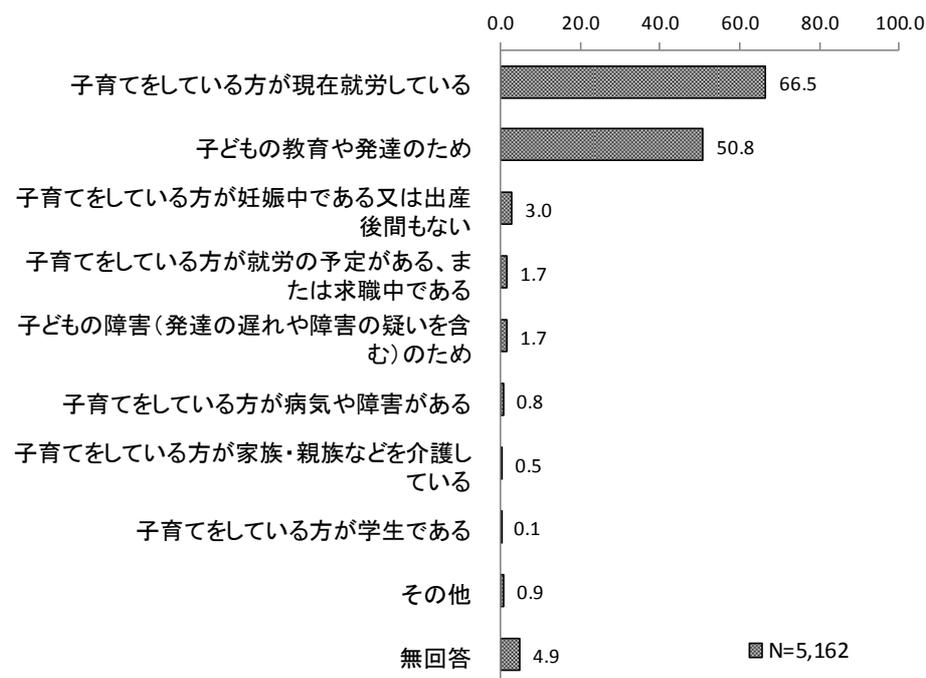


## (6) 定期的な教育・保育の事業を利用している理由

定期的な教育・保育の事業を利用している理由について聞いたところ、「子育てをしている方が現在就労している」が66.5%と最も多く、次いで、「子どもの教育や発達のため」が50.8%となっている。

利用事業別の理由をみると、「幼稚園」「幼稚園・認定こども園の預かり保育」「認定こども園」「幼児園」では「子どもの教育や発達のため」が80%台と最も多く、「認可保育所」「居宅訪問型保育（ベビーシッター）」では「子育てをしている方が現在就労している」が90%台と最も多い。

### ■就学前子ども（問4-6）（MA）



### ■利用事業別の理由（問4-6×問4-2）

	合計 (N)	子どもの教育や発達のため (%)	子育てをしている方が現在就労している (%)	子育てをしている方が就労の予定がある、または求職中である (%)	子育てをしている方が家族・親族などを介護している (%)	子育てをしている方が病気や障害がある (%)	子育てをしている方が学生である (%)	子育てをしている方が妊娠中である又は出産後間もない (%)	子どもの障害（発達の遅れや障害の疑いを含む）のため (%)	その他 (%)	無回答 (%)
全 体	5162	50.8	66.5	1.7	0.5	0.8	0.1	3.0	1.7	0.9	4.9
認可保育所	2684	32.2	94.1	1.7	0.5	1.1	0.1	3.8	0.9	0.4	1.7
幼稚園	1494	89.8	12.9	1.5	0.5	0.4	-	1.0	1.8	1.3	8.9
幼稚園・認定こども園の預かり保育	192	82.8	58.9	2.6	1.6	0.5	0.5	1.6	2.1	0.5	8.9
認定こども園	115	80.0	48.7	-	-	0.9	-	1.7	1.7	0.9	4.3
小規模保育施設	66	31.8	86.4	-	1.5	-	-	7.6	-	-	9.1
家庭的保育施設	10	20.0	80.0	-	-	-	-	-	-	-	10.0
事業所内保育施設	46	37.0	76.1	2.2	-	-	-	-	-	6.5	10.9
川崎市が認定した認可外保育施設	541	33.3	87.1	2.0	0.2	0.4	0.2	4.3	1.1	0.9	6.3
その他の認可外保育施設	134	41.0	72.4	4.5	-	0.7	0.7	2.2	0.7	1.5	8.2
居宅訪問型保育（ベビーシッター）	16	31.3	93.8	6.3	-	-	-	6.3	6.3	-	-
ふれあい子育てサポート事業	26	57.7	65.4	-	7.7	7.7	-	-	3.8	-	3.8
幼児園	35	82.9	22.9	8.6	-	-	-	5.7	-	-	11.4
障害のある子どものための施設・事業	123	61.0	32.5	-	0.8	3.3	-	1.6	60.2	0.8	5.7
その他	40	67.5	50.0	2.5	2.5	2.5	-	7.5	5.0	-	7.5

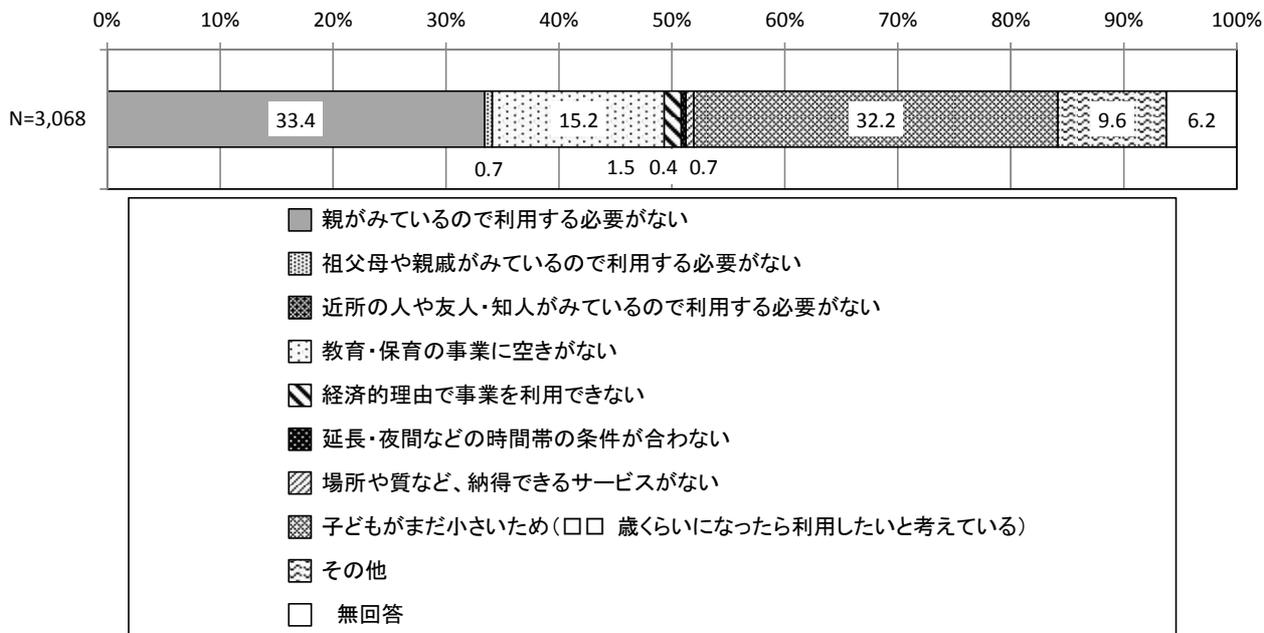
\* 上位1位を網掛け

**(7) 定期的な教育・保育の事業を利用していない理由**

定期的な教育・保育の事業を利用していない理由について聞いたところ、「親がみているので利用する必要がない」が33.4%と最も多く、次いで、「子どもがまだ小さいため」が32.2%、「教育・保育の事業に空きがない」が15.2%と続いている。

子どもが大きくなったら利用したいと思う年齢について聞いたところ、「3歳」が37.9%、「1歳」が35.2%となっている。

■ 就学前子ども(問4-7) (SA)



ア 子どもが大きくなったら利用したいと思う年齢(SA：子どもがまだ小さいためと答えた方) (問4-7)

	合計(N)	(%)
1歳	348	35.2
2歳	104	10.5
3歳	374	37.9
4歳	94	9.5
5歳	5	0.5
6歳	1	0.1
7歳	-	-
8歳以上	1	0.1
無回答	61	6.2
全体	988	100.0

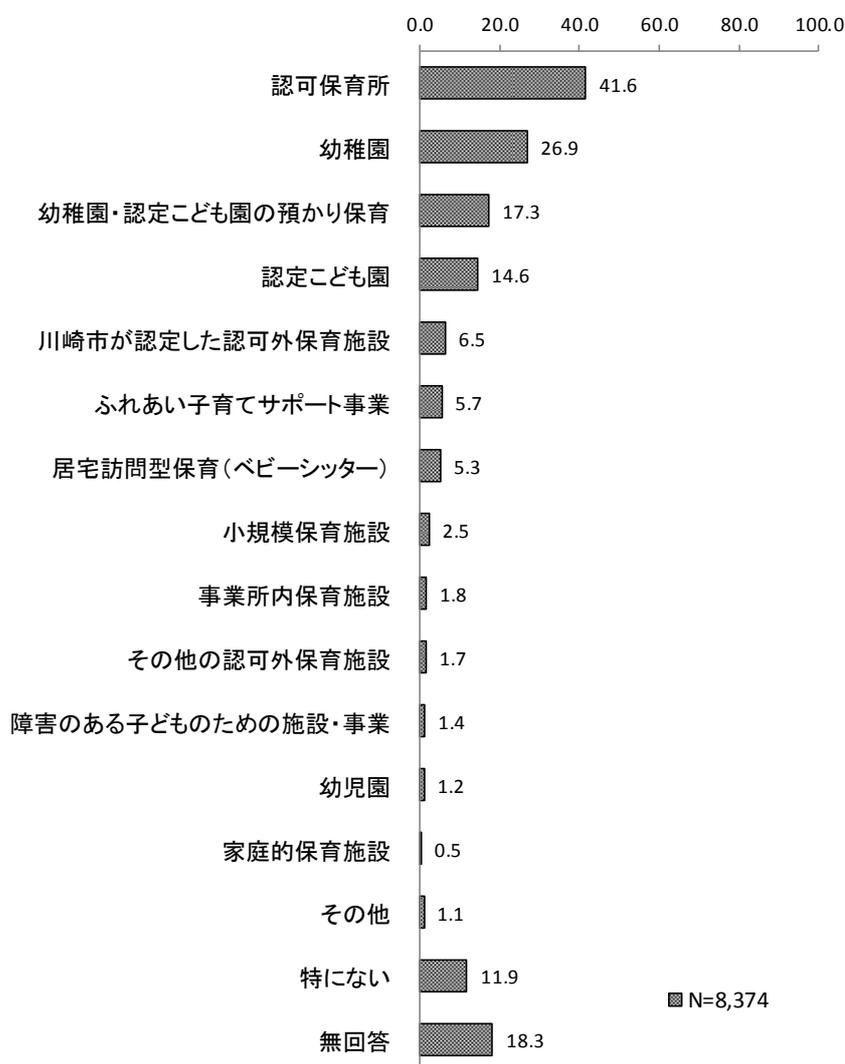
### (8) 定期的な教育・保育の事業の今後の利用希望について

定期的な教育・保育の事業の今後の利用希望について聞いたところ、「認可保育所」が41.6%と最も多く、次いで、「幼稚園」が26.9%、「幼稚園・認定子ども園の預かり保育」が17.3%と続いている。

年齢別でみると0・1・2歳で「幼稚園」の利用希望が多い。3・4・5歳では既に事業を利用しているため、「特にない」が多い。

世帯就労別でみると、「フルタイムで共働き」では「認可保育所」が57.9%と最も多く、次いで「認定こども園」が14.4%である。「パートを含む共働き」では「認可保育所」が35.1%と最も多く、次いで「幼稚園」が25.8%である。「専業主婦（夫）」では「幼稚園」が52.3%と最も多く、次いで「幼稚園・認定こども園の預かり保育」が24.5%、「認可保育所」が21.1%である。

#### ■ 就学前子ども（問4－8）（MA）



■年齢別の利用したい定期的な教育・保育の事業(問4-8×問1-3)

	合計 (N)	認可保育 所 (%)	幼稚園 (%)	幼稚園・ 認定こども 園の預 かり保育 (%)	認定こども 園 (%)	小規模保 育施設 (%)	家庭的保 育施設 (%)	事業所内 保育施設 (%)	川崎市が 認定した 認可外保 育施設 (%)	その他の 認可外保 育施設 (%)	居宅訪問 型保育 (ベビー シッター (%))	ふれあい 子育てサ ポート事 業 (%)	幼稚園 (%)	障害のある 子どもの ための 施設・事 業 (%)	その他 (%)	特にな い (%)	無回答 (%)
全 体	8374	41.6	26.9	17.3	14.6	2.5	0.5	1.8	6.5	1.7	5.3	5.7	1.2	1.4	1.1	11.9	18.3
0歳	2462	67.8	33.8	21.4	24.6	6.5	0.9	2.7	15.6	4.2	5.4	4.4	1.3	0.3	1.0	3.2	6.8
1歳	1381	41.7	36.9	21.0	15.9	1.4	0.4	1.7	5.0	1.0	6.4	6.8	2.1	1.4	1.2	8.3	14.4
2歳	1349	33.1	34.5	19.6	13.2	1.1	0.3	1.6	2.6	0.5	5.8	6.8	1.1	2.7	0.4	10.9	16.2
3歳	1130	27.3	14.4	12.6	7.8	0.2	0.5	1.4	2.2	0.5	5.5	5.1	1.1	1.3	1.3	19.2	28.4
4歳	937	22.8	13.6	11.2	6.2	0.5	0.4	0.7	1.1	0.4	4.5	6.6	0.1	2.0	1.6	22.3	29.2
5歳	971	22.5	12.4	10.5	6.8	0.3	0.5	1.5	1.5	0.6	4.2	5.5	0.9	1.8	1.4	22.1	32.6

\*全体±5%以上を網掛け

■世帯就労別の利用したい定期的な教育・保育の事業(問4-8×問3-1)

	合計 (N)	認可保育 所 (%)	幼稚園 (%)	幼稚園・ 認定こども 園の預 かり保 育 (%)	認定こども 園 (%)	小規模保 育施設 (%)	家庭的保 育施設 (%)	事業所内 保育施設 (%)	川崎市が 認定した 認可外保 育施設 (%)	その他の 認可外保 育施設 (%)	居宅訪問 型保育 (ベビー シッター (%))	ふれあい 子育てサ ポート事 業 (%)	幼稚園 (%)	障害のある 子どもの ための 施設・事 業 (%)	その他 (%)	特にな い (%)	無回答 (%)
全 体	8374	41.6	26.9	17.3	14.6	2.5	0.5	1.8	6.5	1.7	5.3	5.7	1.2	1.4	1.1	11.9	18.3
フルタイムで共働き	4015	57.9	10.3	12.4	14.4	2.9	0.6	2.0	9.6	2.3	6.9	6.9	0.7	0.7	1.2	11.9	17.3
パートを含む共働き	1300	35.1	25.8	19.3	14.8	2.4	0.4	1.8	5.4	1.5	3.0	3.8	1.2	2.0	0.9	13.6	22.5
専業主婦(夫)	2731	21.1	52.3	24.5	15.2	1.8	0.5	1.5	3.0	1.0	4.0	4.7	1.8	1.9	1.1	11.5	16.8
ともに無業	10	60.0	30.0	10.0	20.0	-	-	-	-	-	10.0	-	-	10.0	-	10.0	10.0

\*全体±5%以上を網掛け

**(9) 定期的な教育・保育の事業の希望日数・希望時間**

希望日数でみると、「認可保育所」「幼稚園」「認定こども園」「川崎市が認定した認可外保育施設」で「5日」が90%前後と最も多い。

希望時間でみると、「幼稚園」では5～7時間、「認定こども園」「認可保育所」では9～12時間が多くなっている。また、「居宅訪問型保育（ベビーシッター）」「幼稚園・認定こども園の預かり保育」では2～4時間が多くなっている。

**ア 希望する事業別の希望日数**

**■ 就学前子ども（問4-9）（MA）**

	合計 (N)	1日 (%)	2日 (%)	3日 (%)	4日 (%)	5日 (%)	6日 (%)	7日 (%)	無回答 (%)
全体	5788	4.5	2.2	2.9	2.7	79.8	2.9	0.2	4.9
認可保育所	3309	1.0	0.8	2.2	3.0	88.1	4.1	0.2	0.6
幼稚園	2065	1.0	1.2	2.4	2.9	89.6	1.6	0.1	1.3
幼稚園・認定こども園の預かり保育	1303	3.5	3.3	5.1	3.6	80.9	2.2	0.2	1.2
認定こども園	1095	0.7	1.4	3.2	2.9	87.1	3.8	0.1	0.7
小規模保育施設	179	2.8	1.1	3.9	5.6	81.0	3.9	-	1.7
家庭的保育施設	36	13.9	-	2.8	-	80.6	-	-	2.8
事業所内保育施設	143	0.7	2.8	5.6	4.2	81.1	2.8	2.1	0.7
川崎市が認定した認可外保育施設	500	2.0	0.6	2.2	2.2	89.2	3.0	0.2	0.6
その他の認可外保育施設	125	4.0	0.8	4.0	4.0	84.0	2.4	0.8	-
居宅訪問型保育（ベビーシッター）	390	30.3	5.4	4.6	2.1	52.6	1.8	-	3.3
ふれあい子育てサポート事業	398	27.1	7.5	7.5	3.3	48.7	2.8	0.5	2.5
幼稚園	84	3.6	3.6	4.8	3.6	82.1	1.2	-	1.2
障害のある子どものための施設・事業	101	20.8	8.9	5.9	5.0	53.5	2.0	-	4.0
その他	17	17.6	11.8	5.9	11.8	52.9	-	-	-
特になし	0	-	-	-	-	-	-	-	-

\* 上位1位を網掛け

**イ 希望する事業別の希望時間数**

**■ 就学前子ども（問4-9）（MA）**

	合計 (N)	1時間未満 (%)	1～2時間 (%)	2～3時間 (%)	3～4時間 (%)	4～5時間 (%)	5～6時間 (%)	6～7時間 (%)	7～8時間 (%)	8～9時間 (%)	9～10時間 (%)	10～11時間 (%)	11～12時間 (%)	12～13時間 (%)	13～14時間 (%)	14時間以上 (%)	無回答 (%)
全体	5788	0.5	1.8	2.0	2.4	9.2	8.5	4.8	6.8	9.3	19.2	18.0	7.5	2.1	0.2	0.6	6.9
認可保育所	3309	0.1	0.2	0.1	0.2	0.7	1.1	2.8	7.0	12.3	29.0	28.0	11.8	3.4	0.4	0.8	2.1
幼稚園	2065	0.0	0.4	0.6	3.9	26.2	25.0	10.0	7.5	6.6	6.2	4.5	2.1	0.7	0.1	0.6	5.5
幼稚園・認定こども園の預かり保育	1303	1.2	6.1	14.5	7.9	3.2	4.5	5.0	8.4	10.0	13.8	12.4	5.2	1.6	0.2	0.5	5.3
認定こども園	1095	0.1	-	0.2	1.2	4.5	5.4	4.0	10.9	13.6	21.2	22.8	9.1	2.6	0.1	0.5	3.9
小規模保育施設	179	-	0.6	1.1	1.7	2.2	2.2	3.4	11.7	11.7	25.1	27.9	6.7	3.4	-	-	2.2
家庭的保育施設	36	-	5.6	8.3	2.8	2.8	11.1	5.6	11.1	8.3	13.9	8.3	11.1	2.8	-	2.8	5.6
事業所内保育施設	143	-	-	-	2.1	2.8	4.9	2.8	10.5	13.3	30.1	18.2	7.7	3.5	-	0.7	3.5
川崎市が認定した認可外保育施設	500	-	-	0.4	0.6	0.8	1.8	1.8	4.8	12.2	30.0	29.4	13.6	2.0	0.4	-	2.2
その他の認可外保育施設	125	-	1.6	0.8	3.2	1.6	1.6	4.8	4.8	14.4	24.8	28.0	8.8	2.4	0.8	-	2.4
居宅訪問型保育（ベビーシッター）	390	2.6	15.1	17.4	8.7	8.2	6.2	5.6	7.4	6.9	5.1	5.9	2.3	0.5	-	0.3	7.7
ふれあい子育てサポート事業	398	10.3	20.9	14.8	7.5	8.5	5.3	5.0	5.5	4.5	3.0	3.5	1.5	0.3	-	0.3	9.0
幼稚園	84	-	3.6	-	2.4	15.5	11.9	11.9	16.7	4.8	16.7	6.0	1.2	2.4	-	1.2	6.0
障害のある子どものための施設・事業	101	12.9	19.8	7.9	14.9	5.9	5.0	2.0	5.9	3.0	4.0	3.0	-	-	-	-	11.9
その他	17	-	11.8	-	17.6	-	-	-	5.9	11.8	17.6	17.6	5.9	-	-	-	5.9

\* 上位3位を網掛け

事業別の開始時間でみると、「幼稚園」では8:31～9:00（「幼稚園・認定こども園の預かり保育」は13:31～14:00）、「認可保育所」では6:31～8:00が多くなっている。

事業別の終了時間でみると、「幼稚園」では13:31～14:00（「幼稚園・認定こども園の預かり保育」は「16:31～17:00」）、「認可保育所」では17:31～18:00が多くなっている。

■就学前子ども(問4-9)(MA)

(開始時間)

	合計 (N)	～6:30 (%)	6:31～ 7:00 (%)	7:01～ 7:30 (%)	7:31～ 8:00 (%)	8:01～ 8:30 (%)	8:31～ 9:00 (%)	9:01～ 9:30 (%)	9:31～ 10:00 (%)	10:01～ 10:30 (%)	10:31～ 11:00 (%)
全体	5788	0.4	21.7	2.0	33.7	2.2	25.7	0.2	2.5	0.0	0.1
認可保育所	3309	0.5	33.9	3.2	43.5	2.2	13.5	0.1	0.8	-	0.1
幼稚園	2065	0.2	9.2	0.6	28.5	2.6	49.6	0.5	3.9	0.0	0.1
幼稚園・認定こども園の預かり保育	1303	0.3	16.9	1.5	34.5	2.8	29.6	0.2	1.5	-	0.3
認定こども園	1095	0.3	26.2	2.1	39.2	2.8	23.7	0.2	1.2	-	-
小規模保育施設	179	1.7	31.3	2.2	40.8	1.1	18.4	-	1.7	-	-
家庭的保育施設	36	-	22.2	2.8	25.0	-	27.8	-	5.6	-	-
事業所内保育施設	143	0.7	21.0	2.8	42.7	0.7	21.7	-	2.8	-	-
川崎市が認定した認可外保育施設	500	0.2	36.4	4.4	43.2	1.6	10.8	-	0.6	-	-
その他の認可外保育施設	125	0.8	33.6	4.8	34.4	-	18.4	-	3.2	-	-
居宅訪問型保育(ベビーシッター)	390	0.5	15.4	0.5	24.9	2.3	24.9	-	6.9	-	0.5
ふれあい子育てサポート事業	398	0.5	14.6	1.0	23.6	1.0	24.9	-	4.8	-	0.5
幼児園	84	-	9.5	-	33.3	2.4	40.5	-	3.6	-	-
障害のある子どものための施設・事業	101	-	7.9	3.0	11.9	2.0	45.5	-	10.9	-	-
その他	17	-	35.3	-	11.8	5.9	29.4	-	5.9	-	5.9
特になし	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	合計 (N)	11:01～ 11:30 (%)	11:31～ 12:00 (%)	12:01～ 12:30 (%)	12:31～ 13:00 (%)	13:01～ 13:30 (%)	13:31～ 14:00 (%)	14:01～ 14:30 (%)	14:31～ 15:00 (%)	15:01～ (%)	無回答 (%)
全体	5788	-	0.1	-	0.2	-	2.0	0.0	0.6	1.7	6.7
認可保育所	3309	-	0.1	-	0.1	-	0.1	-	0.0	0.2	1.7
幼稚園	2065	-	0.0	-	0.0	-	0.1	-	-	0.1	4.5
幼稚園・認定こども園の預かり保育	1303	-	0.2	-	0.2	-	7.1	0.1	1.1	0.3	3.5
認定こども園	1095	-	-	-	-	-	0.9	-	0.3	-	3.1
小規模保育施設	179	-	0.6	-	-	-	-	-	0.6	-	1.7
家庭的保育施設	36	-	-	-	-	-	-	-	5.6	2.8	8.3
事業所内保育施設	143	-	-	-	-	-	3.5	-	0.7	-	3.5
川崎市が認定した認可外保育施設	500	-	0.2	-	0.4	-	0.4	-	0.2	-	1.6
その他の認可外保育施設	125	-	-	-	-	-	0.8	-	-	1.6	2.4
居宅訪問型保育(ベビーシッター)	390	-	0.8	-	1.3	-	2.8	-	1.8	13.1	4.4
ふれあい子育てサポート事業	398	-	0.5	-	0.3	-	5.8	-	2.3	16.3	4.0
幼児園	84	-	-	-	-	-	4.8	-	1.2	1.2	3.6
障害のある子どものための施設・事業	101	-	-	-	2.0	-	2.0	1.0	5.0	3.0	5.9
その他	17	-	-	-	-	-	-	-	-	5.9	-
特になし	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

\*上位3位を網掛け

(終了時間)

	合計 (N)	～11:00 (%)	11:01～ 11:30 (%)	11:31～ 12:00 (%)	12:01～ 12:30 (%)	12:31～ 13:00 (%)	13:01～ 13:30 (%)	13:31～ 14:00 (%)	14:01～ 14:30 (%)	14:31～ 15:00 (%)	15:01～ 15:30 (%)	15:31～ 16:00 (%)
全体	5788	0.8	0.0	0.7	-	1.0	0.0	11.7	0.1	7.7	0.1	6.4
認可保育所	3309	0.8	0.0	0.0	-	0.2	-	0.7	0.0	1.8	-	5.0
幼稚園	2065	0.7	0.1	1.0	-	2.3	0.0	30.0	0.2	18.2	0.1	8.7
幼稚園・認定こども園の預かり保育	1303	0.8	-	0.5	-	1.2	0.1	16.8	0.2	9.4	0.1	8.4
認定こども園	1095	0.6	0.1	0.5	-	0.7	-	8.5	-	7.1	0.1	6.2
小規模保育施設	179	0.6	-	0.6	-	-	-	3.4	-	4.5	-	6.7
家庭的保育施設	36	-	-	-	-	-	-	8.3	-	13.9	-	2.8
事業所内保育施設	143	-	-	-	-	2.1	-	2.8	-	4.9	-	6.3
川崎市が認定した認可外保育施設	500	-	-	0.2	-	-	-	1.4	-	2.2	-	2.4
その他の認可外保育施設	125	-	-	-	-	0.8	-	1.6	-	3.2	-	4.0
居宅訪問型保育(ベビーシッター)	390	0.8	-	3.3	-	0.8	-	7.2	-	6.7	-	6.9
ふれあい子育てサポート事業	398	1.5	-	2.5	-	0.5	-	6.5	-	6.5	-	8.3
幼児園	84	1.2	-	1.2	-	1.2	-	19.0	-	7.1	-	10.7
障害のある子どものための施設・事業	101	1.0	-	3.0	-	4.0	1.0	25.7	-	5.0	-	12.9
その他	17	-	-	-	-	-	-	5.9	-	-	-	17.6
特になし	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

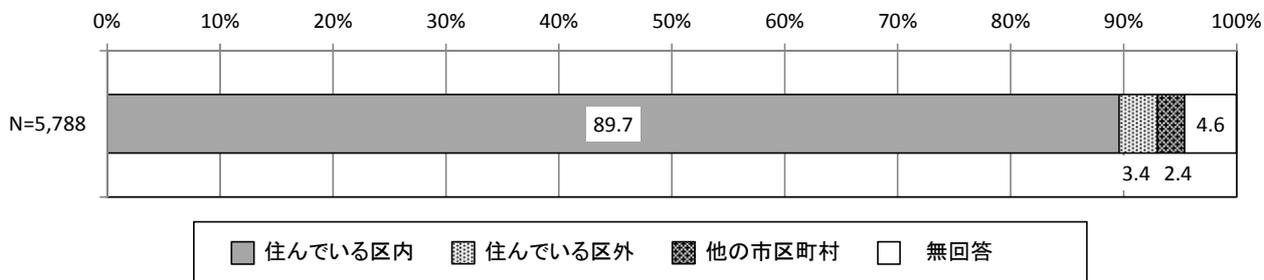
	合計 (N)	16:01～ 16:30 (%)	16:31～ 17:00 (%)	17:01～ 17:30 (%)	17:31～ 18:00 (%)	18:01～ 18:30 (%)	18:31～ 19:00 (%)	19:01～ 19:30 (%)	19:31～ 20:00 (%)	20:01～ (%)	無回答 (%)
全体	5788	0.2	15.3	0.8	32.7	1.3	10.3	0.2	3.2	0.7	6.6
認可保育所	3309	0.2	18.2	1.2	48.0	2.3	14.8	0.4	4.2	0.6	1.5
幼稚園	2065	0.2	12.4	0.4	15.9	0.3	3.2	0.0	1.4	0.0	4.6
幼稚園・認定こども園の預かり保育	1303	0.2	18.4	0.6	27.5	1.3	8.1	0.2	2.5	0.3	3.5
認定こども園	1095	0.2	17.0	0.8	37.2	1.9	12.7	0.1	3.1	0.2	3.0
小規模保育施設	179	0.6	21.2	2.2	40.8	2.8	11.7	0.6	2.2	0.6	1.7
家庭的保育施設	36	-	16.7	-	33.3	-	11.1	2.8	-	2.8	8.3
事業所内保育施設	143	-	18.2	0.7	38.5	-	15.4	-	7.0	0.7	3.5
川崎市が認定した認可外保育施設	500	0.2	19.4	0.6	50.2	2.6	15.2	0.4	3.6	0.2	1.4
その他の認可外保育施設	125	-	18.4	-	48.8	2.4	11.2	0.8	6.4	-	2.4
居宅訪問型保育(ベビーシッター)	390	0.3	13.6	0.5	26.7	1.5	13.1	0.3	9.5	4.6	4.4
ふれあい子育てサポート事業	398	-	13.6	0.3	29.4	0.5	15.6	0.3	6.5	4.0	4.0
幼児園	84	-	20.2	1.2	27.4	-	4.8	-	2.4	-	3.6
障害のある子どものための施設・事業	101	-	18.8	1.0	13.9	-	6.9	-	-	1.0	5.9
その他	17	-	17.6	-	29.4	-	23.5	-	5.9	-	-
特になし	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

\*上位3位を網掛け

### (10) 利用したい定期的な教育・保育の事業の希望する実施場所

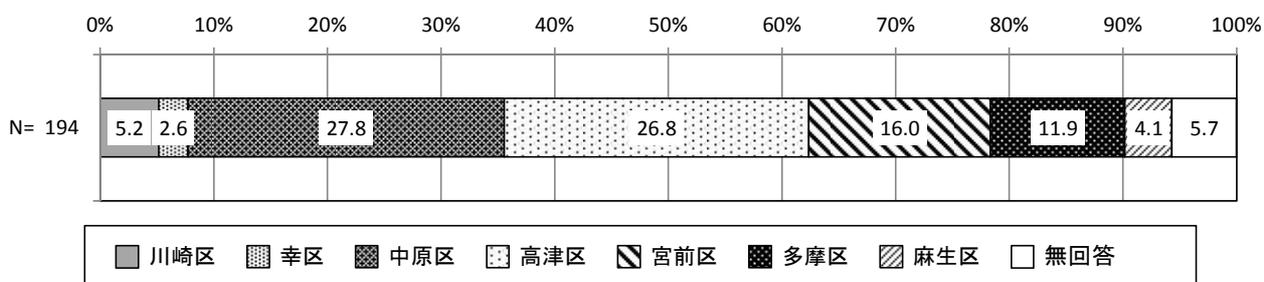
利用したい定期的な教育・保育の事業の希望する実施場所について聞いたところ、「住んでいる区内」が89.7%となっている。住んでいる区外を利用したい場合は、「中原区」が27.8%、「高津区」が26.8%であった。

#### ■ 就学前子ども(問4-10) (MA)



#### ア 住んでいる区外を利用したい場合

#### ■ 就学前子ども(問4-10) (MA)



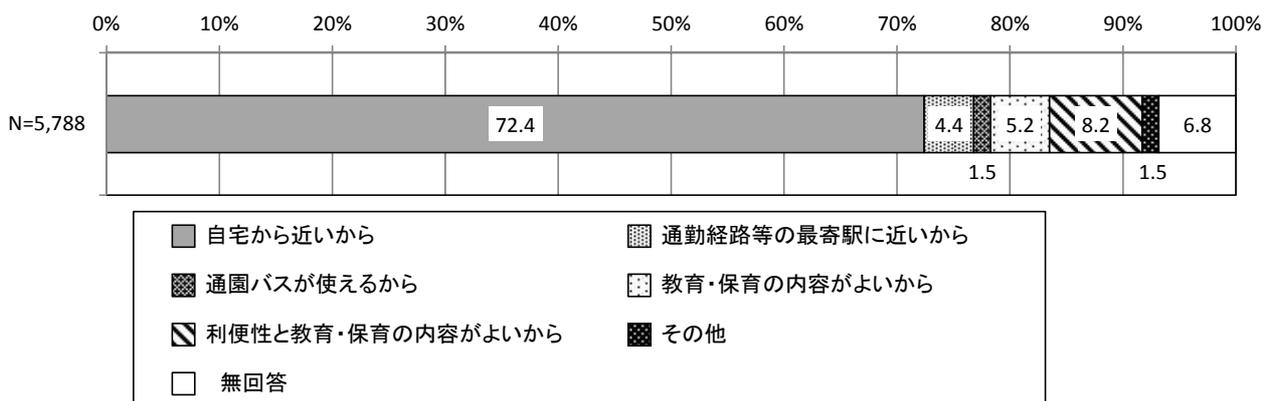
#### イ 他の市町村を利用している場合

- 東京都（世田谷区、目黒区、大田区）
- 横浜市（青葉区、都筑区、港北区）
- 町田市、調布市、多摩市、稲城市

### (11) 利用したい定期的な教育・保育施設の実施場所を選んだ理由

利用したい定期的な教育・保育施設の実施場所を選んだ理由について聞いたところ、「自宅から近いから」が72.4%と最も多く、「利便性と教育・保育の内容がよいから」が8.2%となっている。

#### ■ 就学前子ども(問4-11) (SA)



## (12) 特別なサポートを希望する内容

利用したい教育・保育の事業で、子どもへの特別なサポートを望む場合、どのようなサポートがあればよいかを聞いた。

### ■ 就学前子ども(問4-12) (自由記述)

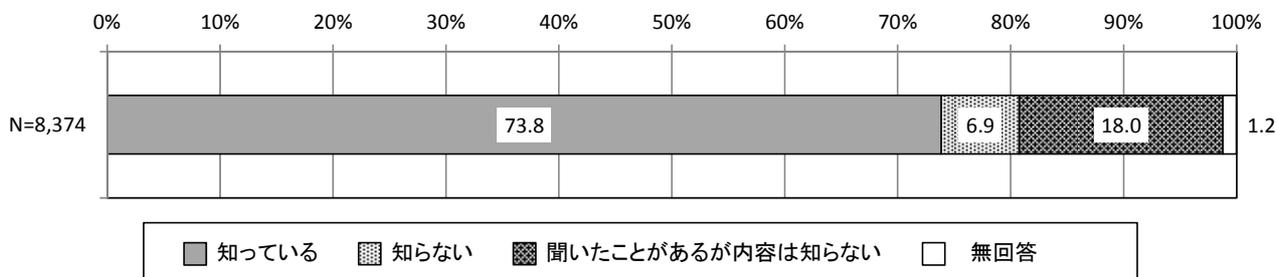
- ・ 小学校入学前の文字、数字、の読み書きや言葉使い。礼儀や社会知識。
- ・ 楽器や体操、英語などの習い事の時間があると嬉しい。
- ・ 日本語の教育を外国籍の子供に行ってあげてほしいです。
- ・ 食事やトイレ、その他生活習慣を身に付けるためのサポート。
- ・ 親以外の人と触れ合うことで、人見知りせず、基本的マナーを人前でしっかりできるようになってほしいです。
- ・ 親が教えきれない友達との関わり方やイベント事など望みます。また遊具や、体験ものなど行ってくれると子供の成長や感じ方も変わってくると思う。
- ・ 地域の方々と触れ合えるような活動があると子供たちが自分の住んでいる町について知ることが出来ると思う。
- ・ 兄弟が同じ園に通えるような体制強化。
- ・ 出来れば、子供をマンツーマンに近い形で見てほしい。
- ・ 子供全員にきちんと均等に教育が行き届く様に保育者の人数は安心出来る人数を確保してほしい。
- ・ 不公平感の残らない認可保育園の入園
- ・ 病児の際の保育、家庭での病児シッター
- ・ 病児保育ができる施設を増やしてほしい
- ・ 食物アレルギーに対するサポート
- ・ 子供が病気やケガなどで、定期的に薬を飲む必要がある際に薬を飲ませ(ぬる等)てくれるサポート。
- ・ 習い事への送迎、家への送迎
- ・ 夏休み、冬休み、春休みに預かり保育を行ってほしい。そうすれば、妻も働きに行くことができる。
- ・ 早朝・夜間保育の充実
- ・ 土・日・祝日や年末年始のサポートがあるとよい。
- ・ 入所できる施設が遠い場合の送迎バス(保育所含む)
- ・ 子育てについてもっと相談できる機会があつて、今後のサポートについてアドバイス等もらえるとうい
- ・ 給食等による食育。
- ・ 英語で対応して頂けるサポートや保育所
- ・ 難しいかもしれないが、不定期にお願いできるシッターさん
- ・ 求職活動中の母親のサポート。一度、正社員をやめた母親で再度正社員として働きたい母親のサポート。
- ・ 利用額が無料もしくは低い金額で利用できると助かる。
- ・ 加配、療育センター等との連携、定期的な面談
- ・ 発達支援事業所の数を増やしてほしい。(年齢、乳幼児～高卒)

## 5 地域子育て支援センター等の地域の子育て支援事業の利用状況について

### (1) 地域子育て支援センターの認知度

地域子育て支援センターの認知度について聞いたところ、「知っている」が73.8%と最も多く、次いで「聞いたことがあるが内容は知らない」が18.0%、「知らない」が6.9%と続いている。

#### ■ 就学前子ども(問5-1) (SA)



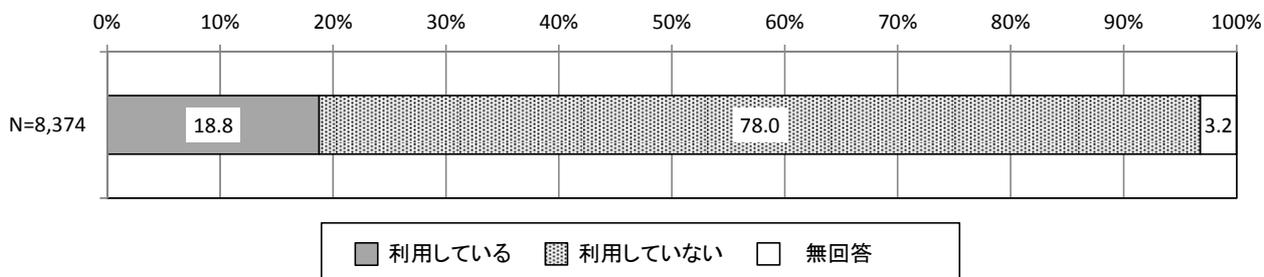
### (2) 現在の地域子育て支援センターの利用有無

現在の地域子育て支援センターの利用有無について聞いたところ、「利用している」が18.8%、「利用していない」が78.0%となっている。

年齢別でみると、「利用している」は「0歳」で32.7%と多く、「利用していない」は3歳以上で90%前後となっている。

年齢別の利用回数でみると、全年齢において1週間あたり、1か月あたり共に1～3回が多くなっている。

#### ■ 就学前子ども(問5-2) (SA)



■年齢別の利用有無(問5-2×問1-3)

	合計 (N)	利用している (%)	利用していない (%)	無回答 (%)
全体	8374	18.8	78.0	3.2
0歳	2462	32.7	62.6	4.7
1歳	1381	19.9	77.5	2.6
2歳	1349	17.6	79.9	2.5
3歳	1130	10.6	87.1	2.3
4歳	937	6.3	91.7	2.0
5歳	971	6.3	90.8	2.9

\*全体±5%以上を網掛け

■年齢別の利用回数(問5-2×問1-3)

(1週あたり)

	合計 (N)	1回 (%)	2回 (%)	3回 (%)	4回 (%)	5回 (%)	6回 (%)	7回 (%)	無回答 (%)
全体	1577	12.4	8.1	5.8	1.8	1.0	0.1	-	70.8
0歳	806	14.3	10.5	6.3	2.1	1.1	-	-	65.6
1歳	275	10.9	5.1	6.2	2.5	1.1	0.4	-	73.8
2歳	237	11.0	6.3	5.1	1.7	0.8	-	-	75.1
3歳	120	8.3	3.3	2.5	0.8	0.8	-	-	84.2
4歳	59	13.6	10.2	3.4	-	1.7	-	-	71.2
5歳	61	6.6	4.9	3.3	-	-	-	-	85.2

\*全体±5%以上を網掛け

(1か月あたり)

	合計 (N)	1回 (%)	2回 (%)	3回 (%)	4回 (%)	5回 (%)	6~10回 (%)	11~15回 (%)	16~20回 (%)	21回以上 (%)	無回答 (%)
全体	1577	35.6	19.0	9.1	2.3	1.8	3.0	0.4	0.3	-	28.5
0歳	806	29.3	18.7	10.3	2.4	2.4	4.7	0.4	0.2	-	31.6
1歳	275	37.5	19.3	9.1	2.5	1.8	1.5	0.4	0.4	-	27.6
2歳	237	44.3	19.0	7.2	2.1	1.3	0.8	0.4	0.8	-	24.1
3歳	120	50.0	23.3	7.5	1.7	-	1.7	-	-	-	15.8
4歳	59	35.6	20.3	5.1	5.1	1.7	1.7	-	-	-	30.5
5歳	61	49.2	13.1	4.9	-	-	1.6	1.6	-	-	29.5

\*全体±5%以上を網掛け

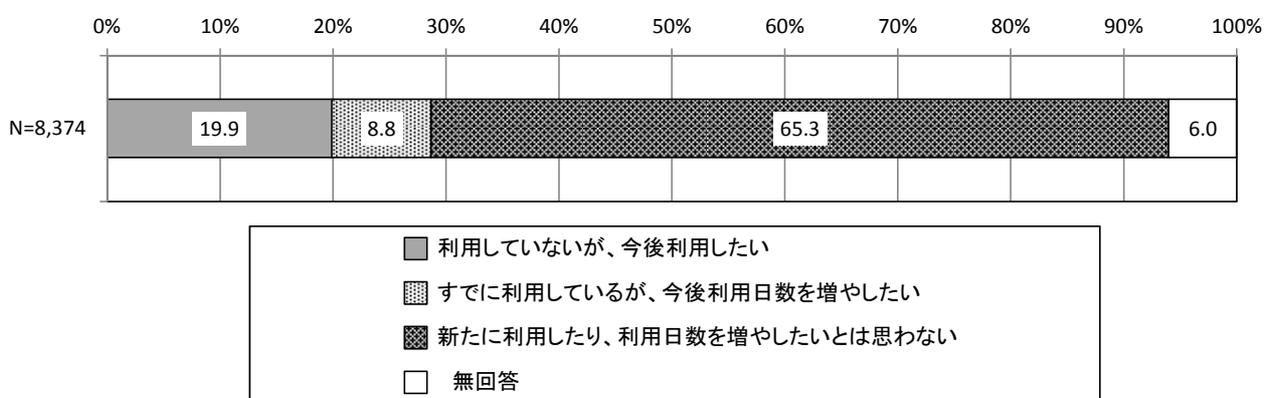
### (3) 今後の地域子育て支援センターの利用希望

今後の地域子育て支援センターの利用希望について聞いたところ、「新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない」が65.3%と最も多く、次いで、「利用していないが、今後利用したい」が19.9%、「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」が8.8%と続いている。

年齢別の利用希望回数については、現在、「利用していないが、今後利用したい」方（新規で利用したいと答えた方）は、1週間あたり「1回」が全年齢において最も多く、また、1か月あたり1～2回が多くなっている。

「すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい」方（さらに利用を増やしたいと答えた方）は、1週間あたり「1回」が全年齢において最も多く、また、1か月あたり1～3回が多くなっている。

#### ■ 就学前子ども（問5-3）（SA）



#### ■ 年齢別の利用希望（問5-3×問1-3）

	合計 (N)	利用していないが、今後利用したい (%)	すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい (%)	新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない (%)	無回答 (%)
全体	8374	19.9	8.8	65.3	6.0
0歳	2462	31.2	18.1	45.6	5.1
1歳	1381	18.3	8.0	68.4	5.3
2歳	1349	15.9	6.0	72.0	6.2
3歳	1130	14.8	3.7	76.2	5.3
4歳	937	14.1	2.7	75.8	7.5
5歳	971	11.2	2.3	79.0	7.5

\*全体±5%以上を網掛け

■年齢別の利用希望回数（現在、利用していないが、今後利用したい方）（問5-3×問1-3）  
（1週あたり）

	合計 (N)	1回 (%)	2回 (%)	3回 (%)	4回 (%)	5回 (%)	6回 (%)	7回 (%)	無回答 (%)
全体	1670	33.3	12.2	4.1	0.7	0.9	0.1	-	48.7
0歳	769	36.3	13.8	3.9	0.9	0.7	-	-	44.5
1歳	253	36.0	10.3	3.6	1.2	0.4	-	-	48.6
2歳	214	27.6	14.5	5.6	-	-	-	-	52.3
3歳	167	31.7	9.6	4.2	-	-	-	-	54.5
4歳	132	28.0	9.1	4.5	0.8	3.0	-	-	54.5
5歳	109	26.6	7.3	4.6	0.9	2.8	0.9	-	56.9

\*全体±5%以上を網掛け

（1か月あたり）

	合計 (N)	1回 (%)	2回 (%)	3回 (%)	4回 (%)	5回 (%)	6~10回 (%)	11~15回 (%)	16~20回 (%)	21回以上 (%)	無回答 (%)
全体	1670	20.7	20.5	9.1	7.8	2.4	4.9	1.1	0.5	0.2	32.9
0歳	769	16.3	20.7	10.9	8.3	3.0	5.2	1.2	0.4	0.1	33.9
1歳	253	20.6	24.1	7.1	7.1	2.8	4.0	2.0	0.4	-	32.0
2歳	214	24.3	22.4	5.1	6.5	3.3	6.5	-	-	-	31.8
3歳	167	26.3	16.8	10.8	7.8	0.6	4.2	1.2	-	-	32.3
4歳	132	26.5	18.9	8.3	5.3	0.8	2.3	0.8	1.5	-	35.6
5歳	109	28.4	15.6	7.3	9.2	0.9	5.5	0.9	1.8	1.8	28.4

\*全体±5%以上を網掛け

■年齢別の利用希望（既に利用しており、今後利用をさらに増やしたい方）（問5-3×問1-3）  
（1週あたり）

	合計 (N)	1回 (%)	2回 (%)	3回 (%)	4回 (%)	5回 (%)	6回 (%)	7回 (%)	無回答 (%)
全体	734	24.7	10.8	5.6	1.5	0.5	-	-	56.9
0歳	446	24.7	12.8	8.3	1.3	0.7	-	-	52.2
1歳	110	23.6	10.0	2.7	2.7	0.9	-	-	60.0
2歳	81	24.7	7.4	-	1.2	-	-	-	66.7
3歳	42	31.0	-	2.4	2.4	-	-	-	64.3
4歳	25	16.0	8.0	-	-	-	-	-	76.0
5歳	22	13.6	13.6	-	-	-	-	-	72.7

\*全体±5%以上を網掛け

（1か月あたり）

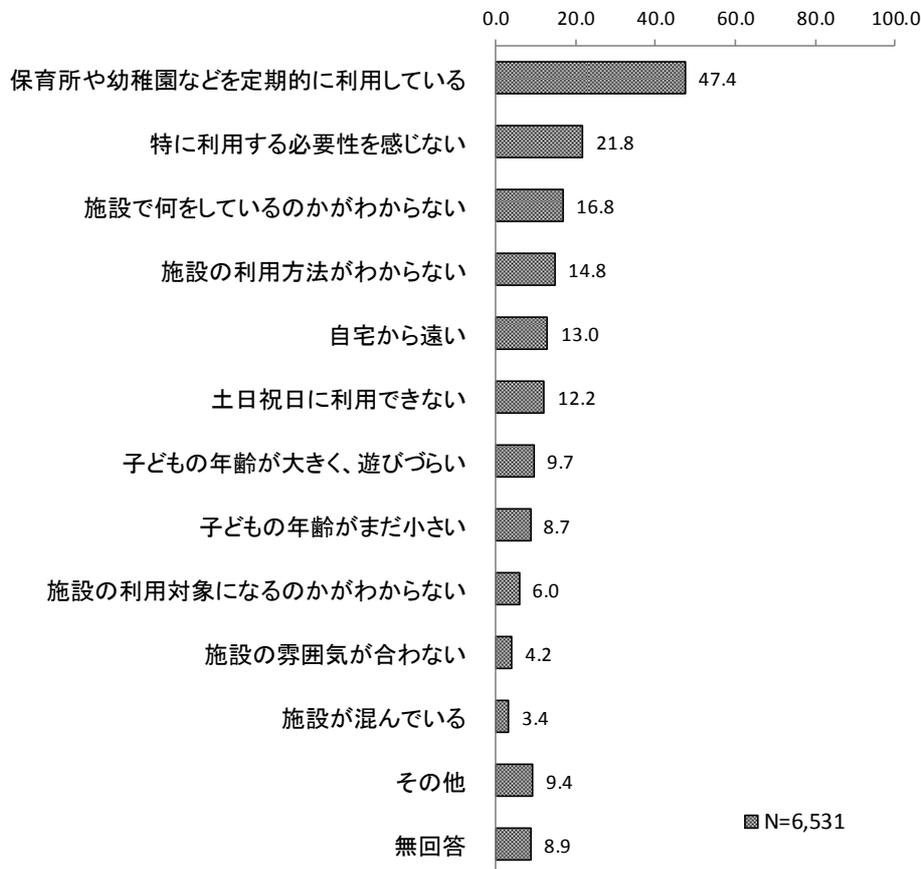
	合計 (N)	1回 (%)	2回 (%)	3回 (%)	4回 (%)	5回 (%)	6~10回 (%)	11~15回 (%)	16~20回 (%)	21回以上 (%)	無回答 (%)
全体	734	7.8	19.1	14.9	9.3	3.3	6.4	1.1	0.4	-	37.9
0歳	446	3.6	17.7	15.7	8.5	3.1	7.6	1.1	0.4	-	42.2
1歳	110	13.6	21.8	11.8	8.2	1.8	4.5	-	0.9	-	37.3
2歳	81	16.0	22.2	13.6	13.6	4.9	4.9	2.5	-	-	22.2
3歳	42	14.3	16.7	23.8	7.1	2.4	2.4	2.4	-	-	31.0
4歳	25	16.0	28.0	12.0	12.0	4.0	4.0	-	-	-	24.0
5歳	22	9.1	22.7	9.1	13.6	4.5	4.5	-	-	-	36.4

\*全体±5%以上を網掛け

#### (4) 地域子育て支援センターを利用していない理由

地域子育て支援センターを利用していない理由について聞いたところ、「保育所や幼稚園などを定期的に利用している」が47.4%と最も多く、次いで、「特に利用する必要性を感じない」が21.8%、「施設で何をしているのかがわからない」が16.8%と続いている。

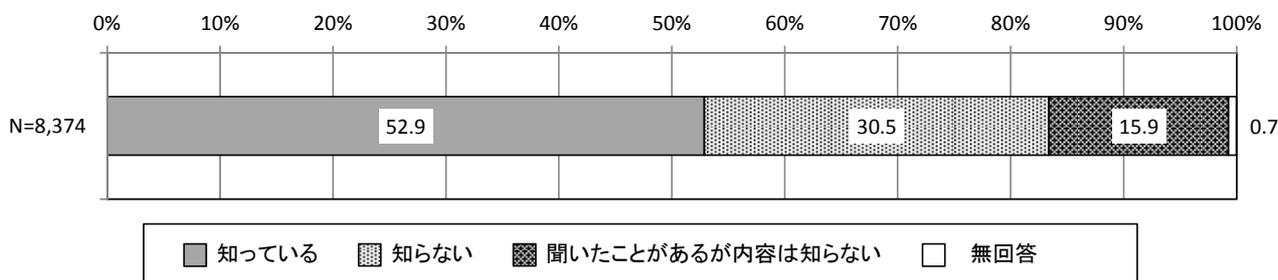
##### ■ 就学前子ども（問5-4）（MA）



### (5) こども文化センターの認知度

こども文化センターの認知度について聞いたところ、「知っている」が52.9%と最も多く、次いで、「知らない」が30.5%、「聞いたことがあるが内容は知らない」が15.9%と続いている。

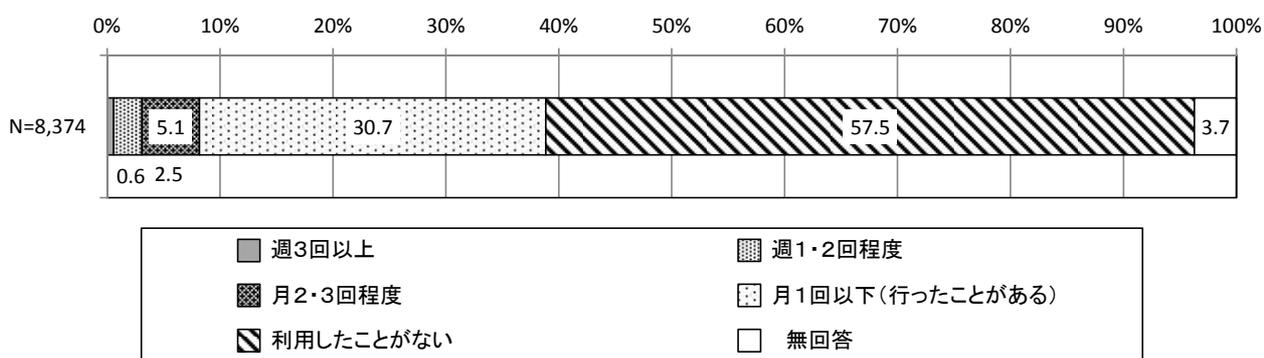
#### ■ 就学前子ども(問5-5) (MA)



### (6) こども文化センターの利用頻度

こども文化センターの利用頻度について聞いたところ、「月1回以下(行ったことがある)」が30.7%となっている。

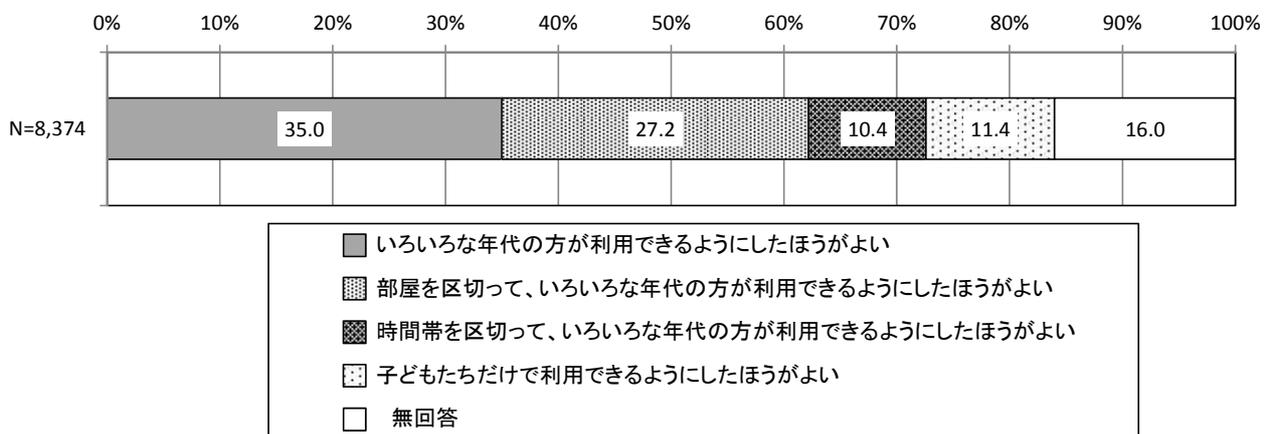
#### ■ 就学前子ども(問5-6) (MA)



### (7) こども文化センターへの今後の要望

こども文化センターの今後の要望について聞いたところ、「いろいろな年代の方が利用できるようにしたほうがよい」が35.0%と最も多く、次いで、「部屋を区切って、いろいろな年代の方が利用できるようにしたほうがよい」が27.2%、「子どもたちだけで利用できるようにしたほうがよい」が11.4%と続いている。

#### ■ 就学前子ども(問5-7) (MA)

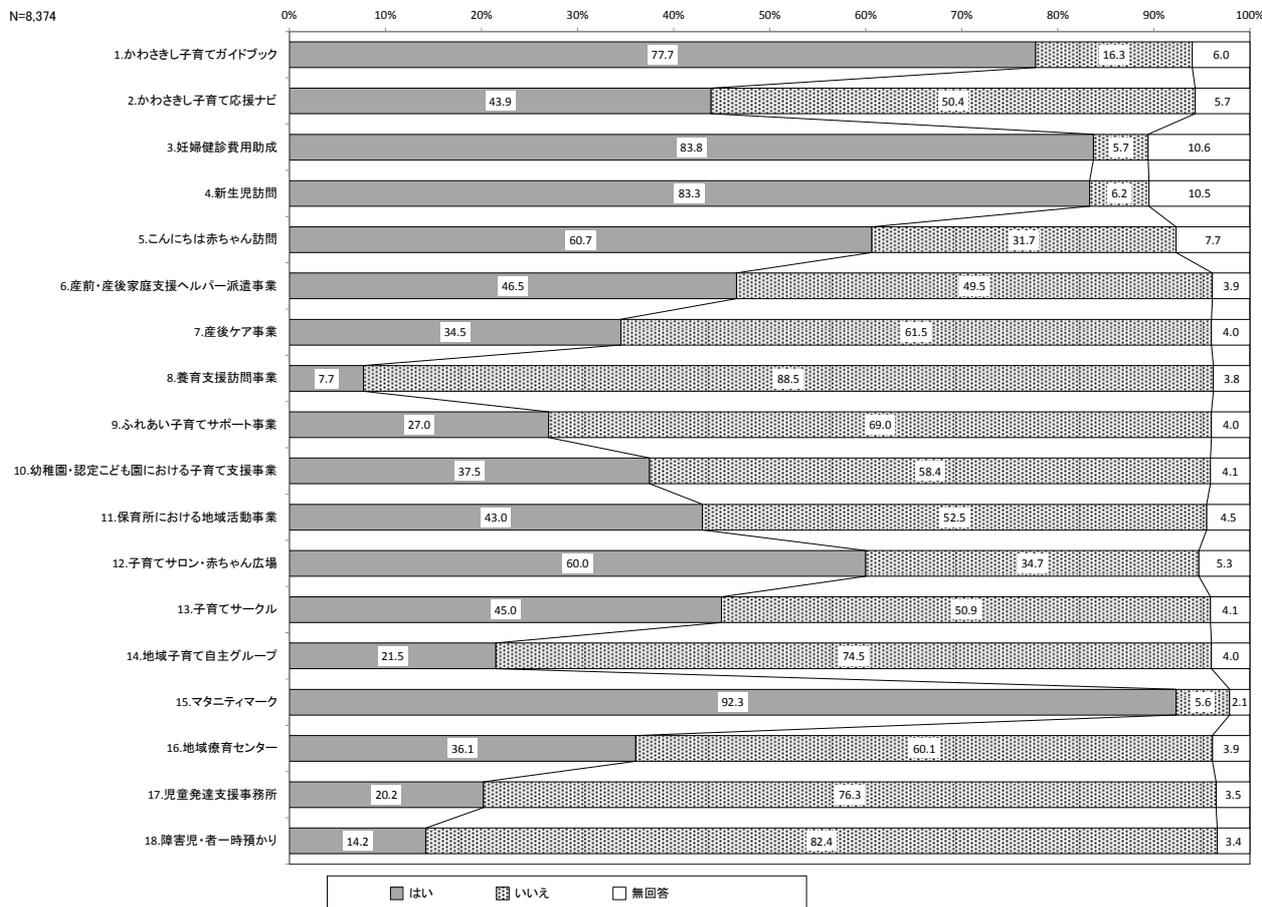


## (8)各事業の認知度、利用有無及び利用時の満足度、今後の利用意向

### ア 知っている事業について（認知度）

各事業の認知度について聞いたところ、「マタニティマーク」が92.3%と最も多く、次いで「妊婦健診費用助成」が83.8%、「新生児訪問」が83.3%と続いている。

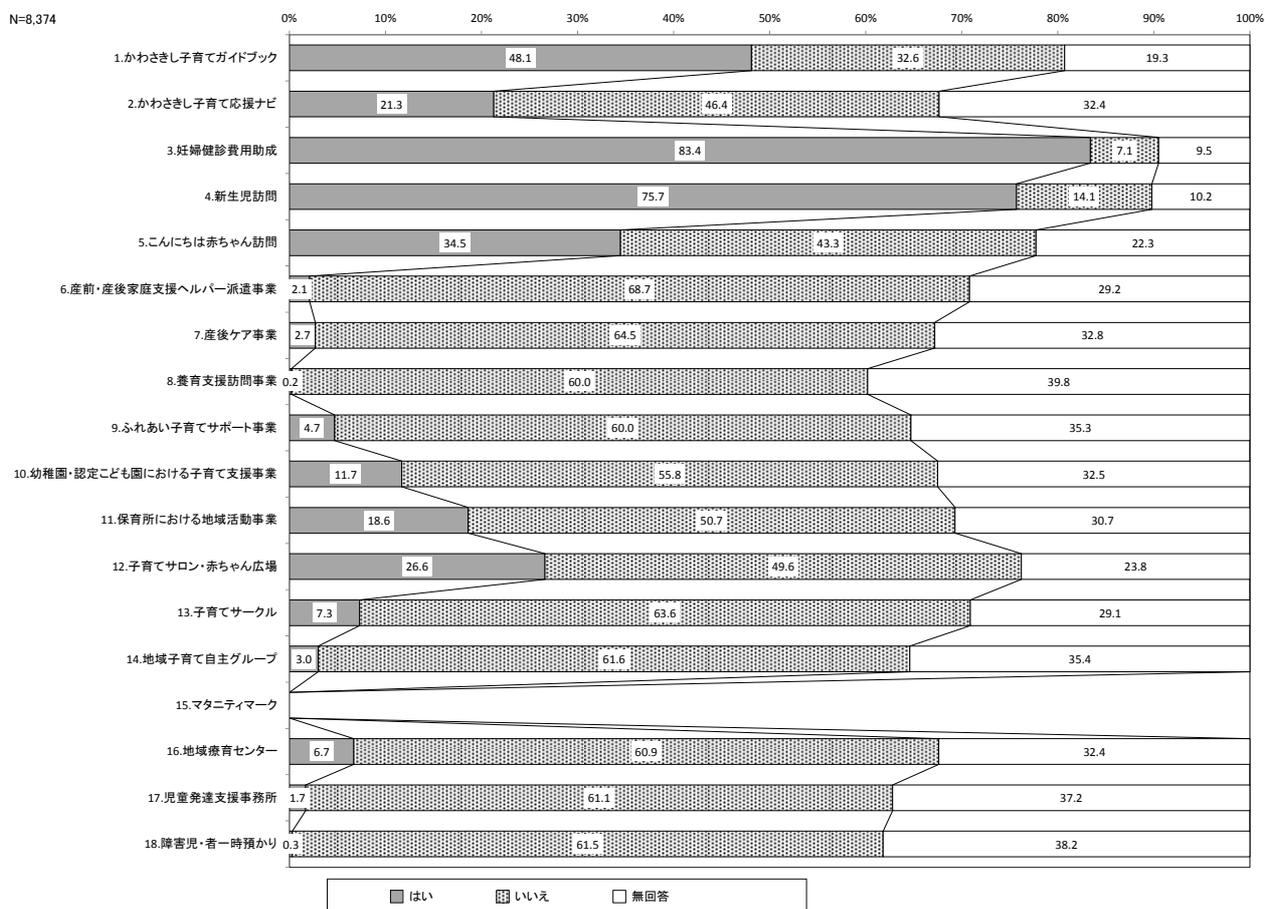
### ■ 就学前子ども（問5－8）（SA）



## イ 利用したことがある事業について（利用状況）

各事業の利用状況について聞いたところ、「妊婦健診費用助成」が83.4%と最も多く、次いで、「新生児訪問」が75.7%、「かわさきし子育てガイドブック」が48.1%と続いている。

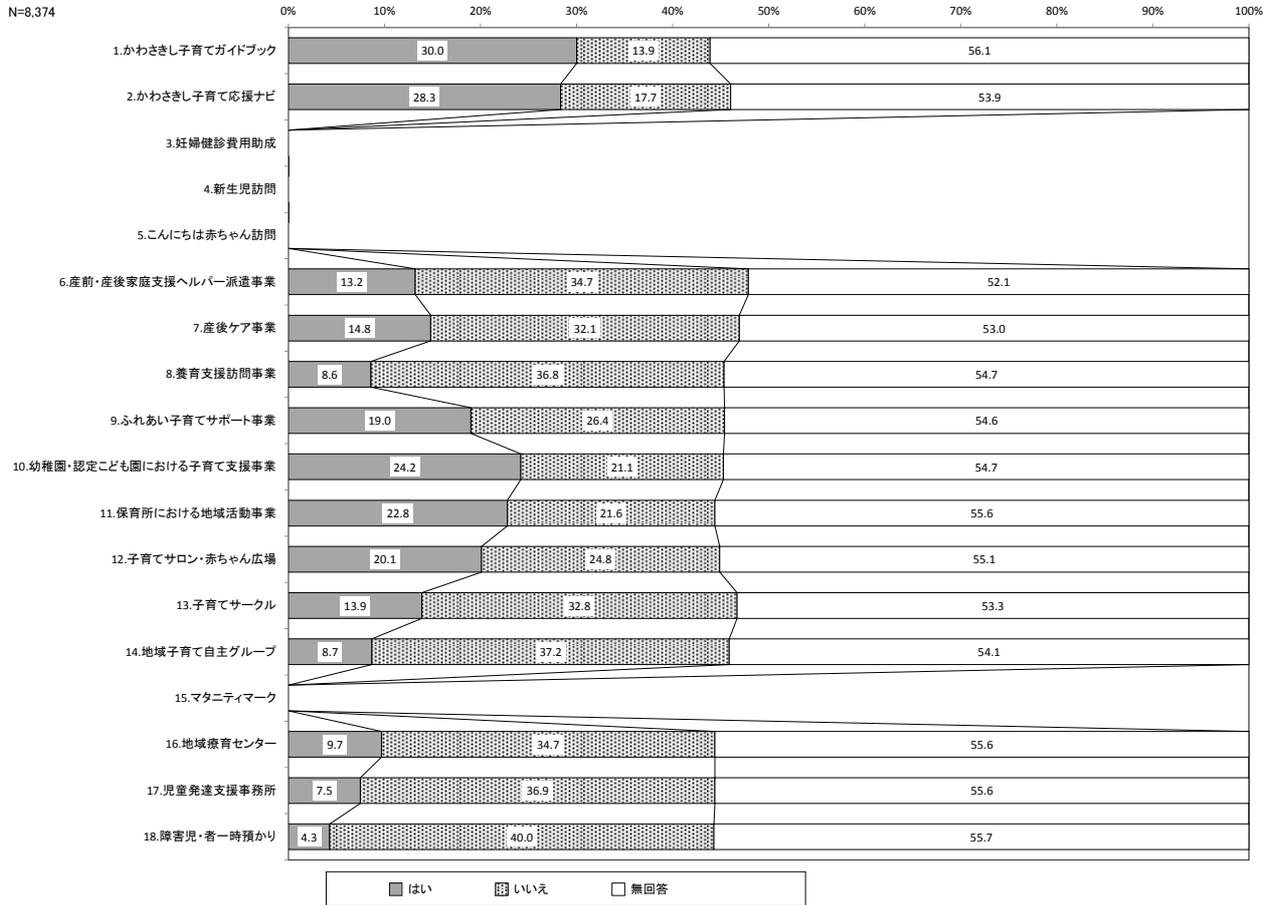
### ■ 就学前子ども（問5-8）（SA）



ウ今後利用したい事業について

各事業を今後利用したいか聞いたところ、「川崎市子育てガイドブック」が30.0%と最も多く、次いで、「川崎市子育てナビ」が28.3%、「幼稚園・認定こども園における子育て支援事業」が24.2%と続いている。

■ 就学前子ども（問5－8）（SA）

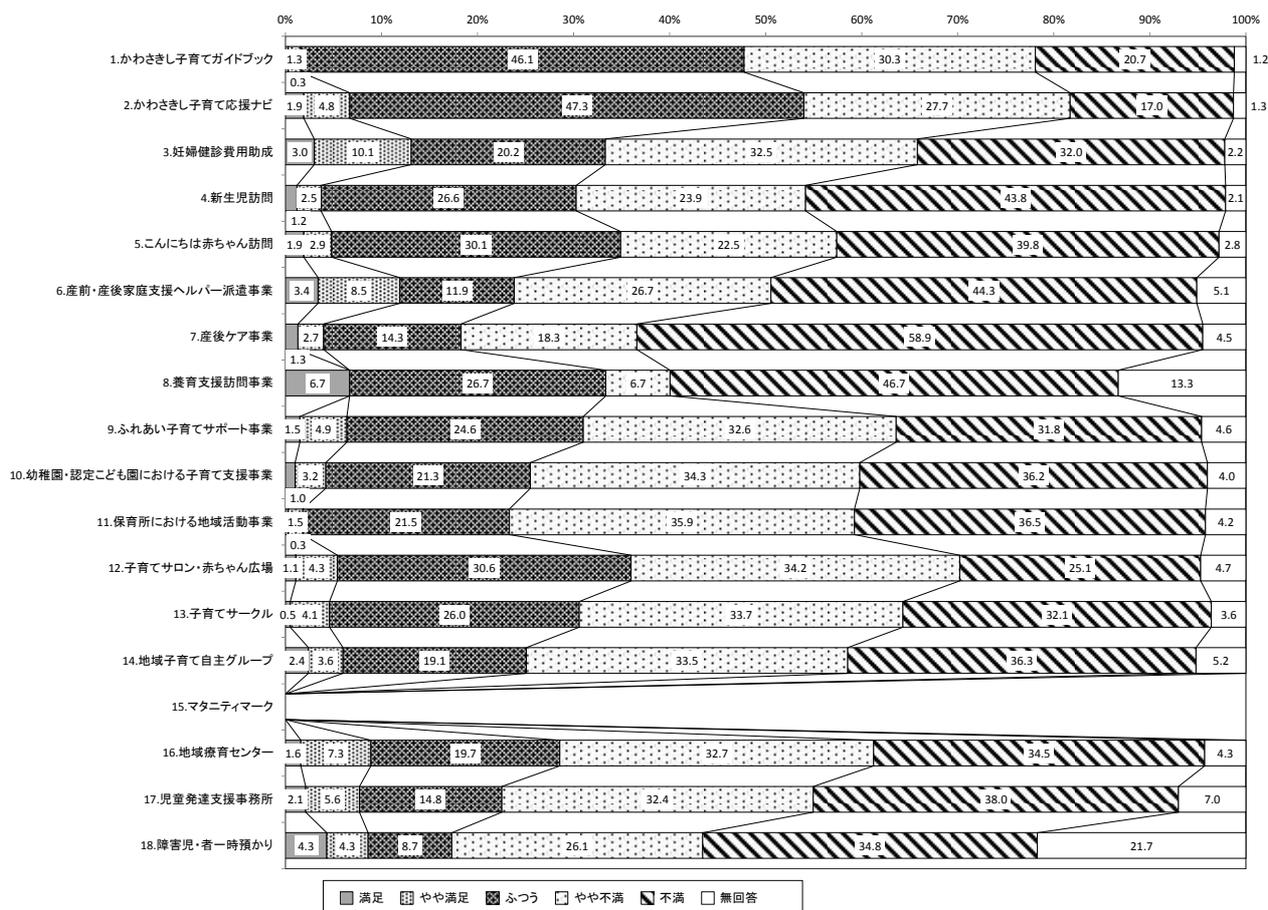


## エ利用した際の満足度

利用した際の各事業の満足度を聞いたところ、「満足」と「やや満足」を合わせると、「妊婦健診費用助成」が13.1%と最も多く、次いで、「産前・産後家庭支援ヘルパー派遣事業」が11.9%、「地域療育センター」が8.9%と続いている。

一方、「不満」の割合が多い事業は、「産後ケア事業」が77.2%と最も多く、次いで、「保育所における地域活動事業」が72.4%、「産前・産後家庭支援ヘルパー派遣事業」が71.0%と続いている。

### ■ 就学前子ども（問5-8）（SA）



## 6 土・日曜日や長期休暇中の定期的な教育・保育の事業等の利用について

### (1)土曜日の教育・保育の事業等の利用状況

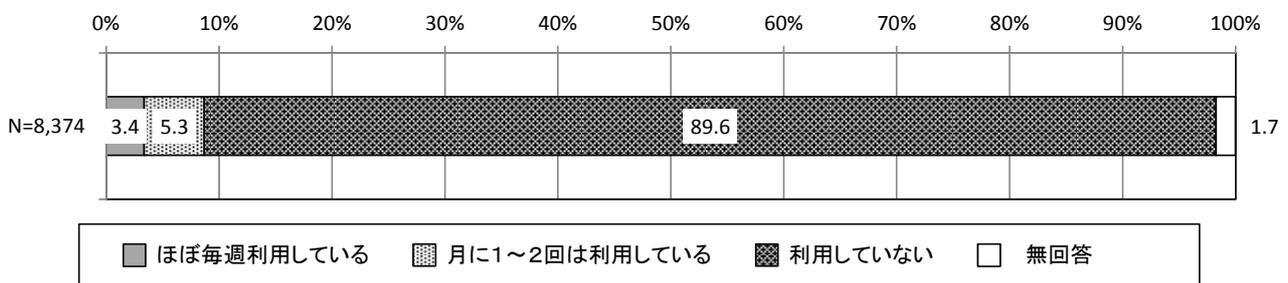
土曜日の教育・保育の事業等の利用状況を聞いたところ、「ほぼ毎週利用している」と「月に1～2回は利用している」を合わせると8.7%となっている。

「ほぼ毎週利用している」と「月に1～2回は利用している」共に、開始時間については7:31～8:00、終了時間については17:31～18:00が多くなっている。

年齢別にみると、0歳では「利用していない」が93.7%であり、1～5歳では、「ほぼ毎週利用している」と「月に1～2回は利用している」を合わせて10%前後となっている。

世帯就労別にみると、「ほぼ毎週利用している」と「月に1～2回は利用している」を合わせて、「フルタイムで共働き」で12.7%、「パートを含む共働き」で10.3%である。

#### ■就学前子ども(問6-1)(SA)



#### ■開始時間と終了時間(問6-1)(SA)

開始

	合計 (N)	～6:30 (%)	6:31～ 7:00 (%)	7:01～ 7:30 (%)	7:31～ 8:00 (%)	8:01～ 8:30 (%)	8:31～ 9:00 (%)	9:01～ 9:30 (%)	9:31～ 10:00 (%)	10:01～ 10:30 (%)	10:31～ 11:00 (%)
全体	723	-	10.0	0.7	19.5	1.9	6.8	0.1	1.2	-	-
ほぼ毎週利用している	282	-	24.5	1.8	47.2	4.6	16.7	0.4	2.1	-	-
月に1～2回は利用している	441	-	0.7	-	1.8	0.2	0.5	-	0.7	-	-

	合計 (N)	11:01～ 11:30 (%)	11:31～ 12:00 (%)	12:01～ 12:30 (%)	12:31～ 13:00 (%)	13:01～ 13:30 (%)	13:31～ 14:00 (%)	14:01～ 14:30 (%)	14:31～ 15:00 (%)	15:01～ (%)	無回答 (%)
全体	723	-	-	-	0.3	-	-	-	0.1	0.3	59.1
ほぼ毎週利用している	282	-	-	-	0.7	-	-	-	0.4	0.4	1.4
月に1～2回は利用している	441	-	-	-	-	-	-	-	-	0.2	95.9

終了

	合計 (N)	～11:00 (%)	11:01～ 11:30 (%)	11:31～ 12:00 (%)	12:01～ 12:30 (%)	12:31～ 13:00 (%)	13:01～ 13:30 (%)	13:31～ 14:00 (%)	14:01～ 14:30 (%)	14:31～ 15:00 (%)	15:01～ 15:30 (%)	15:31～ 16:00 (%)
全体	723	0.8	-	-	-	0.4	-	0.6	0.1	1.5	0.1	4.3
ほぼ毎週利用している	282	1.8	-	-	-	1.1	-	1.4	0.4	3.5	0.4	9.9
月に1～2回は利用している	441	0.2	-	-	-	-	-	-	-	0.2	-	0.7

	合計 (N)	16:01～ 16:30 (%)	16:31～ 17:00 (%)	17:01～ 17:30 (%)	17:31～ 18:00 (%)	18:01～ 18:30 (%)	18:31～ 19:00 (%)	19:01～ 19:30 (%)	19:31～ 20:00 (%)	20:01～ (%)	無回答 (%)
全体	723	0.6	9.5	1.0	19.4	0.3	2.1	0.1	0.3	0.1	58.8
ほぼ毎週利用している	282	1.4	23.4	2.5	46.5	0.7	5.0	0.4	0.4	-	1.4
月に1～2回は利用している	441	-	0.7	-	2.0	-	0.2	-	0.2	0.2	95.5

\*上位1位を網掛け

■年齢別の利用状況(問6-1×問1-3)

	合計 (N)	ほぼ毎週 利用して いる (%)	月に1～ 2回は利 用してい る (%)	利用して いない (%)	無回答 (%)
全 体	8374	3.4	5.3	89.6	1.7
0歳	2462	1.8	2.0	93.7	2.4
1歳	1381	3.9	6.5	87.5	2.0
2歳	1349	4.4	6.8	87.5	1.3
3歳	1130	4.2	6.9	87.9	1.1
4歳	937	3.0	6.4	89.5	1.1
5歳	971	4.1	6.7	88.1	1.1

■世帯就労別の利用状況(問6-1×3-1)

	合計 (N)	ほぼ毎週 利用して いる (%)	月に1～ 2回は利 用してい る (%)	利用して いない (%)	無回答 (%)
全 体	8374	3.4	5.3	89.6	1.7
フルタイムで共働き	4015	5.0	7.7	86.0	1.2
パートを含む共働き	1300	4.2	6.1	88.0	1.8
専業主婦(夫)	2731	0.2	0.9	97.3	1.6

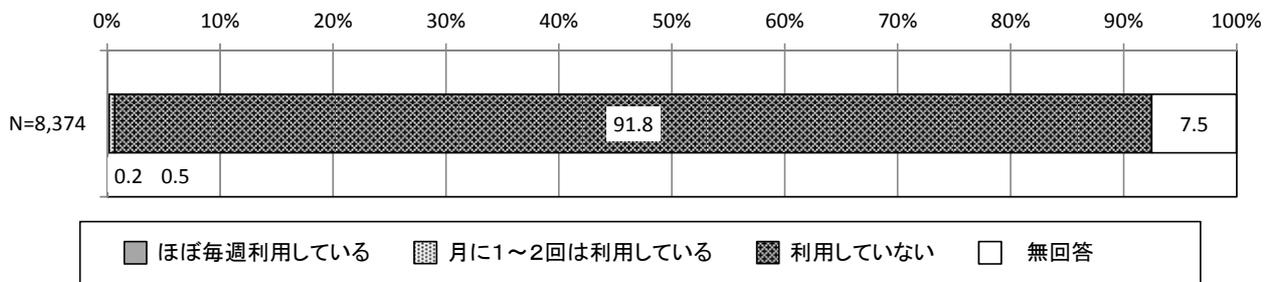
**(2)日曜日・祝日の教育・保育の事業等の利用状況**

日曜日・祝日の教育・保育の事業等の利用状況について聞いたところ「ほぼ毎週利用している」と「月に1～2回は利用している」を合わせて0.7%となっている。

開始時間については、「ほぼ毎週利用している」、「月に1～2回利用している」ともに13:01～13:30、終了時間については17:31～18:00が多くなっている。

年齢別や世帯就労別で見ると、どの項目においても「利用していない」がほとんどである。

■就学前子ども(問6-1)(SA)



■開始時間と終了時間(問6-1)(SA)

開始

	合計 (N)	～6:30 (%)	6:31～ 7:00 (%)	7:01～ 7:30 (%)	7:31～ 8:00 (%)	8:01～ 8:30 (%)	8:31～ 9:00 (%)	9:01～ 9:30 (%)	9:31～ 10:00 (%)	10:01～ 10:30 (%)	10:31～ 11:00 (%)
全体	282	-	24.5	1.8	47.2	4.6	16.7	0.4	2.1	-	-
ほぼ毎週利用している	11	-	18.2	-	45.5	9.1	18.2	-	9.1	-	-
月に1～2回は利用している	13	-	38.5	-	46.2	-	-	-	-	-	-

	合計 (N)	11:01～ 11:30 (%)	11:31～ 12:00 (%)	12:01～ 12:30 (%)	12:31～ 13:00 (%)	13:01～ 13:30 (%)	13:31～ 14:00 (%)	14:01～ 14:30 (%)	14:31～ 15:00 (%)	15:01～ (%)	無回答 (%)
全体	282	-	-	-	0.7	-	-	-	0.4	0.4	1.4
ほぼ毎週利用している	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
月に1～2回は利用している	13	-	-	-	-	-	-	-	-	7.7	7.7

\*全体±5%以上を網掛け

終了

	合計 (N)	～11:00 (%)	11:01～ 11:30 (%)	11:31～ 12:00 (%)	12:01～ 12:30 (%)	12:31～ 13:00 (%)	13:01～ 13:30 (%)	13:31～ 14:00 (%)	14:01～ 14:30 (%)	14:31～ 15:00 (%)	15:01～ 15:30 (%)	15:31～ 16:00 (%)
全体	282	1.8	-	-	-	1.1	-	1.4	0.4	3.5	0.4	9.9
ほぼ毎週利用している	11	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18.2
月に1～2回は利用している	13	7.7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

	合計 (N)	16:01～ 16:30 (%)	16:31～ 17:00 (%)	17:01～ 17:30 (%)	17:31～ 18:00 (%)	18:01～ 18:30 (%)	18:31～ 19:00 (%)	19:01～ 19:30 (%)	19:31～ 20:00 (%)	20:01～ (%)	無回答 (%)
全体	282	1.4	23.4	2.5	46.5	0.7	5.0	0.4	0.4	-	1.4
ほぼ毎週利用している	11	-	18.2	-	45.5	-	9.1	9.1	-	-	-
月に1～2回は利用している	13	-	23.1	-	53.8	-	7.7	-	-	-	7.7

\*全体±5%以上を網掛け

■年齢別の利用状況(問6-1×問1-3)

	合計 (N)	ほぼ毎週 利用して いる (%)	月に1～ 2回は利 用してい る (%)	利用して いない (%)	無回答 (%)
全体	8374	0.2	0.5	91.8	7.5
0歳	2462	0.1	0.2	91.7	8.0
1歳	1381	0.1	0.4	91.6	7.9
2歳	1349	0.4	0.3	92.1	7.3
3歳	1130	0.2	0.8	91.9	7.2
4歳	937	0.4	1.0	91.9	6.7
5歳	971	0.1	0.7	92.7	6.5

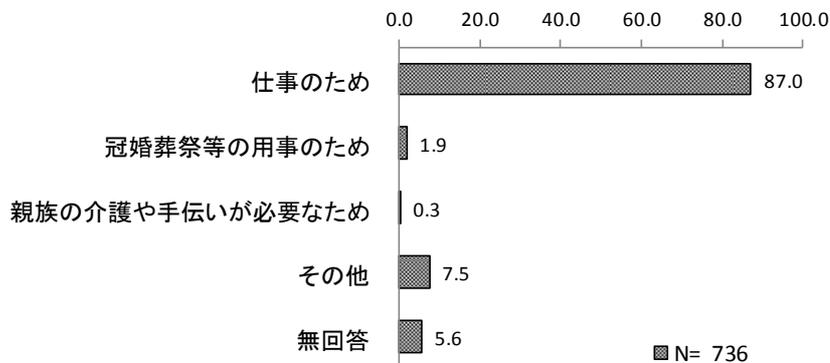
■世帯就労別の利用状況(問6-1×問3-1)

	合計 (N)	ほぼ毎週 利用して いる (%)	月に1～ 2回は利 用してい る (%)	利用して いない (%)	無回答 (%)
全体	8374	0.2	0.5	91.8	7.5
フルタイムで共働き	4015	0.3	0.5	92.5	6.6
パートを含む共働き	1300	0.2	0.8	91.8	7.3
専業主婦(夫)	2731	0.0	0.0	92.1	7.8

### (3) 休日の教育・保育の事業等を利用している理由

休日の教育・保育の事業等を利用している理由を聞いたところ、「仕事のため」が87.0%と最も多くなっている。

#### ■ 就学前子ども(問6-2) (MA)



#### ■ その他の記入例

- ・ 病院に行くため
- ・ 子供の発達支援のため
- ・ 第1、第3土曜日も幼稚園がある
- ・ 療育のため

#### (4)土曜日の教育・保育の事業等の利用希望

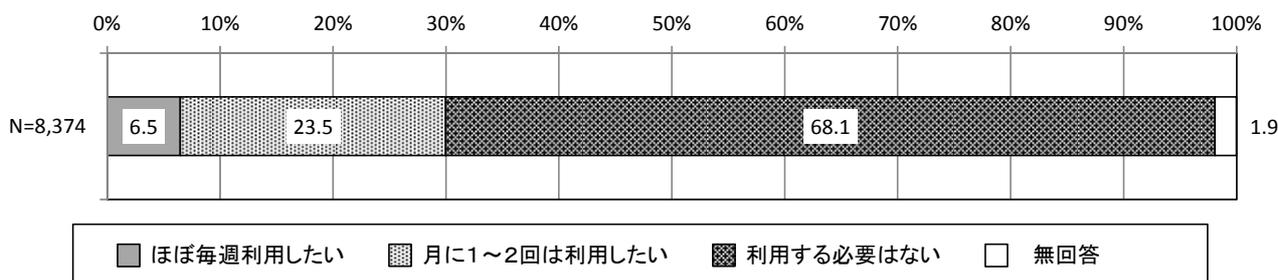
土曜日の教育・保育の事業等の利用希望について聞いたところ、「ほぼ毎週利用したい」と「月に1～2回は利用したい」を合わせて30.0%となっている。

開始時間については、「ほぼ毎週利用したい」では7:31～8:00、「月に1～2回利用したい」では8:31～9:00、終了時間については17:31～18:00が多くなっている。

年齢別にみると、全年齢で「ほぼ毎週利用したい」と「月に1～2回利用したい」を合わせて約30%である。

世帯就労別にみると、「ほぼ毎週利用したい」と「月に1～2回は利用したい」を合わせて、「フルタイムで共働き」で36.6%、「パートを含む共働き」で35.6%である。

#### ■就学前子ども(問6-3)(SA)



#### ■開始時間と終了時間(問6-3)(SA)

開始

	合計 (N)	～6:30 (%)	6:31～ 7:00 (%)	7:01～ 7:30 (%)	7:31～ 8:00 (%)	8:01～ 8:30 (%)	8:31～ 9:00 (%)	9:01～ 9:30 (%)	9:31～ 10:00 (%)	10:01～ 10:30 (%)	10:31～ 11:00 (%)
全体	2513	0.2	8.2	0.6	18.3	1.6	16.8	0.1	6.6	-	0.5
ほぼ毎週利用したい	548	0.4	20.4	1.3	40.1	4.0	17.9	-	3.6	-	0.4
月に1～2回は利用したい	1965	0.1	4.7	0.4	12.3	0.9	16.4	0.2	7.4	-	0.5

	合計 (N)	11:01～ 11:30 (%)	11:31～ 12:00 (%)	12:01～ 12:30 (%)	12:31～ 13:00 (%)	13:01～ 13:30 (%)	13:31～ 14:00 (%)	14:01～ 14:30 (%)	14:31～ 15:00 (%)	15:01～ 15:30 (%)	無回答 (%)
全体	2513	-	0.5	-	0.4	-	0.1	-	0.2	0.2	45.9
ほぼ毎週利用したい	548	-	-	-	0.4	-	0.2	-	0.4	0.2	10.8
月に1～2回は利用したい	1965	-	0.6	-	0.5	-	0.1	-	0.2	0.2	55.7

\*上位1位を網掛け

終了

	合計 (N)	～11:00 (%)	11:01～ 11:30 (%)	11:31～ 12:00 (%)	12:01～ 12:30 (%)	12:31～ 13:00 (%)	13:01～ 13:30 (%)	13:31～ 14:00 (%)	14:01～ 14:30 (%)	14:31～ 15:00 (%)	15:01～ 15:30 (%)	15:31～ 16:00 (%)
全体	2513	0.3	-	1.4	0.0	0.7	-	2.3	0.0	4.5	-	6.1
ほぼ毎週利用したい	548	1.1	-	1.3	0.2	1.5	-	2.9	0.2	2.6	-	6.4
月に1～2回は利用したい	1965	0.1	-	1.4	-	0.5	-	2.1	-	5.0	-	6.0

	合計 (N)	16:01～ 16:30 (%)	16:31～ 17:00 (%)	17:01～ 17:30 (%)	17:31～ 18:00 (%)	18:01～ 18:30 (%)	18:31～ 19:00 (%)	19:01～ 19:30 (%)	19:31～ 20:00 (%)	20:01～ (%)	無回答 (%)
全体	2513	0.1	13.6	0.4	18.3	0.6	4.1	0.0	1.5	0.5	10.8
ほぼ毎週利用したい	548	-	17.3	1.3	39.8	1.6	9.1	-	3.3	0.7	10.8
月に1～2回は利用したい	1965	0.1	12.6	0.2	12.3	0.3	2.7	0.1	1.0	0.4	-

\*上位1位を網掛け

■年齢別の利用状況(問6-3×問1-3)

	合計 (N)	ほぼ毎週 利用したい (%)	月に1～ 2回は利用 したい (%)	利用する 必要はない (%)	無回答 (%)
全体	8374	6.5	23.5	68.1	1.9
0歳	2462	7.4	23.9	67.1	1.7
1歳	1381	5.9	24.8	67.1	2.2
2歳	1349	6.8	24.5	66.7	2.0
3歳	1130	6.7	22.0	69.7	1.5
4歳	937	5.5	22.1	70.7	1.7
5歳	971	5.4	22.8	69.7	2.2

■世帯就労別の利用状況(問6-3×問3-1)

	合計 (N)	ほぼ毎週 利用したい (%)	月に1～ 2回は利用 したい (%)	利用する 必要はない (%)	無回答 (%)
全体	8374	6.5	23.5	68.1	1.9
フルタイムで共働き	4015	8.8	27.8	62.2	1.1
パートを含む共働き	1300	7.4	28.2	61.8	2.5
専業主婦(夫)	2731	2.1	14.4	81.6	1.9

\*全体±5%以上を網掛け

(5)日曜日・祝日の教育・保育の事業等の利用希望

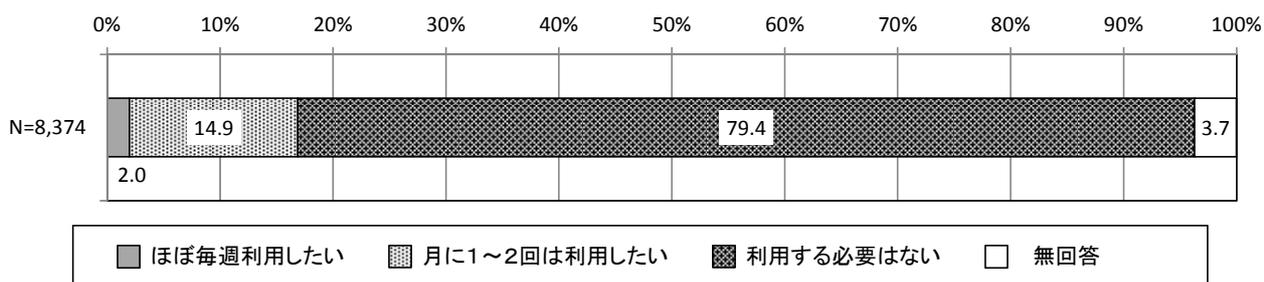
日曜日・祝日の教育・保育の事業等の利用希望について聞いたところ、「ほぼ毎週利用したい」と「月に1～2回は利用したい」を合わせて16.9%となっている。

開始時間については、「ほぼ毎週利用したい」では6:31～9:00、「月に1～2回利用したい」では7:31～9:00が多くなっている。終了時間については16:31～18:00が多くなっている。

年齢別にみると、全年齢で「ほぼ毎週利用したい」と「月に1～2回利用したい」を合わせて20%未満である。

世帯就労別にみると、「ほぼ毎週利用したい」と「月に1～2回は利用したい」を合わせて、「フルタイムで共働き」で19.0%、「パートを含む共働き」で20.6%である。

■就学前子ども(問6-3)(SA)



■開始時間と終了時間(問6-3) (SA)

開始

	合計 (N)	～6:30 (%)	6:31～ 7:00 (%)	7:01～ 7:30 (%)	7:31～ 8:00 (%)	8:01～ 8:30 (%)	8:31～ 9:00 (%)	9:01～ 9:30 (%)	9:31～ 10:00 (%)	10:01～ 10:30 (%)	10:31～ 11:00 (%)
全体	548	0.4	20.4	1.3	40.1	4.0	17.9	-	3.6	-	0.4
ほぼ毎週利用したい	158	-	21.5	-	36.7	3.2	22.2	-	4.4	-	-
月に1～2回は利用したい	175	1.1	21.7	3.4	37.7	4.0	15.4	-	4.0	-	0.6

	合計 (N)	11:01～ 11:30 (%)	11:31～ 12:00 (%)	12:01～ 12:30 (%)	12:31～ 13:00 (%)	13:01～ 13:30 (%)	13:31～ 14:00 (%)	14:01～ 14:30 (%)	14:31～ 15:00 (%)	15:01～ (%)	無回答 (%)
全体	548	-	-	-	0.4	-	0.2	-	0.4	0.2	10.8
ほぼ毎週利用したい	158	-	-	-	0.6	-	-	-	-	-	11.4
月に1～2回は利用したい	175	-	-	-	0.6	-	0.6	-	0.6	0.6	9.7

\*上位1位を網掛け

終了

	合計 (N)	～11:00 (%)	11:01～ 11:30 (%)	11:31～ 12:00 (%)	12:01～ 12:30 (%)	12:31～ 13:00 (%)	13:01～ 13:30 (%)	13:31～ 14:00 (%)	14:01～ 14:30 (%)	14:31～ 15:00 (%)	15:01～ 15:30 (%)	15:31～ 16:00 (%)
全体	548	1.1	-	1.3	0.2	1.5	-	2.9	0.2	2.6	-	6.4
ほぼ毎週利用したい	158	-	-	1.3	-	0.6	-	2.5	0.6	1.3	-	3.8
月に1～2回は利用したい	175	1.1	-	1.7	-	1.1	-	2.9	-	1.7	-	4.0

	合計 (N)	16:01～ 16:30 (%)	16:31～ 17:00 (%)	17:01～ 17:30 (%)	17:31～ 18:00 (%)	18:01～ 18:30 (%)	18:31～ 19:00 (%)	19:01～ 19:30 (%)	19:31～ 20:00 (%)	20:01～ (%)	無回答 (%)
全体	548	-	17.3	1.3	39.8	1.6	9.1	-	3.3	0.7	10.8
ほぼ毎週利用したい	158	-	20.9	-	38.0	0.6	12.0	-	5.7	1.3	11.4
月に1～2回は利用したい	175	-	14.3	2.9	43.4	2.9	10.3	-	3.4	0.6	9.7

\*上位1位を網掛け

■年齢別の利用状況(問6-3×問1-3)

	合計 (N)	ほぼ毎週 利用した い (%)	月に1～ 2回は利 用したい (%)	利用する 必要はな い (%)	無回答 (%)
全体	8374	2.0	14.9	79.4	3.7
0歳	2462	2.7	16.3	77.3	3.7
1歳	1381	2.1	14.7	79.9	3.3
2歳	1349	1.7	14.5	80.1	3.7
3歳	1130	1.9	13.5	81.1	3.5
4歳	937	1.4	14.5	80.9	3.2
5歳	971	1.4	14.5	80.3	3.7

■世帯就労別の利用状況(問6-3×問3-1)

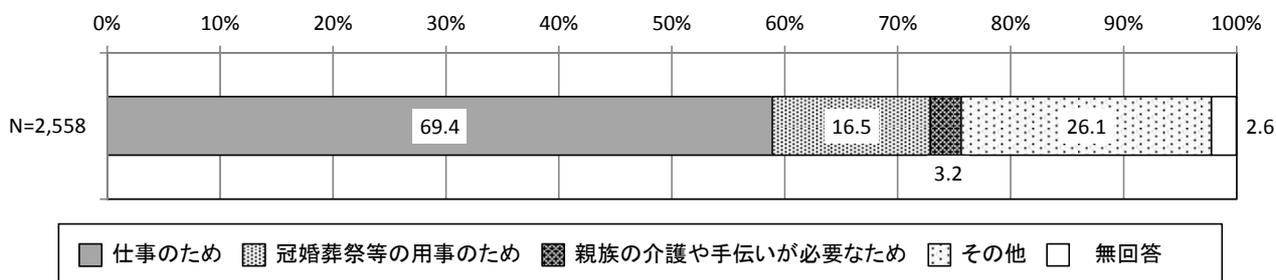
	合計 (N)	ほぼ毎週 利用した い (%)	月に1～ 2回は利 用したい (%)	利用する 必要はな い (%)	無回答 (%)
全体	8374	2.0	14.9	79.4	3.7
フルタイムで共働き	4015	2.7	16.3	77.6	3.5
パートを含む共働き	1300	2.4	18.2	75.4	4.0
専業主婦(夫)	2731	0.8	10.6	85.7	2.9

\*全体±5%以上を網掛け

### (6) 休日の教育・保育の事業等を利用したい理由

休日の教育・保育の事業等を利用したい理由について聞いたところ、「仕事」が69.4%と最も多く、「冠婚葬祭等の用事のため」が16.5%となっている。

#### ■ 就学前子ども(問6-4) (MA)



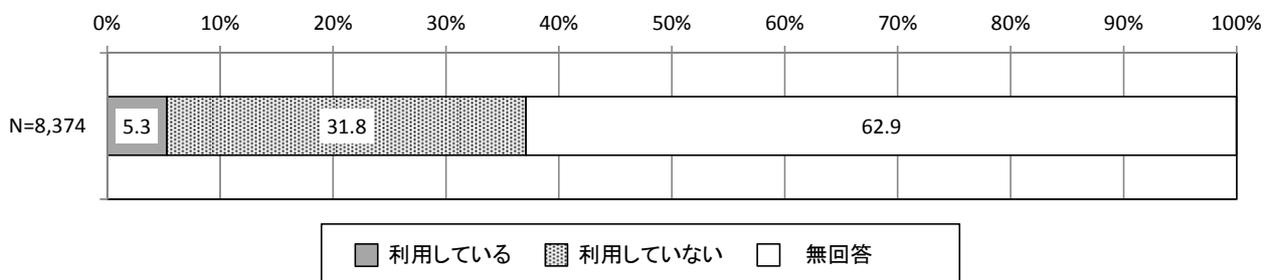
#### ■ その他の記入例(問6-4)

- ・自分の時間を作る為
- ・家事、仕事の用意のため
- ・教育の機会を増やしたい
- ・夫が土日休みではないため

### (7) 幼稚園・認定こども園(1号)利用者の夏休みなど長期休業期間中の事業の利用状況

幼稚園・認定こども園(1号)利用者の夏休みなど長期休業期間中の事業の利用状況について聞いたところ、「利用している」が5.3%、「利用していない」が31.8%となっている。

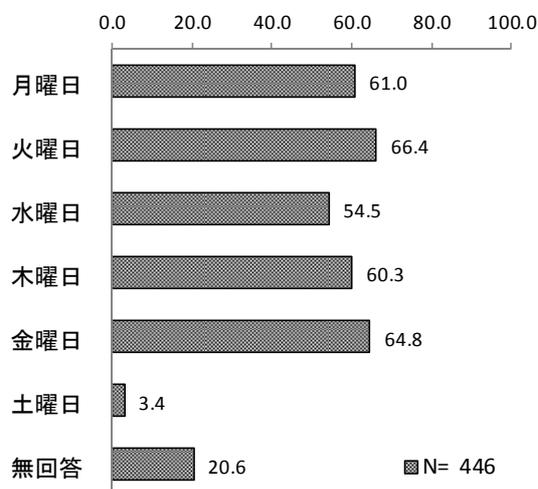
#### ■ 就学前子ども(問6-5) (SA: 幼稚園を利用している方)



### ア 利用している曜日・利用時間

利用している曜日について聞いたところ、「火曜日」が66.4%と最も多く、次いで、「金曜日」が64.8%、「月曜日」が61.0%と続いている。

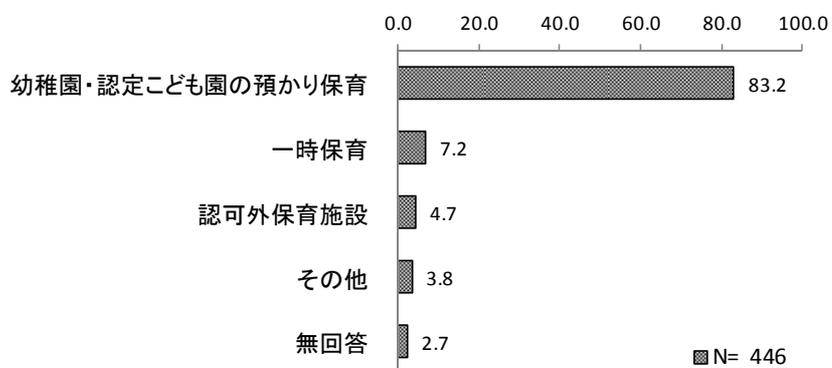
#### ■就学前子ども(問6-5) (MA:幼稚園を利用している方)



### イ 利用している事業

利用している事業について聞いたところ「幼稚園・認定こども園の預かり保育」が83.2%と最も多くなっている。

#### ■就学前子ども(問6-5) (MA:幼稚園を利用している方)



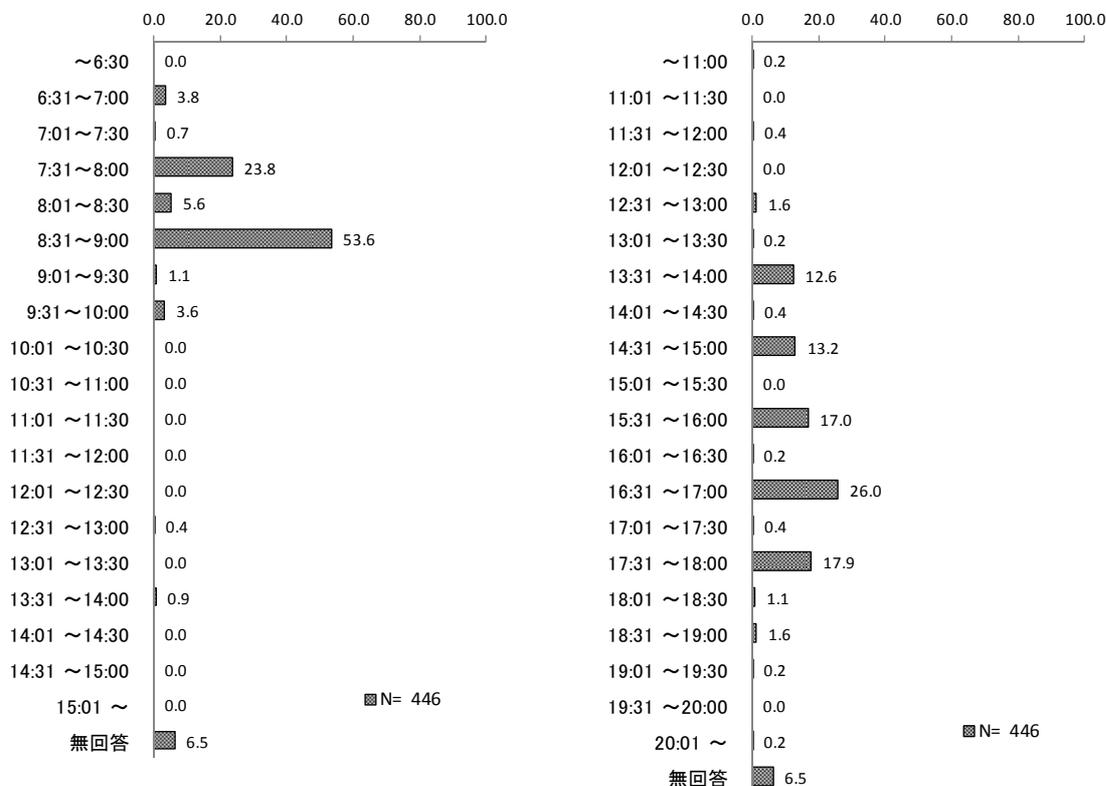
### ウ 利用している時間帯

利用している時間帯について聞いたところ、開始時間では「8：31～9：00」が53.6%、終了時間では「16：31～17：00」が26.0%と最も多くなっている。

#### ■ 就学前子ども(問6-5) (MA：幼稚園を利用している方)

開始時間

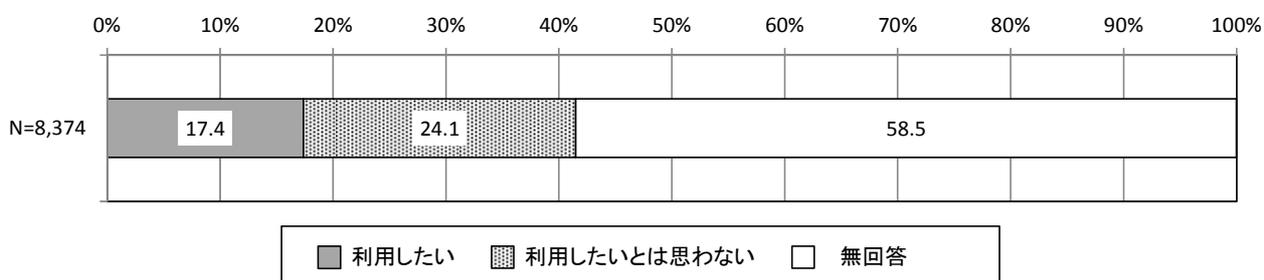
終了時間



### (8) 夏休みなど長期休業期間中の事業の利用希望

夏休みなど長期休業期間中の事業の利用希望について聞いたところ、「利用したい」が17.4%、「利用したいと思わない」が24.1%となっている。

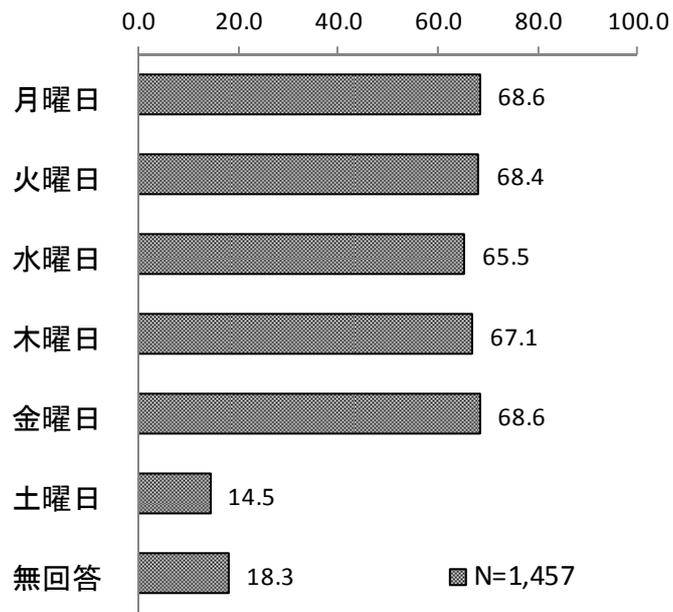
#### ■ 就学前子ども(問6-6) (SA)



### ア 利用したい曜日・利用時間

利用したい曜日について聞いたところ、「月曜日」、「金曜日」が68.6%と最も多く、次いで、「火曜日」が68.4%、「木曜日」が67.1%となっている。

■就学前子ども(問6-6)(MA)

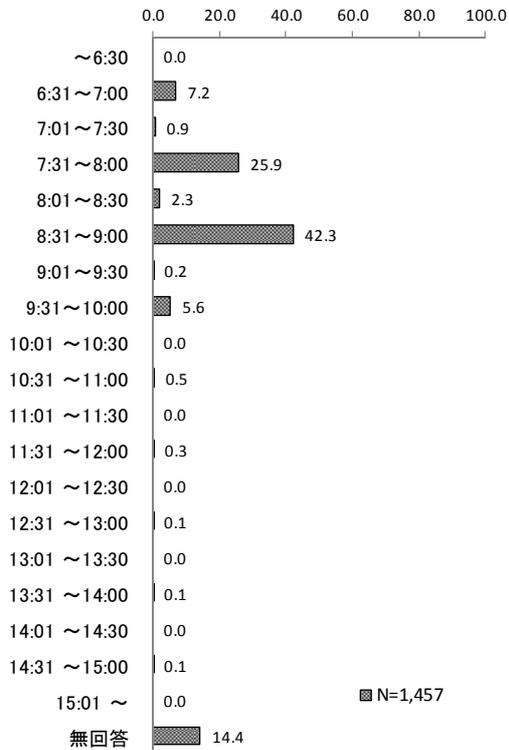


イ 利用したい時間帯

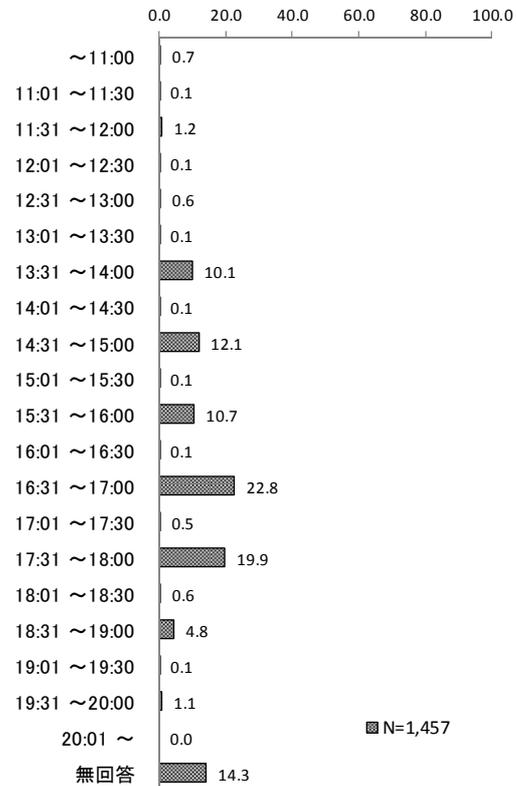
利用したい時間帯について聞いたところ、開始時間では「8:31~9:00」が42.3%、終了時間では「16:31~17:00」が22.8%と最も多くなっている。

■就学前子ども(問6-6)(MA:幼稚園を利用している方)

開始時間



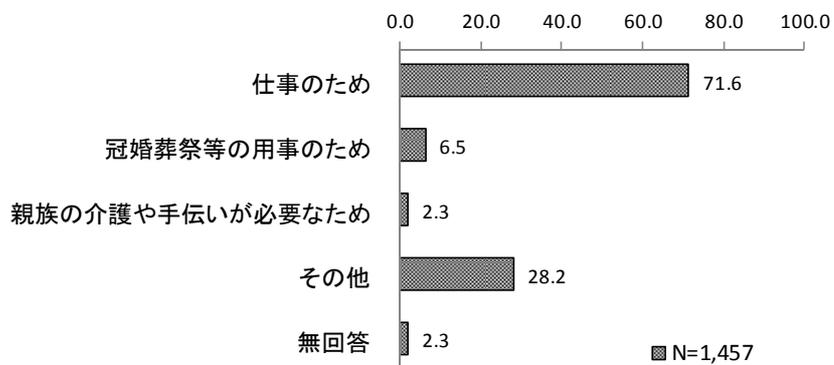
終了時間



### (9)夏休みなど長期休業期間中の事業を利用したい理由

夏休みなど長期休業期間中の事業を利用したい理由について聞いたところ、「仕事のため」が71.6%と最も多くなっている。

■就学前子ども(問6-7)(MA)

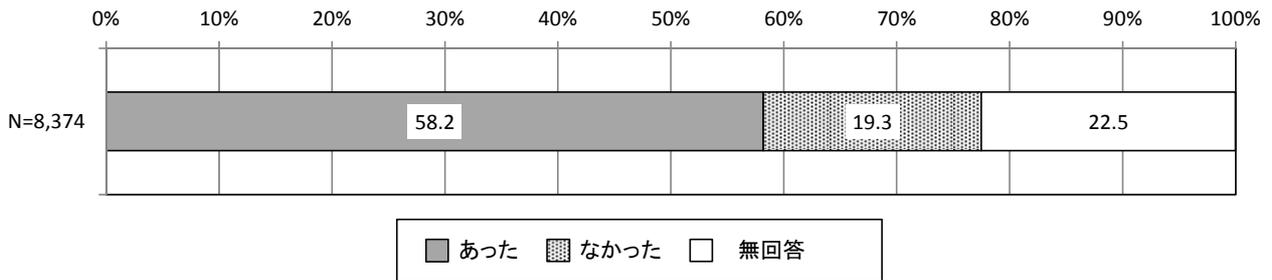


## 7 子どもが病気の際の対応について

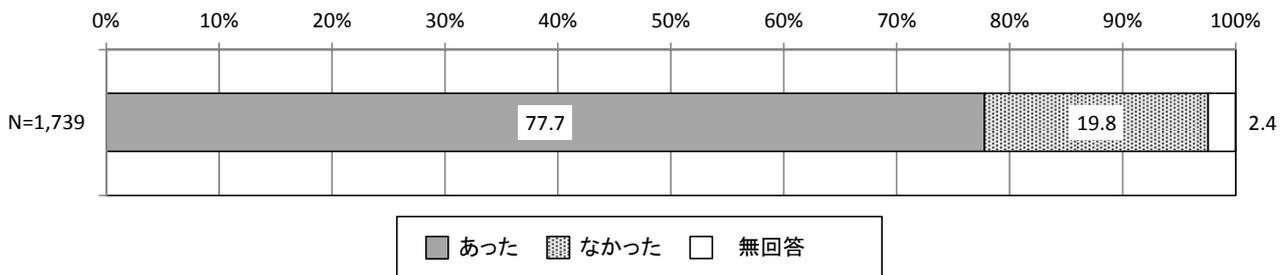
### (1) 子どもが病気等で休んだ場合の対応

この1年間に子どもが病気やケガで、通常利用している事業を利用できなかったり、学校を休んだことがあったか聞いたところ、「あった」は就学前子どもで58.2%、就学子どもで77.7%となっている。

#### ■就学前子ども(問7-1)(SA)



#### ■就学子ども(問7-1)(SA)

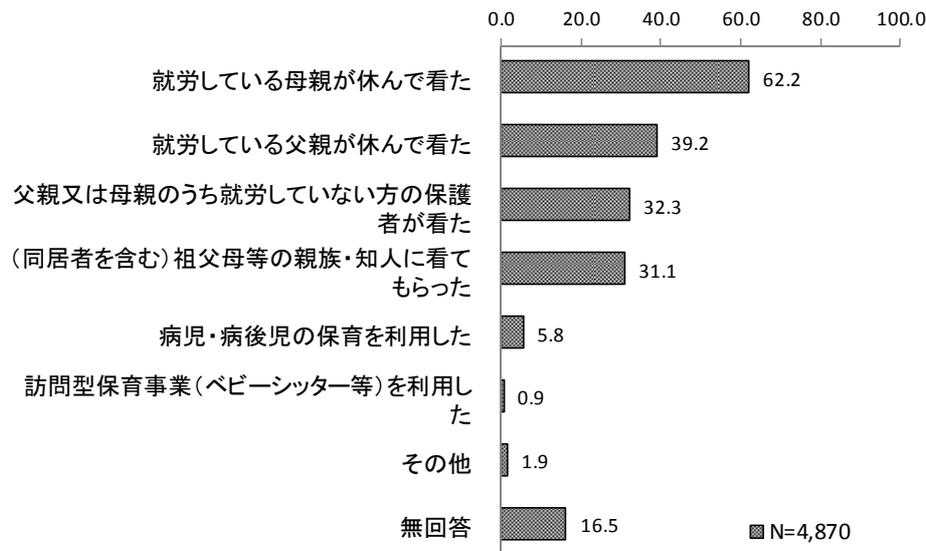


## (2) 休んだときの対処方法

休んだ時の対処方法について聞いたところ、就学前子どもでは「就労している母親が休んで見た」が62.2%と最も多く、次いで、「就労している父親が休んで見た」が39.2%、「父親又は母親のうち就労していない方の保護者が見た」が32.3%と続いている。

就学子どもでは「就労している母親が休んで見た」が41.2%と最も多く、次いで、「父親又は母親のうち就労していない方の保護者が見た」が26.8%、「就労している父親が休んで見た」が13.8%と続いている。

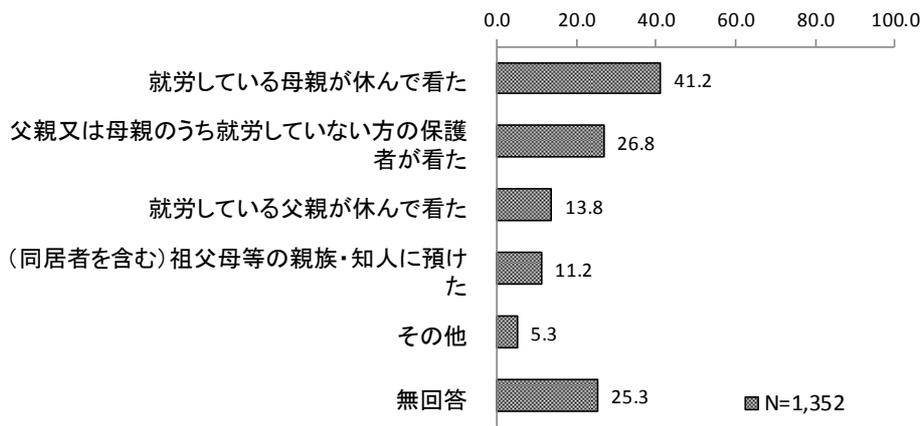
### ■ 就学前子ども（問7-2）（MA）



### ■ その他の記入例（就学前）（問7-2）

- ・ 育休の母親が見た
- ・ 祖父母にみてもらった
- ・ 在宅勤務で対応した
- ・ 育休中の母が見た

■就学子ども(問7-2)(MA)



■その他の記入例(就学)(問7-2)

- ・会社の在宅勤務制度を利用
- ・病児シッター(フローレンス)に自宅で病児を診てもらった。

対処した日数でみると、就学前子どもでは、「就労している母親が休んで見た」が「10日」で17.3%と多く、「就労している父親が休んで見た」が「2日」で16.7%と多い。

就学子どもでは「就労している母親が休んで見た」が「1日」で27.6%、「就労している父親が休んで見た」が「1日」で48.1%と最も多い。就学子どもは就学前子どもに比べて、対処した日数が全体的に少なくなっている。

■ 対処した年間日数(MA:休んだことがあった方)

(就学前子ども) (問7-2)

	合計 (N)	1日 (%)	2日 (%)	3日 (%)	4日 (%)	5日 (%)	6日 (%)	7日 (%)	8日 (%)	9日 (%)	10日 (%)	11~15日 (%)
就労している母親が休んで見た	3029	5.8	8.4	12.0	3.9	16.1	2.0	5.4	2.2	0.4	17.3	6.7
就労している父親が休んで見た	1910	16.2	16.7	14.5	3.1	15.4	0.8	2.1	0.8	0.2	7.7	1.2
父親又は母親のうち就労していない方の保護者が見た	1572	5.6	7.4	9.2	2.8	12.8	1.8	5.5	1.2	0.1	11.1	4.8
(同居者を含む) 祖父母等の親族・知人に看てもらった	1516	10.3	12.1	10.9	2.5	13.3	0.9	3.0	0.6	0.2	9.8	2.7
病児・病後児の保育を利用した	283	18.0	17.0	21.9	4.2	17.7	2.8	2.1	1.8	-	7.1	2.8
訪問型保育事業(ベビーシッター等)を利用した	43	30.2	18.6	9.3	2.3	7.0	2.3	7.0	4.7	-	7.0	4.7
その他	92	6.5	10.9	7.6	-	9.8	1.1	9.8	4.3	-	20.7	6.5

	合計 (N)	16~20日 (%)	21~25日 (%)	26~30日 (%)	31~35日 (%)	36~40日 (%)	41~45日 (%)	46~50日 (%)	51~55日 (%)	56~60日 (%)	61日以上 (%)	無回答 (%)
就労している母親が休んで見た	3029	5.5	0.9	2.7	0.2	0.6	0.0	0.2	-	0.2	0.1	9.4
就労している父親が休んで見た	1910	0.4	0.1	0.3	-	-	-	-	-	-	-	20.6
父親又は母親のうち就労していない方の保護者が見た	1572	4.4	0.5	1.4	-	0.4	0.1	0.1	-	-	0.3	30.6
(同居者を含む) 祖父母等の親族・知人に看てもらった	1516	1.7	0.1	0.1	0.1	0.2	-	0.1	-	0.1	0.2	31.1
病児・病後児の保育を利用した	283	1.4	-	-	-	0.4	-	-	-	-	-	2.8
訪問型保育事業(ベビーシッター等)を利用した	43	2.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.7
その他	92	4.3	-	2.2	-	-	-	-	-	1.1	-	15.2

(就学子ども) (問7-2)

	合計 (N)	1日 (%)	2日 (%)	3日 (%)	4日 (%)	5日 (%)	6日 (%)	7日 (%)	8日 (%)	9日 (%)	10日 (%)	11~15日 (%)
就労している母親が休んで見た	557	27.6	22.4	19.0	5.6	11.1	1.8	3.8	0.9	0.2	2.7	1.4
就労している父親が休んで見た	187	48.1	26.2	11.2	3.2	5.3	0.5	0.5	0.5	-	2.1	-
父親又は母親のうち就労していない方の保護者が見た	363	19.6	19.3	14.3	5.8	12.1	3.0	6.3	2.5	0.3	6.6	0.6
(同居者を含む) 祖父母等の親族・知人に預けた	152	30.3	27.0	17.8	5.9	7.9	1.3	2.6	-	-	2.6	-
その他	72	27.8	23.6	16.7	2.8	5.6	2.8	1.4	1.4	-	1.4	-

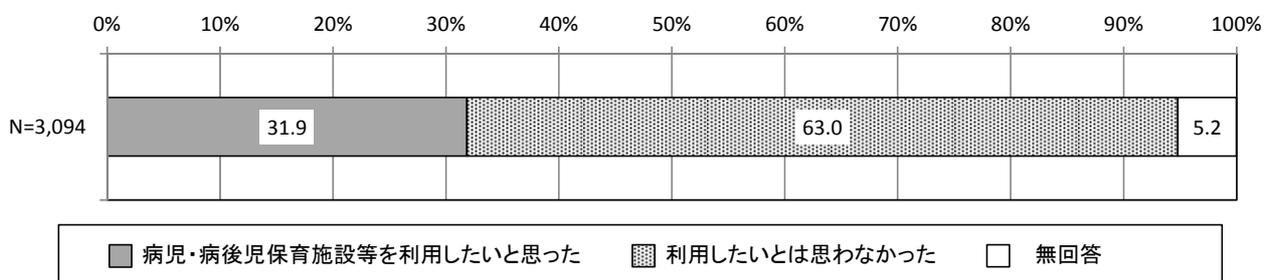
	合計 (N)	16~20日 (%)	21~25日 (%)	26~30日 (%)	31~35日 (%)	36~40日 (%)	41~45日 (%)	46~50日 (%)	51~55日 (%)	56~60日 (%)	61日以上 (%)	無回答 (%)
就労している母親が休んで見た	557	0.7	0.2	-	-	-	-	-	-	0.2	-	2.3
就労している父親が休んで見た	187	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.1
父親又は母親のうち就労していない方の保護者が見た	363	0.8	0.6	0.6	-	-	-	-	-	-	-	7.7
(同居者を含む) 祖父母等の親族・知人に預けた	152	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4.6
その他	72	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16.7

### (3) 就労している父親・母親が見た際の病児・病後児保育の利用意向

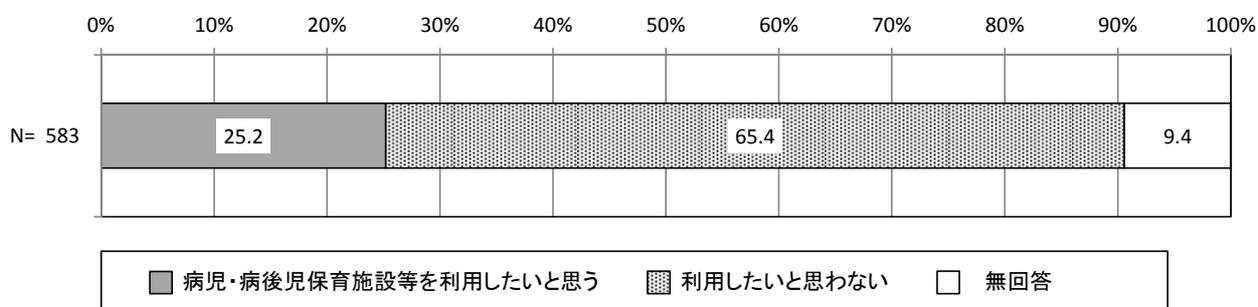
#### ア 病児・病後児保育の利用希望

病児・病後児保育の利用希望について聞いたところ、「利用したい」は就学前子どもで31.9%、就学子どもで25.2%となっている。

#### ■ 就学前子ども(問7-3) (SA)



#### ■ 就学子ども(問7-3) (SA)



#### イ 病児・病後児保育を利用したい年間日数

病児・病後児保育を利用したい年間日数について聞いたところ、「1～5日」は就学前子どもで51.0%、就学子どもで69.4%となっている。

#### ■ 就学前子ども(問7-3) (SA:利用したい方)

	合計(N)	(%)
1～5日	503	51.0
6～10日	295	29.9
11～15日	47	4.8
16～20日	46	4.7
21～25日	2	0.2
26～30日	19	1.9
31～35日	1	0.1
36～40日	2	0.2
41～45日	-	-
46～50日	2	0.2
51～55日	-	-
56～60日	-	-
61日以上	3	0.3
無回答	66	6.7
全体	986	100.0

■就学子ども(問7-3) (SA:利用したい方)

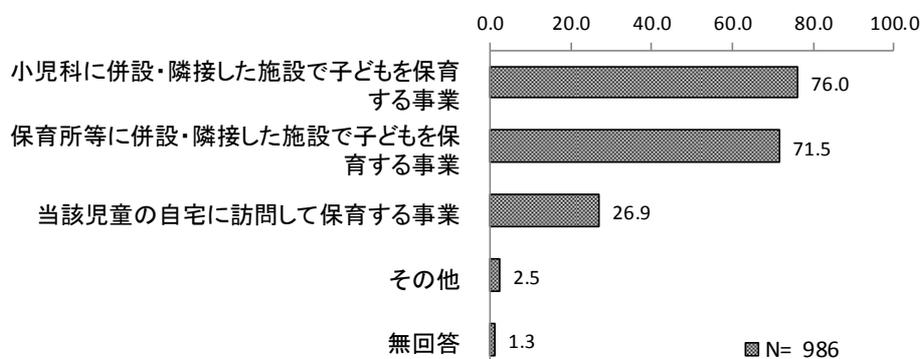
	合計(N)	(%)
1～5日	102	69.4
6～10日	32	21.8
11～15日	-	-
16～20日	-	-
21～25日	-	-
26～30日	-	-
31～35日	-	-
36～40日	-	-
41～45日	-	-
46～50日	-	-
51～55日	-	-
56～60日	-	-
61日以上	-	-
無回答	13	8.8
全体	147	100.0

ウ 希望する病児・病後児保育の事業形態

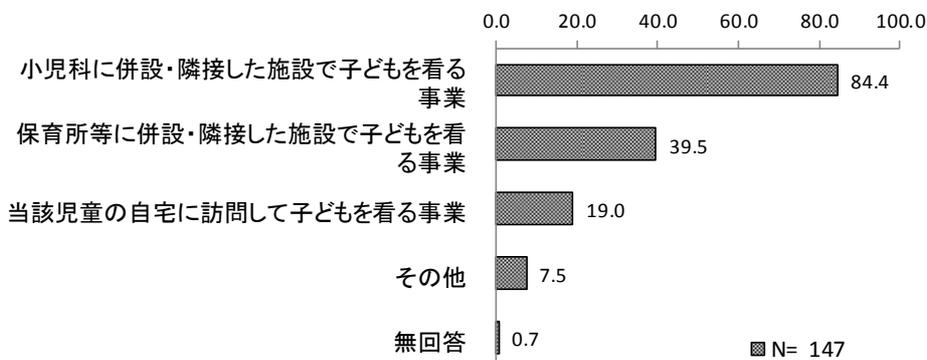
希望する病児・病後児保育の事業形態について聞いたところ、就学前子どもでは「小児科に併設・隣接した施設で子どもを保育する事業」が76.0%と最も多く、次いで、「保育所等に併設・隣接した施設で子どもを保育する事業」が71.5%となっている。

就学子どもでは「小児科に併設・隣接した施設で子どもを保育する事業」が84.4%と最も多くなっている。

■就学前子ども(問7-4) (MA:病児・病後児保育施設等を利用したい方)



■就学子ども(問7-4) (MA:病児・病後児保育施設等を利用したい方)

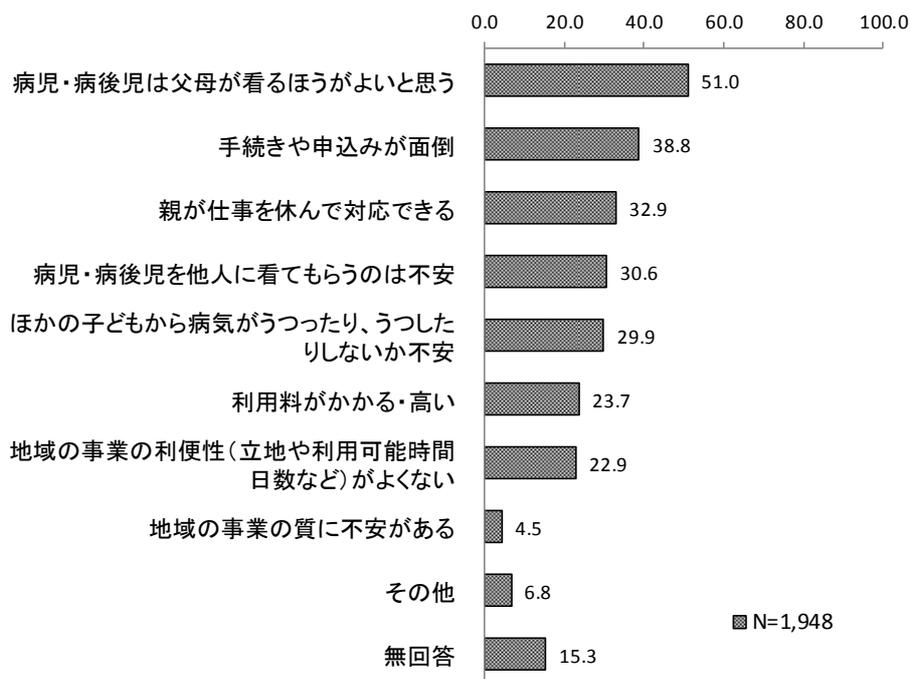


エ 病児・病後児保育の利用を希望しない理由

病児・病後児保育の利用を希望しない理由について聞いたところ、就学前子どもでは「病児・病後児は父母が看るほうがよいと思う」が51.0%と最も多く、次いで、「手続きや申込みが面倒」が38.8%、「親が仕事を休んで対応できる」が32.9%と続いている。

就学子どもでは「病児・病後児は父母が看るほうがよいと思う」が54.6%と最も多く、次いで、「親が仕事を休んで対応できる」が50.4%、「手続きや申込みが面倒」が32.0%と続いている。

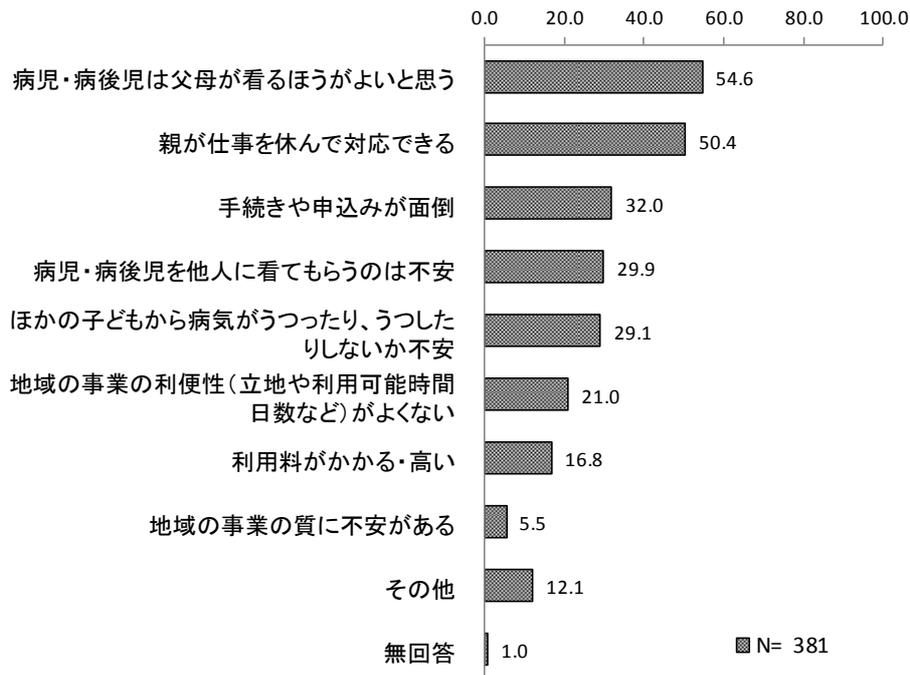
■就学前子ども(問7-5) (MA:病児・病後児保育施設等を利用したいとは思わなかった方)



■その他の記入例(問7-5)

- ・自宅から遠い
- ・祖父母の支援があったため
- ・病気の時に普段行かない慣れない場所に行かせるのが不安
- ・子供がなれてない人に不安がる。開園時間が短く、利用するメリットが小さい。

■就学子ども(問7-5) (MA:病児・病後児保育施設等を利用したいとは思わなかった方)



■その他の記入例(問7-5)

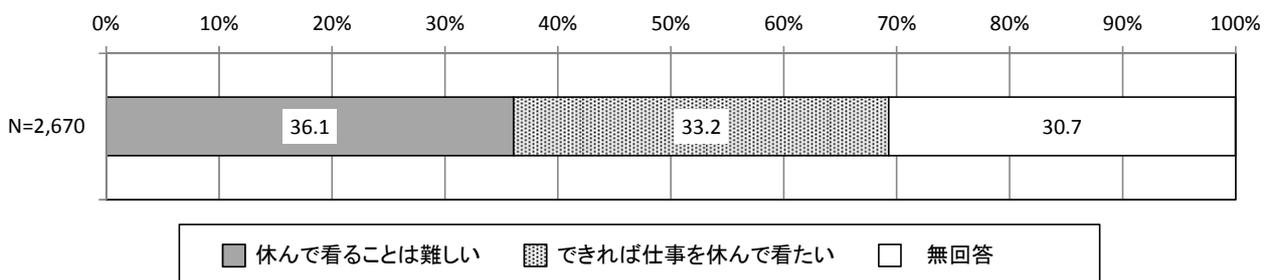
- ・未就学のときに利用したが、予約困難だったから
- ・預かり開始時間が遅い、遠い。
- ・病気の時くらい、子どもが安心できる大人がそばにいてあげたい

(4)就労している父親・母親以外が見た場合の状況

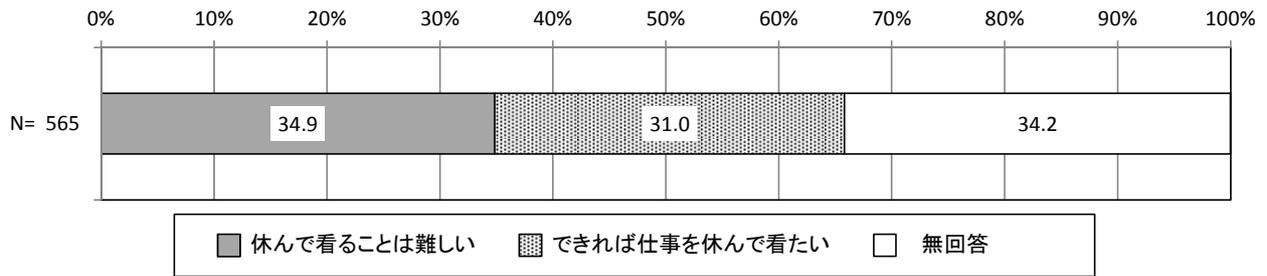
ア 就労している父親・母親が看たいと思ったか

就労している父親・母親が仕事を休んで看ることができるか聞いたところ、「休んで看ることは難しい」が就学前子どもで36.1%、就学子どもで34.9%となっている。

■就学前子ども(問7-6) (SA)



■就学子ども(問7-6)(SA)



イ 休んで看ることができる日数

休んで看ることが可能な日数について聞いたところ、「1～5日」が就学前子どもで57.6%、就学子どもで64.6%となっている。

■就学前子ども(問7-6)(SA:仕事を休んで看たい)

	合計(N)	(%)
1～5日	510	57.6
6～10日	181	20.4
11～15日	19	2.1
16～20日	38	4.3
21～25日	2	0.2
26～30日	7	0.8
31～35日	-	-
36～40日	4	0.5
41～45日	-	-
46～50日	-	-
51～55日	-	-
56～60日	-	-
61日以上	5	0.6
無回答	120	13.5
全体	886	100.0

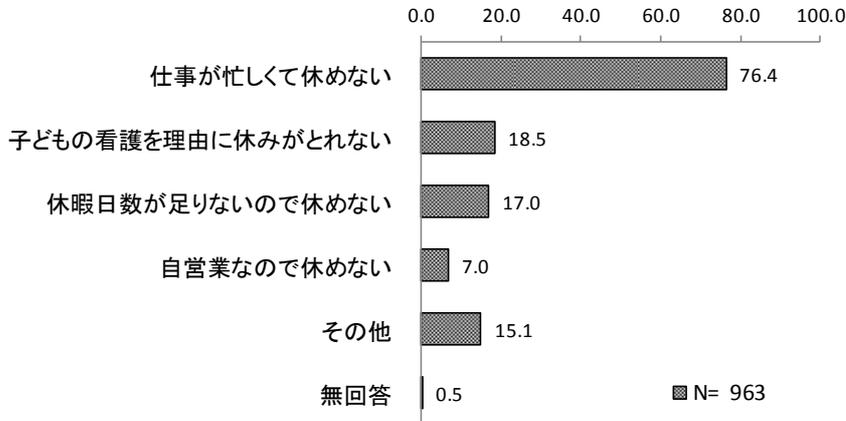
■就学子ども(問7-6)(SA:仕事を休んで看たい)

	合計(N)	(%)
1～5日	113	64.6
6～10日	9	5.1
11～15日	-	-
16～20日	-	-
21～25日	-	-
26～30日	-	-
31～35日	-	-
36～40日	-	-
41～45日	-	-
46～50日	-	-
51～55日	-	-
56～60日	-	-
61日以上	1	0.6
無回答	52	29.7
全体	175	100.0

### ウ 休んで看ることが難しい理由

休んで看ることが難しい理由について聞いたところ、「仕事が忙しくて休めない」が就学前子どもで76.4%、就学子どもで66.0%となっている。

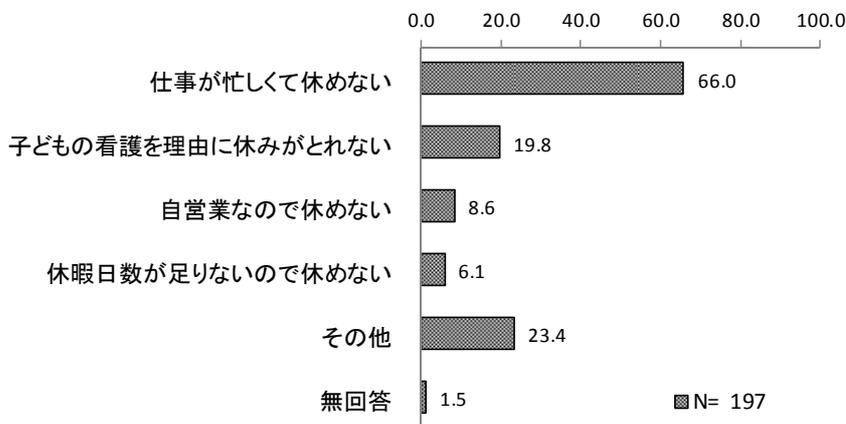
#### ■就学前子ども(問7-7) (MA:休んで看ることが難しい方)



#### ■その他の記入例(問7-7)

- ・母が就労していないので看れる。今後パートが始まっても母が休むとパート先と話し合っている。
- ・代わりがきかない仕事の為
- ・パートなので給料が減ってしまう
- ・他の人に迷惑がかかることへの罪悪感

#### ■就学子ども(問7-7) (MA:休んで看ることが難しい方)



#### ■その他の記入例(問7-7)

- ・1日は休めたとしてもインフルエンザなどにかかった場合長期に休むのが難しい(連続して)
- ・会社での評価が低下、最悪進退にかかわる

## 8 一時的または宿泊を伴う預かり事業の利用について

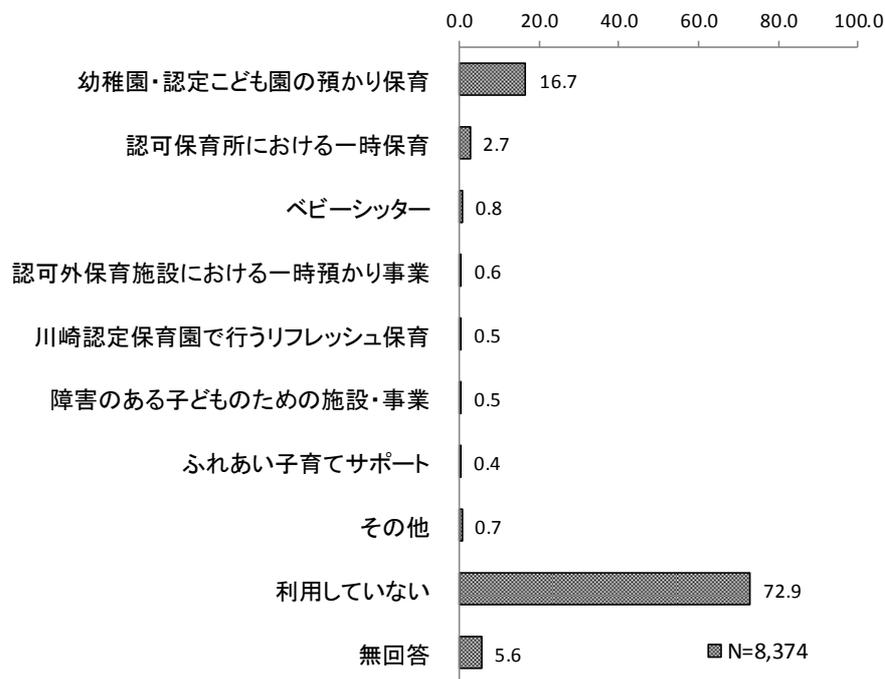
### (1) 不定期の事業の利用状況

#### ア 利用している事業

利用している事業について聞いたところ、「幼稚園・認定こども園の預かり保育」が16.7%となっている。

年齢別の利用事業で見ると、3・4・5歳は「幼稚園・認定こども園の預かり保育」が20%を超えて多くなっている。

#### ■ 就学前子ども(問8-1) (MA: 利用している方)



#### ■ 年齢別の利用事業(問8-1×問1-3) (MA: 利用している方)

	合計 (N)	幼稚園・ 認定こども 園の預 かり保育 (就園時 間を延長 して預か る事業の うち不 定期利 用の場 合) (%)	認可保 育所にお ける一時 保育 (%)	川崎認 定保 育園で 行うリ フレッ シュ保 育 (%)	認可外 保 育施設 にお ける一 時預 かり 事業 (%)	ふれあ い子 育てサ ポート (%)	ベビー シッ ター (%)	障害の ある (発達 の遅 れや 障害 の疑 いを含 む)子 ども のため の施設 ・事 業 (%)	その他 (%)	利用し てい ない (%)	無回 答 (%)
全体	8374	16.7	2.7	0.5	0.6	0.4	0.8	0.5	0.7	72.9	5.6
0歳	2462	12.8	1.8	0.3	0.6	0.3	1.0	0.2	0.6	78.2	4.9
1歳	1381	10.4	5.1	1.2	0.9	0.6	1.2	0.3	0.9	76.1	5.6
2歳	1349	13.3	4.7	0.7	0.6	0.7	0.8	0.7	0.8	74.4	5.5
3歳	1130	22.7	1.8	0.3	0.6	0.4	0.5	0.5	0.9	68.8	4.7
4歳	937	23.7	1.3	0.3	1.0	0.1	0.5	1.2	0.1	67.3	6.6
5歳	971	26.0	0.7	0.3	-	0.2	0.2	0.9	0.5	65.0	6.6

\*全体±5%以上を網掛け

利用事業別の利用状況でみると、1年間の利用日数については「ベビーシッター」で「3日」が19.4%、「認可外保育施設における一時預かり事業」で「1日」が17.0%、「ふれあい子育てサポート」で「1日」が14.7%、と多い。

1週間の利用日数はいずれも「1日」が多くなっている。

利用時間については、「認可保育所における一時保育」「認可外保育施設における一時預かり事業」では「8時間」が最も多く、「ふれあい子育てサポート」「ベビーシッター」では「3時間」が多くなっている。

## ■利用事業別の利用状況(問8-1) (MA:利用している方)

(1年間の利用日数)

	合計 (N)	1日 (%)	2日 (%)	3日 (%)	4日 (%)	5日 (%)	6日 (%)	7日 (%)	8日 (%)	9日 (%)	10日 (%)	11~15日 (%)
幼稚園・認定こども園の預かり保育	1398	1.2	2.6	3.0	0.9	3.7	0.6	0.6	0.6	-	5.4	2.1
認可保育所における一時保育	226	4.9	2.2	7.1	1.3	3.5	1.8	1.3	1.3	-	5.8	7.1
川崎認定保育園で行うリフレッシュ保育	44	13.6	13.6	9.1	6.8	2.3	2.3	-	-	-	6.8	4.5
認可外保育施設における一時預かり事業	53	17.0	15.1	5.7	-	15.1	-	-	-	-	5.7	5.7
ふれあい子育てサポート	34	14.7	2.9	5.9	2.9	8.8	5.9	-	-	-	14.7	8.8
ベビーシッター	67	9.0	13.4	19.4	-	7.5	1.5	1.5	1.5	-	11.9	3.0
障害のある子どものための施設・事業	44	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	2.3	-	2.3	-	2.3	6.8
その他	56	1.8	1.8	-	-	8.9	-	-	1.8	-	1.8	8.9

	合計 (N)	16~20日 (%)	21~25日 (%)	26~30日 (%)	31~35日 (%)	36~40日 (%)	41~45日 (%)	46~50日 (%)	51~55日 (%)	56~60日 (%)	61日以上 (%)	無回答 (%)
幼稚園・認定こども園の預かり保育	1398	2.0	0.4	1.3	0.1	0.6	-	0.4	-	0.2	1.6	72.7
認可保育所における一時保育	226	2.7	1.8	3.5	0.4	4.0	0.9	0.9	0.4	1.8	5.8	41.6
川崎認定保育園で行うリフレッシュ保育	44	2.3	4.5	2.3	-	-	2.3	6.8	-	-	-	22.7
認可外保育施設における一時預かり事業	53	3.8	3.8	-	-	-	-	1.9	-	-	3.8	22.6
ふれあい子育てサポート	34	-	-	-	2.9	2.9	-	8.8	-	-	2.9	17.6
ベビーシッター	67	1.5	1.5	6.0	-	-	-	3.0	-	1.5	-	17.9
障害のある子どものための施設・事業	44	2.3	4.5	-	-	4.5	2.3	9.1	-	4.5	4.5	43.2
その他	56	1.8	-	1.8	-	3.6	5.4	3.6	-	-	7.1	51.8

(1週間の利用日数)

	合計 (N)	1日 (%)	2日 (%)	3日 (%)	4日 (%)	5日 (%)	6日 (%)	7日 (%)	無回答 (%)
幼稚園・認定こども園の預かり保育	1398	6.0	2.5	1.9	0.5	1.8	-	-	87.3
認可保育所における一時保育	226	25.2	9.7	15.5	0.4	2.2	-	-	46.9
川崎認定保育園で行うリフレッシュ保育	44	27.3	-	2.3	2.3	4.5	-	-	63.6
認可外保育施設における一時預かり事業	53	7.5	7.5	3.8	-	3.8	-	-	77.4
ふれあい子育てサポート	34	23.5	-	5.9	-	-	-	-	70.6
ベビーシッター	67	10.4	6.0	-	-	-	1.5	-	82.1
障害のある子どものための施設・事業	44	38.6	13.6	4.5	-	4.5	-	-	38.6
その他	56	35.7	10.7	7.1	-	-	-	-	46.4

(利用時間)

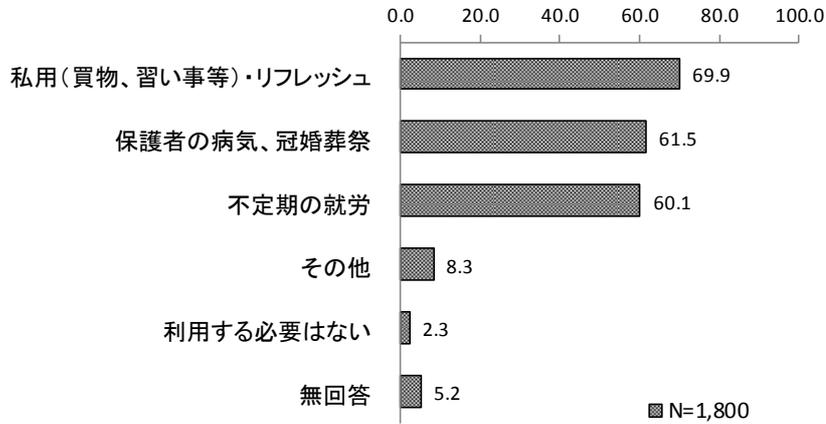
	合計 (N)	1時間 (%)	2時間 (%)	3時間 (%)	4時間 (%)	5時間 (%)	6時間 (%)	7時間 (%)
幼稚園・認定こども園の預かり保育	1398	1.3	7.2	13.3	4.0	1.6	0.8	0.5
認可保育所における一時保育	226	0.9	0.4	4.0	2.2	3.5	7.5	22.6
川崎認定保育園で行うリフレッシュ保育	44	-	-	13.6	4.5	9.1	15.9	22.7
認可外保育施設における一時預かり事業	53	-	3.8	11.3	11.3	18.9	7.5	1.9
ふれあい子育てサポート	34	5.9	20.6	23.5	11.8	11.8	5.9	-
ベビーシッター	67	-	10.4	22.4	17.9	10.4	3.0	4.5
障害のある子どものための施設・事業	44	38.6	18.2	2.3	20.5	2.3	2.3	-
その他	56	8.9	12.5	7.1	14.3	7.1	1.8	7.1

	合計 (N)	8時間 (%)	9時間 (%)	10時間 (%)	11時間 (%)	12時間以上 (%)	無回答 (%)
幼稚園・認定こども園の預かり保育	1398	1.1	0.5	0.4	0.1	0.3	69.0
認可保育所における一時保育	226	43.8	4.0	1.3	-	-	9.7
川崎認定保育園で行うリフレッシュ保育	44	13.6	-	4.5	-	-	15.9
認可外保育施設における一時預かり事業	53	24.5	1.9	5.7	-	-	13.2
ふれあい子育てサポート	34	-	-	-	-	-	20.6
ベビーシッター	67	9.0	1.5	3.0	-	1.5	16.4
障害のある子どものための施設・事業	44	-	-	-	-	2.3	13.6
その他	56	10.7	-	-	-	-	30.4

## イ 利用の目的

利用の目的について聞いたところ、「私用(買い物、習い事等)・リフレッシュ」が69.9%と最も多く、次いで、「保護者の病気、冠婚葬祭」が61.5%、「不定期の就労」が60.1%と続いている。

### ■就学前子ども(問8-3)(MA:利用している方)



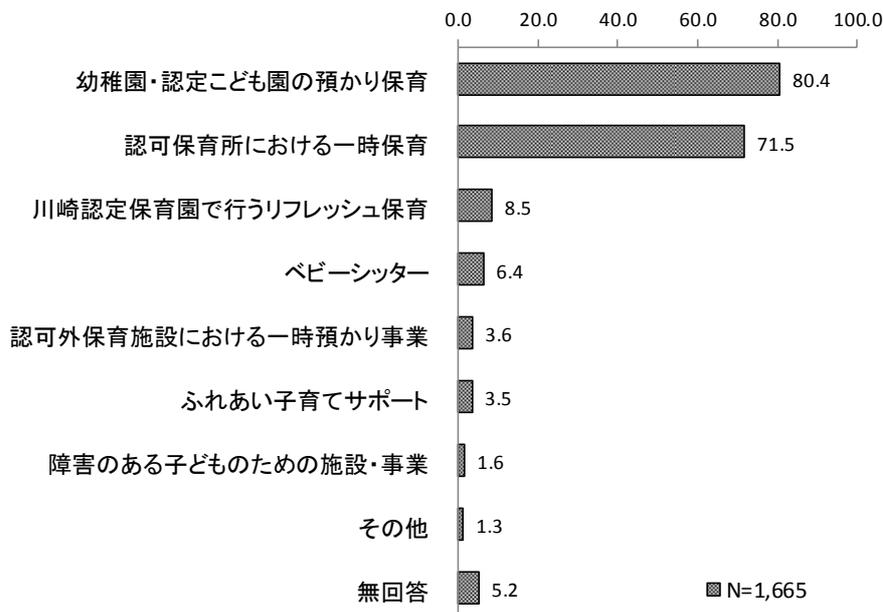
### ■その他の記入例(問8-3)

- ・子どもの希望
- ・兄弟の用事がある時
- ・上の子の学校行事
- ・幼稚園が休みだが定期的の就労があるため
- ・下の子の病気

## ウ 今後利用したい施設類型

今後利用したい施設類型について聞いたところ、「幼稚園・認定こども園の預かり保育」が80.4%と最も多く、「認可保育所における一時保育」が71.5%となっている。

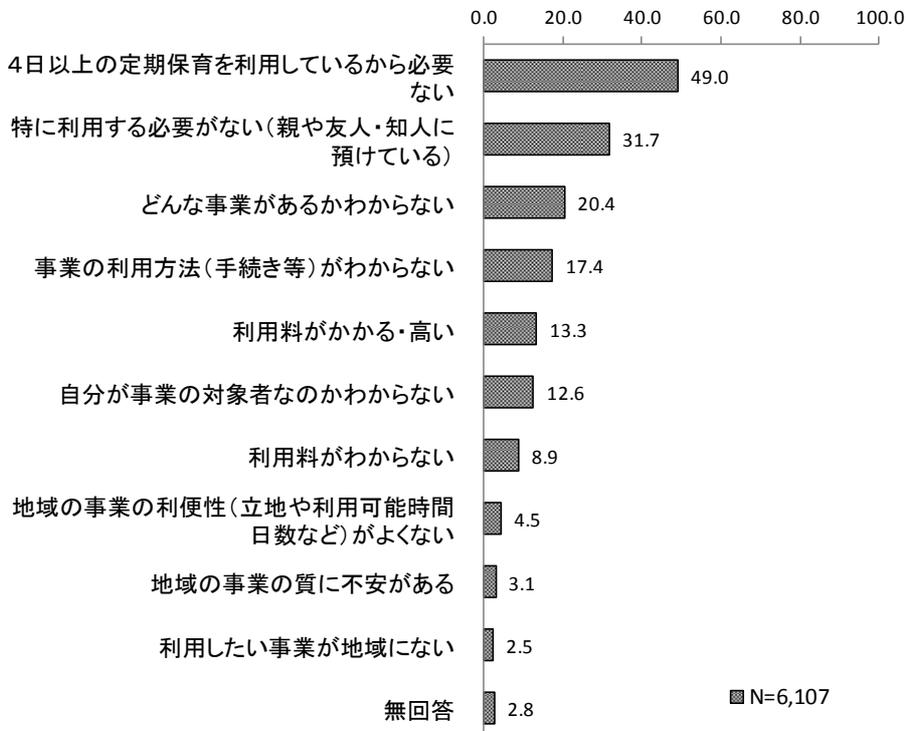
### ■就学前子ども(問8-4)(MA:利用している方)



## (2) 不特定の事業を利用していない理由

不特定の事業を利用していない理由について聞いたところ、「4日以上定期保育を利用しているから必要ない」が49.0%と最も多く、「特に利用する必要がない(親や友人・知人に預けている)」が31.7%、「どんな事業があるかわからない」が20.4%と続いている。

### ■ 就学前子ども(問8-2) (MA: 利用していない方)



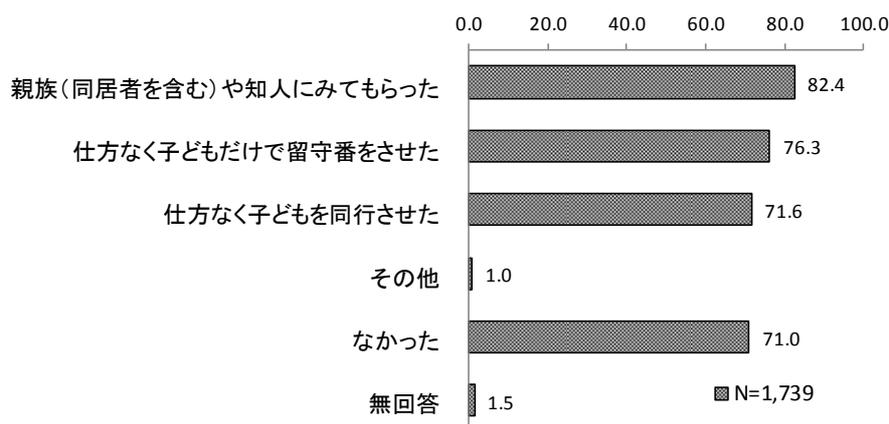
### (3) 平日の夜間や休日の一時預かりの状況

#### ア 平日の夜間や休日の一時預かりの状況

平日の夜間や休日の一時預かりの状況について聞いたところ、「親族や知人にみてもらった」が82.4%と最も多く、次いで、「仕方なく子どもだけで留守番をさせた」が76.3%、「仕方なく子どもを同行させた」が71.6%と続いている。

年間日数をみると、「仕方なく子どもを同行させた」が「1日」で27.4%、「短期入所生活援助事業」が「4日」で20.0%となっている。

#### ■ 就学子ども(問8-1) (MA)



#### ■ 年間日数(問8-1) (MA)

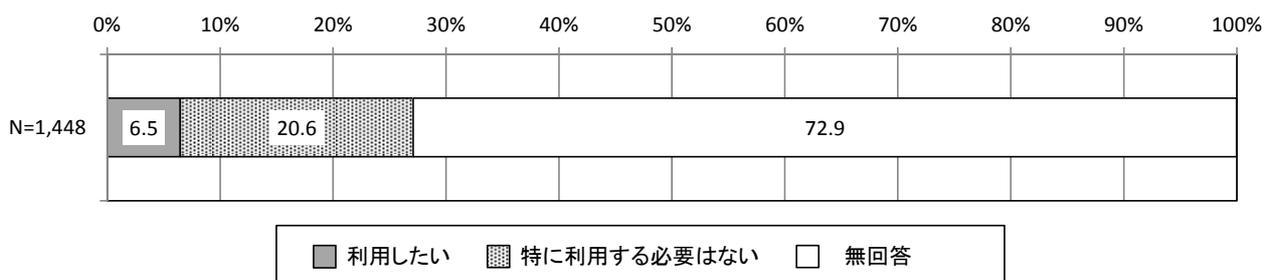
	合計 (N)	1日 (%)	2日 (%)	3日 (%)	4日 (%)	5日 (%)	6日 (%)	7日 (%)	8日 (%)	9日 (%)	10日 (%)	11~15日 (%)
親族(同居者を含む)や知人にみてもらった	1433	4.3	3.1	3.1	0.7	1.7	0.1	0.4	-	-	2.9	0.6
仕方なく子どもを同行させた	1245	1.3	0.8	0.9	0.2	0.3	-	-	-	-	0.2	-
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	1327	2.1	1.7	1.1	0.3	1.0	0.2	0.2	0.1	-	1.7	0.2
その他	17	17.6	11.8	-	5.9	5.9	-	5.9	-	-	11.8	-

	合計 (N)	16~20日 (%)	21~25日 (%)	26~30日 (%)	31~35日 (%)	36~40日 (%)	41~45日 (%)	46~50日 (%)	51~55日 (%)	56~60日 (%)	61日以上 (%)	無回答 (%)
親族(同居者を含む)や知人にみてもらった	1433	1.0	0.1	0.6	-	0.2	0.1	0.3	-	0.1	0.1	80.8
仕方なく子どもを同行させた	1245	-	0.1	0.1	-	-	-	-	-	-	-	96.2
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	1327	0.2	0.2	0.2	-	-	-	0.1	0.1	-	0.1	90.8
その他	17	-	-	-	-	-	-	5.9	-	-	5.9	29.4

#### イ 夜間養護等(トワイライトステイ)事業の利用希望

夜間養護等(トワイライトステイ)事業の利用希望について聞いたところ、「利用したい」6.5%、「特に利用する必要はない」が20.6%となっている。

#### ■ 就学子ども(問8-2) (SA: 平日の夜間や休日の一時預かりがあった方)

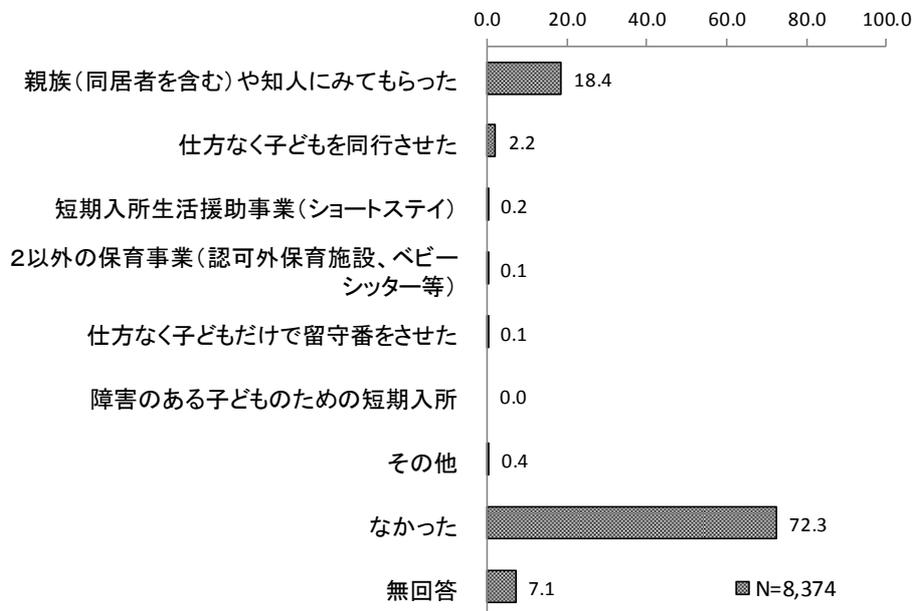


#### (4) 保護者の用事による宿泊を伴う一時預かりの状況

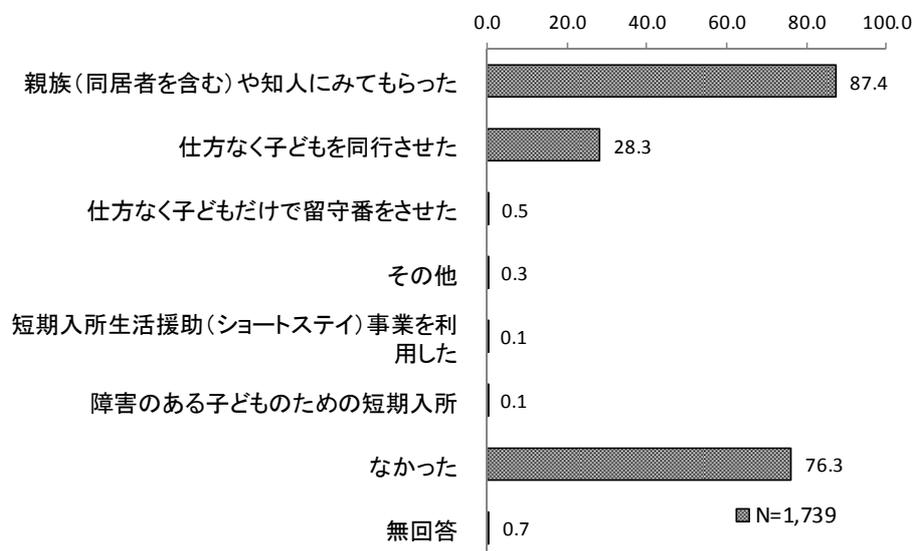
保護者の用事による宿泊を伴う一時預かりの状況について聞いたところ、就学前子どもでは「親族(同居者を含む)や知人にみてもらった」が18.4%となっている。

就学子どもでは「親族(同居者を含む)や知人にみてもらった」が87.4%、「仕方なく子どもを同行させた」が28.3%となっている。

##### ■ 就学前子ども(問8-5) (MA)



##### ■ 就学子ども(問8-3) (MA)



■年間宿泊日数(MA)

(就学前子ども) (問8-5)

	合計 (N)	1泊 (%)	2泊 (%)	3泊 (%)	4泊 (%)	5泊 (%)	6泊 (%)	7泊 (%)	8泊 (%)	9泊 (%)	10泊 (%)	11~15泊 (%)
親族や知人にみてもらった	1542	10.5	8.2	6.5	3.1	6.4	1.4	3.2	0.8	0.1	4.0	1.4
短期入所生活援助事業	15	13.3	6.7	13.3	20.0	-	-	-	-	-	-	-
2以外の保育事業	7	-	14.3	-	-	-	-	14.3	14.3	-	-	-
仕方なく子どもを同行させた	186	27.4	16.7	11.3	4.3	10.2	0.5	2.7	1.1	0.5	5.9	2.2
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	8	12.5	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
障害のある子どものための短期入所	2	-	-	-	-	-	50.0	50.0	-	-	-	-
その他	34	11.8	17.6	11.8	2.9	11.8	-	8.8	-	-	-	2.9

	合計 (N)	16~20泊 (%)	21~25泊 (%)	26~30泊 (%)	31~35泊 (%)	36~40泊 (%)	41~45泊 (%)	46~50泊 (%)	51~55泊 (%)	56~60泊 (%)	61泊以上 (%)	無回答 (%)
親族や知人にみてもらった	1542	1.8	0.3	0.8	0.1	0.4	-	0.4	-	0.3	0.6	49.9
短期入所生活援助事業	15	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	46.7
2以外の保育事業	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	57.1
仕方なく子どもを同行させた	186	1.1	1.1	-	-	-	-	-	-	-	-	15.1
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	87.5
障害のある子どものための短期入所	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
その他	34	-	-	-	-	2.9	-	-	-	2.9	-	26.5

(就学子ども) (問8-3)

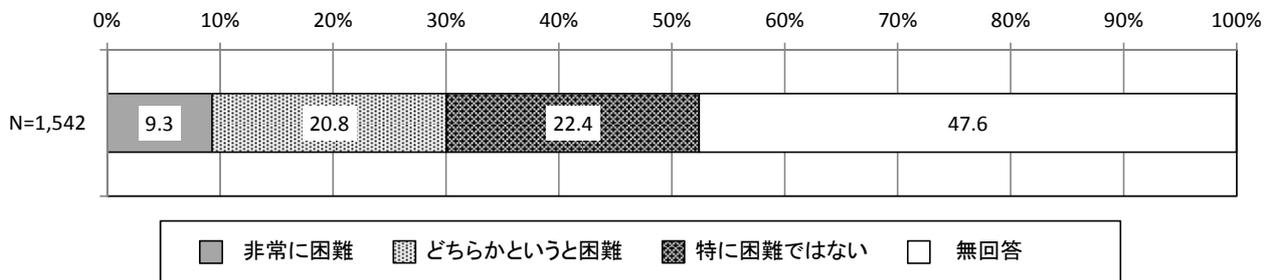
	合計 (N)	1泊 (%)	2泊 (%)	3泊 (%)	4泊 (%)	5泊 (%)	6泊 (%)	7泊 (%)	8泊 (%)	9泊 (%)	10泊 (%)	11~15泊 (%)
親族(同居者を含む)や知人にみてもらった	1520	3.1	2.4	1.1	0.3	1.4	0.1	0.3	-	-	-	0.9
仕方なく子どもを同行させた	493	1.6	1.4	1.2	-	0.6	-	0.2	-	-	-	0.2
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	8	37.5	25.0	12.5	-	12.5	-	-	-	-	-	-
その他	6	33.3	16.7	16.7	-	-	-	-	-	-	-	-
短期入所生活援助(ショートステイ)事業を利用した	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-
障害のある子どものための短期入所	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-

	合計 (N)	16~20泊 (%)	21~25泊 (%)	26~30泊 (%)	31~35泊 (%)	36~40泊 (%)	41~45泊 (%)	46~50泊 (%)	51~55泊 (%)	56~60泊 (%)	61泊以上 (%)	無回答 (%)
親族(同居者を含む)や知人にみてもらった	1520	0.3	0.1	0.1	-	-	-	0.1	-	-	0.1	90.1
仕方なく子どもを同行させた	493	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	94.7
仕方なく子どもだけで留守番をさせた	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12.5
その他	6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3
短期入所生活援助(ショートステイ)事業を利用した	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
障害のある子どものための短期入所	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

### (5) 親族や知人に預けた場合の困難度

親族や知人に預けた場合の困難度について聞いたところ、「非常に困難」と「どちらかという困難」を合わせると30.1%となっている。

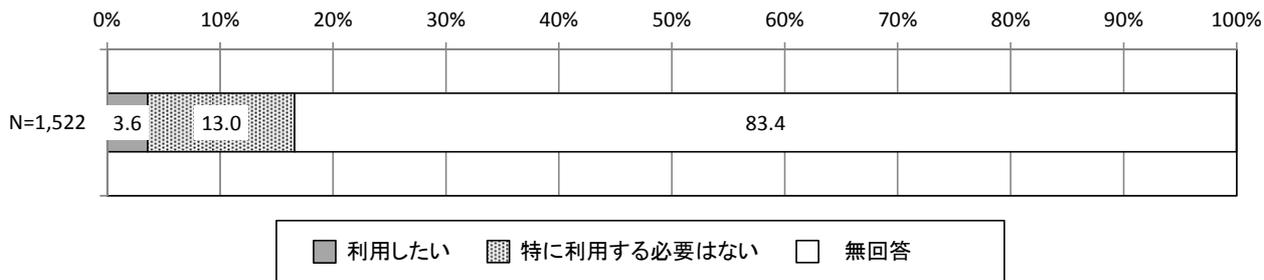
■ 就学前子ども(問8-6) (SA: 親族・知人にみてもらった)



### (6) 短期入所生活援助(ショートステイ)事業の利用希望

短期入所生活援助(ショートステイ)事業の利用希望について聞いたところ、「利用したい」が3.6%、「特に利用する必要はない」が13.0%となっている。

■ 就学子ども(問8-4) (SA: 親族・知人にみてもらった及び同行・留守番をさせた方)



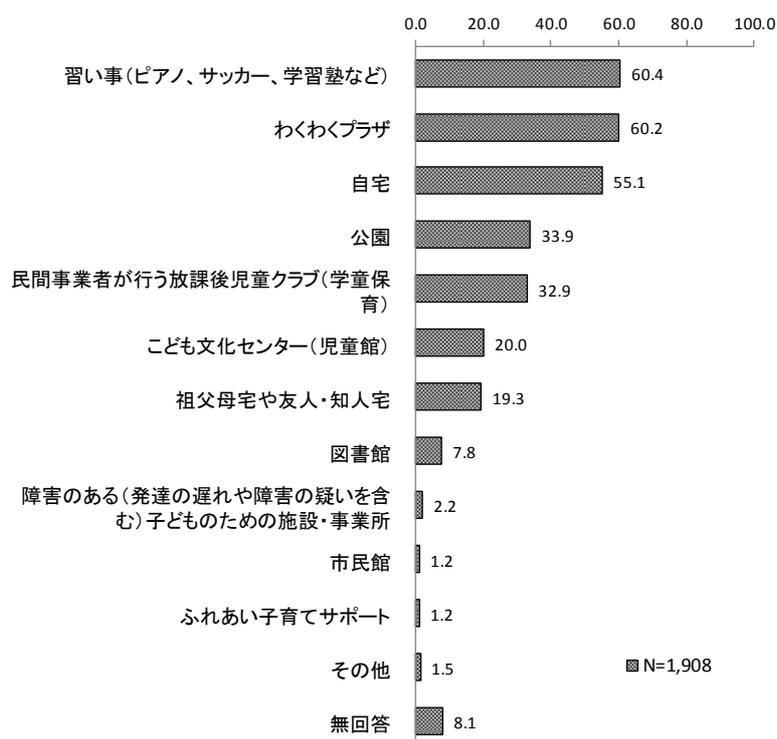
## 9 小学校就学後の放課後事業の利用希望について（4歳以上の就学前子ども）

### (1) 低学年のうちの保護者が希望する子どもの放課後の過ごし方

低学年のうちの保護者が希望する子どもの放課後の過ごし方について聞いたところ、「習い事(ピアノ、サッカー、学習塾など)」が60.4%と最も多く、次いで、「わくわくプラザ」が60.2%、「自宅」が55.1%となっている。

週あたりの希望日数をみると、「図書館」が「1日」で66.4%と最も高く、「わくわくプラザ」が「5日」で28.3%となっている。

#### ■ 就学前子ども(問9-1) (MA:あて名の子が4歳以上)



#### ■ 週あたりの希望日数(問9-1) (MA:あて名の子が4歳以上)

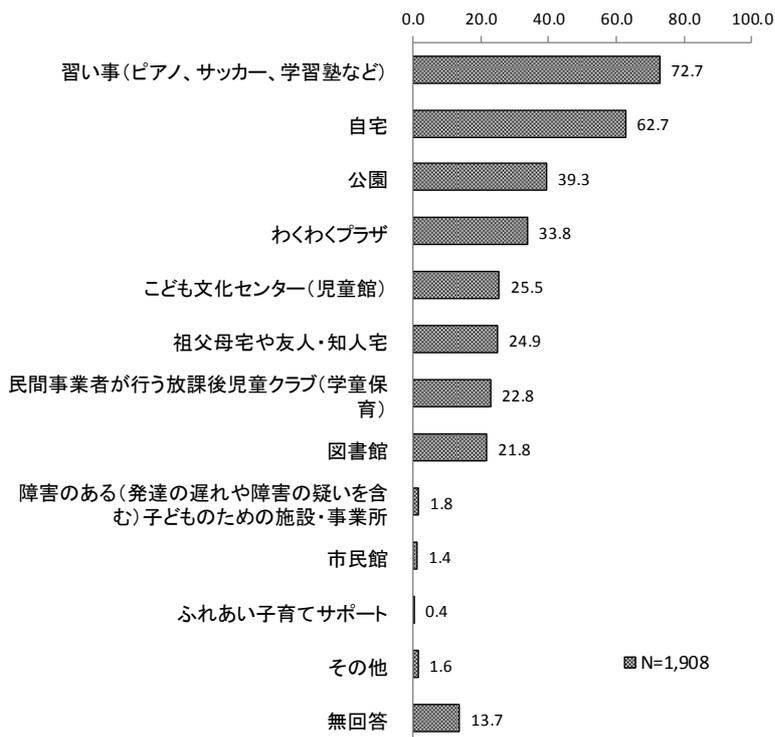
	合計 (N)	1日 (%)	2日 (%)	3日 (%)	4日 (%)	5日 (%)	6日 (%)	7日 (%)	無回答 (%)
自宅	1051	16.6	19.6	16.9	6.2	15.3	0.7	2.7	22.1
祖父母宅や友人・知人宅	368	40.2	13.6	3.0	-	6.8	-	0.3	36.1
習い事	1153	25.5	39.5	16.6	2.3	1.9	-	0.1	14.1
こども文化センター	382	26.2	12.0	6.8	1.6	6.8	0.5	0.5	45.5
わくわくプラザ	1148	13.6	17.8	14.9	6.4	28.3	1.3	0.1	17.7
民間事業者が行う放課後児童クラブ	628	7.0	12.4	15.6	3.5	28.0	1.6	-	31.8
ふれあい子育てサポート	22	31.8	18.2	4.5	-	22.7	-	-	22.7
障害のある子どものための施設・事業所	42	28.6	14.3	19.0	4.8	23.8	4.8	-	4.8
図書館	149	66.4	8.7	4.0	-	2.0	-	0.7	18.1
市民館	23	39.1	-	13.0	-	-	-	-	47.8
公園	646	20.9	21.7	16.4	2.0	5.4	0.3	0.6	32.7
その他	28	3.6	14.3	17.9	-	32.1	-	-	32.1

## (2) 高学年のときの保護者が希望する子どもの放課後の過ごし方

高学年のときの保護者が希望する子どもの放課後の過ごし方について聞いたところ、「習い事(ピアノ、サッカー、学習塾など)」が72.7%と最も多く、次いで、「自宅」が62.7%、「公園」が39.3%となっている。

週あたりの希望日数をみると、「習い事」が「2日」で37.8%と最も高く、「図書館」が「1日」で30.8%となっている。

### ■ 就学前子ども(問9-2) (MA:あて名の子が4歳以上)



### ■ 週あたりの希望日数(問9-2) (MA:あて名の子が4歳以上)

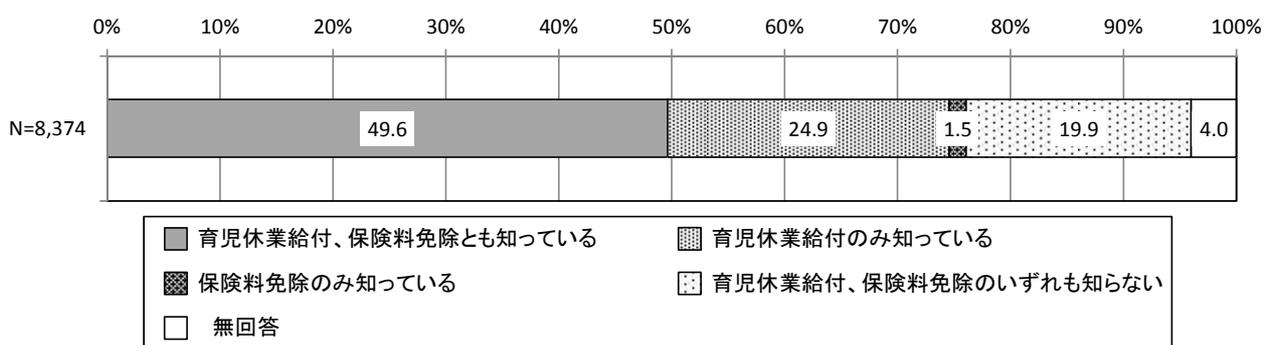
	合計 (N)	1日 (%)	2日 (%)	3日 (%)	4日 (%)	5日 (%)	6日 (%)	7日 (%)	無回答 (%)
自宅	1196	20.2	24.1	16.0	4.1	15.0	0.4	2.1	18.2
祖父母宅や友人・知人宅	475	28.2	15.2	4.0	0.2	4.4	-	0.2	47.8
習い事	1388	13.3	37.8	26.3	6.4	5.6	0.1	-	10.5
こども文化センター	487	23.4	13.8	6.8	1.4	5.7	0.2	0.2	48.5
わくわくプラザ	644	18.3	18.9	12.9	2.5	17.2	0.6	0.2	29.3
民間事業者が行う放課後児童クラブ	435	8.7	14.0	12.9	2.3	14.3	0.7	0.2	46.9
ふれあい子育てサポート	8	25.0	12.5	-	-	37.5	-	-	25.0
障害のある子どものための施設・事業所	35	11.4	17.1	22.9	2.9	34.3	2.9	-	8.6
図書館	416	30.8	9.4	3.4	-	2.6	-	0.2	53.6
市民館	27	40.7	11.1	14.8	-	7.4	-	-	25.9
公園	750	18.3	24.1	14.3	2.4	8.3	0.4	0.5	31.7
その他	31	12.9	12.9	16.1	3.2	25.8	-	-	29.0

## 10 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

### (1) 健康保険料及び厚生年金保険料の免除制度の認知度

健康保険料及び厚生年金保険料の免除制度の認知度について聞いたところ、「育児休業給付、保険料免除とも知っている」が49.6%と最も多く、次いで、「育児休業給付のみ知っている」が24.9%、「育児休業給付、保険料免除のいずれも知らない」が19.9%と続いている。

#### ■ 就学前子ども(問10-1) (SA)

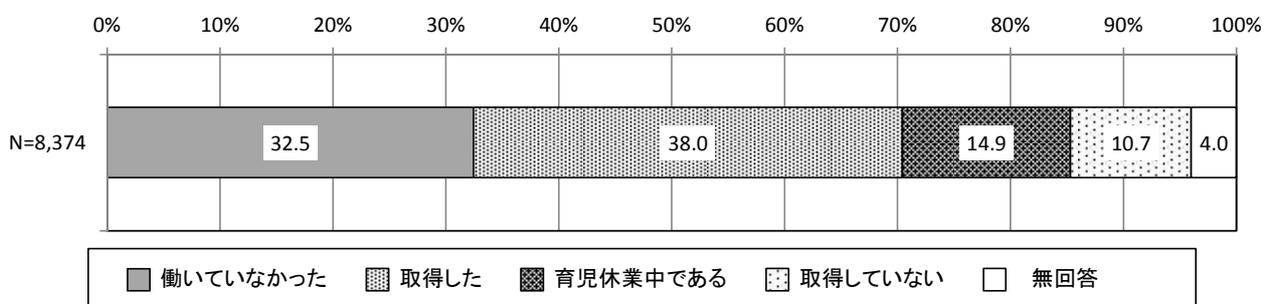


### (2) 育児休業制度の取得状況

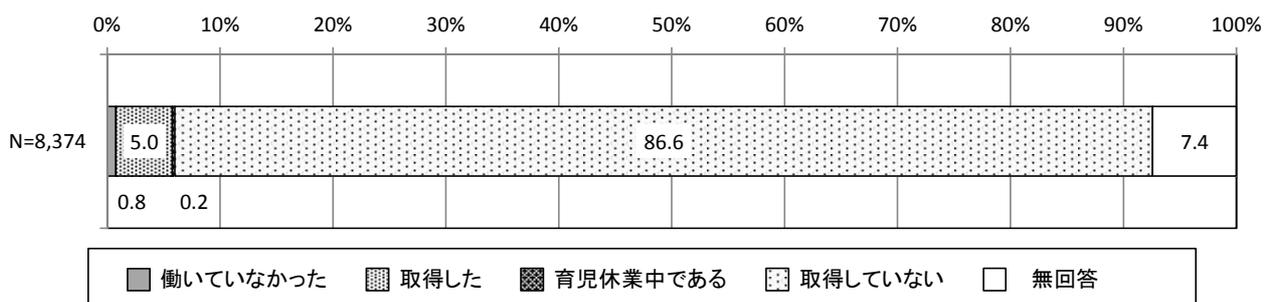
#### ア 取得状況

育児休業制度の取得状況について聞いたところ、「取得した」と「育児休業中である」を合わせると母親が52.9%、父親が5.2%となっている。

#### ■ 母親(問10-2) (SA)



#### ■ 父親(問10-2) (SA)

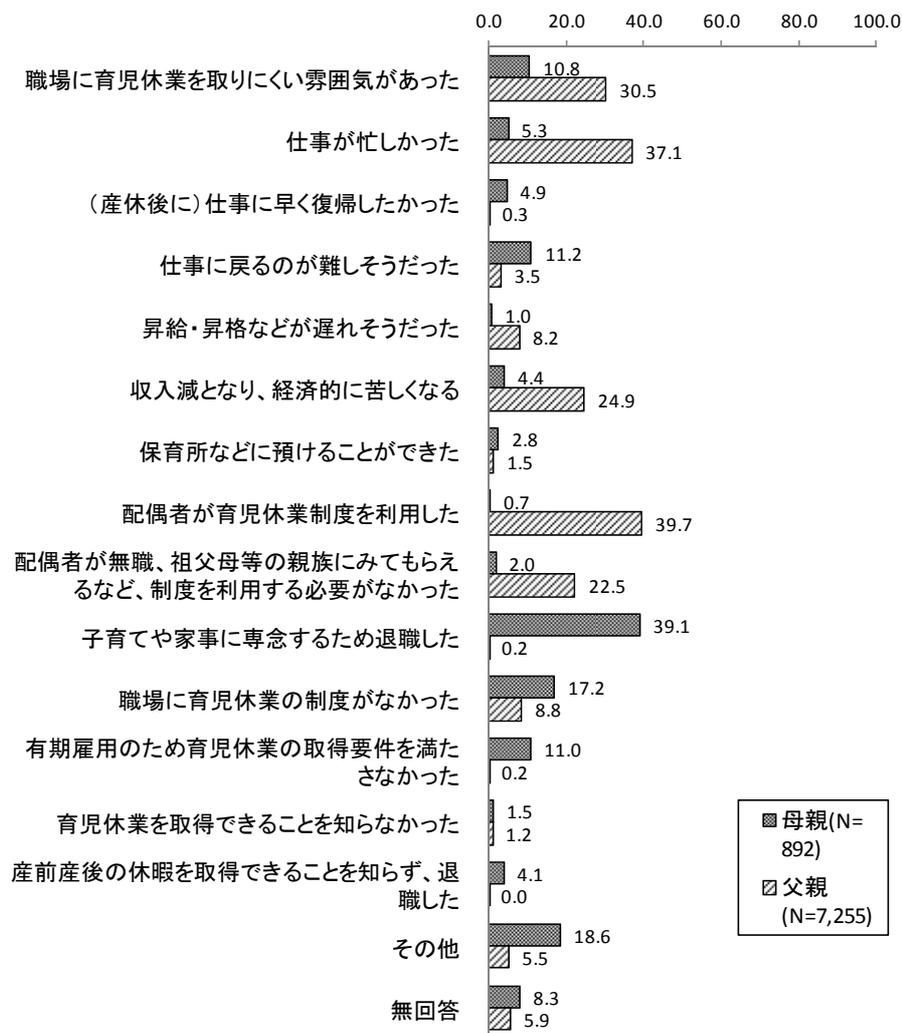


## イ 取得しなかった理由

取得しなかった理由について聞いたところ、母親では、「子育てや家事に専念するため退職した」が39.1%と最も多く、次いで「職場に育児休業の制度がなかった」が17.2%、「仕事に戻るのが難しそうだった」が11.2%と続いている。

父親では、「配偶者が育児休業制度を利用した」が39.7%と最も多く、次いで、「仕事が忙しかった」が37.1%、「職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった」が30.5%と続いている。

### ■母親・父親別の理由(問10-2) (MA：育児休業を取得していない方)

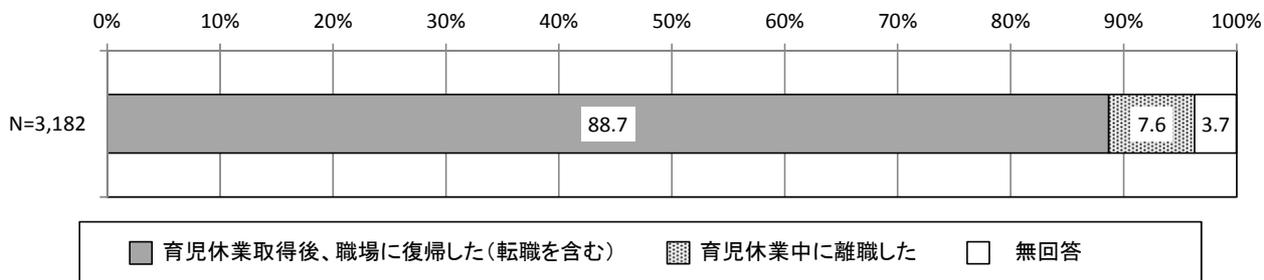


### (3) 育児休業取得後の職場復帰の状況

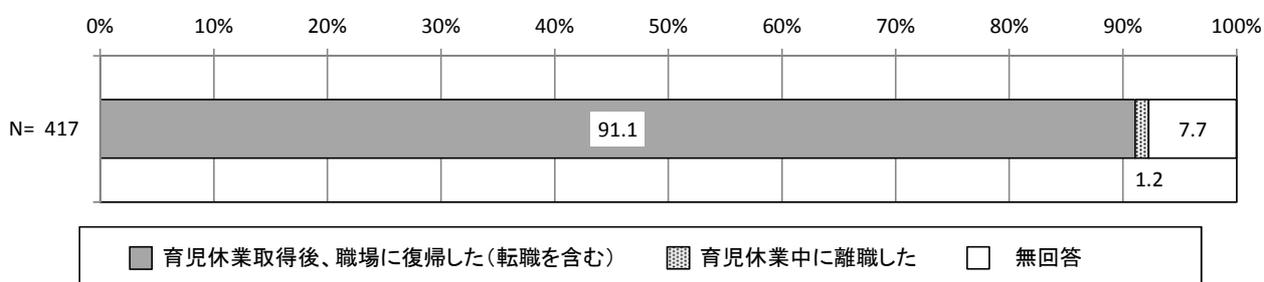
#### ア 職場復帰の状況

職場復帰の状況について聞いたところ、「職場に復帰した」は母親が88.7%、父親が91.1%となっている。

#### ■ 母親(問10-3) (SA: 育児休業を取得した方)



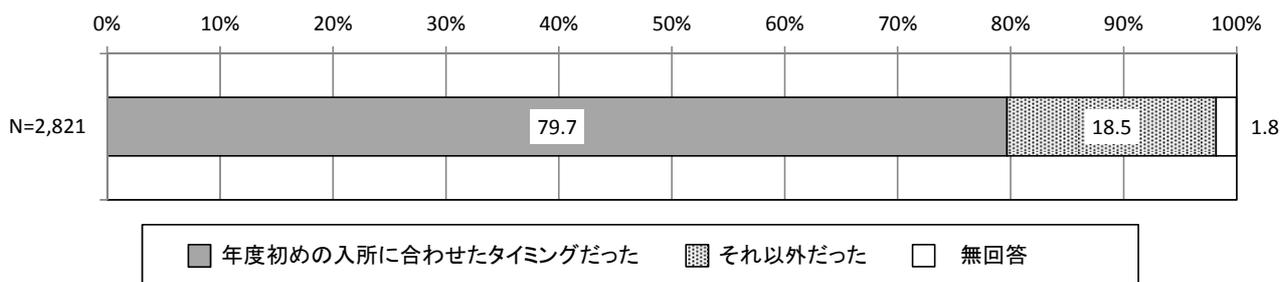
#### ■ 父親(問10-3) (SA: 育児休業を取得した方)



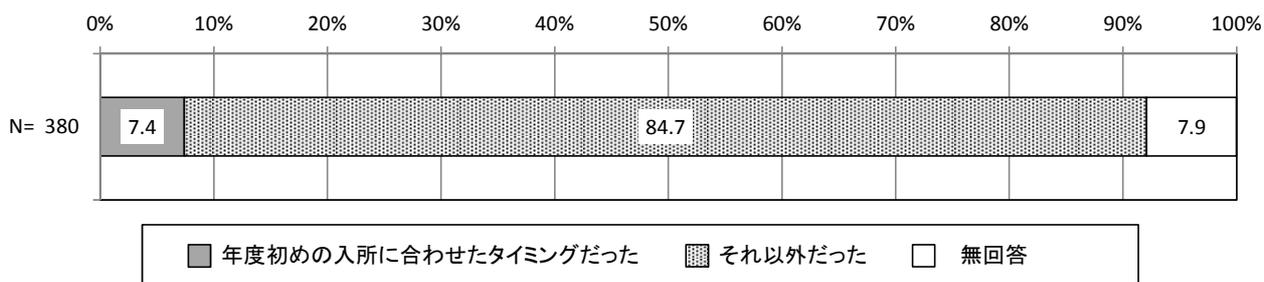
#### イ 年度初めの保育所入所に合わせた職場復帰のタイミング

年度初めの保育所入所に合わせた職場復帰のタイミングについて聞いたところ、母親が「年度初めの入所に合わせたタイミングだった」79.7%、父親が「それ以外だった」が84.7%となっている。

#### ■ 母親(問10-4) (SA: 育児休業を取得した方)



#### ■ 父親(問10-4) (SA: 育児休業を取得した方)



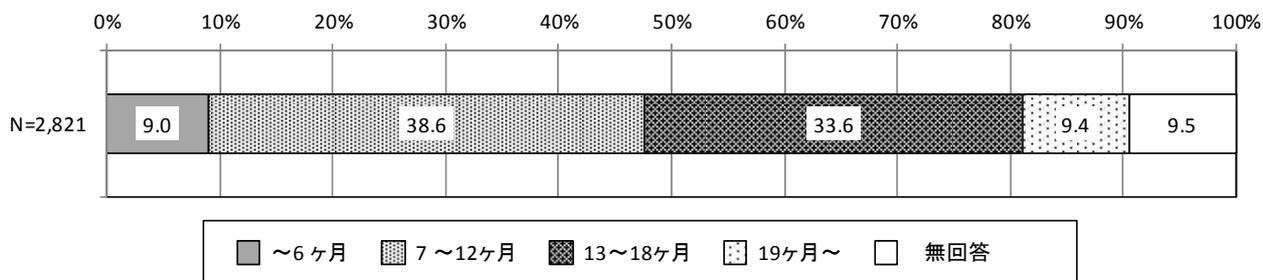
### ウ 実際と希望の育児休業取得期間

実際の取得期間については、母親が「7～12ヶ月」で38.6%、父親が「～6ヶ月」で56.6%と最も多い。

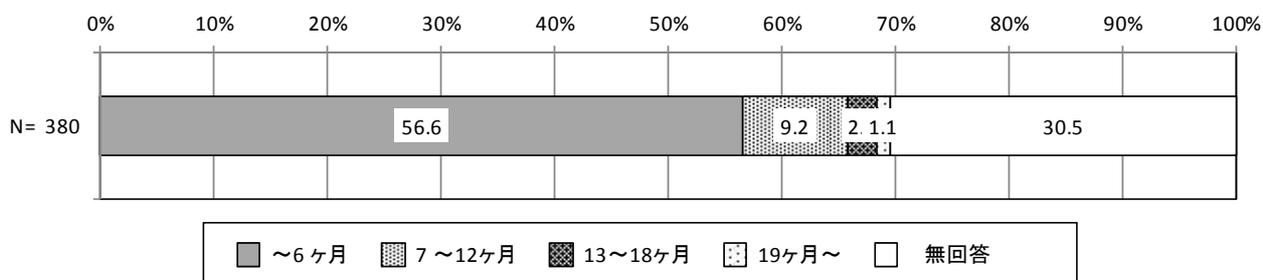
希望の取得期間については、母親が「7～12ヶ月」で30.7%、父親が「～6ヶ月」で37.6%と、いずれも実際の取得期間の割合よりも少なくなっている。

#### ①実際の取得期間

■母親(問10-5) (SA: 育児休業を取得した方)

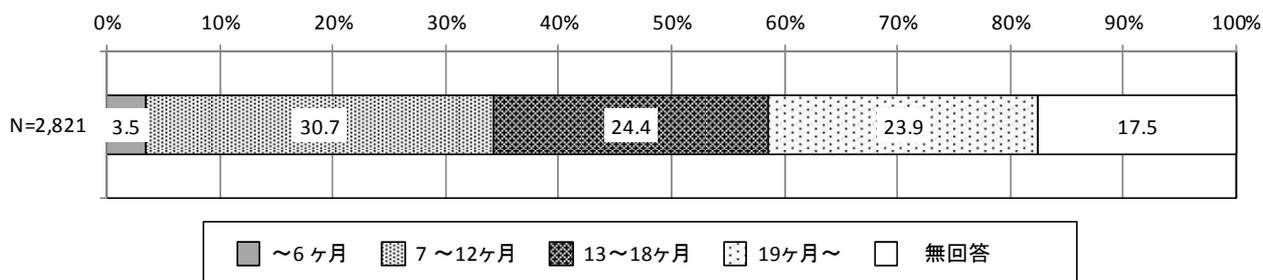


■父親(問10-5) (SA: 育児休業を取得した方)

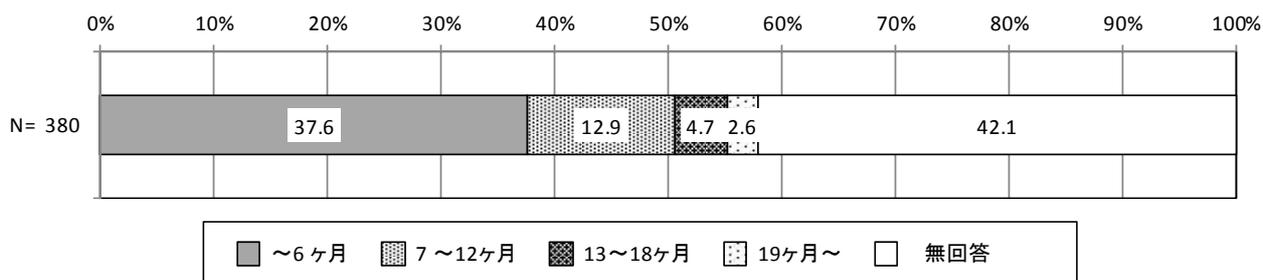


#### ②希望の取得期間

■母親(問10-5) (SA: 育児休業を取得した方)



■父親(問10-5) (SA: 育児休業を取得した方)

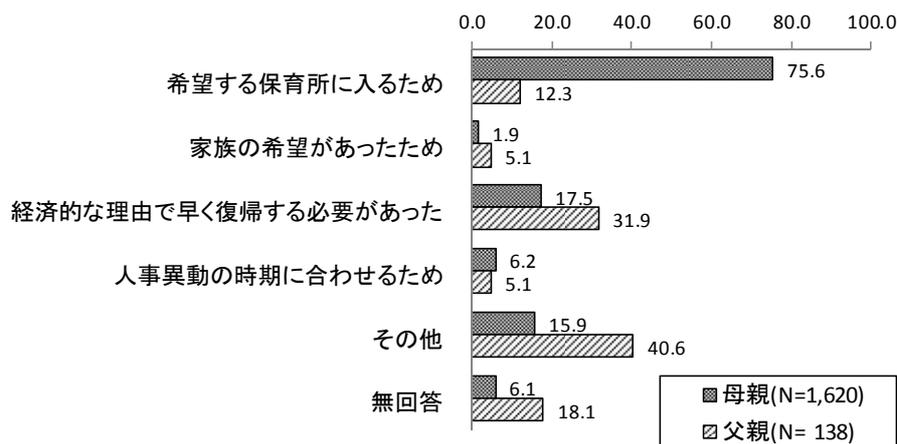


エ 希望の時期に職場復帰しなかった理由

希望の時期に職場復帰しなかった理由について聞いたところ、希望より早く復帰した方では、母親が「希望する保育所に入るため」が75.6%、父親が「経済的な理由で早く復帰する必要がある」31.9%となっている。

希望より遅く復帰した方では、母親が「希望する保育所に入れなかったため」が57.3%となっている。

■希望より早く復帰した方(問10-7) (MA)



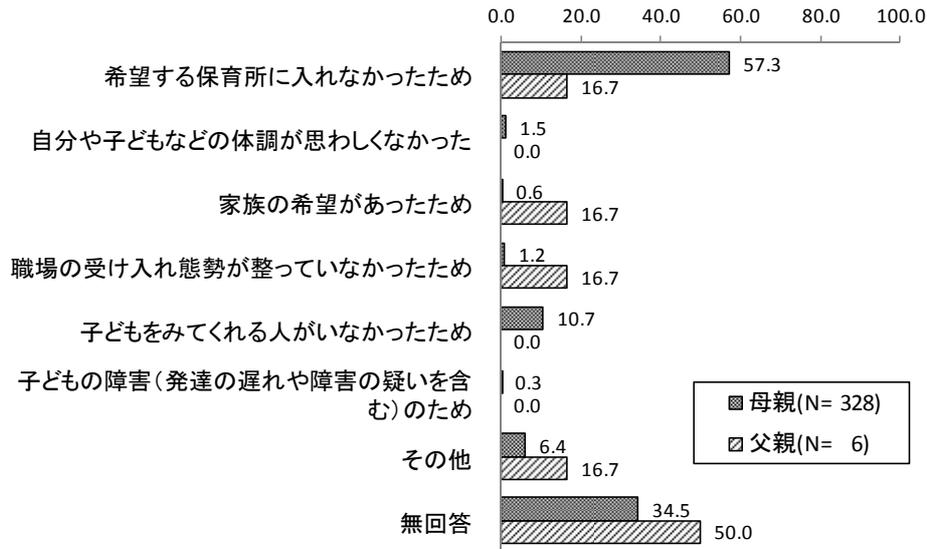
■その他の記入例(問10-7)(母親)

- ・0才の4月じゃないと保育園に入れないから
- ・職場からの希望
- ・1歳6ヶ月以降は育児休業給付金がなくなるため
- ・保育園に入るため
- ・仕事に戻るのが難しくなる

■その他の記入例(問10-7)(父親)

- ・会社の意向
- ・仕事に早期復帰しなければならなかった
- ・業務の都合
- ・仕事が忙しい。早く復帰したかった。
- ・職場から復帰を求められたため

■希望より遅く復帰した方(問10-7) (MA)



■その他の記入例(問10-7)(母親)

- ・第2子がいたため
- ・夫が海外赴任となり、自分1人で仕事と子育てを両立する自信がなかったので海外へ同行した
- ・通勤時間が長いため、対応(開園)出来る園に入れなかった
- ・仕事のタイミング
- ・自宅近くの保育所に空きがなかった為

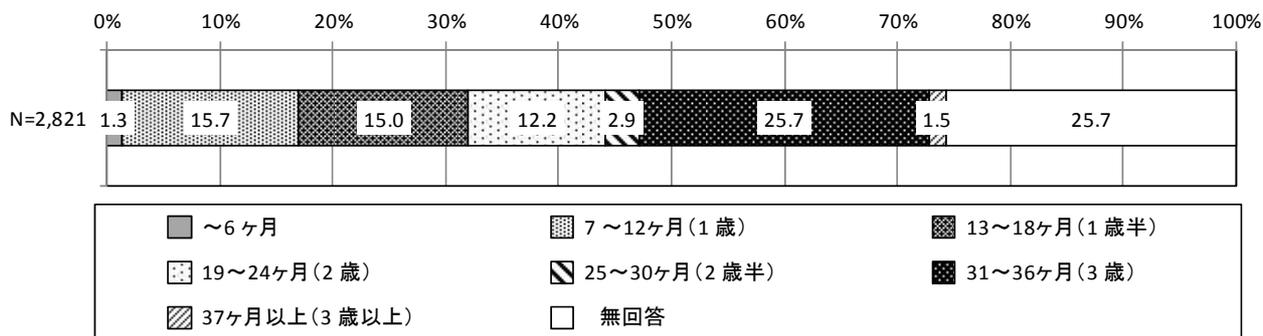
■その他の記入例(問10-7)(父親)

- ・仕事の繁忙期の都合

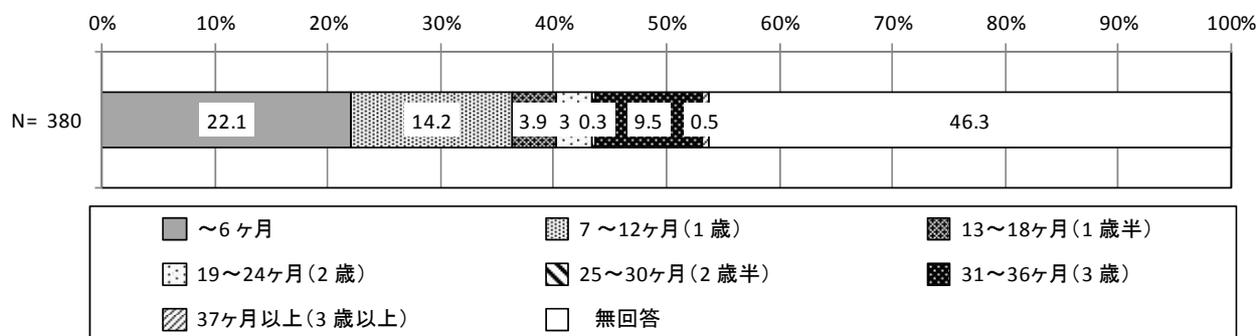
オ 3歳までの休暇取得制度があった場合の希望

母親が「31～36ヶ月（3歳）」で25.7%、父親が「～6ヶ月」で22.1%と最も多くなっている。

■母親（問10-6）（SA：育児休業を取得した方）



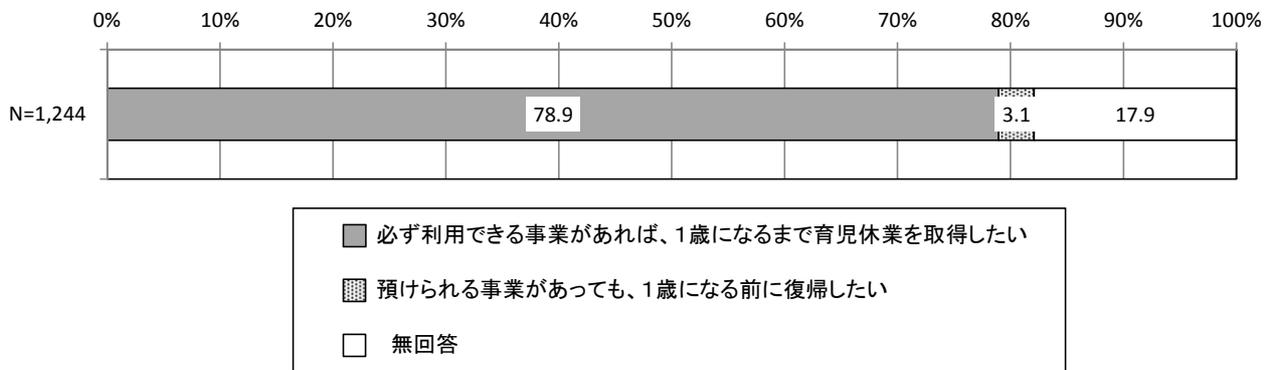
■父親（問10-6）（SA：育児休業を取得した方）



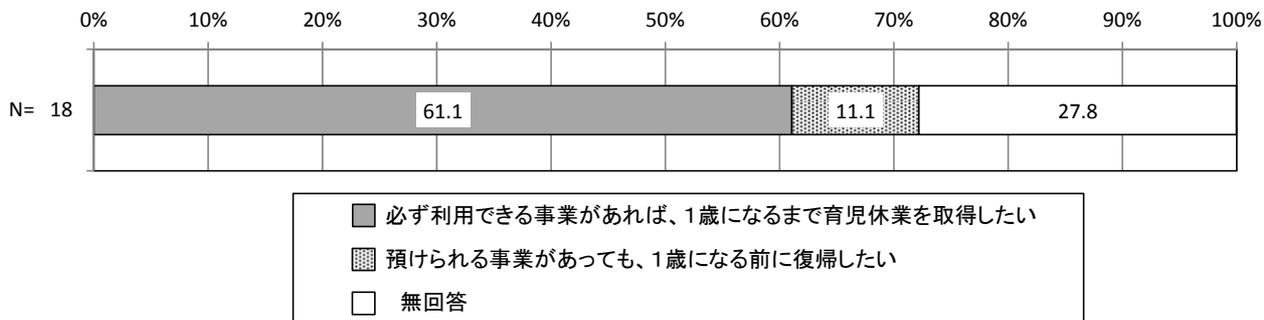
カ 育児休業明けに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得するか

育児休業明けに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得するか聞いたところ、「必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得したい」が母親で78.9%、父親で61.1%となっている。

■母親(問10-10) (SA: 育児休業中の方)



■父親(問10-10) (SA: 育児休業中の方)

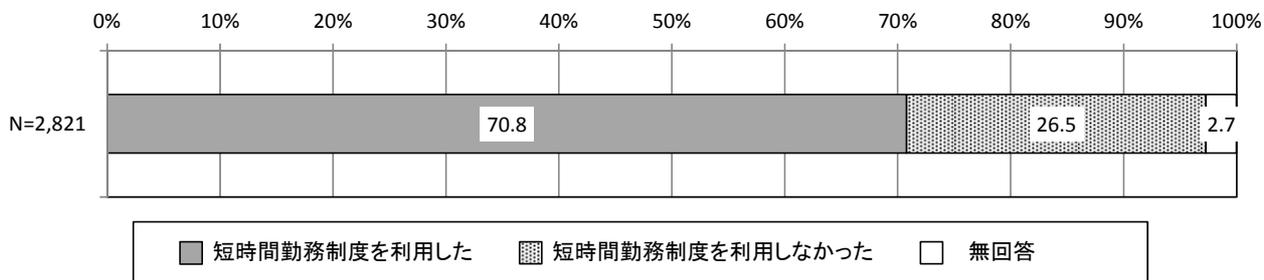


#### (4) 短時間勤務制度の取得状況

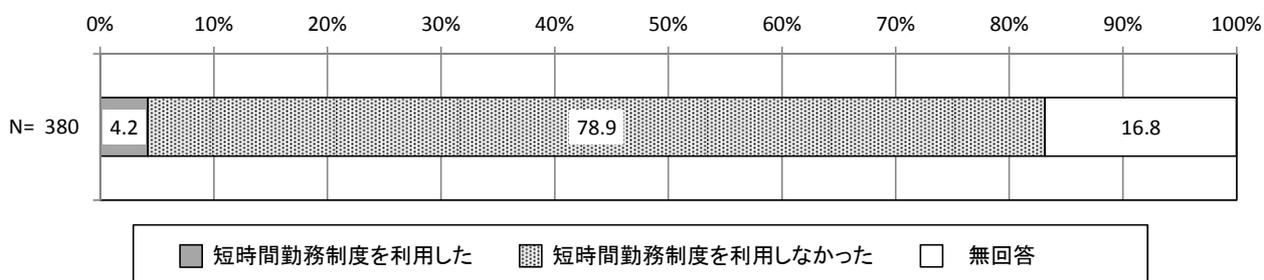
##### ア 短時間勤務制度の取得有無

短時間勤務制度の取得有無について聞いたところ、「短時間勤務制度を利用した」が母親で70.8%、父親で4.2%となっている。

##### ■ 母親(問10-8) (SA: 育児休業取得後、職場に復帰した方)



##### ■ 父親(問10-8) (SA: 育児休業取得後、職場に復帰した方)

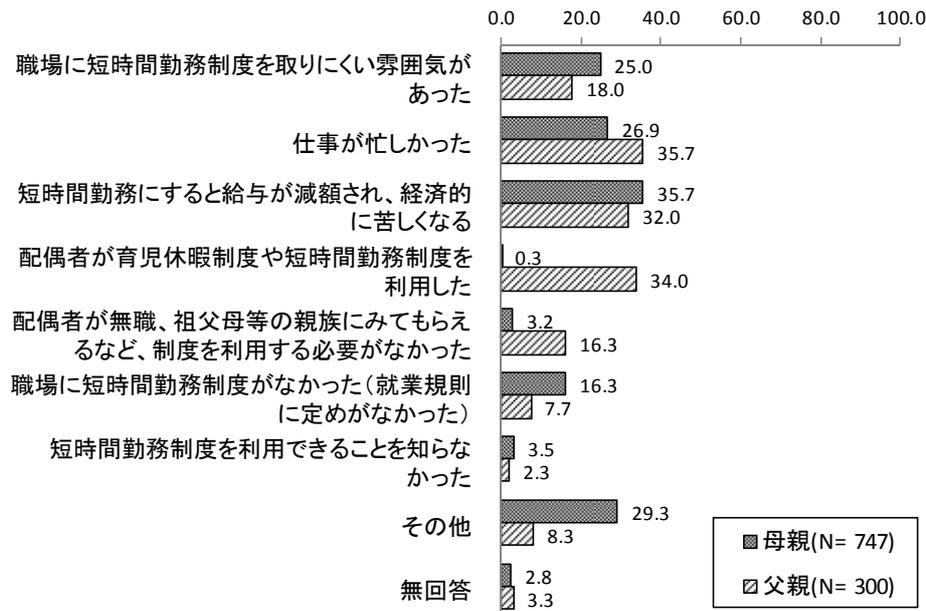


### イ 短時間勤務制度を利用しなかった理由

短時間勤務制度を利用しなかった理由について聞いたところ、母親では「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」が35.7%と最も多く、次いで、「仕事が忙しかった」が26.9%、「職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった」が25.0%と続いている。

父親では「仕事が忙しかった」が35.7%と最も多く、次いで、「配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した」が34.0%、「短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる」が32.0%と続いている。

### ■短時間勤務制度を利用しなかった方(問10-9) (MA)



### ■その他の記入例(問10-9)(母親)

- ・キャリアアップの為短時間勤務を選択しなくなかった
- ・パートなので調節は自らで行った
- ・時差という形で通常勤務に戻った。9-18→7:30-16:30
- ・17:00に帰れば問題ないため
- ・1日6.5Hと短いので特に利用しなかった。

### ■その他の記入例(問10-9)(父親)

- ・仕事が好きだから。
- ・1ヶ月の育休で充分と思っていた。(実際は時短すればよかったと思った。)
- ・職場にフレックスタイム制度だったから
- ・会社より育休取得にて、好きな日を休んだため。長期的に取ってない
- ・配偶者が無職なので、制度を利用できなかった

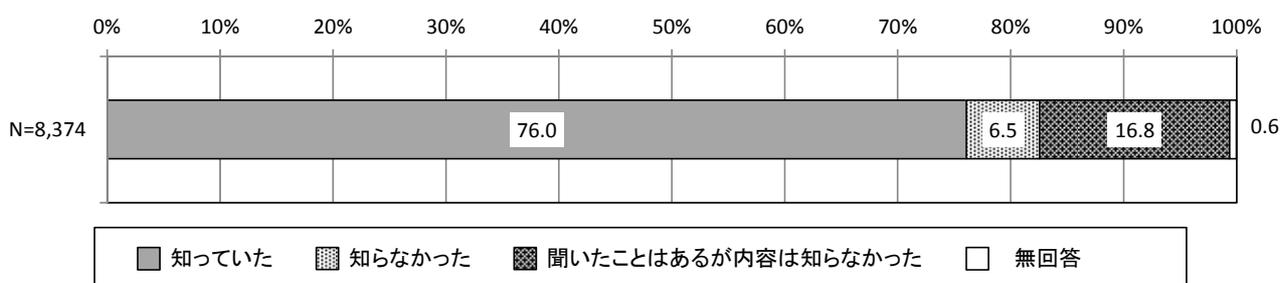
## 1 1 幼児教育・保育の無償化について

### (1) 幼児教育・保育の無償化制度の認知度

#### ア 3歳から5歳の利用料無償化の認知度

3歳から5歳の利用料無償化の認知度について聞いたところ、「知っていた」が76.0%と最も多く、次いで、「聞いたことはあるが内容は知らなかった」が16.8%、「知らなかった」が6.5%となっている。

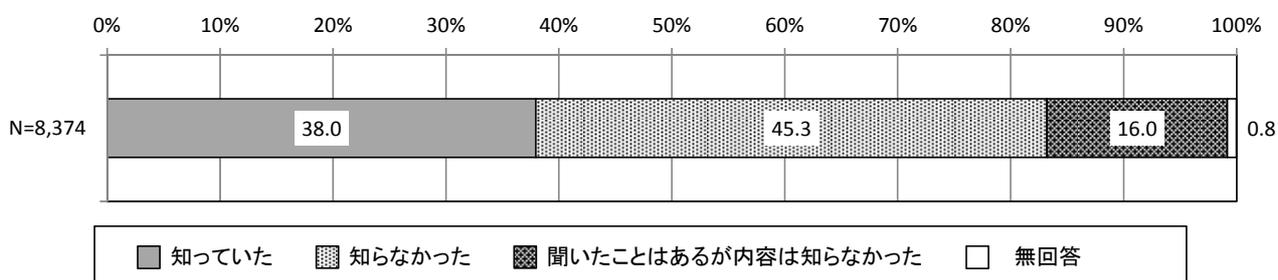
#### ■ 就学前子ども(問11-1) (SA)



#### イ 0歳から2歳の住民税非課税世帯の利用料無償化の認知度

0歳から2歳の住民税非課税世帯の利用料無償化の認知度について聞いたところ、「知らなかった」が45.3%と最も多く、次いで、「知っていた」が38.0%、「聞いたことはあるが内容は知らなかった」が16.0%となっている。

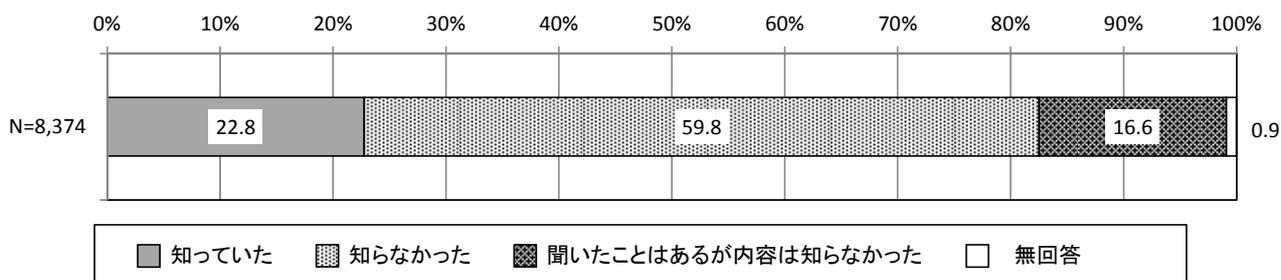
#### ■ 就学前子ども(問11-1) (SA)



#### ウ 預かり保育の利用料無償化の認知度

預かり保育の利用料無償化の認知度について聞いたところ、「知らなかった」が59.8%と最も多く、次いで、「聞いたことはあるが内容は知らなかった」が16.6%、「知っていた」が22.8%となっている。

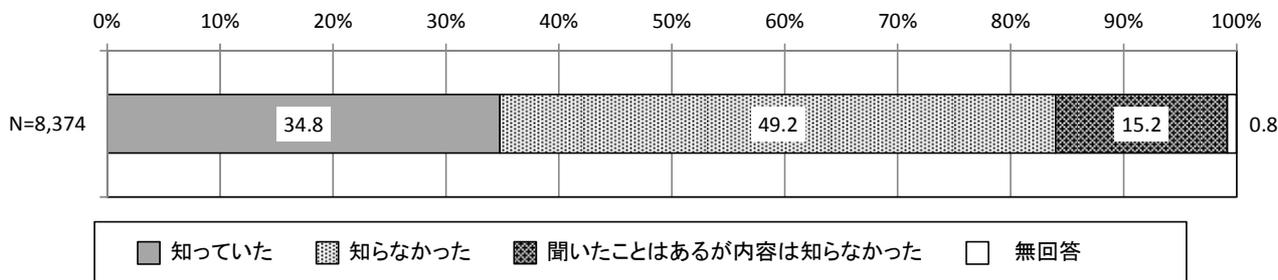
#### ■ 就学前子ども(問11-1) (SA)



エ 認可外保育施設等の利用料負担軽減の認知度

認可外保育施設等の利用料負担軽減の認知度について聞いたところ、「知らなかった」が49.2%と最も多く、次いで、「知っていた」が34.8%、「聞いたことはあるが内容は知らなかった」が15.2%となっている。

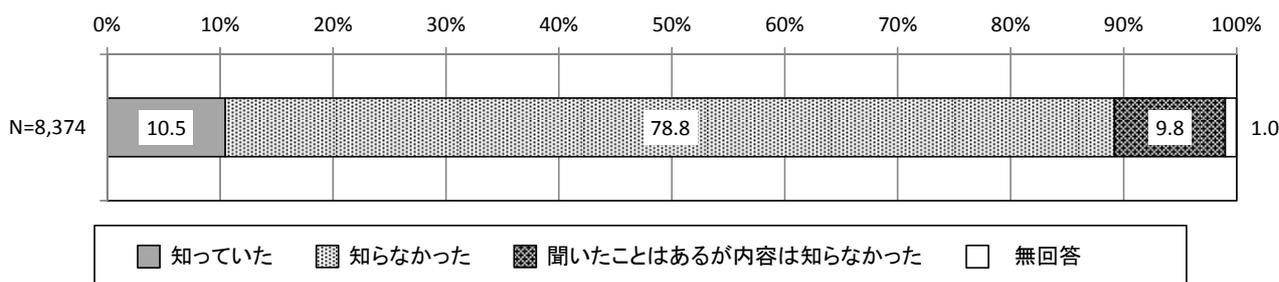
■就学前子ども(問11-1)(SA)



オ 障害児通園施設の利用料無償化の認知度

障害児通園施設の利用料無償化の認知度について聞いたところ、「知らなかった」が78.8%と最も多く、次いで、「知っていた」が10.5%、「聞いたことはあるが内容は知らなかった」が9.8%となっている。

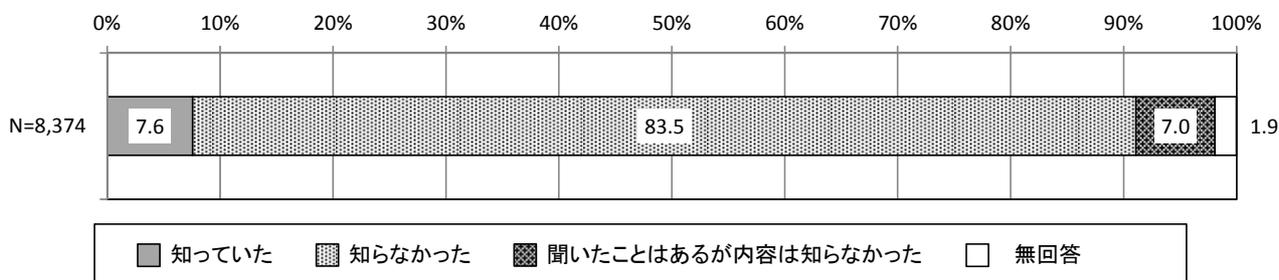
■就学前子ども(問11-1)(SA)



カ 幼稚園・保育所・認定こども園と障害児通園施設の利用料無償化の認知度

幼稚園・保育所・認定こども園と障害児通園施設の利用料無償化の認知度について聞いたところ、「知らなかった」が83.5%と最も多く、次いで、「知っていた」が7.6%、「聞いたことはあるが内容は知らなかった」が7.0%となっている。

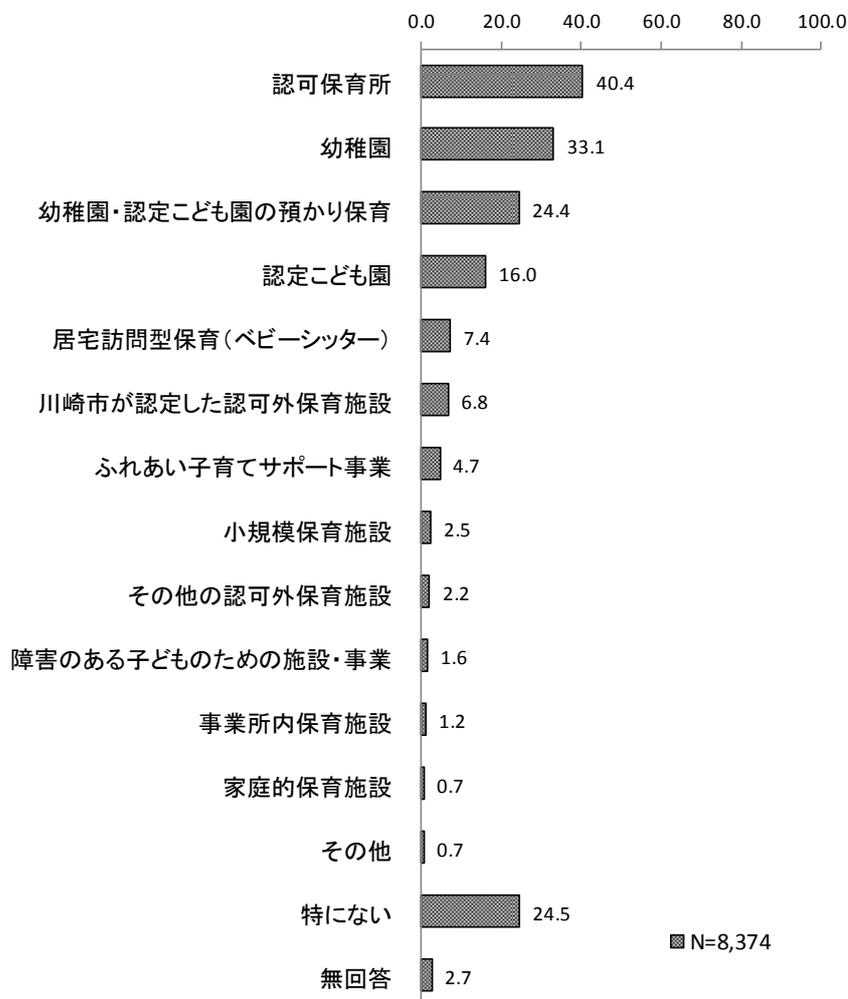
■就学前子ども(問11-1)(SA)



## (2) 幼児教育・保育の無償化に伴い新たに利用したい事業

幼児教育・保育の無償化に伴い新たに利用したい事業について聞いたところ、「認可保育所」が40.4%と最も多く、次いで、「幼稚園」が33.1%、「幼稚園・認定こども園の預かり保育」が24.4%と続いている。

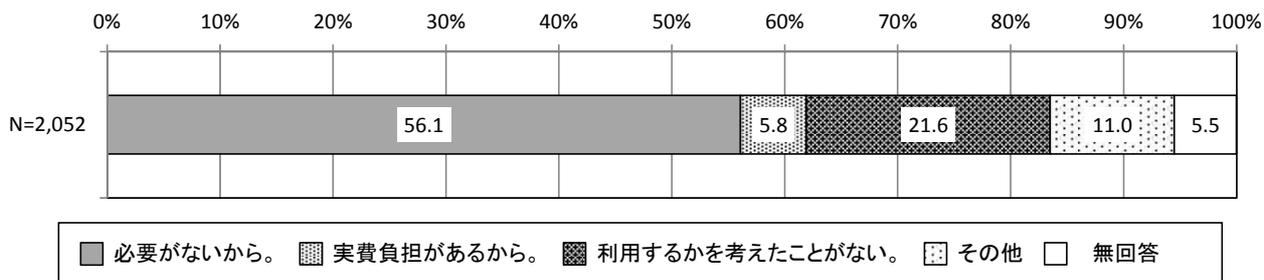
### ■ 就学前子ども(問11-2) (MA)



#### ア 「特にない」を選択した理由

「特にない」を選択した理由について聞いたところ、「必要がないから」が56.1%と最も多く、次いで、「利用するかを考えたことがない」が21.6%、「実費負担があるから」が5.8%と続いている。

### ■ 就学前子ども(問11-2) (SA)

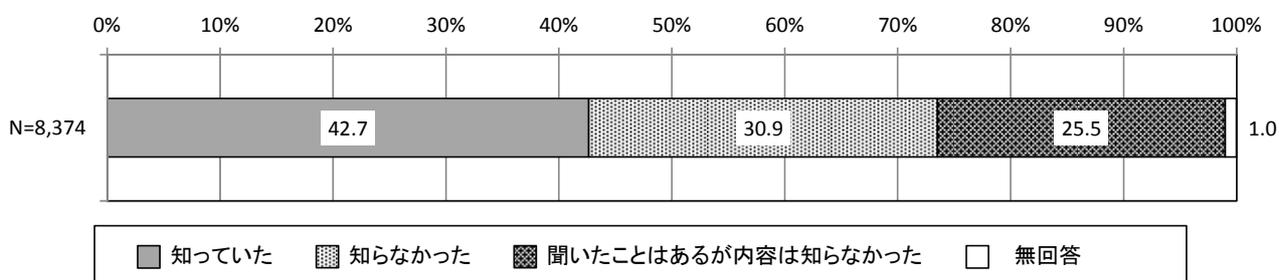


## 12 社会的養育と里親制度について

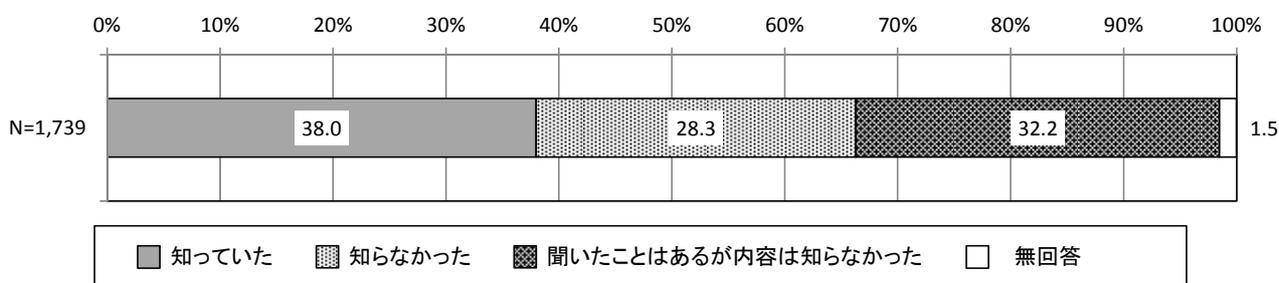
### (1) 養育里親の認知度

養育里親の認知度について聞いたところ、「知っていた」は就学前子どもで42.7%、就学子どもで38.0%となっている。

#### ■ 就学前子ども(問12-1) (SA)



#### ■ 就学子ども(問9-1) (SA)

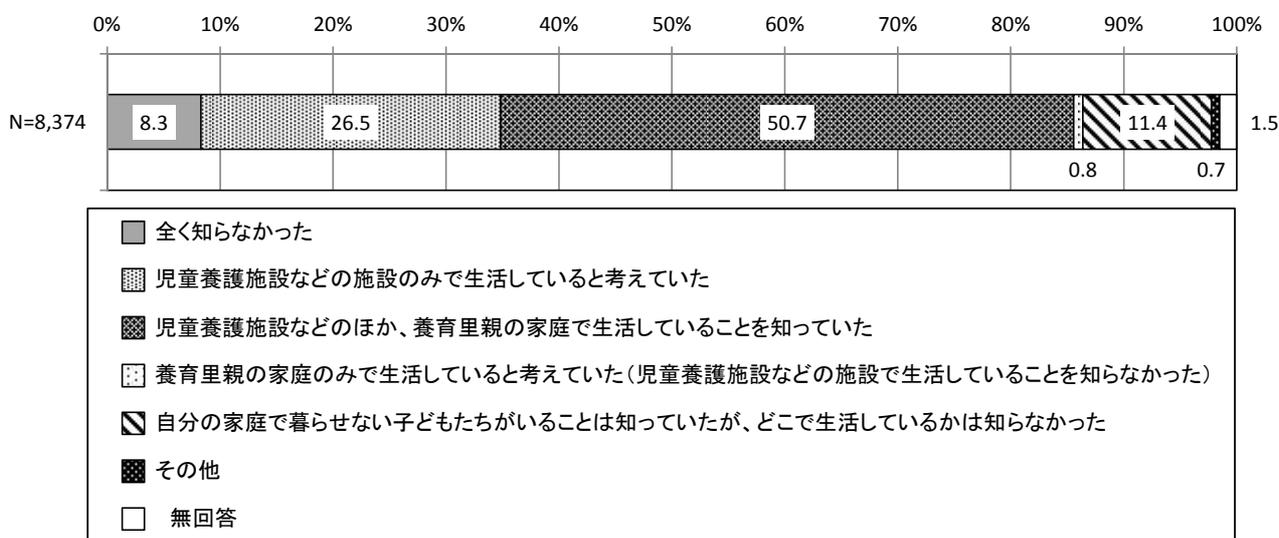


## (2) 里親家庭や児童養護施設、乳児院についての認知度

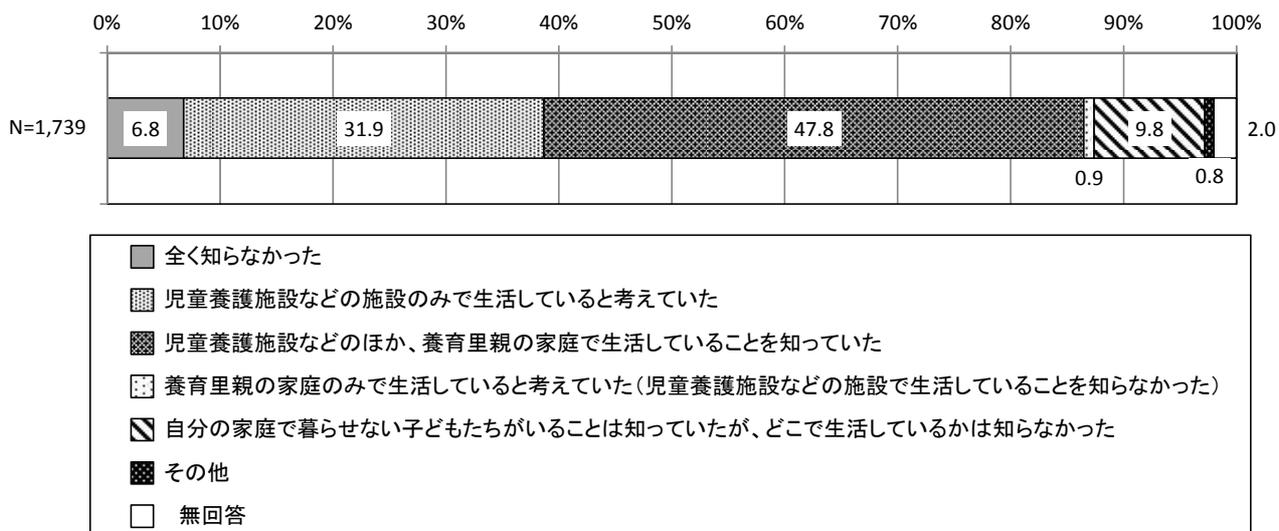
里親家庭や児童養護施設、乳児院についての認知度について聞いたところ、就学前子どもでは「児童養護施設などのほか、養育里親の家庭で生活していることを知っていた」が50.7%と最も多く、次いで、「児童養護施設などの施設のみで生活していると考えていた」が26.5%、「自分の家庭で暮らせない子どもたちがいることは知っていたが、どこで生活しているかは知らなかった」が11.4%と続いている。

就学子どもでは「児童養護施設などのほか、養育里親の家庭で生活していることを知っていた」が47.8%と最も多く、次いで、「児童養護施設などの施設のみで生活していると考えていた」が31.9%、「自分の家庭で暮らせない子どもたちがいることは知っていたが、どこで生活しているかは知らなかった」が9.8%と続いている。

### ■ 就学前子ども(問12-2) (SA)



### ■ 就学子ども(問9-2) (SA)

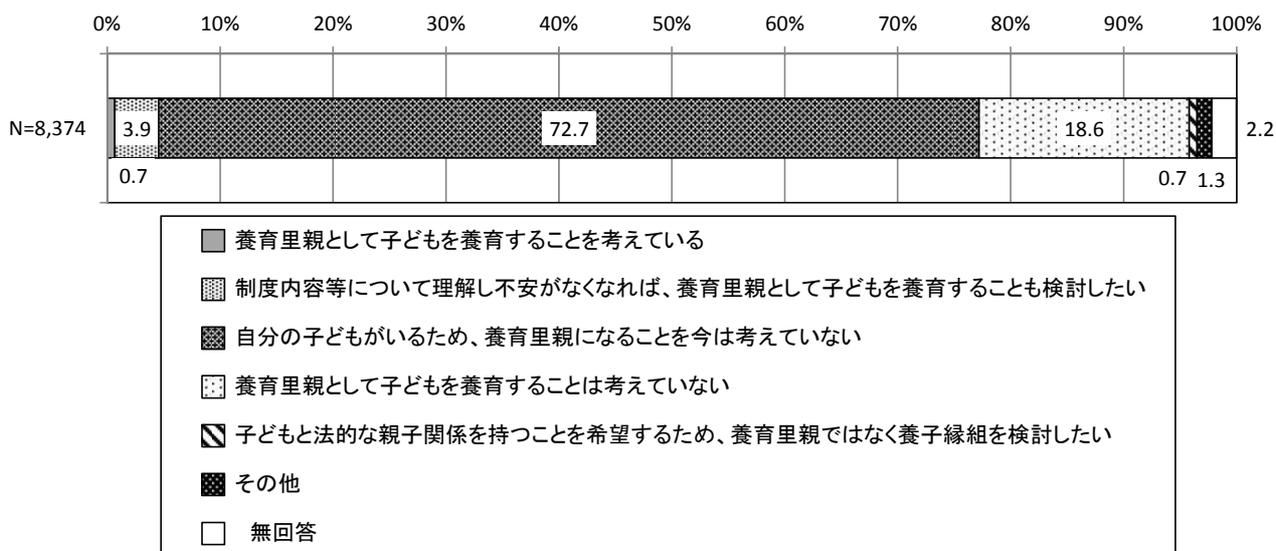


### (3) 養育里親として児童を養育することへの考え方

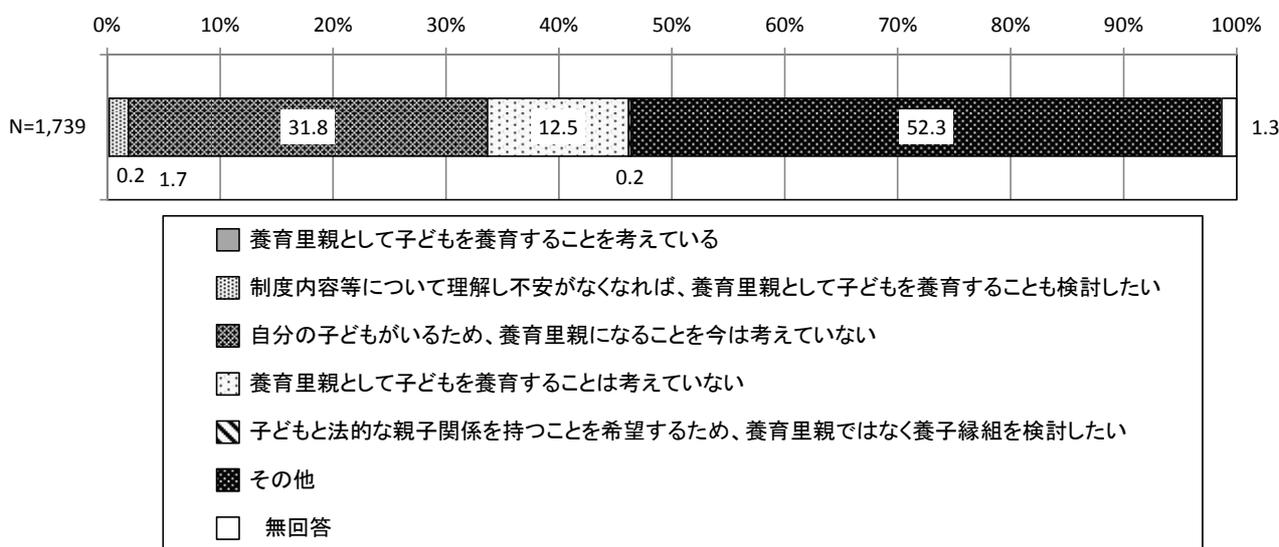
養育里親として児童を養育することへの考え方について聞いたところ、就学前子どもでは「自分の子どもがいるため、養育里親になることを今は考えていない」が72.7%と最も多く、次いで、「養育里親として子どもを養育することを考えていない」が18.6%となっている。

就学子どもでは「自分の子どもがいるため、養育里親になることを今は考えていない」が31.8%、次いで、「養育里親として子どもを養育することを考えていない」が12.5%となっている。

#### ■ 就学前子ども(問12-3) (SA)



#### ■ 就学子ども(問9-3) (SA)



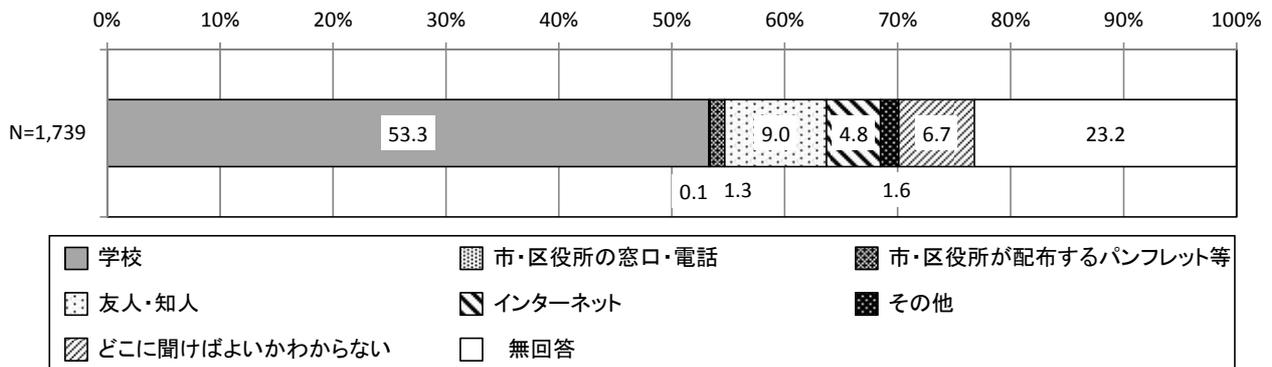
### 1 3 小学校就学後の放課後事業の利用状況について（就学子ども）

#### (1) 放課後事業の利用について

##### ア 放課後事業に関する情報源

放課後事業に関する情報源について聞いたところ、「学校」が53.3%と最も多く、次いで「友人・知人」が9.0%となっている。

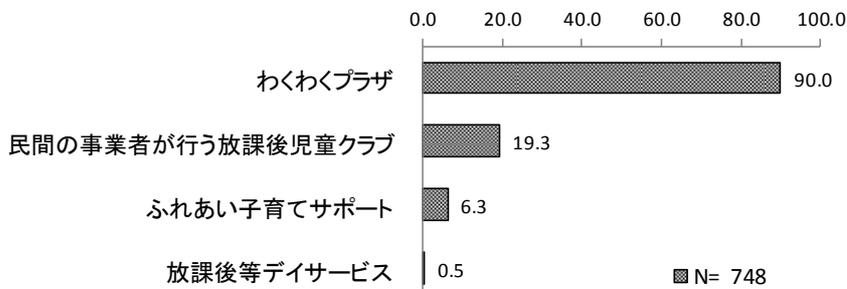
#### ■ 就学子ども（問4-1）（SA）



##### イ 放課後の居場所

放課後の居場所について聞いたところ、「わくわくプラザ」が90.0%、「民間の事業者が行う放課後児童クラブ」が19.3%となっている。

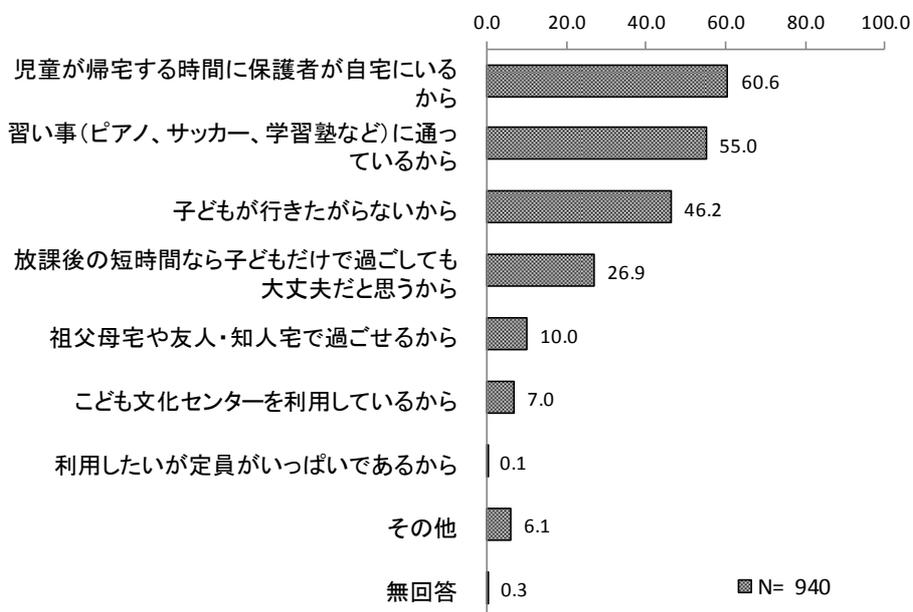
#### ■ 就学子ども（問4-2）（MA）



### ウ いずれも利用していない理由

いずれも利用していない理由について聞いたところ、「児童が帰宅する時間に保護者が自宅にいるから」が60.6%と最も多く、次いで、「習い事(ピアノ、サッカー、学習塾など)に通っているから」が55.0%、「子どもが行きたがらないから」が46.2%と続いている。

#### ■就学子ども(問4-3) (MA:放課後事業をいずれも利用していない方)



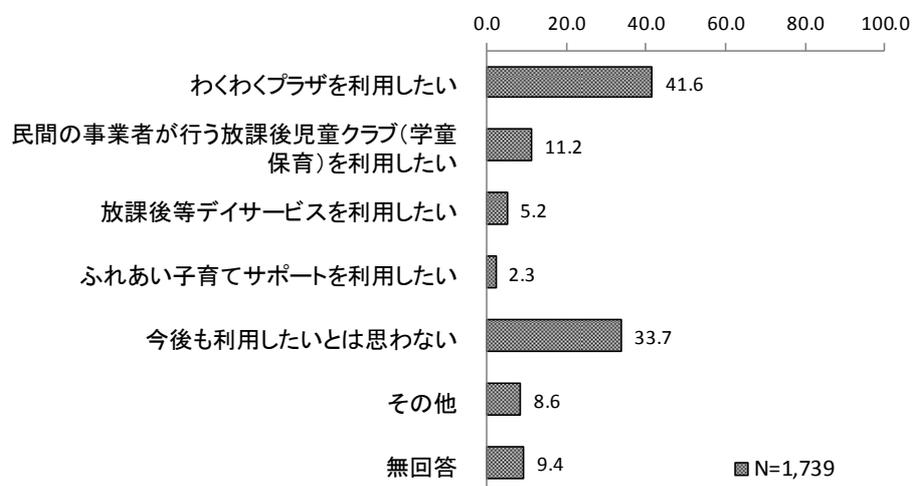
#### ■その他の記入例(問4-3)

- ・参加している子ども達同士の関わりに不安がある為。(あまり質がよくない)
- ・友人と約束して遊んでいられる歳だから、低学年の妹は利用しています。

### エ 今後利用したい事業

今後利用したい事業について聞いたところ、「わくわくプラザを利用したい」が41.6%と最も多く、次いで、「今後も利用したいとは思わない」が33.7%、「民間の事業者が行う放課後児童クラブ(学童保育)を利用したい」が11.2%と続いている。

#### ■就学子ども(問4-4) (MA)



■その他の記入例(問4-4)

- ・習い事と学童を組み合わせたもの。
- ・なるべくわくわくがよいが、送迎が負担のため指定ポイントまでの見送りサービスなど追加サービスがあるとありがたい(民間は高すぎるため)

(2)わくわくプラザの利用について

ア 1週間の利用日数

1週間の利用日数について聞いたところ、「5日」が28.7%と最も多く、次いで「1日」が23.3%、「2日」が15.5%と続いている。

■就学子ども(問5-1)(SA:わくわくプラザを利用している方)

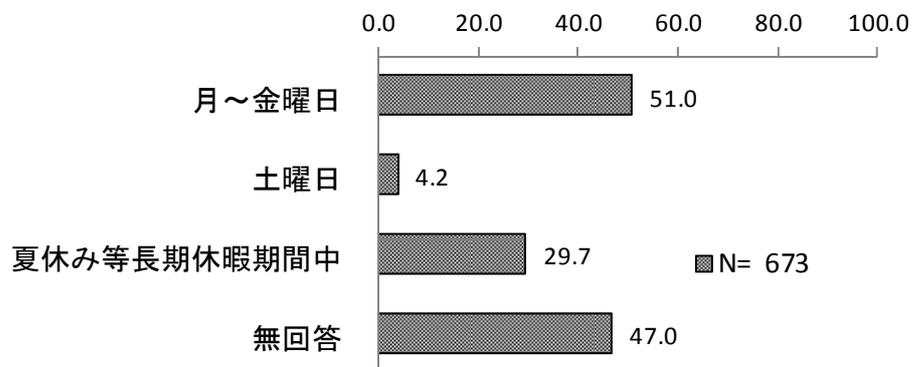
	合計(N)	(%)
1日	157	23.3
2日	104	15.5
3日	96	14.3
4日	71	10.5
5日	193	28.7
6日	7	1.0
7日	-	-
無回答	45	6.7
全体	673	100.0

イ 現在の利用状況

現在の利用状況について聞いたところ、「月～金曜日」が51.0%、「夏休み等長期休暇期間中」が29.7%となっている。

利用している時間帯については、「月～金曜日」では下校時より15:31～17:00、「土曜日」では開始時間が8:01～9:30、終了時間が15:31～16:00、「夏休み等長期休暇」では開始時間が7:31～9:00、終了時間が15:31～18:00に集中している。

■就学子ども(問5-2)(MA:わくわくプラザを利用している方)



■利用している時間帯(問5-2) (MA:わくわくプラザを利用している方)

(月～金曜日：下校時から)

	合計 (N)	～12:30 (%)	12:31～ 13:00 (%)	13:01～ 13:30 (%)	13:31～ 14:00 (%)	14:01～ 14:30 (%)	14:31～ 15:00 (%)	15:01～ 15:30 (%)	15:31～ 16:00 (%)	16:01～ 16:30 (%)	16:31～ 17:00 (%)	17:01～ 17:30 (%)	17:31～ 18:00 (%)	18:01～ 18:30 (%)	18:31～ 19:00 (%)	19:01～ (%)	無回答 (%)
全体	343	3.8	-	-	0.6	1.2	5.2	5.8	22.2	10.8	20.1	5.2	12.8	4.7	6.1	-	1.5
低学年	316	3.5	-	-	0.6	1.3	5.4	5.4	22.5	10.4	19.6	5.4	13.0	4.7	6.6	-	1.6
高学年	23	8.7	-	-	-	-	4.3	8.7	21.7	13.0	21.7	4.3	13.0	4.3	-	-	-

(土曜日)

開始時間	合計 (N)	～7:30 (%)	7:31～ 8:00 (%)	8:01～ 8:30 (%)	8:31～ 9:00 (%)	9:01～ 9:30 (%)	9:31～ 10:00 (%)	10:01～ 10:30 (%)	10:31～ 11:00 (%)	11:01～ 11:30 (%)	11:31～ 12:00 (%)	12:01～ 12:30 (%)	12:31～ 13:00 (%)	13:01～ 13:30 (%)	13:31～ 14:00 (%)	14:01～ 14:30 (%)	14:31～ 15:00 (%)	15:01～ (%)	無回答 (%)
全体	28	-	3.6	53.6	21.4	7.1	-	3.6	-	-	3.6	-	-	-	-	-	-	3.6	3.6
低学年	24	-	4.2	58.3	20.8	4.2	-	4.2	-	-	4.2	-	-	-	-	-	-	4.2	-
高学年	3	-	-	33.3	33.3	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

\*全体±5%以上を網掛け

終了時間	合計 (N)	～11:00 (%)	11:01～ 11:30 (%)	11:31～ 12:00 (%)	12:01～ 12:30 (%)	12:31～ 13:00 (%)	13:01～ 13:30 (%)	13:31～ 14:00 (%)	14:01～ 14:30 (%)	14:31～ 15:00 (%)	15:01～ 15:30 (%)	15:31～ 16:00 (%)	16:01～ 16:30 (%)	16:31～ 17:00 (%)	17:01～ 17:30 (%)	17:31～ 18:00 (%)	18:01～ 18:30 (%)	18:31～ 19:00 (%)	19:01～ (%)	無回答 (%)
全体	28	-	-	7.1	-	3.6	3.6	3.6	-	14.3	3.6	17.9	3.6	10.7	7.1	17.9	-	3.6	3.6	
低学年	24	-	-	8.3	-	4.2	4.2	-	-	16.7	-	20.8	4.2	12.5	8.3	16.7	-	4.2	-	
高学年	3	-	-	-	-	-	-	33.3	-	-	33.3	-	-	-	-	33.3	-	-	-	

\*全体±5%以上を網掛け

(夏休み等長期休暇)

開始時間	合計 (N)	～7:30 (%)	7:31～ 8:00 (%)	8:01～ 8:30 (%)	8:31～ 9:00 (%)	9:01～ 9:30 (%)	9:31～ 10:00 (%)	10:01～ 10:30 (%)	10:31～ 11:00 (%)	11:01～ 11:30 (%)	11:31～ 12:00 (%)	12:01～ 12:30 (%)	12:31～ 13:00 (%)	13:01～ 13:30 (%)	13:31～ 14:00 (%)	14:01～ 14:30 (%)	14:31～ 15:00 (%)	15:01～ (%)	無回答 (%)
全体	200	-	28.0	51.0	14.0	2.0	1.5	-	1.0	-	-	-	0.5	-	0.5	1.0	-	-	0.5
低学年	186	-	28.5	51.1	14.0	2.2	0.5	-	1.1	-	-	-	0.5	-	0.5	1.1	-	-	0.5
高学年	13	-	23.1	53.8	7.7	-	15.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

\*全体±5%以上を網掛け

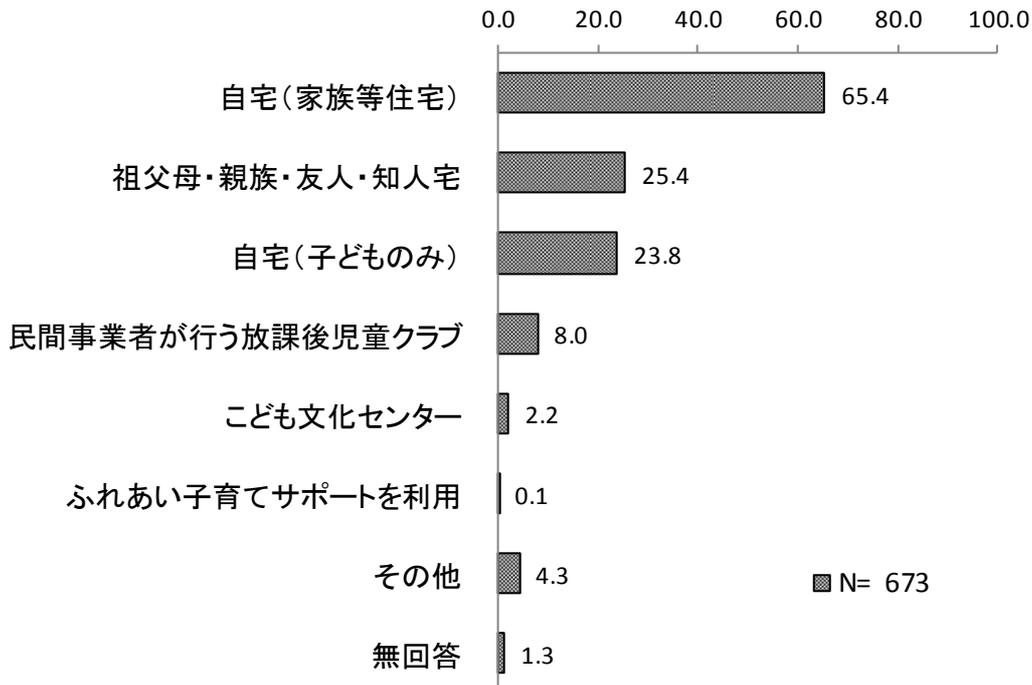
終了時間	合計 (N)	～11:00 (%)	11:01～ 11:30 (%)	11:31～ 12:00 (%)	12:01～ 12:30 (%)	12:31～ 13:00 (%)	13:01～ 13:30 (%)	13:31～ 14:00 (%)	14:01～ 14:30 (%)	14:31～ 15:00 (%)	15:01～ 15:30 (%)	15:31～ 16:00 (%)	16:01～ 16:30 (%)	16:31～ 17:00 (%)	17:01～ 17:30 (%)	17:31～ 18:00 (%)	18:01～ 18:30 (%)	18:31～ 19:00 (%)	19:01～ (%)	無回答 (%)
全体	200	2.5	-	3.5	-	1.5	-	2.5	3.5	6.5	2.0	17.0	5.0	18.0	6.0	16.5	6.0	8.5	-	1.0
低学年	186	2.7	-	3.2	-	1.6	-	2.7	3.8	5.9	2.2	16.7	4.3	17.7	6.5	16.1	6.5	9.1	-	1.1
高学年	13	-	-	7.7	-	-	-	-	-	15.4	-	15.4	15.4	23.1	-	23.1	-	-	-	-

\*全体±5%以上を網掛け

ウ 臨時休校時に過ごしている場所

臨時休校時に過ごしている場所について聞いたところ、「自宅(家族等住宅)」が65.4%と最も多く、次いで、「祖父母・親族・友人・知人宅」が25.4%、「自宅(子どものみ)」が23.8%と続いている。

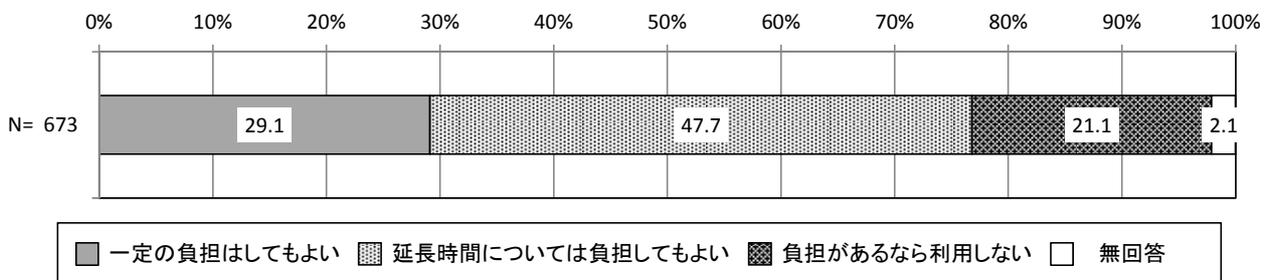
■就学子ども(問5-3) (MA:わくわくプラザを利用している方)



エ 利用者負担について

利用者負担について聞いたところ、「延長時間については負担してもよい」が47.7%と最も多く、次いで、「一定の負担はしてもよい」が29.1%、「負担があるなら利用しない」が21.1%と続いている。

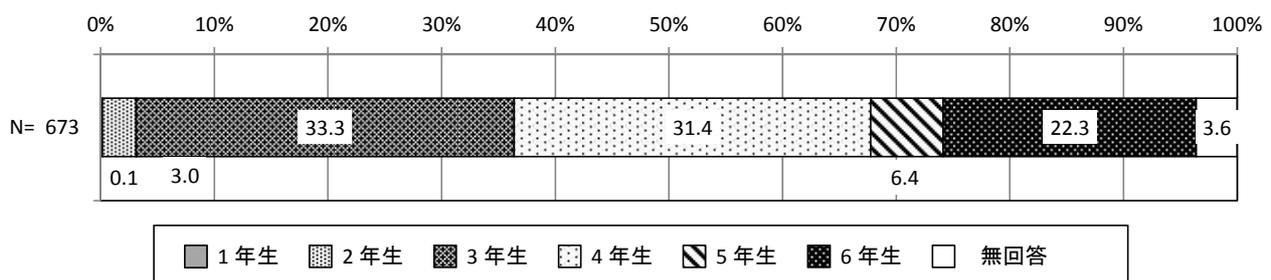
■就学子ども(問5-4) (SA:わくわくプラザを利用している方)



オ わくわくプラザを利用したい学年

わくわくプラザを利用したい学年について聞いたところ、「3年生ぐらいまで」が33.3%と最も多く、次いで、「4年生ぐらいまで」が31.4%、「6年生ぐらいまで」が22.3%と続いている。

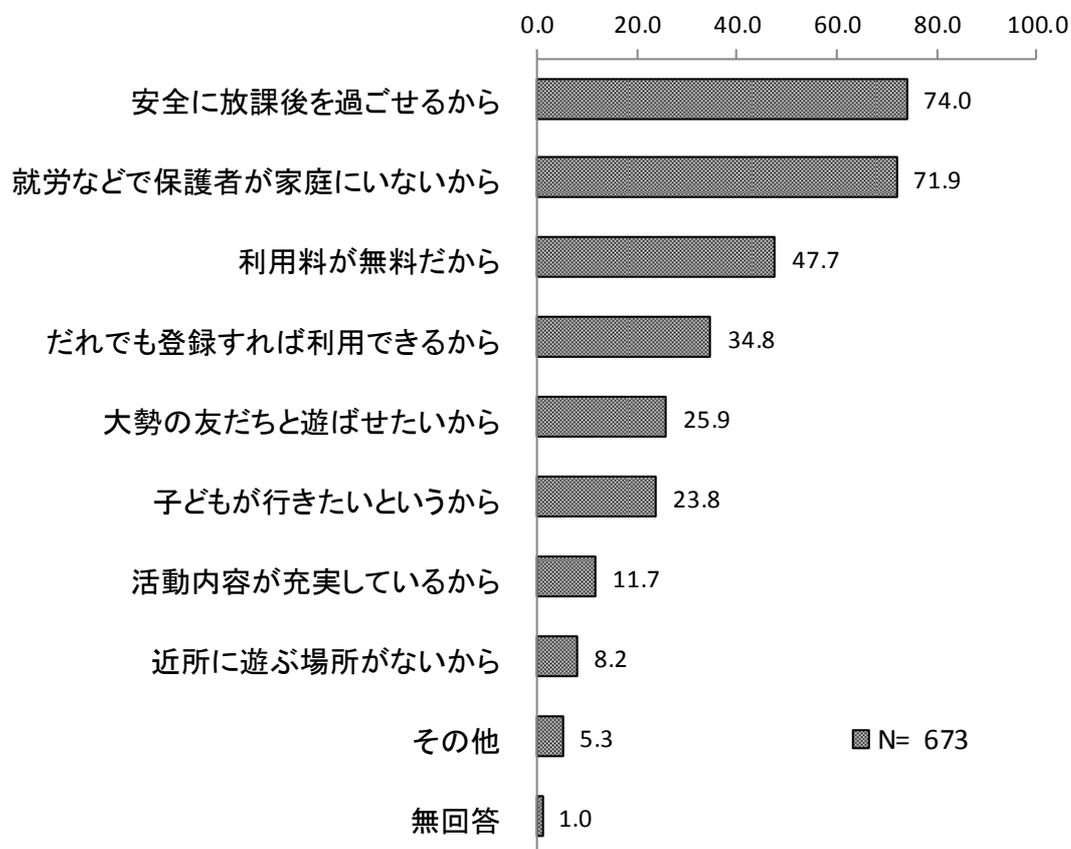
■就学子ども(問5-5) (SA:わくわくプラザを利用している方)



### オ 利用している理由

利用している理由について聞いたところ、「安全に放課後を過ごせるから」が74.0%と最も多く、次いで、「就労などで保護者が家庭にいないから」が71.9%、「利用料が無料だから」が47.7%と続いている。

#### ■就学子ども(問5-6) (MA:わくわくプラザを利用している方)



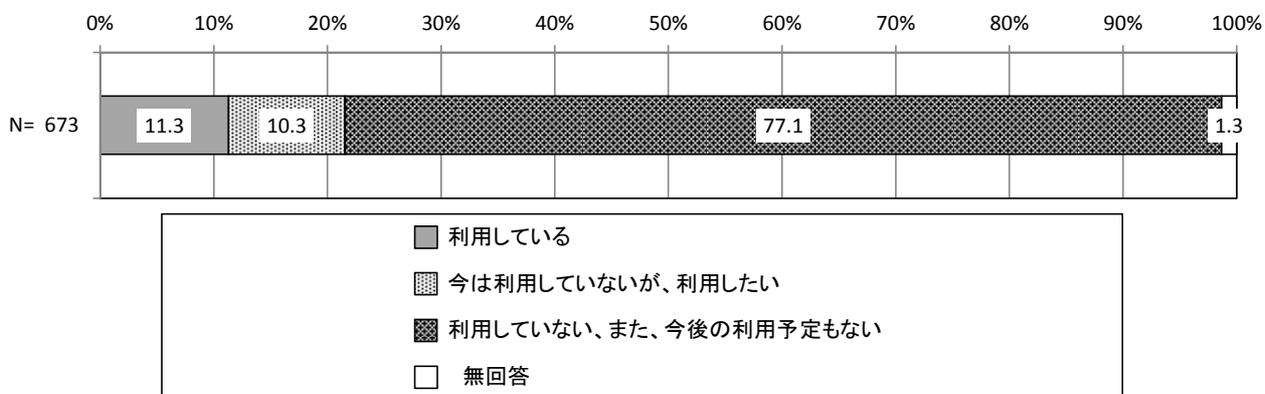
#### ■その他の記入例(問5-6)

- ・ イベントの日
- ・ 民間学童利用の際にわくわく利用必須だから (ひきわたしのため)
- ・ スタッフの方が優しく接してくれるから
- ・ 学校敷地内にあり便利で安全に通えるから。
- ・ 習い事までの時間や下の子の習い事の都合。

### カ 19 時までの時間延長の利用状況と意向

19 時までの時間延長の利用状況と意向について聞いたところ、「利用していない、また、今後の利用予定もない」が 77.1%と最も多く、次いで、「利用している」が 11.3%、「今は利用していないが、利用したい」が 10.3%と続いている。

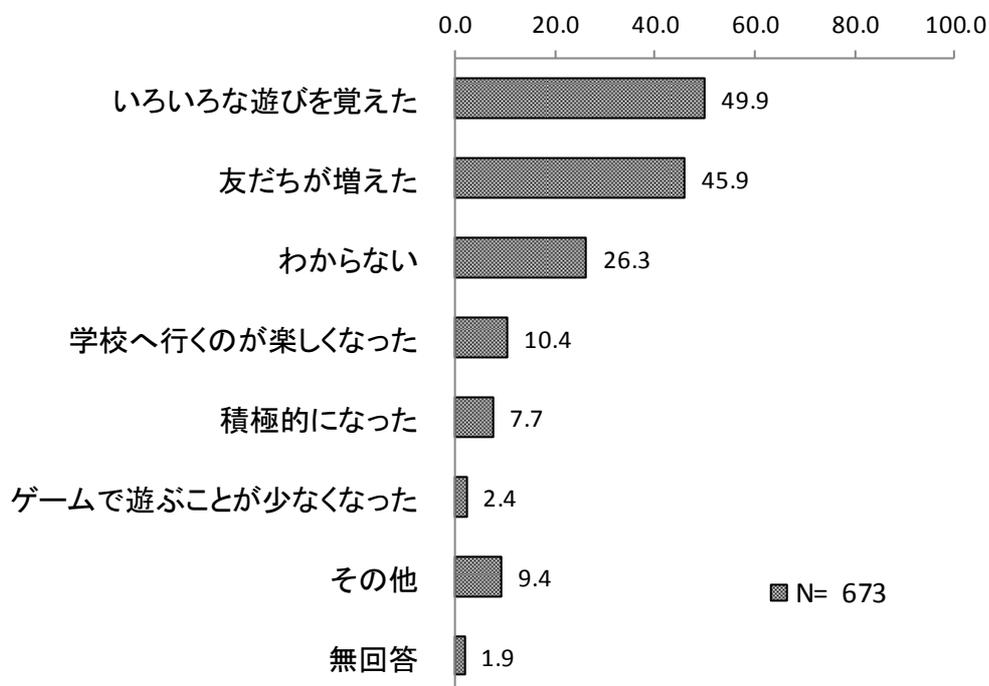
#### ■就学子ども（問 5 - 7）（SA:わくわくプラザを利用している方）



## キ わくわくプラザ参加後の子どもの変化

わくわくプラザ参加後の子どもの変化について聞いたところ、「いろいろな遊びを覚えた」が49.9%と最も多く、次いで、「友だちが増えた」が45.9%、「学校へ行くのが楽しくなった」が10.4%と続いている。

### ■就学子ども(問5-8) (MA:わくわくプラザを利用している方)



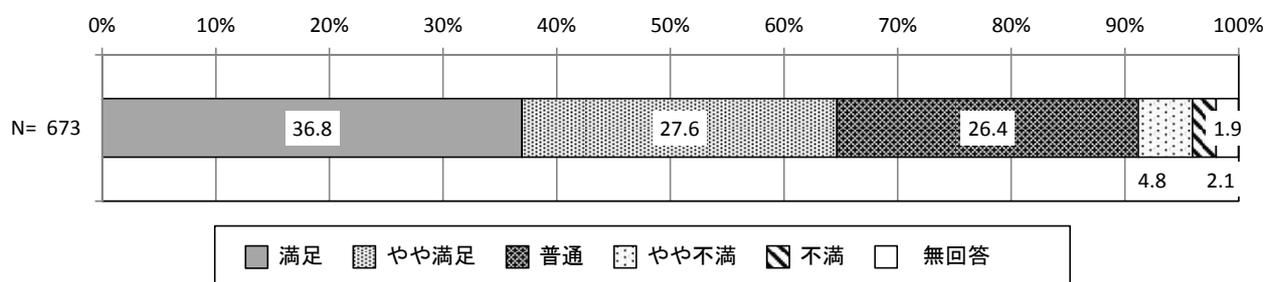
### ■その他の記入例(問5-8)

- ・学校が楽しくないと思っても、同じ学校内(事業は別ですが)に、居場所がずっとあることで、学校生活が全て負になってないこと。
- ・集中力が身についたようです。会話が楽しいようです。恥ずかしがらず、挨拶ができるようになりました。
- ・異年齢の子とのつき合いが上手になった
- ・読書の時間が増えた
- ・友人同士のトラブルであまり行きたがらない

### ク わくわくプラザの満足度

わくわくプラザの満足度について聞いたところ、「満足」と「やや満足」を合わせて64.4%となっている。

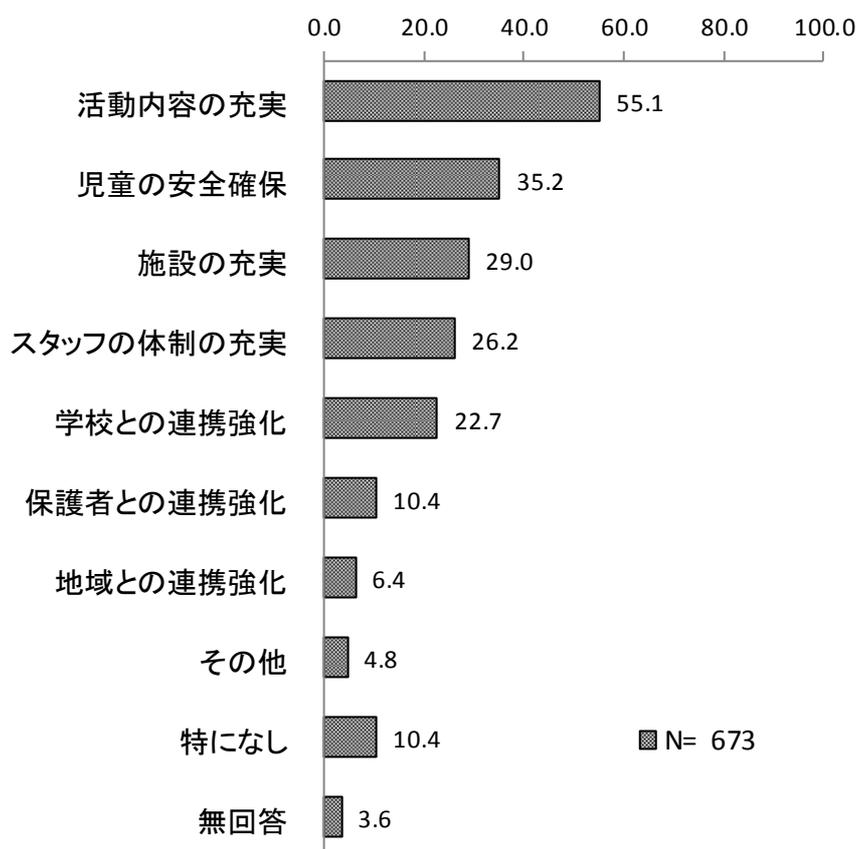
■就学子ども(問5-9) (SA:わくわくプラザを利用している方)



### ケ わくわくプラザに今後望むこと

わくわくプラザに今後望むことを聞いたところ、「活動内容の充実」が55.1%と最も多く、次いで「児童の安全確保」が35.2%、「施設の充実」が29.0%と続いている。

■就学子ども(問5-10) (MA:わくわくプラザを利用している方)



■その他の記入例(問5-10)

- ・長期休暇期間におけるお昼弁当発注
- ・イベント等のWeb申請など

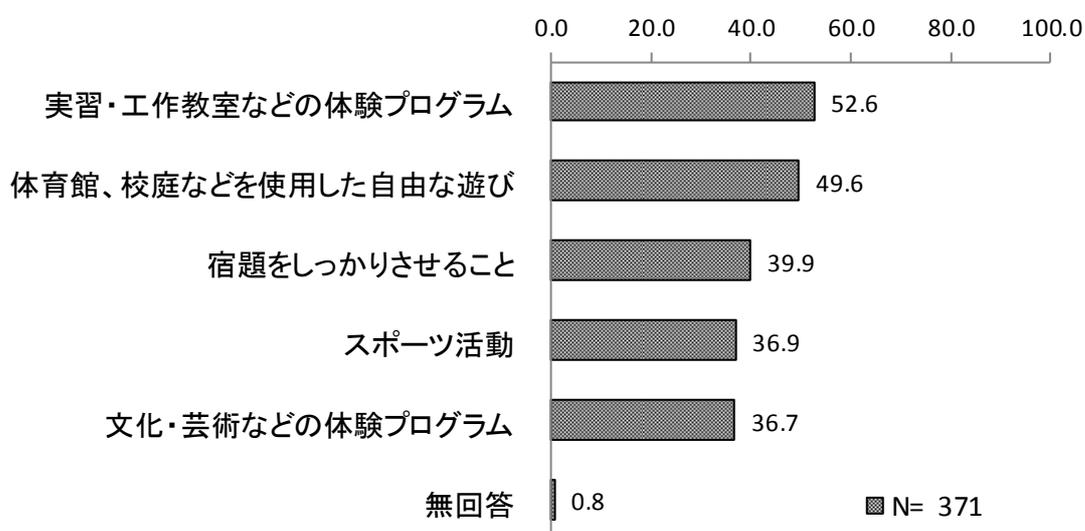
・①長期休暇期間における開設時間が（8：00）試験的ではなくなる。②子育て支援わくわくプラザ事業の時間帯が、月額でなく1回ごとの料金払い（スポット利用）も可能だと利用しやすいと思います。

- ・いじめや危険な遊びなどについての適切な指導
- ・もう少し広いとよりよい

コ わくわくプラザで今後充実させてほしい内容

わくわくプラザで今後充実させてほしい内容について聞いたところ、「実習・工作教室などの体験プログラム」が52.6%と最も多く、次いで、「体育館、校庭などを使用した自由な遊び」が49.6%、「宿題をしっかりとさせること」が39.9%と続いている。

■就学子ども（問5-11）（MA:わくわくプラザを利用している方）



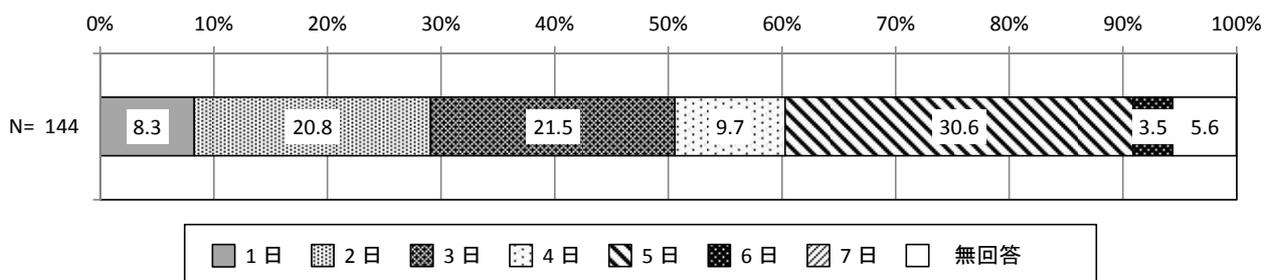
## 14 わくわくプラザ以外の放課後事業について（就学子ども）

### (1) 民間学童保育について

#### ア 1週間の利用日数

1週間の利用日数について聞いたところ、「5日」が30.6%と最も多く、次いで、「3日」が21.5%、「2日」が20.8%と続いている。

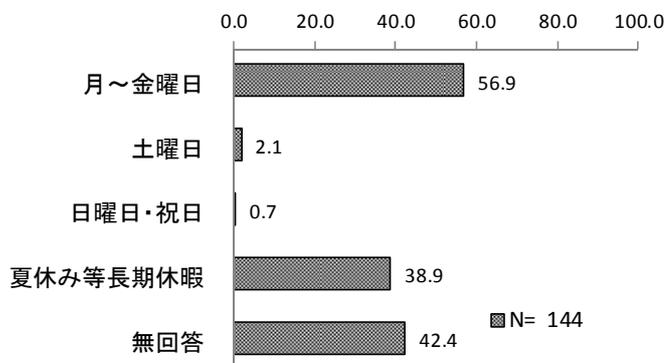
#### ■就学子ども(問6-1) (SA:民間学童保育を利用している方)



#### イ 現在の利用状況

現在の利用状況について聞いたところ、「月～金曜日」が56.9%、「夏休み等長期休暇期間中」が38.9%となっている。

#### ■就学子ども(問6-2) (MA:民間学童保育を利用している方)



利用している時間帯については、「月～金曜日」では下校時より17:31～19:00、「土曜日」では開始時間が8:01～8:30、終了時間が17:31～18:00に件数がある（件数が少ないためバラつきがある）。「日曜日・祝日」は回答が1件で、開始時間は8:31～9:00、終了時間は17:31～18:00となっている。「夏休み等長期休暇期間中」では、開始時間が7:31～9:00、終了時間が17:31～19:00に件数がある。

#### ■利用している時間帯(問6-2) (MA:民間学童保育を利用している方)

(月～金曜日：下校時から)

	合計 (N)	～12:30 (%)	12:31～ 13:00 (%)	13:01～ 13:30 (%)	13:31～ 14:00 (%)	14:01～ 14:30 (%)	14:31～ 15:00 (%)	15:01～ 15:30 (%)	15:31～ 16:00 (%)	16:01～ 16:30 (%)	16:31～ 17:00 (%)	17:01～ 17:30 (%)	17:31～ 18:00 (%)	18:01～ 18:30 (%)	18:31～ 19:00 (%)	19:01～ (%)	無回答 (%)
全体	82	-	-	-	-	-	2.4	1.2	-	2.4	3.7	3.7	24.4	12.2	39.0	8.5	2.4
低学年	72	-	-	-	-	-	2.8	1.4	-	2.8	2.8	4.2	26.4	9.7	38.9	8.3	2.8
高学年	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10.0	-	10.0	30.0	40.0	10.0	-

(土曜日)

開始時間	合計 (N)	～7:30 (%)	7:31～ 8:00 (%)	8:01～ 8:30 (%)	8:31～ 9:00 (%)	9:01～ 9:30 (%)	9:31～ 10:00 (%)	10:01～ 10:30 (%)	10:31～ 11:00 (%)	11:01～ 11:30 (%)	11:31～ 12:00 (%)	12:01～ 12:30 (%)	12:31～ 13:00 (%)	13:01～ 13:30 (%)	13:31～ 14:00 (%)	14:01～ 14:30 (%)	14:31～ 15:00 (%)	15:01～ (%)	無回答 (%)
全体	3	-	-	66.7	-	-	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低学年	3	-	-	66.7	-	-	-	-	33.3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高学年	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

終了時間	合計 (N)	～11:00 (%)	11:01～ 11:30 (%)	11:31～ 12:00 (%)	12:01～ 12:30 (%)	12:31～ 13:00 (%)	13:01～ 13:30 (%)	13:31～ 14:00 (%)	14:01～ 14:30 (%)	14:31～ 15:00 (%)	15:01～ 15:30 (%)	15:31～ 16:00 (%)	16:01～ 16:30 (%)	16:31～ 17:00 (%)	17:01～ 17:30 (%)	17:31～ 18:00 (%)	18:01～ 18:30 (%)	18:31～ 19:00 (%)	19:01～ (%)	無回答 (%)
全体	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-	-	-	-	66.7	-	-	-	
低学年	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	33.3	-	-	-	-	66.7	-	-	-	
高学年	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

(日曜日・祝日)

開始時間	合計 (N)	～7:30 (%)	7:31～ 8:00 (%)	8:01～ 8:30 (%)	8:31～ 9:00 (%)	9:01～ 9:30 (%)	9:31～ 10:00 (%)	10:01～ 10:30 (%)	10:31～ 11:00 (%)	11:01～ 11:30 (%)	11:31～ 12:00 (%)	12:01～ 12:30 (%)	12:31～ 13:00 (%)	13:01～ 13:30 (%)	13:31～ 14:00 (%)	14:01～ 14:30 (%)	14:31～ 15:00 (%)	15:01～ (%)	無回答 (%)
全体	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
低学年	1	-	-	100.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高学年	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

終了時間	合計 (N)	～11:00 (%)	11:01～ 11:30 (%)	11:31～ 12:00 (%)	12:01～ 12:30 (%)	12:31～ 13:00 (%)	13:01～ 13:30 (%)	13:31～ 14:00 (%)	14:01～ 14:30 (%)	14:31～ 15:00 (%)	15:01～ 15:30 (%)	15:31～ 16:00 (%)	16:01～ 16:30 (%)	16:31～ 17:00 (%)	17:01～ 17:30 (%)	17:31～ 18:00 (%)	18:01～ 18:30 (%)	18:31～ 19:00 (%)	19:01～ (%)	無回答 (%)
全体	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	
低学年	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	100.0	-	-	-	
高学年	0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	

(夏休み等長期休暇期間中)

開始時間	合計 (N)	～7:30 (%)	7:31～ 8:00 (%)	8:01～ 8:30 (%)	8:31～ 9:00 (%)	9:01～ 9:30 (%)	9:31～ 10:00 (%)	10:01～ 10:30 (%)	10:31～ 11:00 (%)	11:01～ 11:30 (%)	11:31～ 12:00 (%)	12:01～ 12:30 (%)	12:31～ 13:00 (%)	13:01～ 13:30 (%)	13:31～ 14:00 (%)	14:01～ 14:30 (%)	14:31～ 15:00 (%)	15:01～ (%)	無回答 (%)
全体	56	7.1	37.5	23.2	14.3	-	-	1.8	1.8	-	-	-	-	1.8	3.6	-	5.4	1.8	1.8
低学年	49	6.1	40.8	24.5	12.2	-	-	2.0	2.0	-	-	-	-	2.0	2.0	-	6.1	-	2.0
高学年	7	14.3	14.3	14.3	28.6	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14.3	-	-	14.3	-

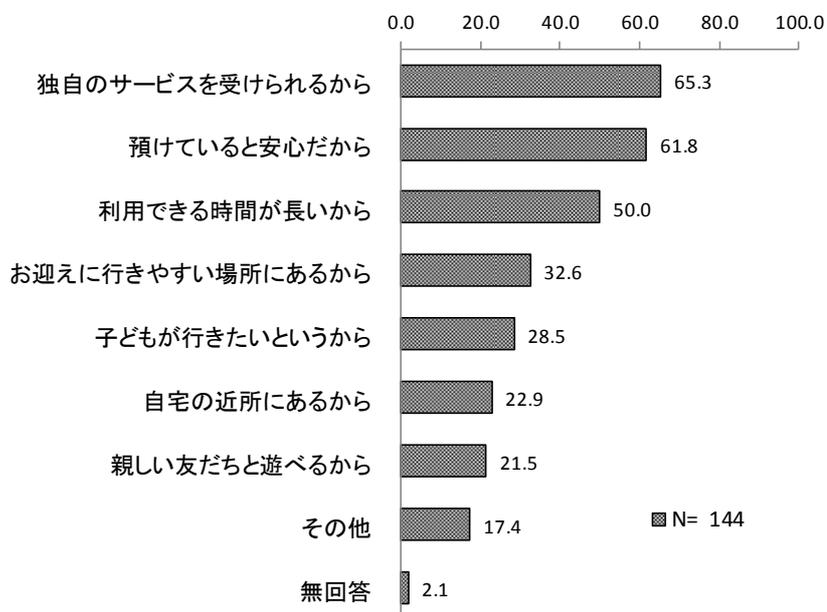
終了時間	合計 (N)	～11:00 (%)	11:01～ 11:30 (%)	11:31～ 12:00 (%)	12:01～ 12:30 (%)	12:31～ 13:00 (%)	13:01～ 13:30 (%)	13:31～ 14:00 (%)	14:01～ 14:30 (%)	14:31～ 15:00 (%)	15:01～ 15:30 (%)	15:31～ 16:00 (%)	16:01～ 16:30 (%)	16:31～ 17:00 (%)	17:01～ 17:30 (%)	17:31～ 18:00 (%)	18:01～ 18:30 (%)	18:31～ 19:00 (%)	19:01～ (%)	無回答 (%)
全体	56	-	-	-	-	-	-	-	-	1.8	-	1.8	1.8	-	3.6	19.6	12.5	46.4	8.9	3.6
低学年	49	-	-	-	-	-	-	-	-	2.0	-	2.0	2.0	-	4.1	22.4	10.2	46.9	8.2	4.1
高学年	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	14.3	-	-	-	-	28.6	42.9	14.3	-

\*上位1位を網掛け

### ウ 利用している理由

利用している理由について聞いたところ、「独自のサービスを受けられるから」が65.3%と最も多く、「預けていると安心だから」が61.8%、「利用できる時間が長いから」が50.0%と続いている。

#### ■就学子ども(問6-3) (MA:民間学童保育を利用している方)



## (2)ふれあい子育てサポートについて

ア 現在の利用状況

■就学子ども(問6-4) (SA:ふれあい子育てサポートを利用している方)

(年間日数)

	合計(N)	(%)
1日	-	-
2日	-	-
3日	-	-
4日	-	-
5日	-	-
6日以上	1	25.0
無回答	3	75.0
全体	4	100.0

(週間日数)

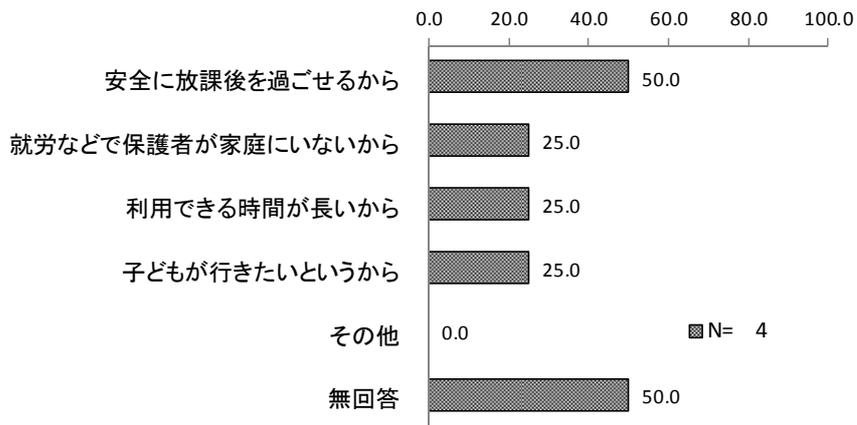
	合計(N)	(%)
1日	-	-
2日	-	-
3日	-	-
4日	-	-
5日	-	-
6日以上	-	-
無回答	4	100.0
全体	4	100.0

(1回利用時間)

	合計(N)	(%)
1時間	-	-
2時間	-	-
3時間	-	-
4時間	-	-
5時間	1	25.0
6時間	-	-
7時間	-	-
8時間	-	-
9時間以上	-	-
無回答	3	75.0
全体	4	100.0

イ 利用している理由

■就学子ども(問6-5) (MA:ふれあい子育てサポートを利用している方)

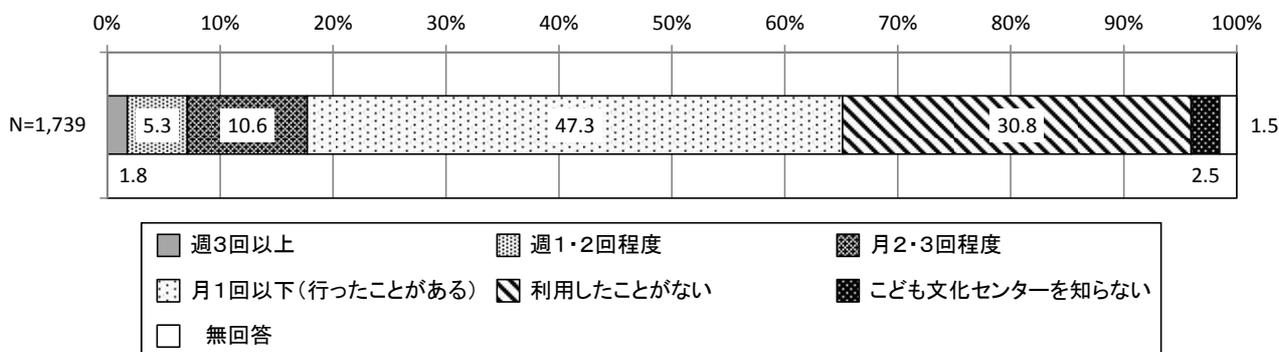


## 15 こども文化センターの利用について（就学子ども）

### (1) こども文化センターの利用頻度

こども文化センターの利用頻度について聞いたところ、「月1回以下(行ったことがある)」が47.3%と最も多く、次いで、「利用したことがない」が30.8%、「月2・3回程度」が10.6%と続いている。

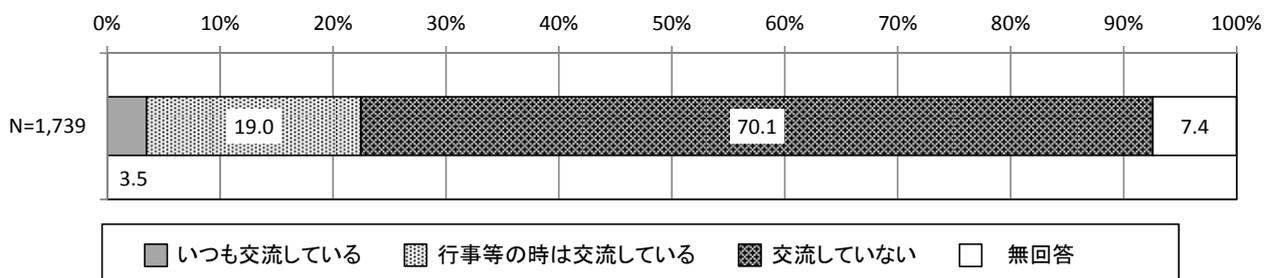
#### ■ 就学子ども(問10-1) (SA)



### (2) 異なる年代の人との交流

異なる年代の人との交流について聞いたところ、「いつも交流している」が3.5%、「行事の時は交流している」が19.0%、「交流していない」が70.1%となっている。

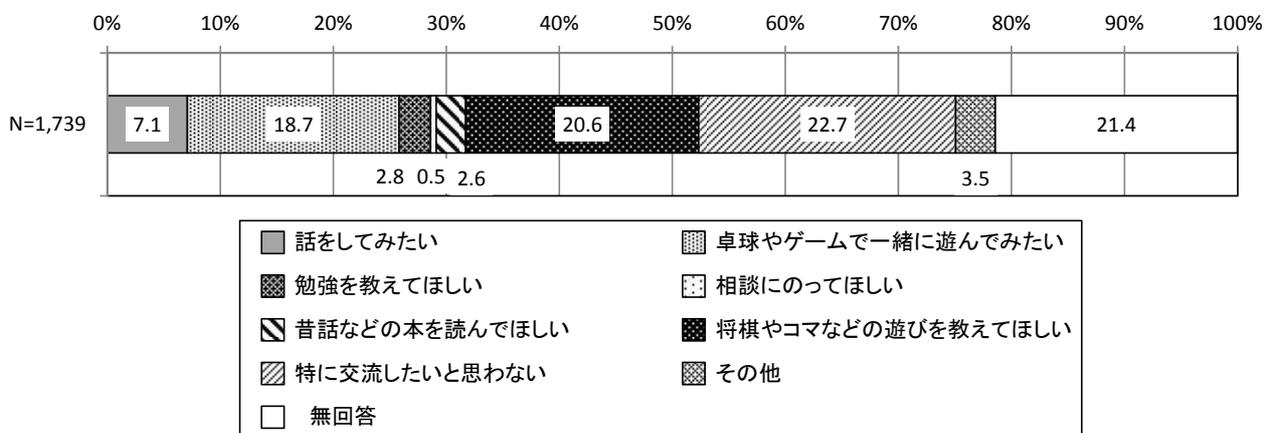
#### ■ 就学子ども(問10-2) (SA)



### (3)異なる年代の人との交流を希望する内容

異なる年代の人との交流を希望する内容について聞いたところ、「将棋やコマなどの遊びを教えて欲しい」が20.6%と最も多く、次いで、「卓球やゲームと一緒に遊んでみたい」が18.7%、「話をしてみたい」が7.1%と続いている。

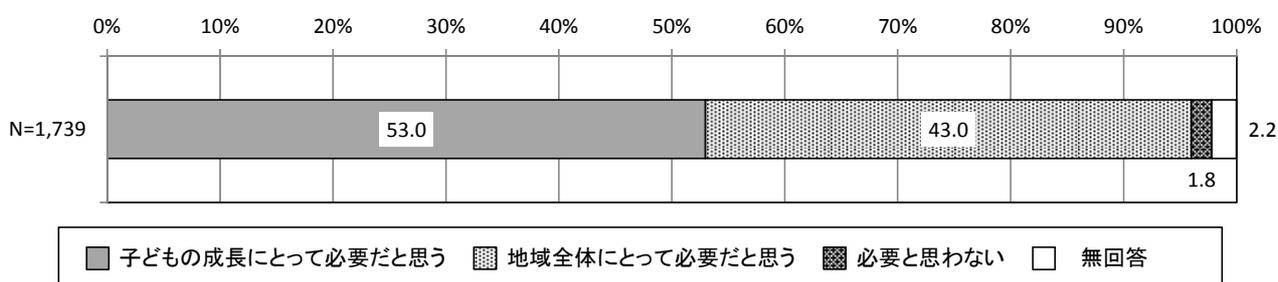
#### ■就学子ども(問10-3)(SA)



### (4)子育てに地域の大人が関わることについて

子育てに地域の大人が関わることについて聞いたところ、「子どもの成長にとって必要だと思う」が53.0%、「地域全体にとって必要だと思う」が43.0%となっている。

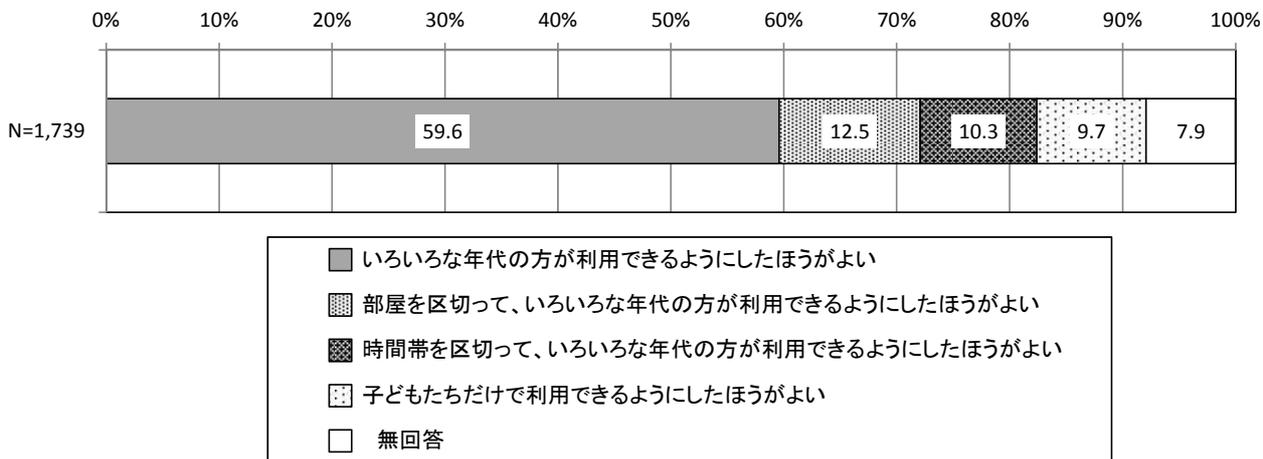
#### ■就学子ども(問10-4)(SA)



### (5)こども文化センターへの今後の要望

こども文化センターへの今後の要望について聞いたところ、「いろいろな年代の方が利用できるようにしたほうがよい」が59.6%と最も多く、次いで、「部屋を区切って、いろいろな年代の方が利用できるにしたほうがよい」が12.5%、「時間帯を区切って、いろいろな年代の方が利用できるにしたほうがよい」が10.3%と続いている。

■就学子ども(問10-5)(SA)



## 16 自由意見

教育・保育環境の充実、子育て支援に関する取組等についての意見を聞いた。

### (1) 就学前子どもの自由意見

ア 未就学児童の教育・保育施設について

#### ■施設の不足、待機児童について

- ・保育園こども園をもっと増やしてほしい。
- ・公立幼稚園の設立を検討してほしい。
- ・認可園、認定園どちらも数が少ない。無償化の前に、園を増やし、保育士の給料を上げより多くの子どもをあずかれる体制を整えてほしい。
- ・待機児童の改善、就業時間が短くても希望する保育所に入れるといいと思います。
- ・一時預かりを行っている保育園、幼稚園がもう少し増えてくれるとありがたいです。
- ・多くの支援が、土日が休みの方を考えられていて、土日の支援が少ない。小さな子どもが休日安心して過ごすことが出来る環境がもっと充実することを願っています。

#### ■育児休暇と入所の時期等について

- ・希望の職場復帰タイミングで、きちんと復職できる仕組みを考えてほしい
- ・入園したい月に、定員がいっぱいで保育園に入れなかったのが、何とかしてほしいです。保育園に入れなくて、仕事が出来なくなったら、本当に困ります。
- ・育児休業の取得を3歳まで取れるような制度を希望します。(子どもが3歳になるまでは自宅での保育がしたいと、私自身出産後強く思いました。)
- ・働きたくても、あずけられる場所がない。保育園は産休をとっている人優先。結局、下の子が幼稚園に入れる年齢にならないと働けない。

#### ■施設利用料について

- ・ベビーシッターや一時預かりなどの料金が下がれば利用したかったが高いため利用できなかった。その点、何かしてほしいです。
- ・保育に関して10月より無償化はとてもありがたいですが、0～2才の保育料が高いため、無償化とかわかなくても、保育料を低くしていただくと大変うれしいです。
- ・他市と比べると幼稚園の月謝と入学金が高額であるように思います。もう少し安いと助かります。
- ・保育料の補助金は1月毎に、月謝の金額から引いて請求してもらえると、家庭のお金の負担が減ると思う。あとでまとまってもどってくるよりも、1月の支出額が減って欲しい。

#### ■病児・病後児保育について

- ・医療ケア児をもっといろんな施設などで預けやすくしてほしい。
- ・もう少し病児後保育を利用しやすくしてほしいです。Webから申し込める etc…
- ・病児、病後児の保育施設が少ない。自宅から遠く利用しづらい。申しこみの時点で枠がいっぱいで、まったく利用できない。

#### ■施設の設定・サービス・受け入れについて

- ・保育所でも保育時間内に教育を充実させてほしい。(英会話、体操、音楽等)
- ・イジメや虐待を受けている子どもを専門知識を持った職員が対応し、保護していく施設。
- ・認可保育所を利用しているが、就労の時のみの利用の為、親の私用・リフレッシュ等でも預ってもらえると助かる。
- ・緊急時に一時保育を利用したく園に直接連絡したが、「今は募集していません」と断られた。一時保育の枠がもう少し多くあり、気軽に預けられる施設があれば嬉しいです。
- ・子育てサロン等。役所で沢山のイベントがあるので小さい子を連れて外出する機会があり、ありがたかったです。

#### イ 小学校、中学校について

- ・中学校の給食を実現してほしい。
- ・小学校の学区を見直してほしい。学校が見えるのにその学校に行けないのはおかしい。
- ・子どもの安全確保のため、公立の小学校、中学校でも不審者が入ってこれないようにセキュリティを強化する。公立の小学校、中学校でも、登下校時の事件、事故を減らすためにスクールバスを導入してほしいです。別途、バス代が発生しても、子どもの安全のためならおしらず、喜んで払います。ぜひ、川崎市内での実現を目指してほしいです。

#### ウ 就学後の子どもの居場所について (わくわくプラザ、民間学童保育等)

- ・就学児の始業前の学童があればと思います。
- ・日曜日や祝日にも子ども文化センターで子育てイベント等を開催してほしい。
- ・わくわくプラザでの校庭・体育館の使用など身体を使うことができるようにしてほしい。

#### エ 市政全般・市の子育て支援について

##### ■市の子育て支援(全般)について

- ・1人目を出産して、川崎市の子育て支援に助けられました。2人目を出産した後も今後も引き続き、お世話になりたいと思います。ありがとうございます。
- ・里親制度の推進や、学校でのいじめ問題等へのサポート強化など、子どもが安心して幸せに暮らせる市政に期待します。
- ・区役所の業務を、土、日に1日/月でもいいのでやってもらえると助かります。母子手帳をもらえる、保育園の相談など。
- ・子育てや妊娠出産がもっとしやすくなるように支援してほしい。
- ・高齢でも出産した場合、収入も多いので、無償化の恩恵を受けにくい。老後の不安が残るので、若年層が恩恵を受け易い今の収入制限には不満がある。
- ・子育ての支援のみでなく、家庭における家事サポートの制度が充実するとよいと思う。民間のシッターや家事サポートは高額で利用しづらいが、日々の家事・育児のサポートがないため、親子の時間がほぼとれず、親もイライラすることが多い。金銭的な負担の少ない家事サポートの制度があれば利用し、働きながらも親子の時間を毎日少しでもとれるようにしたい。

##### ■医療助成について

- ・小児医療費の無償化の対象を増やしてほしい。

- ・小児医療費助成制度の所得制限をなくしてほしいです。
- ・子どもの健診の助成を増やしてほしいです。(1ヶ月・9ヶ月など)
- ・インフルエンザ等の注射(予防接種)に対して金銭面でサポートしていただけると助かります。

#### ■お知らせ、情報配信について

- ・自ら調べて情報を知るのは難しい。定期的に情報を発信する方法があると助かる。
- ・ベビーシッター、ふれあい子そだてサポートを利用してみたいが、詳しい利用内容を知れるサイトがあると嬉しい。ネットで気軽に登録、利用できるようにしてくれると使いやすいと思います。
- ・各年齢に応じた子どもの悩みやサポートを施設や子ども同士が楽しめるイベント特集などを毎年贈られてきたら嬉しいです。
- ・妊娠、出産、育児に関する資料やチラシが多く全てに目を通せず捨てている。せめてまとめて1冊のガイドブック化してくれたら保存する気になる。

#### ■市内の環境について

- ・川崎区の産科が少ないと思う
- ・麻生区役所のトイレにオムツを取り替えることのできる設置が少ないので充実してくれると子どもを連れて行く際助かります。
- ・年齢ごとにあそべる遊具を置いた芝生の大きい公園がほしい。公園がすくないし、石があったり、小さい子にあそびづらいことも多くて、ほとんど利用したことがない。
- ・子ども達が住みやすく遊びやすい街づくりのため、路上禁煙やポイ捨ての取締りを徹底して頂きたい。

#### オ その他

- ・保育士の待遇・給与をもっと良くして欲しい。現在通っている認可保育所の先生方は皆さん熱意あり素晴らしい育児のプロです。保育料無償化した分、先生方の給料上乘せして欲しいです。
- ・住民を増やす前に電車の混雑解消や保育園の充実などに力を入れて欲しいです。
- ・教育・保育について、川崎市は良いという声をよく聞きます。実際にとっても良い環境だと思います。さらにアピールして頂くと、良いのではないかと思います。
- ・養育里親について、今は自分の子どもで手いっぱいなのを考慮されないが、いずれ余裕ができたなら考えてみたい。
- ・外国人の子育てに関してもっといい交流、いい環境があったらいいと思います。

## (2)就学子どもの自由意見

### ア 未就学児童の教育・保育施設について

- ・公立保育園を減らさないで欲しい。公務員の保育士さんがいることは保育士さんの地位向上に繋がると思う。公立保育士さんの賃金が平均的なものになれば、保育士不足は少し解消できると思う。
- ・待機児童対策などに積極的に取り組んでおり大変すばらしいと思います。引き続き子ども達の笑顔のために力を入れて取り組んでください。

### イ 小学校・中学校について

- ・そもそも小学校自体に対する予算配分が足りないのではないかと。教師の皆さんは過大な児童数を抱え、余裕がなくなりクラスの統制がとれなくなり崩壊していくという悪循環におちいつているように思われる。国との整合もあるとは思いますが、もっと先生の数を増やして欲しい。
- ・小学校のシステムがアナログすぎる。働く両親には確認の負担が大きい。平日のイベントが多い。
- ・公立小学校、中学校の教職員の増員を希望します。
- ・小学校の先生の教育を、する必要があると思います。

### ウ 放課後の子どもの居場所について（わくわくプラザ、民間学童保育等）

- ・こども文化センターは、子ども達が安心して安全に遊べる場であることが一番大切だと思います。
- ・わくわくプラザの制度は、何かあった時に利用できて便利なので、継続してほしいです。
- ・もっと伸び伸びとあそびだりできる施設があるといいです。中遊び、外遊びができたり。また、もっと工作や体験等のイベントをやってほしいです。もちろん有料でも良いので。家庭では経験できないことを。
- ・民間学童保育が少ないと思います。料金を払ってでもいいので、習い事をかねた学童保育（送迎付き）があれば利用したいです。特に夏休み等長い休みの時は、本当に困っています。
- ・就学前は民間の学童の利用を考えていましたが、わくわくプラザを利用しました。無料の上、想像以上に様々なアクティビティを提案してくれており、子どもも飽きる事なく楽しく利用することができており、大変満足しております。今度オプションで（課金ありでもよい）習い事の要素の取り入れを検討いただけると、とても嬉しいです。

### エ 市政全般・市の子育て支援について

#### ■市の子育て支援（全般）について

- ・子どもに関するサービスには所得制限等、保護者の状況によって差が出る事がないようにして欲しい。
- ・「養育里親」についてはじめて知りました。350人の子が自分の家庭で暮らせていないと知りました。自分も高齢、親も高齢、子も1人のため将来の不安がありましたが、市でもそのような制度を推進してくださっているのはとても安心できました。
- ・子どもをもつ各家庭に1人ずつ、近所のシニアボランティアの方がサポーターとして、気軽に頼れる存在として居てくれるとよいと思います。

### ■病児保育・医療費助成について

- ・病児、病後児保育が充実していないと思う。各区に1か所だけでは、利用したい時にできない。
- ・小児医療制度の所得制限を設けず、全世帯へ助成してほしい。
- ・医療費負担を中学生までしてもらいたい。

### ■親の就労との両立について

- ・仕事と家事で、子どもと向き合う時間が少ないです。全国的に、就労時間の短縮を検討してほしい。家事の援助があるとありがたいです。
- ・両親はフルタイム勤務の環境下ですが子どもは毎日楽しく学校に通っています。様々な対応をしていただいているおかげかと思います。ありがとうございます。

### ■情報提供、広報について

- ・子育て支援事業の内容や問い合わせ先など、どんなサービスをどれくらいの料金で利用できるのか全然知らなかった。情報をもう少しわかりやすく発信してもらいたい。
- ・ファミサポを利用したいと思い問合せをしたことがあるが、近くに登録者がおらず利用することが出来なかった。ファミサポを知らない人が多い為もっと周知し、サポートする側もされる側も増え、地域で子育てできる制度が整うと良いです。
- ・取組やイベントを知る努力はしていますが、まだまだ知らないものもあるかと思えます。今後も学校等を通じてアピールをお願いします。

### オ 市政、市内の子育て環境について

- ・通学路が交通量が多いので不安。授業の遅れなどを支援してくれるサポートがあれば知りたい。
- ・図書館は支援施設には入ってないのでしょうか。図書館をもっと充実させてほしい
- ・子育てヘルパーの方が近くにいない、と近所の働くママ友がなげいていましたので、近くにヘルパーの方がいるような環境をお願いします。
- ・遊べる場所が少ない。サッカーなど、ボールを使用できる公園や施設が限られており、なかなか自由に遊べない。川崎市はサッカーをやりたい子どもが多いので、みんなが延び延びサッカーを出来る場所があれば良いと思う。

### カ その他

- ・経済的に子どもの教育費を掛けてやる事ができないため、子どもの今後の進学などを強く心配しています。
- ・子どもの見本となるはずの大人が道に平気でゴミを捨てる町なので、改善しなければならない点だと思います。
- ・子どもの自転車の乗り方が危ないと感じる。また自転車を安全に乗せられる場所もない。なので、自転車を乗せてあげられる公園などを作ってもらえると嬉しい。
- ・タワーマンションを多く建てるのはいいが、子育て環境など、スーパー、病院、学校等が少なすぎる。もっと、色々な事がととのってから建せつしてほしい。人が多すぎて困っている。

## 参考 調査票

### (1) 調査票（小学校就学前子どもの保護者用）

# 川崎市 子ども・子育て支援に関する利用ニーズ調査

## < 小学校就学前子どもの保護者用 >

本調査は、川崎市が「第二期川崎市子ども・子育て支援事業計画」の策定に向け、利用ニーズを把握するために実施するものです。本調査や実際の利用状況等を踏まえ、平成32年4月から5年間の川崎市の幼稚園・保育所等教育・保育と地域子ども・子育て支援事業等の必要量を見込み、事業計画を策定いたします。

なお、ご回答につきましては、本調査の分析のために統計的に処理し、本市における施策推進の目的以外で使用することはございません。また、調査票は無記名方式であり、個人あるいは個々の調査票を公表することはありません。

お忙しいとは存じますが、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

### ご記入にあたってのお願い

- ご回答は、封筒の宛名のお子さんの保護者の方をお願いいたします。
- ご記入は、黒または青の鉛筆やボールペンをご使用ください。
- 設問ごとに用意した回答項目の中から、あてはまるものの番号を○で囲んでください。また、記入欄【 】（ ）には文字を、□□には数字をご記入ください。時間を記入する際は、9時～18時のように24時間制でご記入ください。
- 回答項目の中の波線をつけた教育・保育の事業等については、27ページの資料「子ども・子育て支援事業の内容と利用料」を参考にしてください。
- ご記入いただきました調査票は、1月31日（木）までに、お手数ですが3つ折りし、同封の返信用封筒に入れてご投函ください（切手は不要です）。

本調査に関わるご不明な点やお問合せは、下記までご連絡ください。

### ■お問合せ先

川崎市こども未来局 総務部企画課 為我井・藤川

電話：044-200-2211 FAX：044-200-3190

E-Mail：45kikaku@city.kawasaki.jp

# 1. お子さんとご家族の状況

問1-1 お住まいの区はどちらですか（○は1つ）。

1. 川崎区 2. 幸区 3. 中原区 4. 高津区 5. 宮前区 6. 多摩区 7. 麻生区

問1-2 お住まいの町名をご記入ください（○丁目と続く場合は数字を口にご記入してください）。

町名 【】   丁目

問1-3 封筒の宛名のお子さん（以下、「お子さん」といいます）の生年月をご記入ください。

平成   年   月生まれ

問1-4 お子さんを含めた兄弟姉妹は何人ですか。兄弟姉妹の人数が2人以上の場合は、一番下の子どもの生年月をご記入ください。

兄弟姉妹  人 一番下の子どもの生年月 平成   年   月

問1-5 この調査票にご回答いただいている方（保護者）はどなたですか。お子さんからみた関係でお答えください（○は1つ）。

1. 父親 2. 母親 3. 祖父 4. 祖母 5. その他親族等

問1-6 お子さんと同居されている方（兄弟姉妹を除く）について、お子さんからみた関係でお答えください。祖父、祖母については同居または近居（概ね30分で行き来できる状況）の別でお答えください（○はいくつでも）。

1. 父親、母親とも 4. 父親（母親単身赴任） 7. 祖父（近居） 10. その他親族等  
2. 父親（ひとり親） 5. 母親（父親単身赴任） 8. 祖母（同居）  
3. 母親（ひとり親） 6. 祖父（同居） 9. 祖母（近居）

問1-7 お子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか（○は1つ）。

1. 父親、母親ともに 2. 父親 3. 母親 4. 祖父母 5. その他親族等

## 2. 子どもの育ちをめぐる環境について

問2-1 お子さんの子育て（教育を含む）に日常的にかかわっている方はどなた（施設）ですか。お子さんからみた関係でお答えください（〇はいくつでも）。

- |             |            |                                       |
|-------------|------------|---------------------------------------|
| 1. 父親、母親ともに | 5. 認定こども園  | 9. 障害のある（発達の遅れや障害の疑いを含む）子どものための施設・事業所 |
| 2. 父親       | 6. 幼稚園     |                                       |
| 3. 母親       | 7. 保育所     | 10. その他（ ）                            |
| 4. 祖父母      | 8. 認可外保育施設 |                                       |

問2-2 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか（〇はいくつでも）。

1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる
2. 緊急時または用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる
3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4. 緊急時または用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5. いずれもない ⇒問2-5へ

問2-2で「1」または「2」を選ばれた方（祖父母等の親族にみてもらえる方）にうかがいます。

問2-3 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください（〇はいくつでも）。

1. 安心して子どもをみてもらえる
2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である
3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、不安がある
6. その他（ ）

問2-2で「3」または「4」を選ばれた方（友人・知人にみてもらえる方）にうかがいます。

問2-4 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください（〇はいくつでも）。

1. 安心して子どもをみてもらえる
2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である
3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である
4. 親の立場として、負担をかけていることが心苦しい
5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、不安がある
6. その他（ ）

<みなさんにうかがいます>

問2-5 お子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人がいますか。また相談できる場所がありますか（〇は1つ）。

1. いる/ある ⇒問2-6へ
2. いない/ない ⇒問2-7へ

問2-5で「1. いる／ある」を選ばれた方（相談できる人・場所がある方）にうかがいます。

問2-6 お子さんの子育てに関して気軽に相談できる人や場所は誰（どこ）ですか（〇はいくつでも）。

- |                          |  |
|--------------------------|--|
| 1. 祖父母等の親族               | 8. 利用している幼稚園（認定こども園）の教諭                |
| 2. 友人や知人                 | 9. 民生委員・児童委員                           |
| 3. 近所の子育て仲間              | 10. かかりつけの医師                           |
| 4. 各区保健福祉センター（各区役所の相談窓口） | 11. NPO法人や子育てサークルなど                    |
| 5. 児童相談所                 | 12. 障害のある（発達の違いや障害の疑いを含む）子どものための施設・事業所 |
| 6. 地域子育て支援センター           | 13. その他（_____）                         |
| 7. 利用している保育所の保育士         |  |

くみなさんにうかがいます

問2-7 これまでを振り返って、安心して妊娠・出産・子育てができる環境づくりを進めるためには、周囲からどのようなサポートがあればよいと思いますか（〇はいくつでも）。

- |                            |                            |
|----------------------------|----------------------------|
| 1. 出産前からの子育てに関する教育         | 10. 親のリフレッシュの場や機会の提供       |
| 2. 妊娠中の悩みや不安に対する相談や支援      | 11. 父親の育児参加に関する意識啓発        |
| 3. 妊娠中からの仲間づくり             | 12. 子どもの病気や障害についての相談       |
| 4. 出産病院で退院後の宿泊滞在型による産後ケア   | 13. 行政による子育て情報の提供          |
| 5. 子育て中の親同士の仲間づくり          | 14. 家事や育児に関するヘルパー          |
| 6. 保育所・幼稚園など希望する事業が利用できる環境 | 15. 保健師・助産師等の家庭訪問          |
| 7. 子どもを遊ばせる場や機会の提供         | 16. 子育て経験者の先輩の話や聞き取りの機会を提供 |
| 8. 乳幼児期の子育てについての講座         | 17. その他（_____）             |
| 9. 親の子育てに関する不安や悩みの相談       | 18. 特になし                   |

### 3. 保護者の就労状況について

※以下の設問では、「フルタイム」は、「1週5日程度・1日8時間程度の就労」とし、「パート・アルバイト」は、「フルタイムフルタイム以外の就労」のことをいいます。

問3-1 お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者を含む）を、(1) 母親 (2) 父親それぞれお答えください（該当するものに〇）。

(1) 母親（父子家庭は記載不要）	(2) 父親（母子家庭は記載不要）
1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）	1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）
2. フルタイムだが、産休・育休・介護休業中	2. フルタイムだが、育休・介護休業中
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）	3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）
4. パート・アルバイト等だが、産休・育休・介護休業中	4. パート・アルバイト等だが、育休・介護休業中
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまでに就労したことがない	6. これまでに就労したことがない

⇒ (1) (2) いずれも「5」または「6」の方は問3-4へ

問3-1の(1)または(2)で、「1」から「4」のどれかを選ばれた方(フルタイム、パート・アルバイト等の就労している方)にうかがいます。

問3-2 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間(残業時間を含む)」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

産休・育休・介護休業中の方は休業に入る前の状況についてお答えください。また、家を出る時間、帰宅時間を口にご記入ください(30分未満は切り捨て・30分以上は切り上げ)。

(1) 母親(父子家庭は記載不要)	(2) 父親(母子家庭は記載不要)
1週あたりの平均の就労日数 <input type="text"/> 日	1週あたりの平均の就労日数 <input type="text"/> 日
1日あたりの平均の就労時間 <input type="text"/> <input type="text"/> 時間	1日あたりの平均の就労時間 <input type="text"/> <input type="text"/> 時間
家を出る時間 <input type="text"/> <input type="text"/> 時・帰宅時間 <input type="text"/> <input type="text"/> 時	家を出る時間 <input type="text"/> <input type="text"/> 時・帰宅時間 <input type="text"/> <input type="text"/> 時

問3-1の(1)または(2)で、「3」または「4」を選ばれた方(パート・アルバイト等の方)にうかがいます。

問3-3 フルタイムへの転換希望についてお答えください(該当するものに○)。

(1) 母親(父子家庭は記載不要)	(2) 父親(母子家庭は記載不要)
1. フルタイムへ転換する希望があり、実現できる見込みがある	1. フルタイムへ転換する希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへ転換する希望はあるが実現できる見込みがない	2. フルタイムへ転換する希望はあるが実現できる見込みがない
3. パート・アルバイトで引き続き就労予定	3. パート・アルバイトで引き続き就労予定
4. パート・アルバイトをやめて、子育てや家事に専念する予定	4. パート・アルバイトをやめて、子育てや家事に専念する予定

問3-1の(1)または(2)で、「5」または「6」を選ばれた方(現在またはこれまでに就労したことがない方)にうかがいます。

問3-4 就労希望はありますか(該当するものに○)。また、該当する口に数字、もしくは該当する記号に○をご記入ください。

(1) 母親(父子家庭は記載不要)	(2) 父親(母子家庭は記載不要)
1. 子育てや家事に専念したい(就労の予定はない)	1. 子育てや家事に専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが <input type="text"/> <input type="text"/> 歳になったところに就労したい	2. 1年より先、一番下の子どもが <input type="text"/> <input type="text"/> 歳になったところに就労したい
3. すぐにでも、または1年以内に就労したい →希望する就労形態	3. すぐにでも、または1年以内に就労したい →希望する就労形態
ア. フルタイムによる就労	ア. フルタイムによる就労
イ. パート・アルバイト等による就労	イ. パート・アルバイト等による就労
⇒1週あたり <input type="text"/> 日程度を希望	⇒1週あたり <input type="text"/> 日程度を希望
1日あたり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間程度を希望	1日あたり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間程度を希望

#### 4. 日中の定期的な教育・保育の事業等の利用状況について

※「日中の定期的な教育・保育の事業等」とは、「1日4時間以上の週4日以上で1月以上利用している事業」及び障害のある子どものための施設・事業を指します。具体的には、幼稚園や保育所など、問4-2に示した事業が含まれます。

問4-1 お子さんは現在、「日中の定期的な教育・保育の事業」を利用されていますか（○は1つ）。

1. 利用している      2. 利用していない      ⇒問4-7へ

問4-2 お子さんは、日中どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて定期的に利用している事業をお答えください（○は3つまで）。

- |  |  |
|--|--|
| <p>1. 認可保育所<br/>(市の認可を受けた定員20人以上の施設)</p> <p>2. 幼稚園</p> <p>3. 幼稚園・認定こども園の預かり保育<br/>(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)</p> <p>4. 認定こども園<br/>(幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設)</p> <p>5. 小規模保育施設<br/>(市の認可を受けた定員が概ね6~19人の施設)</p> <p>6. 家庭的保育施設<br/>(保育者の家庭等で5人以下の子どもを預かる施設)</p> <p>7. 事業所内保育施設<br/>(企業が主に従業員用に運営する施設)</p> <p>8. 川崎市が認定した認可外保育施設(川崎認定保育園・おなかも保育室)<br/>(認可保育所ではないが市が認定した施設)</p> | <p>9. その他の認可外保育施設<br/>(地域保育園、企業主導型保育施設、年度限定型保育施設、職場の託児所など)</p> <p>10. 居宅訪問型保育(ベビーシッター)<br/>(ベビーシッターなどの保育者が子どもの家庭で保育する事業)</p> <p>11. ふれあい子育てサポート事業<br/>(育児の援助を行いたい人と育児の援助を受けたい人が会員登録し、相互に育児援助活動を行う事業)</p> <p>12. 幼稚園<br/>(幼稚園類似の無認可幼児教育施設で市の基準に該当する施設)</p> <p>13. 障害のある(発達の遅れや障害の疑いを含む)子どものための施設・事業<br/>(地域療育センター、児童発達支援事業所、障害児・者一時預かりなど)</p> <p>14. その他( )<br/>⇒「14」のみの方は問4-6へ</p> |
|--|--|

問4-3 日中の定期的な教育・保育の事業について、どのくらい利用していますか。問4-2で○をつけた事業番号を口に入力し、併せて数字を口にご記入ください。

事業番号	現在利用している日数・時間			
□□	1週あたり□日	利用している時間帯	□□時 □□分	~ □□時 □□分
□□	1週あたり□日	利用している時間帯	□□時 □□分	~ □□時 □□分
□□	1週あたり□日	利用している時間帯	□□時 □□分	~ □□時 □□分

⇒問4-4へ

問4-4 現在、利用されている教育・保育の事業のうち、最も長時間利用している事業の実施場所はどこですか(○は1つ)。また、該当する【 】に具体名をご記入ください。

1. 住んでいる区内 2. 住んでいる区外 3. 他の市区町村  
(川崎市【 】区) (【 】市・区・町・村)

※東京都と横浜市の場合は区名を記入

問4-5 問4-4で回答した事業の実施場所を選んだ理由は何ですか(○は1つ)。

1. 自宅から近いから 4. 教育・保育の内容がよいから  
2. 通勤経路等の最寄駅に近いから 5. 利便性と教育・保育の内容がよいから  
3. 通園バスが使えるから 6. その他( )

問4-1で「1」を選ばれた方(定期的な事業を利用している方)にうかがいます。

問4-6 日中の教育・保育の事業を利用している理由は何ですか(○はいくつでも)。

1. 子どもの教育や発達のため  
2. 子育てをしている方が現在就労している  
3. 子育てをしている方が就労の予定がある、または求職中である  
4. 子育てをしている方が家族・親族などを介護している  
5. 子育てをしている方が病気や障害がある  
6. 子育てをしている方が学生である  
7. 子育てをしている方が妊娠中である又は出産後間もない  
8. 子どもの障害(発達の遅れや障害の疑いを含む)のため  
9. その他( )

⇒問4-8へ

問4-1で「2」を選ばれた方(定期的な事業を利用していない方)にうかがいます。

問4-7 日中の教育・保育の事業を利用していない理由は何ですか(○は1つ)。また、該当する□に数字をご記入ください。

1. 親がみているので利用する必要がない  
2. 祖父母や親戚がみているので利用する必要がない  
3. 近所の人や友人・知人がみているので利用する必要がない  
4. 教育・保育の事業に空きがない  
5. 経済的理由で事業を利用できない  
6. 延長・夜間などの時間帯の条件が合わない  
7. 場所や質など、納得できるサービスがない  
8. 子どもがまだ小さいため( □□ 歳くらいになったら利用したいと考えている)  
9. その他( )

<みなさんにうかがいます>

問4-8 定期的な事業を利用している方は、更なる利用希望について、また、利用していない方は今後の利用希望について、次の日中の教育・保育の事業で「定期的に」利用したい事業はありますか（〇は3つまで）。これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生しますので、資料「子ども・子育て支援事業の内容と利用料」をご確認ください。

- |   |  |
|---|--|
| 1. 認可保育所<br>(市の認可を受けた定員20人以上の施設)                            | 10. 居宅訪問型保育（ベビーシッター）<br>(ベビーシッターなどの保育者が子どもの家庭で保育する事業)                      |
| 2. 幼稚園  | 11. ふれあい子育てサポート事業<br>(育児の援助を行いたい人と育児の援助を受けたい人が会員登録し、相互に育児援助活動を行う事業)        |
| 3. 幼稚園・認定こども園の預かり保育<br>(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)       | 12. 幼稚園<br>(幼稚園類似の無認可幼児教育施設で市の基準に該当する施設)                                   |
| 4. 認定こども園<br>(幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設)                            | 13. 障害のある(発達の違いや障害の疑いを含む)子どものための施設・事業<br>(地域療育センター、児童発達支援事業所、障害児・者一時預かりなど) |
| 5. 小規模保育施設<br>(市の認可を受けた定員が概ね6~19人の施設)                       | 14. その他 ( )  |
| 6. 家庭的保育施設<br>(保育者の家庭等で5人以下の子どもを預かる施設)                      | 15. 特にな<br>⇒「14」「15」のみの方は問5-1へ   |
| 7. 事業所内保育施設<br>(企業が主に従業員用に運営する施設)                           |  |
| 8. 川崎市が認定した認可外保育施設(川崎認定保育園・おなかま保育室)<br>(認可保育所ではないが市が認定した施設) |  |
| 9. その他の認可外保育施設<br>(地域保育園、企業主導型保育施設、年度限定型保育施設、職場の託児所など)      |  |

問4-9 日中の定期的な教育・保育の事業についてどのぐらい利用したいと思いますか。問4-8で〇をつけた事業番号を口に入れて数字をご記入ください。

事業番号	希望する日数・時間
<input type="text"/> <input type="text"/>	1週あたり <input type="text"/> 日 希望する時間帯 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分 ~ <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分
<input type="text"/> <input type="text"/>	1週あたり <input type="text"/> 日 希望する時間帯 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分 ~ <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分
<input type="text"/> <input type="text"/>	1週あたり <input type="text"/> 日 希望する時間帯 <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分 ~ <input type="text"/> 時 <input type="text"/> 分

問4-10 利用したい教育・保育の事業のうち、最も長時間利用したい事業の実施場所はどこですか（〇は1つ）。また、該当する【 】に具体名をご記入ください。

- |            |                         |                           |
|------------|-------------------------|---------------------------|
| 1. 住んでいる区内 | 2. 住んでいる区外<br>(川崎市【 】区) | 3. 他の市区町村<br>(【 】市・区・町・村) |
|------------|-------------------------|---------------------------|

※東京都と横浜市の場合は区名を記入

問4-11 問4-10で回答した事業の実施場所を選んだ理由は何ですか（○は1つ）。

- |                   |                      |
|-------------------|----------------------|
| 1. 自宅から近いから       | 4. 教育・保育の内容がよいから     |
| 2. 通勤経路等の最寄駅に近いから | 5. 利便性と教育・保育の内容がよいから |
| 3. 通園バスが使えるから     | 6. その他（ ）            |

問4-8で「1」から「13」のいずれかを選ばれた方（定期的な事業を希望している方）にうかがいます。

問4-12 利用したい教育・保育の事業で、お子さんへの特別なサポートを望まれる場合、どのようなサポートがあればよいとお考えでしょうか。ご自由にご記入ください。

資料（2）妊娠、出産、育児支援  
（4）専門的な支援を参照

## 5. 地域子育て支援センター等の利用状況について

問5-1 地域子育て支援センターを知っていますか（○は1つ）。

1. 知っている    2. 知らない    3. 聞いたことがあるが内容は知らない

問5-2 お子さんは、現在、地域子育て支援センターを利用していますか（○は1つ）。利用されている場合は、数字を口にご記入ください。

現在の利用状況	利用している回数
1. 利用している →	1週あたり <input type="text"/> 回 もしくは 1か月あたり <input type="text"/> <input type="text"/> 回程度
2. 利用していない	

問5-3 地域子育て支援センターについて、今は利用していないが今後利用したい、あるいは、利用しているがさらに利用日数を増やしたいと思いませんか（○は1つ）。また希望する利用頻度について数字を口にご記入ください。

今後の利用希望	希望する回数
1. 利用していないが、今後利用したい →	1週あたり <input type="text"/> 回 もしくは 1か月あたり <input type="text"/> <input type="text"/> 回程度
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい →	1週あたり さらに <input type="text"/> 回 もしくは 1か月あたり さらに <input type="text"/> <input type="text"/> 回程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない	

問5-2で「2」を選ばれた方（利用していない方）にうかがいます。

問5-4 地域子育て支援センターを利用していない理由は何ですか（〇はいくつでも）。

- |                         |                   |
|-------------------------|-------------------|
| 1. 保育所や幼稚園などを定期的に利用している | 7. 子どもの年齢がまだ小さい   |
| 2. 自宅から遠い               | 8. 施設が混んでいる       |
| 3. 施設で何をしているのかがわからない    | 9. 施設の雰囲気合わない     |
| 4. 施設の利用方法がわからない        | 10. 土日祝日に利用できない   |
| 5. 施設の利用対象になるのかがわからない   | 11. 特に利用する必要を感じない |
| 6. 子どもの年齢が大きく、遊びづらい     | 12. その他（_____）    |

<みなさんにうかがいます>

問5-5 こども文化センターでは、地域における多世代交流を促進する拠点的な施設として、多世代が相互に交流することにより、子どもたちが互いに支え合うことを学びながら育ち、地域の一員として主体的に活動していく力を培うための環境づくりを進めています。こども文化センターを知っていますか（〇は1つ）。

- |          |         |                     |
|----------|---------|---------------------|
| 1. 知っている | 2. 知らない | 3. 聞いたことがあるが内容は知らない |
|----------|---------|---------------------|

問5-6 こども文化センターを利用する頻度を教えてください（〇は1つ）。

- |            |                    |              |
|------------|--------------------|--------------|
| 1. 週3回以上   | 3. 月2・3回程度         | 5. 利用したことがない |
| 2. 週1・2回程度 | 4. 月1回以下（行ったことがある） |              |

問5-7 こども文化センターについて、今後、どのように利用したいですか（〇は1つ）

- |                                       |
|---------------------------------------|
| 1. いろいろな年代の方が利用できるようにしたほうがよい          |
| 2. 部屋を区切って、いろいろな年代の方が利用できるようにしたほうがよい  |
| 3. 時間帯を区切って、いろいろな年代の方が利用できるようにしたほうがよい |
| 4. 子どもたちだけで利用できるようにしたほうがよい            |

問5-8 次の表にある事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいと思うものをお答えください。事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。また、Bで「はい」を選んだ場合は、利用した際の満足度についてお答えください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものもあります。

事業名	A.知っている	B.利用したことがある	C.今後利用したい	Bで「はい」を選択した方は満足度を回答				
				満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満
1. かわさき子育てガイドブック	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	5	4	3	2	1
2. かわさき子育て応援ナビ	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	5	4	3	2	1
3. 妊婦健診費用助成	はい いいえ	はい いいえ	—	5	4	3	2	1
4. 新生児訪問	はい いいえ	はい いいえ	—	5	4	3	2	1
5. こんにちは赤ちゃん訪問	はい いいえ	はい いいえ	—	5	4	3	2	1
6. 産前・産後家庭支援ヘルパー派遣事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	5	4	3	2	1
7. 産後ケア事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	5	4	3	2	1
8. 養育支援訪問事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	5	4	3	2	1
9. ふれあい子育てサポート事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	5	4	3	2	1
10. 幼稚園・認定こども園における子育て支援事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	5	4	3	2	1
11. 保育所における地域活動事業	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	5	4	3	2	1
12. 子育てサロン・赤ちゃん広場	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	5	4	3	2	1
13. 子育てサークル	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	5	4	3	2	1
14. 地域子育て自主グループ	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	5	4	3	2	1
15. マタニティマーク	はい いいえ	—	—	—	—	—	—	—
16. 地域療育センター	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	5	4	3	2	1
17. 児童発達支援事業所	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	5	4	3	2	1
18. 障害児・者一時預かり	はい いいえ	はい いいえ	はい いいえ	5	4	3	2	1

※参考（マタニティマーク）

マタニティマークは、妊婦が交通機関等を利用する際に身につけ、周囲に妊婦であることを示しやすくするものです。



## 6. 土曜・休日や長期休暇中の「定期的な」教育・保育の事業等の利用について

※教育・保育の事業等とは、保育所、幼稚園、認可外保育施設などの事業を指しますが、親族・知人にみてもらうことは含みません。

問6-1 お子さんについて、土曜日および日曜日・祝日に、教育・保育の事業等をどのくらい利用していますか（○は1つずつ）。また、利用している場合は時間帯を口にご記入ください。

(1) 土曜日

現在の利用状況	利用している時間帯
1. ほぼ毎週利用している →	□□ 時 □□ 分 ~ □□ 時 □□ 分
2. 月に1~2回は利用している →	□□ 時 □□ 分 ~ □□ 時 □□ 分
3. 利用していない	

(2) 日曜日・祝日

現在の利用状況	利用している時間帯
1. ほぼ毎週利用している →	□□ 時 □□ 分 ~ □□ 時 □□ 分
2. 月に1~2回は利用している →	□□ 時 □□ 分 ~ □□ 時 □□ 分
3. 利用していない	⇒ (1) (2) でいずれも「3」の方は問6-3へ

問6-2 利用している理由をお答えください（○はいくつでも）。

- |                |                    |
|----------------|--------------------|
| 1. 仕事のため       | 3. 親族の介護や手伝いが必要なため |
| 2. 冠婚葬祭等の用事のため | 4. その他 ( )         |

くみなさんにうかがいます>

問6-3 お子さんについて、土曜日および日曜日・祝日に、定期的な教育・保育の事業を利用したいと思いませんか（○は1つずつ）。また、利用希望がある場合は時間帯を口にご記入ください。

(1) 土曜日

今後の利用希望	希望する時間帯
1. ほぼ毎週利用したい →	□□ 時 □□ 分 ~ □□ 時 □□ 分
2. 月に1~2回は利用したい →	□□ 時 □□ 分 ~ □□ 時 □□ 分
3. 利用する必要はない	

(2) 日曜日・祝日

今後の利用希望	希望する時間帯
1. ほぼ毎週利用したい →	□□ 時 □□ 分 ~ □□ 時 □□ 分
2. 月に1~2回は利用したい →	□□ 時 □□ 分 ~ □□ 時 □□ 分
3. 利用する必要はない	⇒ (1) (2) でいずれも「3」の方は問6-5へ

問6-4へ

問6-3の(1)または(2)で、「1」または「2」を選ばれた方(休日<sup>きゅうじつ</sup>に定期的な事業<sup>ていきてき じぎょう</sup>を希望<sup>きぼう</sup>する方)にうかがいます。

問6-4 利用<sup>りよう</sup>したい理由<sup>りゆう</sup>は何<sup>なん</sup>ですか(○はいくつでも)。

- |   |   |
|---|---|
| 1. 仕事 <sup>しごと</sup> のため                            | 3. 親族 <sup>しんぞく</sup> の介護 <sup>かいご</sup> や手伝 <sup>てつだ</sup> いが必要なため |
| 2. 冠婚葬祭 <sup>かんこんそうさい</sup> 等の用事 <sup>ようじ</sup> のため | 4. その他( )   |

⇒「幼稚園・認定こども園(1号)」以外の方は問7-1へ

「幼稚園・認定こども園(1号)」を利用されている方にうかがいます。

問6-5 幼稚園<sup>ようちえん</sup>等の夏休み<sup>なつやす</sup>みなど長期休業<sup>ちようききぎゅうぎよう</sup>期間<sup>きかんちゆう</sup>中に、教育<sup>きょういく</sup>・保育<sup>ほいく</sup>の事業<sup>じぎょう</sup>を利用<sup>りよう</sup>していますか(○は1つ)。また、利用<sup>りよう</sup>している場合は、該当<sup>たうたう</sup>する曜日<sup>ようび</sup>・事業<sup>じぎょう</sup>に○を付け、時間帯<sup>じかんたい</sup>を口にご記入<sup>きにゅう</sup>ください。

現在の利用 <sup>げんざいのりよう</sup> 状況 <sup>じゆうきょう</sup>	利用 <sup>りよう</sup> している曜日 <sup>ようび</sup> ・事業 <sup>じぎょう</sup> ・時間帯 <sup>じかんたい</sup>
1. 利用 <sup>りよう</sup> している	(1) 曜日 <sup>ようび</sup> : 月 <sup>げつ</sup> ・火 <sup>か</sup> ・水 <sup>すい</sup> ・木 <sup>もく</sup> ・金 <sup>きん</sup> ・土 <sup>ど</sup> (2) 利用 <sup>りよう</sup> している事業 <sup>じぎょう</sup> ア. 幼稚園 <sup>ようちえん</sup> ・認定こども園 <sup>にんていこどもえん</sup> の預かり保育 <sup>あずかりほいく</sup> イ. 一時保育 <sup>いちじほいく</sup> ウ. 認可外 <sup>にんかがい</sup> 保育施設 <sup>ほいくしせつ</sup> 工. その他 <sup>た</sup> (3) 時間帯 <sup>じかんたい</sup> : □□時□□分~□□時□□分
2. 利用 <sup>りよう</sup> していない	

問6-6 幼稚園<sup>ようちえん</sup>等の夏休み<sup>なつやす</sup>みなど長期休業<sup>ちようききぎゅうぎよう</sup>期間<sup>きかんちゆう</sup>中に、教育<sup>きょういく</sup>・保育<sup>ほいく</sup>の事業<sup>じぎょう</sup>を利用<sup>りよう</sup>したいと思<sup>おも</sup>いますか(○は1つ)。また、利用<sup>りよう</sup>希望<sup>きぼう</sup>がある場合は、希望<sup>きぼう</sup>する曜日<sup>ようび</sup>に○を付け、時間帯<sup>じかんたい</sup>を口にご記入<sup>きにゅう</sup>ください。なお、これらの事業<sup>じぎょう</sup>の利用<sup>りよう</sup>には、一定<sup>いってい</sup>の利用者負担<sup>りようしやふたん</sup>が発生<sup>はつせい</sup>します。

今後 <sup>こんご</sup> の利用 <sup>りよう</sup> 希望 <sup>きぼう</sup>	希望 <sup>きぼう</sup> する曜日 <sup>ようび</sup> ・時間帯 <sup>じかんたい</sup>
1. 利用 <sup>りよう</sup> したい	(1) 曜日 <sup>ようび</sup> : 月 <sup>げつ</sup> ・火 <sup>か</sup> ・水 <sup>すい</sup> ・木 <sup>もく</sup> ・金 <sup>きん</sup> ・土 <sup>ど</sup> (2) 時間帯 <sup>じかんたい</sup> : □□時□□分~□□時□□分
2. 利用 <sup>りよう</sup> したいとは思 <sup>おも</sup> わない	⇒問7-1へ

問6-6で「1」を選ばれた方(利用<sup>りよう</sup>したい方)にうかがいます。

問6-7 利用<sup>りよう</sup>したい理由<sup>りゆう</sup>は何<sup>なん</sup>ですか(○はいくつでも)。

- |   |   |
|---|---|
| 1. 仕事 <sup>しごと</sup> のため                            | 3. 親族 <sup>しんぞく</sup> の介護 <sup>かいご</sup> や手伝 <sup>てつだ</sup> いが必要なため |
| 2. 冠婚葬祭 <sup>かんこんそうさい</sup> 等の用事 <sup>ようじ</sup> のため | 4. その他( )   |

## 7. お子さんの病気の際の対応について

※日中の定期的な教育・保育の事業を利用している方（問4-1で「1」を選ばれた方）のみうかがいます。

問7-1 この1年間に、お子さんが病気やケガで通常の事業（保育所や幼稚園での教育・保育の事業）を利用できなかったことはありますか（○は1つ）。（例えば、風邪による発熱のため自宅療養せざるを得なかった等）

1. あった	2. なかった ⇒問8-1へ
--------	----------------

問7-2 ご記入の時点からさかのぼって1年間で、お子さんが病気やケガで教育・保育施設が利用できなかったときに、どのように対処しましたか（○はいくつでも）。

また、それぞれの日数について口におおまかでよいので、ご記入ください（半日程度の対応でも1日としてください）。

1年間の対処方法	日数
1. 就労している母親が休んで見た	□□ 日
2. 就労している父親が休んで見た	□□ 日
3. 父親又は母親のうち就労していない方の保護者が見た	□□ 日
4. （同居者を含む）祖父母等の親族・知人に看てもらった	□□ 日
5. 病児・病後児の保育を利用した	□□ 日
6. 訪問型保育事業（ベビーシッター等）を利用した	□□ 日
7. その他（ ）	□□ 日

⇒「3」～「7」を選ばれた方は問7-6へ

問7-3 病児・病後児のための保育施設等を利用したいと思いましたが（○は1つ）。利用したいと思った場合は、この1年間で利用したかった日数を口にご記入ください。なお、病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. 病児・病後児保育施設等を利用したいと思った	⇒ 年間 □□ 日
2. 利用したいとは思わなかった	⇒問7-5へ

問7-3で「1」を選ばれた方（病児・病後児保育施設等を利用したい方）にうかがいます。

問7-4 病気やケガの理由で子どもを看る事業を利用する場合、どのような事業形態が望ましいと思いますか（○はいくつでも）。

1. 保育所等に併設・隣接した施設で子どもを保育する事業 2. 小児科に併設・隣接した施設で子どもを保育する事業 3. 当該児童の自宅に訪問して保育する事業 4. その他（ ）	} ⇒問8-1へ
---	----------

問7-3で「2」を選ばれた方（利用したいとは思わなかった方）にうかがいます。

問7-5 利用したいと思わなかった理由は何ですか（〇はいくつでも）。

1. 病児・病後児は父母が看るほうがよいと思う
  2. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安
  3. 地域の事業の質に不安がある
  4. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間日数など）がよくない
  5. 利用料がかかる・高い
  6. 手続きや申込みが面倒
  7. 親が仕事を休んで対応できる
  8. ほかの子どもから病気がうつったり、うつしたりしないか不安
  9. その他（ \_\_\_\_\_ ）
- ⇒問8-1へ

問7-2で「3」～「7」を選ばれた方にうかがいます。

問7-6 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思いましたか（〇は1つ）。できれば仕事を休んで看たいと思った場合、休んで看ることが可能な日数を口にご記入ください。

1. 休んで看ることは難しい
2. できれば仕事を休んで看たい：   日 ⇒問8-1へ

問7-7 「休んで看ることは難しい」と答えた理由は何ですか（〇はいくつでも）。

1. 仕事が忙しくて休めない
2. 子どもの看護を理由に休みがとれない
3. 自営業なので休めない
4. 休暇日数が足りないので休めない
5. その他（ \_\_\_\_\_ ）

### 8. 不定期の教育・保育の事業等や宿泊を伴う一時預かり等の利用について

※ここでいう不定期の教育・保育の事業等とは、「週3日以内の就労や病気・私用(冠婚葬祭、リフレッシュ等)などのため、断続的かつ一時的に利用する事業」のことをいいます。

問8-1 お子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、不定期の教育・保育の事業等を利用してありますか(○はいくつでも)。また、それぞれの利用状況(1年間の利用日数または1週間の利用日数、1回あたりの利用時間)を口にご記入ください(時間は30分未満は切り捨て・30分以上は切り上げ)。

現在、利用している事業	日数 (1年間)	日数 (1週間)	利用時間
1. 幼稚園・認定こども園の預かり保育 (就園時間を延長して預かる事業のうち 不定期利用の場合)	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	<input type="text"/> <input type="text"/> 時間
2. 認可保育所における一時保育	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	<input type="text"/> <input type="text"/> 時間
3. 川崎認定保育園で行うリフレッシュ保育	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	<input type="text"/> <input type="text"/> 時間
4. 認可外保育施設における一時預かり事業	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	<input type="text"/> <input type="text"/> 時間
5. ふれあい子育てサポート	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	<input type="text"/> <input type="text"/> 時間
6. ベビーシッター	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	<input type="text"/> <input type="text"/> 時間
7. 障害のある(発達の遅れや障害の疑いを含む)子どものための施設・事業	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	<input type="text"/> <input type="text"/> 時間
8. その他( )	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	<input type="text"/> <input type="text"/> 時間
9. 利用していない			

問8-3へ

問8-2 現在利用していない理由は何ですか(○はいくつでも)。

1. 4日以上定期保育を利用しているから必要ない
2. 特に利用する必要がない(親や友人・知人に預けている)
3. 利用したい事業が地域にない
4. 地域の事業の質に不安がある
5. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間日数など)がよくない
6. 利用料がかかる・高い
7. 利用料がわからない
8. 自分が事業の対象者なのかかわからない
9. 事業の利用方法(手続き等)がわからない
10. どんな事業があるかわからない

問8-1で「1」～「8」を選ばれた方（不定期の教育・保育の事業等を利用している方）にうかがいます。

問8-3 お子さんに関して、不定期の教育・保育の事業等について、どの程度利用する必要があると思いますか（○はいくつでも）。また、それぞれの利用に必要な日数、1年間の希望日数または1週間の希望日数、1回あたりの希望時間を口にご記入ください（時間は30分未満は切り捨て・30分以上は切り上げ）。なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

利用の目的	希望日数 (1年間)	希望日数 (1週間)	希望する 利用時間
1. 不定期の就労	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	<input type="text"/> <input type="text"/> 時間
2. 保護者の病気、冠婚葬祭	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	<input type="text"/> <input type="text"/> 時間
3. 私用（買物、習い事等）・リフレッシュ	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	<input type="text"/> <input type="text"/> 時間
4. その他（_____）	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	<input type="text"/> <input type="text"/> 時間
5. 利用する必要はない →問8-5へ			

問8-4 問8-3の理由でお子さんを預ける場合、どの施設類型が望ましいと思われますか（○はいくつでも）。また、それぞれの利用に必要な日数、1年間の希望日数または1週間の希望日数、1回あたりの希望時間を口にご記入ください（時間は30分未満は切り捨て・30分以上は切り上げ）。なお、事業の利用にあたっては、一定の利用料がかかります。

今後の利用希望	希望日数 (1年間)	希望日数 (1週間)	希望する 利用時間
1. 幼稚園・認定こども園の預かり保育 (就園時間を延長して預かる事業のうち 不定期利用の場合)	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	<input type="text"/> <input type="text"/> 時間
2. 認可保育所における一時保育	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	<input type="text"/> <input type="text"/> 時間
3. 川崎認定保育園で行うリフレッシュ保育	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	<input type="text"/> <input type="text"/> 時間
4. 認可外保育施設における一時預かり事業	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	<input type="text"/> <input type="text"/> 時間
5. ふれあい子育てサポート	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	<input type="text"/> <input type="text"/> 時間
6. ベビーシッター	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	<input type="text"/> <input type="text"/> 時間
7. 障害のある(発達の遅れや障害の疑いを含む)子どものための施設・事業	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	<input type="text"/> <input type="text"/> 時間
8. その他（_____）	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	<input type="text"/> <input type="text"/> 日	<input type="text"/> <input type="text"/> 時間

問8-5 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、お子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含む）（○はいくつでも）。また、かかった日数（泊）を口にご記入ください。

宿泊を伴う一時預かりの状況	宿泊日数（年間）
1. 親族（同居者を含む）や知人にみてもらった	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
2. 短期入所生活援助事業（ショートステイ）	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
3. 2以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
4. 仕方なく子どもを同行させた	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
5. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
6. 障害のある子どものための短期入所	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
7. その他（ <input type="text"/> ）	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊

8. なかった

⇒「2」～「8」を選ばれた方は問9-1へ

問8-6 その場合の困難度はどの程度でしたか（○は1つ）。

1. 非常に困難                      2. どちらかという困難                      3. 特に困難ではない

資料No15 こども文化センター（5）小学生の放課後支援を参照

### 9. お子さんが4歳以上である方に、小学校就学後の希望等について

⇒4歳未満の方は問10-1へ

問9-1 お子さんが小学校低学年（1～3年生）のうち、放課後をどのような場所で過ごさせたいと思いますか（○はいくつでも）。また、それぞれ週に何日希望するかを口にご記入ください。

低学年の放課後の過ごし方	週あたり希望日数
1. 自宅	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
2. 祖父母宅や友人・知人宅	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
3. 習い事（ピアノ、サッカー、学習塾など）	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
4. こども文化センター（児童館）	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
5. わくわくプラザ	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
6. 民間事業者が行う放課後児童クラブ（学童保育）	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
7. ふれあい子育てサポート	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
8. 障害のある（発達の遅れや障害の疑いを含む）子どものための施設・事業所	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
9. 図書館	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
10. 市民館	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
11. 公園	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
12. その他 <input type="text"/>	<input type="text"/> <input type="text"/> 日

問9-2 お子さんが小学校高学年（4～6年生）になったら、放課後をどのような場所で過ごさせたいと思いますか（〇はいくつでも）。また、それぞれ週に何日希望するかを口にご記入ください。

高学年の放課後の過ごし方	週あたり希望日数	
1. 自宅	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 日
2. 祖父母宅や友人・知人宅	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 日
3. 習い事（ピアノ、サッカー、学習塾など）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 日
4. こども文化センター（児童館）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 日
5. わくわくプラザ	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 日
6. 民間事業者が行う放課後児童クラブ（学童保育）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 日
7. ふれあい子育てサポート	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 日
8. 障害のある（発達の遅れや障害の疑いを含む）子どものための施設・事業所	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 日
9. 図書館	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 日
10. 市民館	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 日
11. 公園	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 日
12. その他（_____）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 日

## 10. 育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度について

問10-1 子どもが原則1歳（保育所における保育の実施が行われないなど一定の要件を満たす場合は2歳）になるまで育児休業給付が支給される仕組み、子どもが満3歳になるまでの育児休業等（法定の育児休業及び企業が法定を上回る期間を設けた育児休業に準ずる措置）期間について健康保険及び厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがありますが、そのことをご存じですか（〇は1つ）。

- |                        |                          |
|------------------------|--------------------------|
| 1. 育児休業給付、保険料免除とも知っている | 3. 保険料免除のみ知っている          |
| 2. 育児休業給付のみ知っている       | 4. 育児休業給付、保険料免除のいずれも知らない |

問10-2 お子さんが生まれた時、育児休業を取得しましたか。(1) 母親 (2) 父親それぞれについてお答えください(該当するものに○)。

(1) 母親 (母子家庭は記載不要)	(2) 父親 (母子家庭は記載不要)
1. 働いていなかった	1. 働いていなかった
2. 取得した	2. 取得した
3. 育児休業中である	3. 育児休業中である
4. 取得していない ⇒取得していない理由(下から番号を選んでご記入下さい。番号はいくつでも)	4. 取得していない ⇒取得していない理由(下から番号を選んでご記入下さい。番号はいくつでも)
↑	↑

(1)(2) いずれかで「2」がある方は問10-3へ  
⇒「2」はなく、「3」がある方は問10-10へ  
⇒「2」「3」がなく、「1」または「4」の方は問11へ

1. 職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
2. 仕事が忙しかった
3. (産休後に) 仕事に早く復帰したかった
4. 仕事に戻るのが難しそうだった
5. 昇給・昇格などが遅れそうだった
6. 収入減となり、経済的に苦しくなる
7. 保育所などに預けることができた
8. 配偶者が育児休業制度を利用した
9. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10. 子育てや家事に専念するため退職した
11. 職場に育児休業の制度がなかった
12. 有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
13. 育児休業を取得できることを知らなかった
14. 産前産後の休暇を取得できることを知らず、退職した
15. その他 ( )

問10-2で(1)、(2)のどちらか1つでも「2」を選ばれた方(育児休業を取得した方)にうかがいます。

問10-3 育児休業取得後、職場に復帰しましたか(該当するものに○)。

(1) 母親

- |                           |               |
|---------------------------|---------------|
| 1. 育児休業取得後、職場に復帰した(転職を含む) | 2. 育児休業中に離職した |
|---------------------------|---------------|

(2) 父親

- |                           |               |
|---------------------------|---------------|
| 1. 育児休業取得後、職場に復帰した(転職を含む) | 2. 育児休業中に離職した |
|---------------------------|---------------|

⇒ (1)、(2)のいずれも「1」に○がなければ問10-10へ

問10-3で(1)、(2)のどちらか1つでも「1」を選ばれた方(育児休業取得後、職場に復帰した方)にうかがいます。

問10-4 育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか(該当するものに○)。

※年度初めでの認可保育所入所を希望して、前年度中から復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「1」にあてはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「1」を選択してください。

(1) 母親

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった      2. それ以外だった

(2) 父親

1. 年度初めの入所に合わせたタイミングだった      2. それ以外だった

問10-5 育児休業からは、「実際」にお子さんが何歳何か月のときに職場復帰しましたか。また、お勤め先の育児休業の制度の期間内で、何歳何か月のときまで取りたかったですか。数字を口にご記入ください。

(1) 母親

実際の取得期間  歳   か月 / 希望  歳   か月

(2) 父親

実際の取得期間  歳   か月 / 希望  歳   か月

問10-6 お勤め先に、育児のために3歳まで休暇を取得できる制度があった場合、「希望」としてはお子さんが何歳何か月のときまで取りたかったですか。数字を口にご記入ください。

(1) 母親

歳   か月

(2) 父親

歳   か月

問10-5で実際の復帰と希望が異なる方にうかがいます。

問10-7 希望の時期に職場復帰しなかった理由は何ですか(○はいくつでも)。

(1) 「希望」より早く復帰した方

① 母親

- |                        |                   |
|------------------------|-------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため        | 4. 人事異動の時期に合わせるため |
| 2. 家族の希望があったため         | 5. その他 ( _____ )  |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった |                   |

② 父親

- |                        |                   |
|------------------------|-------------------|
| 1. 希望する保育所に入るため        | 4. 人事異動の時期に合わせるため |
| 2. 家族の希望があったため         | 5. その他 ( _____ )  |
| 3. 経済的な理由で早く復帰する必要があった |                   |

(2) 「希望」より遅く復帰した方

① 母親

- |                         |                       |
|-------------------------|-----------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため     | 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため |
| 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかった | 6. 子どもの障害（発達の遅れや障害の   |
| 3. 家族の希望があったため          | 疑いを含む）のため             |
| 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため | 7. その他（_____）         |

② 父親

- |                         |                       |
|-------------------------|-----------------------|
| 1. 希望する保育所に入れなかったため     | 5. 子どもをみてくれる人がいなかったため |
| 2. 自分や子どもなどの体調が思わしくなかった | 6. 子どもの障害（発達の遅れや障害の   |
| 3. 家族の希望があったため          | 疑いを含む）のため             |
| 4. 職場の受け入れ態勢が整っていなかったため | 7. その他（_____）         |

問10-3で(1)、(2)のどちらか1つでも「1」を選ばれた方（育児休業取得後、職場に復帰した方）にうかがいます。

問10-8 育児休業からの職場復帰時には、短時間勤務制度を利用しましたか（該当するものに○）。

(1) 母親

- |                 |                    |
|-----------------|--------------------|
| 1. 短時間勤務制度を利用した | 2. 短時間勤務制度を利用しなかった |
|-----------------|--------------------|

(2) 父親

- |                 |                    |
|-----------------|--------------------|
| 1. 短時間勤務制度を利用した | 2. 短時間勤務制度を利用しなかった |
|-----------------|--------------------|

問10-8で「2」を選ばれた方（短時間勤務制度を利用しなかった方）にうかがいます。

問10-9 短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか（○はいくつでも）。

(1) 母親

- |   |
|---|
| 1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった                |
| 2. 仕事が忙しかった                               |
| 3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる             |
| 4. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した                |
| 5. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった |
| 6. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）          |
| 7. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった                 |
| 8. その他（_____）                             |

(2) 父親

- |   |
|---|
| 1. 職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった                |
| 2. 仕事が忙しかった                               |
| 3. 短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる             |
| 4. 配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した                |
| 5. 配偶者が無職、祖父母等の親族にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった |
| 6. 職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）          |
| 7. 短時間勤務制度を利用できることを知らなかった                 |
| 8. その他（_____）                             |

問10-2で(1)、(2)のいずれか1つでも「3」を選ばれた方(育児休業中である方)にうかがいます。

⇒母親・父親いずれも育児休業中でない方は問11へ

問10-10 お子さんが1歳になったときに必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても1歳になる前に復帰しますか(該当するものに○)。

(1) 母親

1. 必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得したい
2. 預けられる事業があっても、1歳になる前に復帰したい

(2) 父親

1. 必ず利用できる事業があれば、1歳になるまで育児休業を取得したい
2. 預けられる事業があっても、1歳になる前に復帰したい

資料(3) 保育所や幼稚園を参照

## 11. 幼児教育・保育の無償化について

問11-1 国は、2019年(平成31年)10月からの「幼児教育・保育の無償化」を目指すこととして、今後の広報の参考とするため、この制度について、知っていたかお答えください(○は1つつ)。

(1) 幼稚園、保育所、認定こども園等を利用する3歳から5歳の子どもたちの利用料が無償化の対象となります。

1. 知っていた
2. 知らなかった
3. 聞いたことはあるが内容は知らなかった

(2) 保育所を利用する0歳から2歳児の子どもたちの利用料については、住民税非課税世帯が無償化の対象となります。

1. 知っていた
2. 知らなかった
3. 聞いたことはあるが内容は知らなかった

(3) 幼稚園及び認定こども園の預かり保育を利用する子どもたちについては、一定の要件のもとで預かり保育の利用料が無償化される場合があります。

1. 知っていた
2. 知らなかった
3. 聞いたことはあるが内容は知らなかった

→解説1を御参照ください。

(4) 認可外保育施設等を利用する子どもたちについても、一定の要件のもとで利用料が負担軽減される場合があります。

1. 知っていた
2. 知らなかった
3. 聞いたことはあるが内容は知らなかった

→解説2を御参照ください。

(5) 就学前の障害児の発達支援(いわゆる障害児通園施設)を利用する3歳から5歳の子どもたちについて、利用料が無償化されます。

1. 知っていた
2. 知らなかった
3. 聞いたことはあるが内容は知らなかった

(6) 幼稚園、保育所、認定こども園と、いわゆる障害児通園施設の両方を利用する場合は、両方とも無償化の対象となります。

1. 知っていた 2. 知らなかった 3. 聞いたことはあるが内容は知らなかった

(解説1) 新たに保育の必要性があると認定を受けた場合には、幼稚園保育料の無償化に加えて、預かり保育の利用料が無償化される予定です(月額1. 13万円)。

(解説2) 保育の必要性があると認定された3歳から5歳の子どもたちを対象として、認可保育所における保育料の全国平均額(月額3. 7万)までの利用料が無償化されます。また、0歳から2歳児の子どもたちについては、住民税非課税世帯の子どもたちを対象として、月額4. 2万円までの利用料が無償化される予定です。

問11-2 幼児教育・保育の無償化に伴い、あなたが新たに利用したい事業は何ですか。  
(○は3つまで)

- |  |   |
|--|---|
| 1. <u>認可保育所</u><br>(市の認可を受けた定員20人以上の施設)                            | 10. <u>居宅訪問型保育(ベビーシッター)</u><br>(ベビーシッターなどの保育者が子どもの家庭で保育する事業)                      |
| 2. <u>幼稚園</u>  | 11. <u>ふれあい子育てサポート事業</u><br>(育児の援助を行いたい人と育児の援助を受けたい人が会員登録し、相互に育児援助活動を行う事業)        |
| 3. <u>幼稚園・認定こども園の預かり保育</u><br>(通常の就園時間を延長して預かる事業のうち定期的な利用のみ)       | 12. <u>障害のある(発達)の遅れや障害の疑いを含む子どものための施設・事業</u><br>(地域療育センター、児童発達支援事業所、障害児・者一時預かりなど) |
| 4. <u>認定こども園</u><br>(幼稚園と保育所の機能を併せ持つ施設)                            | 13. その他( )  |
| 5. <u>小規模保育施設</u><br>(市の認可を受けた定員が概ね6~19人の施設)                       | 14. <u>特にない</u><br>(理由をひとつ選び○をつけてください。)   |
| 6. <u>家庭的保育施設</u><br>(保育者の家庭等で5人以下の子どもを預かる施設)                      | ア 必要がないから。  |
| 7. <u>事業所内保育施設</u><br>(企業が主に従業員用に運営する施設)                           | イ 実費負担があるから。  |
| 8. <u>川崎市が認定した認可外保育施設(川崎認定保育園・おなかも保育室)</u><br>(認可保育所ではないが市が認定した施設) | ウ 利用するかを考えたことがない。   |
| 9. <u>その他の認可外保育施設</u><br>(地域保育園・企業主導型保育施設・年度限定型保育施設・職場の託児所など)      | エ その他( )  |

## 12. 社会的養育と里親制度について

保護者のさまざまな事情により、自分の家庭で暮らせない子どもたちが市内に約350人います。そうした子どもたちを家庭で育てる役割を担っているのが「養育里親」であり、本市でも里親制度を推進しています。

問12-1 養育里親を知っていますか（〇は1つ）。

1. 知っていた
2. 知らなかった
3. 聞いたことはあるが内容は知らなかった

問12-2 自分の家庭で暮らせない子どもたちは、里親家庭や児童養護施設、乳児院などで生活しています。このことについて、最も近いものをお選びください（〇は1つ）。

1. 全く知らなかった
2. 児童養護施設などの施設のみで生活していると考えていた
3. 児童養護施設などのほか、養育里親の家庭で生活していることを知っていた
4. 養育里親の家庭のみで生活していると考えていた（児童養護施設などの施設で生活していることを知らなかった）
5. 自分の家庭で暮らせない子どもたちがいることは知っていたが、どこで生活しているかは知らなかった
6. その他（ ）

問12-3 養育里親は、児童相談所からの委託により、一定期間、公的な支援を受けながら子どもを養育していく役割を担っています。この養育里親は、養子縁組とは異なり、法的な親子関係はありません。養育里親として児童を養育することについて、あなた自身の考えに最も近いものをお選びください（〇は1つ）。

1. 養育里親として子どもを養育することを考えている
2. 制度内容等について理解し不安がなくなれば、養育里親として子どもを養育することも検討したい
3. 自分の子どもがいるため、養育里親になることを今は考えていない
4. 養育里親として子どもを養育することは考えていない
5. 子どもと法的な親子関係を持つことを希望するため、養育里親ではなく養子縁組を検討したい
6. その他（ ）

---

13. 自由意見

---

教育・保育環境の充実、川崎市の子育て支援に関する取組等についてご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。  
ご記入が済みましたらお手数ですが、3つ折りし、同封の返信用封筒（切手不要）  
に入れて、**1月31日（木）まで**にご投函ください。

子ども・子育て支援事業の内容と利用料 ～小学校就学前子ども～

調査票内では、子育て支援に関する事業についての現在の利用状況や今後の利用希望等をうかがいます。

次の表で、川崎市が実施している事業や民間事業の概要、利用料等についてまとめていますので、ご参考にしてください。

市ホームページ「かわさき子育て応援ナビ」では、子ども関係事業の情報を掲載しております。

かわさき子育て応援ナビ URL:<http://www.city.kawasaki.jp/kurashi/category/17-2-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

(1) 子育て家庭向け情報提供

1	かわさき子育てガイドブック		
内容	主にこれから出産をする方や子育てをする方に向け、本市の子どもや子育てに関わる制度や事業、施設等についての情報を掲載したガイドブックです。各区役所保健福祉センター児童家庭課の窓口等で配布しています。		
費用	—	問い合わせ	企画課 (044-200-2848)
2	かわさき子育て応援ナビ		
内容	子どもや子育てに関わる制度や事業、施設についての情報を掲載している市のホームページです。		
費用	—	問い合わせ	企画課 (044-200-2848)

(2) 妊娠、出産、育児支援

3	妊婦健康診査の助成制度		
内容	安心・安全に出産を迎えるために、妊娠中の定期的な健康診査の健診費用を市が補助する制度です。		
費用	—	問い合わせ	こども保健福祉課 (044-200-2450)
4	新生児訪問		
内容	生後4か月までの赤ちゃんのいるご家庭に伺い、赤ちゃんの体重測定、母子の健康状態の確認や育児についてのご相談をお受けする事業です。		
費用	—	問い合わせ	こども保健福祉課(044-200-2450)
5	こんにちは赤ちゃん訪問		
内容	生後4か月までの赤ちゃんのいるご家庭に子育て家庭と地域とのつながりを作るため、各区保健福祉センターが主催する研修を受けて登録された地域の方が訪問員として伺い、身近な子育て支援情報等をお届けする制度です。		
費用	—	問い合わせ	こども保健福祉課(044-200-2450)
6	産前・産後家庭支援ヘルパー派遣事業		
内容	事業者への申込み制で、母親が出産前後で体調不良のため、育児や家事が困難な家庭にヘルパーを派遣し、育児や家事を支援する事業です。 【対象】産前から産後6か月までの妊産婦で、体調不良等で昼間他に育児や家事を行う人がいない人 【時間】8時～19時 【回数】1回2時間以内、1日2回、延べ20回まで(多胎の場合は延べ40回まで)		
費用	1回あたり、1,450～2,050円(事業者により異なる)	問い合わせ	こども保健福祉課 (044-200-2450)

7	産後ケア事業		
内容	<p>出産後、自宅に帰っても手伝ってくれる人がいなくて不安、授乳が上手くいかない、赤ちゃんのお世話の仕方や生活リズムがわからない、お産と育児の疲れから体調がよくないなど、育児等の支援が必要な方を対象に助産師がケアを行う事業です。</p> <p>助産所に宿泊してケアを受ける「宿泊型」と助産所に日中来所してケアを受ける「来所型」と、自宅でケアを受ける「訪問型」があります。</p> <p>【対象】生後4カ月未満の乳児とその母親(医療行為の必要な方を除く)</p> <p>【回数】1家庭につき通算7日以内</p>		
費用	宿泊型:1日9,000円(1泊2日 18,000円) 訪問型:1回5,000円 来所型:1回4,000円 別途減免制度有	問合せ	こども保健福祉課(044-200-2450)
8	両親学級		
内容	<p>妊娠中の生活や出産、育児についての学習や実習を行います。平日に各区保健福祉センターで実施しているものと、川崎市看護協会と川崎市助産師会が土日に開催しているものがあります。</p> <p>【対象】初めて赤ちゃんをお持ちになるご両親</p>		
費用	—(事業者で実施するものは実費負担有)	問合せ	こども保健福祉課(044-200-2450)
9	養育支援訪問事業		
内容	<p>訪問指導員・訪問員と区保健福祉センターの連携により、養育支援が必要な家庭へ適切な支援を行う事業です。</p>		
費用	—	問合せ	こども保健福祉課(044-200-2450)
10	ふれあい子育てサポート事業		
内容	<p>子育てヘルパー会員宅での一時預かり、保育園・幼稚園等への送迎等、育児の援助を行うための事業です。【対象】生後4か月～小学校6年までのお子さんと同居している方</p>		
費用	1時間あたり700円か900円、年会費1,200円別途	問合せ	企画課(044-200-2848)
11	地域子育て支援センター		
内容	<p>子育ての相談や講座、子育て情報や遊び場の提供等を行う事業で、市内には53か所あります。</p> <p>【時間】曜日・開所時間は施設ごとに異なります。</p>		
費用	—	問合せ	企画課(044-200-2848)
12	子育てサロン・赤ちゃん広場		
内容	<p>地域の身近な場所で、乳幼児と保護者が集まって、交流できる場です。名称や実施日時等は区によって異なります。</p>		
費用	—	問合せ	こども保健福祉課(044-200-2450)
13	子育てサークルへの支援		
内容	<p>保健福祉センター、市民館、各区社会福祉協議会等の各種事業を通じて、子育ての仲間づくりや子育てサークルの育成、支援を行う事業です。</p>		
費用	—	問合せ	こども保健福祉課(044-200-2450)
14	地域子育て自主グループへの支援		
内容	<p>地域の中で、親自身が相互に協力し合いながら、子育て活動をしているグループに対して、活動費の一部を補助する制度です。</p>		
費用	—	問合せ	企画課(044-200-2848)

15	こども文化センター		
内容	地域における児童の遊びの拠点施設(児童館)で、乳幼児の子育て支援や小中高校生の居場所等としても利用できます。【対象】0歳～18歳【開館日】12月29日～1月3日を除く毎日【時間】月～土曜9時半～21時、日曜・祝日9時半～18時		
費用	—	問合せ	青少年支援室 (044-200-3083)

### (3) 保育所や幼稚園

16	認可保育所		
内容	保護者が就労等のために、家庭で保育できない子どもを保護者に代わって保育する児童福祉施設です。【開所日】月～土曜。日曜・祝日、年末年始は休み 公営は7時半～18時(19時まで延長有)、民営は7時～18時(19時または20時まで延長有) 【対象】生後43日目～就学前		
費用	子どもの年齢と世帯の前年課税額で決定	問合せ	保育課(044-200-3727)
17	一時保育		
内容	保護者が週3日以内の就労や就学、病氣や冠婚葬祭、育児による心理的・肉体的負担の解消等のため、子どもを家庭で保育できない場合に、断続的または一時的に保護者に代わり保育する制度です。		
費用	1歳未満児2,900円、2歳未満児2,500円、3歳以上1,500円		
問合せ	保育課(044-200-3727)		
18	休日保育		
内容	子どもを認可保育所に入所させているものの、日曜や祝日にも就労等のために家庭で保育できない場合に利用できる制度です。【時間】8時～18時		
費用	通常保育の保育料に含まれます	別途減免制度有	問合せ 保育課(044-200-2662)
19	保育所における地域活動事業		
内容	保育所において、高齢者施設等への訪問や季節的行事等へ高齢者を招待するふれあい活動や地域の児童とともに行事を開催するなどの地域活動を行うほか、地域の保護者に対して育児講座を開催したり親子に園庭開放する等、育児支援や相談援助等を行う事業です。		
費用	—	問合せ	保育課(044-200-2662)
20	小規模保育施設		
内容	保護者が就労等のために、家庭で保育できない子どもを保育士や保育士等の資格を持ち乳幼児保育経験のある個人が、保護者に代わり日中保育する制度です。定員が11人～19人のA型及びB型と、定員が6人～10人のC型があります。 【対象】園により異なる～3歳未満児 【時間】月～金曜。A型及びB型7時～18時(または7時半～18時半)(7時からの朝延長及び19時または20時までの延長有)。C型8時半～17時、他要相談		
費用	子どもの年齢と世帯の前年課税額で決定	問合せ	保育課(044-200-3128)
21	家庭的保育施設		
内容	保護者が就労等のために、保育士等の資格を持ち乳幼児保育経験のある個人が、家庭で保育できない子どもを保護者に代わり日中保育する制度です。居宅型(保育ママの自宅で3～5人を保育)と共同型(2～3人の保育ママがマンション等共同の場で各々3人の子どもを保育)があります。 【対象】生後43日目～3歳未満児 【時間】月～金曜の8時半～17時、他要相談		
費用	子どもの年齢と世帯の前年課税額で決定	問合せ	保育課(044-200-3128)

22	川崎市が認定した認可外保育施設			
内容	市で定めた基準を満たし、運営費を助成している施設です。市では、「川崎認定保育園」、「おなかま保育室」があります。今後は、保育資格者数の向上や保護者負担軽減等の支援を行い、「川崎認定保育園」への再編を推進します。			
費用	各施設で異なる	問い合わせ	保育課(044-200-3128)	
23	認可外保育施設			
内容	児童福祉法上の認可を受けていない施設です。			
費用	各施設で異なる	問い合わせ	保育課(044-200-3128)	
24	幼稚園			
内容	義務教育及びその後の教育の基礎を培うものとして、幼児を保育し、健やかな成長のための環境を与え、心身発達を助長するための学校教育施設です。 【対象】3歳～5歳児 【開園日】月～金曜(夏・冬休み等の長期休業期間有) 【時間】1日4時間(標準)			
費用	各幼稚園で異なる	問い合わせ	幼児教育担当(044-200-2493)	
25	幼稚園・認定こども園の預かり保育			
内容	幼稚園・認定こども園で、通常の教育時間を延長して保育を必要とする在園児を預かる事業です。			
費用	各幼稚園・認定こども園で異なる	問い合わせ	幼児教育担当(044-200-2493)	
26	幼稚園・認定こども園における子育て支援事業			
内容	幼稚園・認定こども園において、未就園児の体験保育、子育て相談・幼児教育相談、子育てに関する講演会等の開催、地域との交流・連携・情報交換等、地域の子育てを支援する事業です。			
費用	—	問い合わせ	幼児教育担当(044-200-2493)	
27	認定こども園			
内容	幼稚園と保育所の機能や特徴を併せ持つ施設。就学前の子どもに幼児教育・保育を提供し、地域における子育て支援等の機能も備える施設です。			
費用	家庭で保育できない子どもの利用と、幼稚園としての利用で異なる	問い合わせ	幼児教育担当(044-200-2493)	
28	幼児園			
内容	幼稚園類似の無認可幼児教育施設で市の基準に該当する施設です。			
費用	各幼児園で異なる	問い合わせ	幼児教育担当(044-200-2493)	
29	病児・病後児保育			
内容	保育所等に入所している子どもが、病中または病気の回復期にあり、まだ通常の保育所等では預かれない時に、一時的に預かる制度です。			
費用	にちがく 2,900円 別途減免制度有	問い合わせ	保育課(044-200-3128)	
30	短期入所生活援助(ショートステイ)事業			
内容	保護者が、疾病・疲労、身体的・精神上・環境上の理由により児童の養育が困難となった場合に、保護を適切に行うことができる施設(児童養護施設等)において養育・保護する事業です。 【利用期間】原則7日以内			
費用	市民税額による負担	問い合わせ	児童家庭支援・虐待対策室(044-200-0132)	
31	事業所内保育施設			
内容	会社、工場、病院等に設置され、事業所の従業員の子どものための民間保育施設です。			

	費用	各施設で異なる	問合せ	ほいくか 保育課(044-200-3128)
32	かわさきにんていほいくえん 川崎認定保育園			
	ないよう 内容	しきだ いっぺい ようけん もと しちよう にんてい し うんえいひ じよせい う ほいくしせつ りよう 市が定めた一定の要件に基づき市長が認定し、市から運営費の助成を受けている保育施設です。利用 条件、保育料、申込方法などは、園によって異なります。		
	費用	えん 園によって異なる	問合せ	ほいくか 保育課(044-200-3128)
33	おなかも保育室			
	ないよう 内容	しないういじちゆう せいご げつ さいみまん こ たいしちよう ほいくしちよう りようしんせい ほいく ひつちようせい 市内在住で、生後6か月～3歳未満のお子さんを対象に、保育所等に利用申請をし、保育の必要性の 認定を受けながらも保育所等の利用ができないお子さんをお預かりする制度です。		
	費用	こ 子どもの年齢と世帯の前年課税額で決定	問合せ	ほいくか 保育課(044-200-3128)
34	ちいきほいくえん 地域保育園			
	ないよう 内容	じちようふくしほいうじちよう にんか う しせつ りようじちようけん ほいくりちよう もうしこみほうほう えん 児童福祉法上の認可を受けていない施設です。利用条件、保育料、申込方法などは、園によって異なり ます。		
	費用	えん 園によって異なる	問合せ	ほいくか 保育課(044-200-3128)
35	きぎしちようしせつ 企業主導型保育施設			
	ないよう 内容	じぎしちようしせつ 事業所内保育事業とは別の、企業主導による保育事業です。 じちようふくしほいうじちよう ほいくしせつ ていいん いちぶ ちいき じちようみんちよう りよう ちいきわく もう しせつ ぼあい 従業員対象の保育施設の定員の一部に地域の住民等が利用する地域枠を設けている施設の場合 は、地域の住民等で保育を必要とする児童の受入れも行いますが、国と企業が直接協議して運営する 仕組みのため、自治体に最新情報はございません。ご利用をお考えの方は勤務先に確認するか、 地域枠を利用したい方は施設に直接お問合せいただくこととなります。		
	費用	えん 園によって異なる	問合せ	ほいくか 保育課(044-200-3128)
36	ねんどげんていがたほいく 年度限定型保育			
	ないよう 内容	ねんかん 1年間という期間を限定して1・2歳児の受入れを一時的かつ臨時的に確保する、認可保育所の特別 保育事業です。		
	費用	せたい せんねんかぜいがく けつてい 世帯の前年課税額で決定	問合せ	ほいくか 保育課(044-200-3128)
37	べびーしーたー ベビーシッター			
	ないよう 内容	ほごしちやちよう じたく で む ほごしちや ふざい あいだこ せわ みんかん 保護者等の自宅に出向いて、保護者が不在の間子どもの世話をする民間サービスです。		
	費用	みんかん じぎしちや 民間の事業者ごとで異なる	問合せ	ほいくか 保育課(044-200-3128)

#### (4) 専門的な支援

38	ちいきりちよういく 地域療育センター			
	ないよう 内容	しょうがい ちこ しょうがい うたが ちこ たい そうだん しんきつ ひちようか りちよういく くんれんちよう そうごうてき 障害のあるお子さんや障害の疑いのあるお子さんに対して、相談・診察・評価・療育・訓練等の総合的 療育支援を行う施設です。		
	費用	しみんぜいがく ふたん たじつび 市民税額による負担、その他実費あり	問合せ	しょうがいけいかくか 障害計画課 (044-200-0871)
39	じちようはつたつしえんじぎしちようしよ 児童発達支援事業所			
	ないよう 内容	しょうがい おも みしちゆうがく こ たい にちじちようせいかつ きほんちようさき しちゆうとく 障害のある主に未就学のお子さんに対して、日常生活における基本動作等を習得させ、また、 集団生活に適應できるよう個別や集団での療育を行う事業所です。		
	費用	しみんぜいがく ふたん たじつび 市民税額による負担、その他実費あり	問合せ	しょうがいけいかくか 障害計画課 (044-200-0873)
40	しょうがいじ 障害児・者一時預かり			
	ないよう 内容	しょうがい ちこ しょうがい うたが ちこ しょうがい かつ いちじてき あず にちじちようせいかつ 障害のあるお子さんや障害の疑いのあるお子さん、障害のある方を一時的に預かり、日常生活におけ る基本動作の習得や集団生活に適應することができるよう指導・訓練を行う制度です。		
	費用	しみんぜいがく ふたん たじつび 市民税額による負担、その他実費あり	問合せ	しょうがいふくしか 障害福祉課(044-200-2653)

41	児童相談所		
内容	子どもについて相談するための機関です。 【対象】18歳未満の子ども 【時間】月～金曜の8時半～17時		
費用	—	問合せ	児童家庭支援・虐待対策室(044-200-0132)
42	不妊・不育専門相談センター		
内容	望んでも妊娠しない、妊娠しても流産や死産を繰り返す等、不妊症や不育症に関して治療を受けようか迷っている方、検査や治療方法を知りたい方などに対して、専門医や不妊症看護認定看護師による相談をお受けします。		
費用	—	問合せ	こども保健福祉課(044-200-2450)

### (5) 小学生の放課後支援

43	わくわくプラザ		
内容	すべての小学生を対象として、放課後や土曜日・夏休みなどに、学校施設を活用して児童の遊びや生活の場を確保し、様々な文化・スポーツ活動などを行い、異なった年齢層の仲間づくりを支援する事業です。 【時間】月～金曜は放課後～18時、土曜・夏休み等は8時半～18時、日曜・祝日・年末年始は休み		
費用	—(19時までの延長は事前申し込み制で月額2,500円)		
問合せ	青少年支援室 (044-200-3083)		
44	民間の事業者が行う放課後児童クラブ(学童保育)		
内容	保護者が就労等により昼間家庭にいない児童を対象として、民間の事業者が、放課後や土曜日・夏休みなどに、子どもの生活の場を提供します。現在、市内に20か所。		
費用	民間の事業者ごとで異なる	問合せ	—

### (6) その他

45	民生委員・児童委員		
内容	厚生労働大臣から委嘱を受け、地域のために社会奉仕活動をしている方です。子どもやお年寄り、生活のことなどで悩みをお持ちの方の気軽な相談窓口です。		
費用	—	問合せ	—
46	子育てサークル		
内容	同じくらいの年齢の子どもを持つお母さんたちが自主的に活動しているグループです。		
費用	—	問合せ	—

## (2) 調査票（小学校就学子どもの保護者用）

# 川崎市 子ども・子育て支援に関する利用ニーズ調査

## < 小学校就学子どもの保護者用 >

本調査は、川崎市が「第二期川崎市子ども・子育て支援事業計画」の策定に向け、利用ニーズを把握するために実施するものです。本調査や実際の利用状況等を踏まえ、平成32年4月から5年間の川崎市の幼稚園・保育所等教育・保育と地域子ども・子育て支援事業等の必要量を見込み、事業計画を策定いたします。

なお、ご回答につきましては、本調査の分析のために統計的に処理し、本市における施策推進の目的以外で使用することはございません。また、調査票は無記名方式であり、個人あるいは個々の調査票を公表することはありません。

お忙しいとは存じますが、ご協力いただきますようお願い申し上げます。

### ご記入にあたってのお願い

- ご回答は、封筒の宛名のお子さんの保護者の方をお願いいたします。
- ご記入は、黒または青の鉛筆やボールペンをご使用ください。
- 設問ごとに用意した回答項目の中から、あてはまるものの番号を○で囲んでください。また、記入欄【 】( )には文字を、□□には数字をご記入ください。時間を記入する際は、9時～18時のように **24時間制**で記入ください。
- 回答項目の中の波線をつけた教育・保育の事業等については、14 ページの資料「子ども・子育て支援事業の内容と利用料」を参考にしてください。
- ご記入いただきました調査票は、**1月31日(木)までに**、お手数ですが3つ折りし、同封の返信用封筒に入れてご投函ください（切手は不要です）。

本調査に関わるご不明な点やお問合せは、下記までご連絡ください。

### ■お問合せ先

川崎市子ども未来局 局総務部企画課 為我井・藤川

電話：044-200-2211 FAX：044-200-3190

E-Mail：45kikaku@city.kawasaki.jp

# 1. お子さんとご家族の状況

問1-1 お住まいの区はどちらですか (○は1つ)。

1. 川崎区 2. 幸区 3. 中原区 4. 高津区 5. 宮前区 6. 多摩区 7. 麻生区

問1-2 お住まいの町名をご記入ください。(○丁目と続く場合は数字を記入してください。)

町名 【 】 【 】 丁目

問1-3 宛名のお子さん(以下、「お子さん」といいます)が通っている学校名と学年をご記入ください。

【 】 学校  年生

問1-4 お子さんを含めた兄弟姉妹は何人ですか。兄弟姉妹の人数が2人以上の場合は、一番下の子どもの生年月を口にご記入ください。

兄弟姉妹  人 一番下の子どもの生年月 平成   年   月

問1-5 この調査票にご回答いただいている方(保護者)はどなたですか。お子さんから見た関係でお答えください (○は1つ)。

1. 父親 2. 母親 3. 祖父 4. 祖母 5. その他親族

問1-6 お子さんと同居されている方(兄弟姉妹を除く)について、お子さんから見た関係でお答えください。祖父、祖母については同居または近居(概ね30分で行き来できる状況)の別でお答えください (○はいくつでも)。

1. 父親、母親とも 4. 父親(母親単身赴任) 7. 祖父(近居) 10. その他親族等  
2. 父親(ひとり親) 5. 母親(父親単身赴任) 8. 祖母(同居)  
3. 母親(ひとり親) 6. 祖父(同居) 9. 祖母(近居)

問1-7 お子さんの子育てを主に行っているのはどなたですか (○は1つ)。

1. 父親、母親ともに 2. 父親 3. 母親 4. 祖父母 5. その他親族等

## 2. 子どもの育ちをめぐる環境について

問2-1 日頃、お子さんをみてもらえる親族・知人はいますか（〇はいくつでも）。

- |                                    |           |
|------------------------------------|-----------|
| 1. 日常的に祖父母等の親族にみてもらえる              | } → 問2-2へ |
| 2. 緊急時もしくは用事の際には祖父母等の親族にみてもらえる     |           |
| 3. 日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる          | } → 問2-3へ |
| 4. 緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる |           |
| 5. いずれもない → 問2-4へ                  |           |

問2-1で「1」または「2」を選ばれた方（祖父母等の親族にみてもらえる方）にうかがいます。

問2-2 祖父母等の親族にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください（〇はいくつでも）。

- |                                   |
|-----------------------------------|
| 1. 安心して子どもをみてもらえる                 |
| 2. 祖父母等の親族の身体的負担が大きく心配である         |
| 3. 祖父母等の親族の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である  |
| 4. 親の立場として、負担をかけていることが心苦しい        |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、不安がある |
| 6. その他（ _____ ）                   |

問2-1で「3」または「4」を選ばれた方（友人・知人にみてもらえる方）にうかがいます。

⇒ 問2-4へ

問2-3 友人・知人にお子さんをみてもらっている状況についてお答えください（〇はいくつでも）。

- |                                   |
|-----------------------------------|
| 1. 安心して子どもをみてもらえる                 |
| 2. 友人・知人の身体的負担が大きく心配である           |
| 3. 友人・知人の時間的制約や精神的な負担が大きく心配である    |
| 4. 親の立場として、負担をかけていることが心苦しい        |
| 5. 子どもの教育や発達にとってふさわしい環境であるか、不安がある |
| 6. その他（ _____ ）                   |

<みなさんにうかがいます>

問2-4 お子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる人がいますか。また相談できる場所はありますか（〇は1つ）。

- |          |                   |
|----------|-------------------|
| 1. いる/ある | 2. いない/ない → 問2-6へ |
|----------|-------------------|

問2-5 お子さんの子育てに関して気軽に相談できる先は、だれ（どこ）ですか（〇はいくつでも）。

- |                              |  |
|------------------------------|--|
| 1. 祖父母等の親族                   | 7. 通学する小学校（先生）                             |
| 2. 友人や知人                     | 8. 民生委員・児童委員                               |
| 3. 近所の子育て仲間                  | 9. かかりつけの医師                                |
| 4. 各区保健福祉センター<br>（各区役所の相談窓口） | 10. NPO法人や子育てサークルなど                        |
| 5. 児童相談所                     | 11. 障害のある（発達の遅れや障害の疑いを含む）<br>子どものための施設・事業所 |
| 6. こども文化センター                 | 12. その他（ _____ ）                           |

<みなさんにうかがいます>

問2-6 日常の子育てを楽しく安心して行うために周囲からどのようなサポートがあればよいと思いますか（〇はいくつでも）。

- |                    |                     |
|--------------------|---------------------|
| 1. 子育て上の不安や悩みの相談   | 6. 親のリフレッシュの場や機会の提供 |
| 2. 子育てに関する総合的な情報提供 | 7. 父親の育児参加に関する意識啓発  |
| 3. 子育て中の親同士の仲間づくり  | 8. 子どもの病気や障害についての相談 |
| 4. 子育てについての講座      | 9. 特になし             |
| 5. 子どもを遊ばせる場や機会の提供 | 10. その他（_____）      |

### 3. 保護者の就労状況について

※以下の設問では、「フルタイム」は、「1週5日程度・1日8時間程度の就労」とし、「パート・アルバイト」は、「フルタイム以外の就労」のことをいいます。

問3-1 お子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者を含む）を、(1)母親(2)父親それぞれお答えください（該当するものに〇）。

(1) 母親（父子家庭は記載不要）	(2) 父親（母子家庭は記載不要）
1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）	1. フルタイム（1週5日程度・1日8時間程度）
2. フルタイムだが、産休・育休・介護休業中	2. フルタイムだが、育休・介護休業中
3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）	3. パート・アルバイト等（「フルタイム」以外の就労）
4. パート・アルバイト等だが、産休・育休・介護休業中	4. パート・アルバイト等だが、育休・介護休業中
5. 以前は就労していたが、現在は就労していない	5. 以前は就労していたが、現在は就労していない
6. これまでに就労したことがない	6. これまでに就労したことがない

→ (1) (2) いずれも「5」または「6」の方は問3-4へ

問3-1の(1)または(2)で、「1」から「4」のどれかを選ばれた方（フルタイム、パート・アルバイト等の就労している方）にうかがいます。

問3-2 1週あたりの「就労日数」、1日あたりの「就労時間（残業時間を含む）」をお答えください。就労日数や就労時間が一定でない場合は、もっとも多いパターンについてお答えください。

産休・育休・介護休業中の方は休業に入る前の状況についてお答えください。また、家を出る時間、帰宅時間を口にご記入ください（30分未満は切り捨て・30分以上は切り上げ）。

(1) 母親（父子家庭は記載不要）	(2) 父親（母子家庭は記載不要）
1週あたりの平均的就労日数 <input type="text"/> 日	1週あたりの平均的就労日数 <input type="text"/> 日
1日あたりの平均的就労時間 <input type="text"/> <input type="text"/> 時間	1日あたりの平均的就労時間 <input type="text"/> <input type="text"/> 時間
家を出る時間 <input type="text"/> <input type="text"/> 時・帰宅時間 <input type="text"/> <input type="text"/> 時	家を出る時間 <input type="text"/> <input type="text"/> 時・帰宅時間 <input type="text"/> <input type="text"/> 時

問3-1の(1)または(2)で、「3」または「4」を選ばれた方(パート・アルバイト等の方)にうかがいます。

問3-3 フルタイムへの転換希望についてお答えください(該当するものに○)。

(1) 母親(父子家庭は記載不要)	(2) 父親(母子家庭は記載不要)
1. フルタイムへ転換する希望があり、実現できる見込みがある	1. フルタイムへ転換する希望があり、実現できる見込みがある
2. フルタイムへ転換する希望はあるが実現できる見込みがない	2. フルタイムへ転換する希望はあるが実現できる見込みがない
3. パート・アルバイトで引き続き就労予定	3. パート・アルバイトで引き続き就労予定
4. パート・アルバイトをやめて、子育てや家事に専念する予定	4. パート・アルバイトをやめて、子育てや家事に専念する予定

問3-1の(1)または(2)で、「5」または「6」を選ばれた方(現在またはこれまでに就労したことがない方)にうかがいます。

問3-4 就労希望はありますか(該当するものに○)。また、該当する口に数字、もしくは該当する記号に○をご記入ください。

(1) 母親(父子家庭は記載不要)	(2) 父親(母子家庭は記載不要)
1. 子育てや家事に専念したい(就労の予定はない)	1. 子育てや家事に専念したい(就労の予定はない)
2. 1年より先、一番下の子どもが <input type="text"/> <input type="text"/> 歳になったときに就労したい	2. 1年より先、一番下の子どもが <input type="text"/> <input type="text"/> 歳になったときに就労したい
3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい →希望する就労形態 ア. フルタイムによる就労 イ. パート・アルバイト等による就労 ⇒1週あたり <input type="text"/> 日程度を希望 1日あたり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間程度を希望	3. すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい →希望する就労形態 ア. フルタイムによる就労 イ. パート・アルバイト等による就労 ⇒1週あたり <input type="text"/> 日程度を希望 1日あたり <input type="text"/> <input type="text"/> 時間程度を希望

資料(2) 放課後支援を参照

#### 4. 放課後の過ごし方について

問4-1 放課後の事業に関する情報をどこから入手していますか(○は1つ)。

- |                      |                                |
|----------------------|--------------------------------|
| 1. 学校                | 5. インターネット                     |
| 2. 市・区役所の窓口・電話       | 6. その他( <input type="text"/> ) |
| 3. 市・区役所が配布するパンフレット等 | 7. どこに聞けばよいかわからない              |
| 4. 友人・知人             |                                |

問4-2 放課後をどこで過ごしていますか（〇はいくつでも）。

1. わくわくプラザ
2. 民間の事業者が行う放課後児童クラブ（学童保育）
3. ふれあい子育てサポート
4. 放課後等デイサービス
5. いずれも利用していない

→ 問4-4へ

問4-3 いずれも利用していない理由は何ですか（〇はいくつでも）。

1. 児童が帰宅する時間に保護者が自宅にいるから
2. 祖父母宅や友人・知人宅で過ごせるから
3. 習い事（ピアノ、サッカー、学習塾など）に通っているから
4. こども文化センターを利用しているから
5. 放課後の短時間なら子どもだけで過ごしても大丈夫だと思うから
6. 子どもが行きたがらないから
7. 利用したいが定員がいっぱいであるから
8. その他（ \_\_\_\_\_ ）

<みなさんにうかがいます>

問4-4 今後利用したい事業はありますか（〇はいくつでも）。

なお、「2」から「4」は利用料がかかります。

1. わくわくプラザを利用したい
2. 民間の事業者が行う放課後児童クラブ（学童保育）を利用したい
3. ふれあい子育てサポートを利用したい
4. 放課後等デイサービスを利用したい
5. 今後も利用したいとは思わない
6. その他（ \_\_\_\_\_ ）

資料NO5 わくわくプラザを参照

## 5. わくわくプラザの利用について

※こちらの設問は、わくわくプラザを利用している方（問4-2で「1」を選んだ方）にうかがいます。

⇒該当しない方は問6-1へ

問5-1 わくわくプラザの1週間の利用日数はどれくらいですか。日数を口にご記入ください。

現在の利用日数	
しゅう 週	<input type="text"/> にち 日ぐらい

問5-2 現在、わくわくプラザをいつ利用していますか（あてはまるものすべてに○）。  
また、それぞれの利用時間帯を口にご記入ください。

現在の利用状況	利用している時間帯
1. 月～金曜日	→ 下校時から <input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分
2. 土曜日	→ <input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分～ <input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分
3. 夏休み等長期休暇 期間中	→ <input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分～ <input type="text"/> <input type="text"/> 時 <input type="text"/> <input type="text"/> 分

問5-3 台風などで学校が臨時休校となった時、おさんはどこで過ごしていますか（○はいくつでも）。

- |                     |                                |
|---------------------|--------------------------------|
| 1. こども文化センター        | 5. 自宅（子どものみ）                   |
| 2. ふれあい子育てサポートを利用   | 6. 祖父母・親族・友人・知人宅               |
| 3. 民間事業者が行う放課後児童クラブ | 7. その他（ <input type="text"/> ） |
| 4. 自宅（家族等住宅）        |                                |

問5-4 現在、放課後（または8時30分）から18時までは無料ですが、利用者負担をしてもよいと思いますか（○は1つ）。

- |                     |                 |
|---------------------|-----------------|
| 1. 一定の負担はしてもよい      | 3. 負担があるなら利用しない |
| 2. 延長時間については負担してもよい |                 |

問5-5 わくわくプラザは何年生くらいまで利用したいと考えていますか。

年生くらいまで

問5-6 わくわくプラザを利用している理由は何ですか（○はいくつでも）。

- |                      |                                |
|----------------------|--------------------------------|
| 1. 近所に遊ぶ場所がないから      | 6. だれでも登録すれば利用できるから            |
| 2. 大勢の友だちと遊ばせたいから    | 7. 利用料が無料だから                   |
| 3. 活動内容が充実しているから     | 8. 子どもが行きたいというから               |
| 4. 安全に放課後を過ごせるから     | 9. その他（ <input type="text"/> ） |
| 5. 就労などで保護者が家庭にいないから |                                |

問5-7 事前申し込み制による19時までの時間延長を利用していますか（○は1つ）。

- |                     |                          |
|---------------------|--------------------------|
| 1. 利用している           | 3. 利用していない、また、今後の利用予定もない |
| 2. 今は利用していないが、利用したい |                          |

問5-8 わくわくプラザに参加してお子さんは変わりましたか（〇はいくつでも）。

- |                    |               |
|--------------------|---------------|
| 1. 友だちが増えた         | 5. 積極的になった    |
| 2. 学校へ行くのが楽しくなった   | 6. わからない      |
| 3. ゲームで遊ぶことが少なくなった | 7. その他（_____） |
| 4. いろいろな遊びを覚えた     |               |

問5-9 わくわくプラザを利用して、保護者から見て満足していますか（〇は1つ）。

- |       |         |       |         |       |
|-------|---------|-------|---------|-------|
| 1. 満足 | 2. やや満足 | 3. 普通 | 4. やや不満 | 5. 不満 |
|-------|---------|-------|---------|-------|

問5-10 わくわくプラザに今後望むことは何ですか（〇はいくつでも）。

- |               |              |               |
|---------------|--------------|---------------|
| 1. 活動内容の充実    | 4. 保護者との連携強化 | 7. 児童の安全確保    |
| 2. スタッフの体制の充実 | 5. 学校との連携強化  | 8. その他（_____） |
| 3. 施設の充実      | 6. 地域との連携強化  | 9. 特になし       |

問5-11 わくわくプラザで今後充実させてほしい内容は何か（〇は2つまで）。

- |                       |                    |
|-----------------------|--------------------|
| 1. 体育館、校庭などを使用した自由な遊び | 4. 文化・芸術などの体験プログラム |
| 2. 宿題をしっかりとらせること      | 5. スポーツ活動          |
| 3. 実習・工作教室などの体験プログラム  |                    |

別紙（2）放課後支援を参照

## 6. わくわくプラザ以外の放課後事業について

※こちらの設問は、民間の事業者が行う放課後児童クラブ（学童保育）及びふれあい子育てサポートを利用している方にうかがいます（問4-2で「2」「3」を選ばれた方のみ）。

⇒該当しない方は問7-1へ

問4-2で「2」を選ばれた方（民間の事業者が行う放課後児童クラブ（学童保育）（以下「民間学童保育」という。）を利用している方）にうかがいます。

問6-1 民間学童保育の1週間の利用日数はどれくらいですか。日数を口にご記入ください。

現在の利用日数
しゅう <input type="text"/> にち ぐらい

問6-2 現在、民間学童保育をいつ利用していますか（あてはまるものすべてに○）。また、それぞれ利用している時間帯を口にご記入ください。

現在の利用状況	利用している時間帯
1. 月～金曜日	→ 下校時から □□ 時～ □□ 分
2. 土曜日	→ □□ 時 □□ 分～ □□ 時 □□ 分
3. 日曜日・祝日	→ □□ 時 □□ 分～ □□ 時 □□ 分
4. 夏休み等長期休暇 期間中	→ □□ 時 □□ 分～ □□ 時 □□ 分

問6-3 民間学童保育を利用している理由は何ですか（○はいくつでも）。

- |                     |                  |
|---------------------|------------------|
| 1. 預けていると安心だから      | 5. 利用できる時間が長いから  |
| 2. 独自のサービスを受けられるから  | 6. 親しい友だちと遊べるから  |
| 3. お迎えに行きやすい場所にあるから | 7. 子どもが行きたいというから |
| 4. 自宅の近所にあるから       | 8. その他（ _____ ）  |

問4-2で「3」を選ばれた方（ふれあい子育てサポートを利用している方）にうかがいます。

問6-4 ふれあい子育てサポートの利用状況（1年間の利用日数または、1週間の利用日数、1回あたりの利用時間）を口にご記入ください（時間は30分未満は切り捨て・30分以上は切り上げ）。

現在の利用状況		
1年間の利用日数 □□ 日	1週間の利用日数 □ 日	1回あたりの利用時間 □□ 時間

問6-5 ふれあい子育てサポートを利用している理由は何ですか（○はいくつでも）。

- |                      |                  |
|----------------------|------------------|
| 1. 安全に放課後を過ごせるから     | 4. 子どもが行きたいというから |
| 2. 就労などで保護者が家庭にいないから | 5. その他（ _____ ）  |
| 3. 利用できる時間が長いから      |                  |

資料N09 病児・病後児保育 を参照

## 7. お子さんの病気の際の対応について

問7-1 この1年間に、お子さんが病気やケガで学校を休んだことはありますか。例えば、風邪による発熱のため自宅療養せざるを得なかった等（○は1つ）。

- |                |                 |
|----------------|-----------------|
| 1. あった → 問7-2へ | 2. なかった → 問8-1へ |
|----------------|-----------------|

問7-2 この1年間で、お子さんが病気やケガで学校を休んだとき、どのように対処したのかお答えください(〇はいくつでも)。また、それぞれの日数について口にご記入ください(半日程度の対応でも1日としてください)。

1年間の対処方法	日数
1. 就労している母親が休んで見た	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
2. 就労している父親が休んで見た	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
3. 父親又は母親のうち就労していない方の保護者が見た	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
4. (同居者を含む) 祖父母等の親族・知人に預けた	<input type="text"/> <input type="text"/> 日
5. その他 ( )	<input type="text"/> <input type="text"/> 日

問7-6へ

問7-3 川崎市では、未就学児を対象に、保育所などに入所させているものの、お子さんが病気や病気の治りかけで、また通常の保育所などでは預かってもらえない時に、保護者に代わって一時的に預かる病児・病後児保育事業を行っています。就労している母親や父親が休んで見た際に、この事業が小学生までを対象にしていれば、利用したいと思いませんか(〇は1つ)。この1年間で利用したかった日数を口にご記入ください。  
なお、病気やケガによる病児・病後児のための事業等の利用には、一定の利用料がかかります。また、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1. 病児・病後児保育施設等を利用したいと思う ⇒ 年間 <input type="text"/> <input type="text"/> 日
2. 利用したいと思わない → 問7-5へ

問7-4 病気やケガの理由で子どもを預かる事業を利用する場合、どのような事業形態が望ましいと思いませんか(〇はいくつでも)。

1. 保育所等に併設・隣接した施設で子どもを見る事業	} ⇒ 問8-1へ
2. 小児科に併設・隣接した施設で子どもを見る事業	
3. 当該児童の自宅に訪問して子どもを見る事業	
4. その他 ( )	

問7-3で「2」を選ばれた方(病児・病後児保育施設等を利用したいと思わない方)にうかがいます。

問7-5 利用したいと思わない理由は何ですか(〇はいくつでも)。

1. 病児・病後児は父母が看るほうがよいと思う	} ⇒ 問8-1へ
2. 病児・病後児を他人に看てもらうのは不安	
3. 地域の事業の質に不安がある	
4. 地域の事業の利便性(立地や利用可能時間日数など)がよくない	
5. 利用料がかかる・高い	
6. 手続きや申込みが面倒	
7. 親が仕事を休んで対応できる	
8. ほかの子どもから病気がうつったり、うつしたりしないか不安	
9. その他 ( )	

問7-2で「3」～「5」を選ばれた方にうかがいます。

問7-6 その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで着たい」と思われましたか（○は1つ）。  
また、可能な日数を口にご記入ください。

1. 休んで着ることは難しい 2. できれば仕事を休んで着たい   日 → 問8-1へ

問7-7 「休んで着ることは難しい」と答えた理由は何ですか。（○はいくつでも）

1. 仕事が忙しくて休めない
2. 子どもの看護を理由に休みがとれない
3. 自営業なので休めない
4. 休暇日数が足りないので休めない
5. その他（\_\_\_\_\_）

資料（3）特定の理由による一時的または宿泊を伴う預かりを参照

## 8. 一時的または宿泊を伴う預かり事業の利用について

問8-1 この1年間に、保護者が仕事その他の理由により平日の夜間または休日に不在となり、お子さんを一時的に保護者以外の人にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つからなかった場合も含みます）（○はいくつでも）。また、かかった日数を口にご記入ください。

一時預かりの状況	日数（年間）	
1. 親族（同居者を含む）や知人にみてもらった	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 日
2. 仕方なく子どもを同行させた	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 日
3. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 日
4. その他（_____）	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/> 日
5. なかった → 問8-3へ		

問8-2 このとき、一時的な預かり事業としての夜間養護等（トワイライトステイ）事業が利用できれば利用したいと思いますか（○は1つ）。なお、利用時には一定の利用料がかかります。

1. 利用したい
2. 特に利用する必要はない

<みなさんにうかがいます>

問8-3 この1年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、お子さんを泊り  
がけで保護者以外の人にみてもらわなければならないことはありましたか（預け先が見つから  
 なかった場合も含みます）（○はいくつでも）。また、かかった日数（泊）をご記入ください。

宿泊を伴う一時預かりの状況	宿泊日数（年間）
1. 親族（同居者を含む）や知人にみてもらった	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
2. 仕方なく子どもを同行させた	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
3. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
4. その他（ <input type="text"/> ）	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
5. 短期入所生活援助（ショートステイ）事業を利用した	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
6. 障害のある子どものための短期入所	<input type="text"/> <input type="text"/> 泊
7. なかった	

→ 「5」～「7」を選ばれた方は問9-1へ

問8-4 このとき、宿泊を伴う預かり事業としての短期入所生活援助（ショートステイ）事業が利用で  
 ければ利用したいと思いませんか（○は1つ）。なお、利用時には一定の利用料がかかります。

1. 利用したい                      2. 特に利用する必要はない

## 9. 社会的養育と里親制度について

保護者のさまざまな事情により、自分の家庭で暮らせない子どもたちが市内に約350人います。そ  
 うした子どもたちを家庭で育てる役割を担っているのが「養育里親」であり、本市でも里親制度を推進  
 しています。

問9-1 養育里親を知っていますか（○は1つ）。

1. 知っていた    2. 知らなかった    3. 聞いたことはあるが内容は知らなかった

問9-2 自分の家庭で暮らせない子どもたちは、里親家庭や児童養護施設、乳児院などで生活してい  
 ます。このことについて、最も近いものを1つお選びください（○は1つ）。

1. 全く知らなかった
2. 児童養護施設などの施設のみで生活していると考えていた
3. 児童養護施設などのほか、養育里親の家庭で生活していることを知っていた
4. 養育里親の家庭のみで生活していると考えていた  
 （児童養護施設などの施設で生活していることを知らなかった）
5. 自分の家庭で暮らせない子どもたちがいることは知っていたが、  
 どこで生活しているかは知らなかった
6. その他（）

問9-3 養育里親は、児童相談所からの委託により、一定期間、公的な支援を受けながら子どもを養育していく役割を担っています。この養育里親は、養子縁組とは異なり、法的な親子関係はありません。養育里親として児童を養育することについて、あなた自身の考えに最も近いものを1つお選びください（○は1つ）。

1. 養育里親として子どもを養育することを考えている
2. 制度内容等について理解し不安がなくなれば、養育里親として子どもを養育することも検討したい
3. 自分の子どもがいるため、養育里親になることを今は考えていない
4. 養育里親として子どもを養育することは考えていない
5. 子どもと法的な親子関係を持つことを希望するため、養育里親ではなく養子縁組を検討したい
6. その他（\_\_\_\_\_）

## 10. こども文化センターの利用について

本市では、子どもからお年寄りまで、みんなが支えあい、助け合って安心して暮らしていける地域づくりに取り組んでいます。

特に、子どものすこやかな成長を促し、安心して子育てをしていく上では、地域に子どもがいろいろな年代の方と交流する場所が必要であると考えています。その中で、市内57館あるこども文化センターでは、地域における多世代交流を促進する拠点的な施設として、多世代が相互に交流することにより、子どもたちが互いに支え合うことを学びながら育ち、地域の一員として主体的に活動していく力を培うための環境づくりを進めています。

問10-1 お子さんがこども文化センターを利用する頻度を教えてください（○は1つ）。

- |            |                    |                   |
|------------|--------------------|-------------------|
| 1. 週3回以上   | 3. 月2・3回程度         | 5. 利用したことがない      |
| 2. 週1・2回程度 | 4. 月1回以下（行ったことがある） | 6. こども文化センターを知らない |

問10-2 お子さんは、こども文化センターで、小学生、中高生、高齢者等の異なる年代の人と交流をしていますか（○は1つ）。

- |              |                 |            |
|--------------|-----------------|------------|
| 1. いつも交流している | 2. 行事等の時は交流している | 3. 交流していない |
|--------------|-----------------|------------|

問10-3 お子さんは、こども文化センターで、小学生、中高生、高齢者等の異なる年代の人どんな交流を試みたいですか（○は1つ）。

- |                      |                      |
|----------------------|----------------------|
| 1. 話をしてみたい           | 5. 昔話などの本を読んでもほしい    |
| 2. 卓球やゲームと一緒に遊んでもほしい | 6. 将棋やコマなどの遊びを教えてほしい |
| 3. 勉強を教えてほしい         | 7. 特に交流したいと思わない      |
| 4. 相談にのってほしい         | 8. その他（_____）        |

問10-4 子育てをしていく中で、親だけでなく地域の大人が関わっていくことについてどう思いますか（〇は1つ）。

1. 子どもの成長にとって必要だと思う 2. 地域全体にとって必要だと思う 3. 必要と思わない

問10-5 こども文化センターについて、今後、どのように利用していったらよいと思いますか（〇は1つ）。

1. いろいろな年代の方が利用できるようにしたほうがよい  
2. 部屋を区切って、いろいろな年代の方が利用できるようにしたほうがよい  
3. 時間帯を区切って、いろいろな年代の方が利用できるようにしたほうがよい  
4. 子どもたちだけで利用できるようにしたほうがよい

## 11. 自由意見

教育・保育環境の充実、川崎市の子育て支援に関する取組等についてご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

調査にご協力いただきまして、ありがとうございました。  
ご記入が済みましたらお手数ですが、同封の返信用封筒（切手不要）  
に入れて、**1月31日（木）まで**にご投函ください。

資料

## 子ども・子育て支援事業の内容と利用料 ～小学校子ども～

調査票内では、子育て支援に関する事業についての現在の利用状況や今後の利用希望等をうかがいます。

次の表で、川崎市が実施している事業や民間事業の概要、利用料等についてまとめていますので、ご参考にしてください。

市ホームページ「かわさきし子育て応援ナビ」では、子ども関係事業の情報を掲載しております。

かわさきし子育て応援ナビ URL:

<http://www.city.kawasaki.jp/kurashi/category/17-2-0-0-0-0-0-0-0-0.html>

(1) 子育て家庭向け情報提供

1 かわさき子育てガイドブック			
内容	主にこれから出産をする方や子育てをする方に向け、本市の子どもや子育てに関わる制度や事業、施設等についての情報を掲載したガイドブックです。各区役所保健福祉センター児童家庭課の窓口等で配布しています。		
費用	—	問い合わせ	企画課(044-200-2848)
2 かわさき子育て応援ナビ			
内容	子どもや子育てに関わる制度や事業、施設についての情報を掲載している市のホームページです。		
費用	—	問い合わせ	企画課(044-200-2848)

(2) 放課後支援

3 ふれあい子育てサポート事業			
内容	子育てヘルパー会員宅での一時預かり、学校・わくわくプラザ等への送迎等、育児の援助を行うための事業です。 【対象】生後4か月～小学校6年までのお子さんと同居している方		
費用	1時間あたり700円か900円、年会費1,200円別途	問い合わせ	企画課(044-200-2848)
4 こども文化センター			
内容	地域における児童の遊びの拠点施設(児童館)で、乳幼児の子育て支援や小中高校生の居場所等としても利用できます。 【対象】0歳～18歳 【開館日】12月29日～1月3日を除く毎日 【時間】月～土曜9時半～21時、日曜・祝日9時半～18時		
費用	—	問い合わせ	青少年支援室 (044-200-3083)
5 わくわくプラザ			
内容	すべての小学生を対象として、放課後や土曜日・夏休みなどに、学校施設を活用して児童の遊びや生活の場を確保し、様々な文化・スポーツ活動などを行い、異なった年齢層の仲間づくりを支援する事業です。 【時間】月～金曜は放課後～18時、土曜・夏休み等は8時半～18時、日曜・祝日・年末年始は休み		
費用	— (19時までの延長は事前申し込み制で月額2,500円)	問い合わせ	青少年支援室 (044-200-3083)
6 民間の事業者が行う放課後児童クラブ(学童保育)			
内容	保護者が就労等により昼間家庭にいない児童を対象として、民間の事業者が、放課後や土曜日、夏休み等に、子どもの生活の場を提供します。現在、市内に20か所。		
費用	民間の事業者ごとで異なる	問い合わせ	—
7 放課後等デイサービス			
内容	障害のあるお子さんの放課後や夏休み等に、生活能力向上のために必要な訓練、社会との交流等、必要な支援を行います。		
費用	市民税額による負担、その他実費あり	問い合わせ	障害計画課 (044-200-0873)

(3) 特定の理由による一時的または宿泊を伴う預かり

8	病児・病後児保育			
内容	保育所等に入所している子どもが、病中または病気の回復期にあり、まだ通常の保育所等では預かれない時に、一時的に預かる制度です。			
費用	日額2,500円 別途減免制度有	問合せ	保育課(044-200-3128)	
9	短期入所生活援助(ショートステイ)事業			
内容	保護者が、疾病・疲労、身体的・精神上・環境上の理由により児童の養育が困難となった場合に、保護を適切に行うことができる施設(児童養護施設等)において、一定期間、養育を行う事業です。 【利用期間】原則7日以内			
費用	市民税額による負担	問合せ	児童家庭支援・虐待対策室 (044-200-0132)	
10	夜間養護等事業(トワイライトステイ)			
内容	保護者が仕事その他の理由により、平日の夜間又は休日不在となり、児童の養育が困難となった場合等の緊急の場合に、保護を適切に行うことができる施設(児童養護施設等)において児童を保護し、生活指導、食事の提供等を行う事業です。現在、本市では実施しておりません。			
費用	市民税額による負担	問合せ	児童家庭支援・虐待対策室 (044-200-0132)	
11	障害のある子どものための短期入所			
内容	介護を行う方の疾病などの理由により、一時的に家庭での介護が困難な障害児に対し、短期間、障害児施設等に入所して介護等の支援を行います。			
費用	市民税額による負担、その他実費あり	問合せ	障害計画課 (044-200-0873)	

(4) 子どもに関する相談機関

12	児童相談所			
内容	子どもについて相談するための機関です。 【対象】18歳未満の子ども 【時間】月～金曜の8時半～17時			
費用	—	問合せ	児童家庭支援・虐待対策室 (044-200-0132)	

(5) その他

13	民生委員・児童委員			
内容	厚生労働大臣から委嘱を受け、地域のために社会奉仕活動をしている方です。子どもやお年寄り、生活のことなどで悩みをお持ちの方の気軽な相談窓口です。			
費用	—	問合せ	—	
14	子育てサークル			
内容	同じくらいの年齢の子どもを持つお母さんたちが自主的に活動しているグループです。			
費用	—	問合せ	—	

## 川崎市 子ども・子育て支援に関する利用ニーズ調査報告書

---

発行日 平成31年3月

発行者 川崎市こども未来局総務部企画課

川崎市川崎区宮本町 1 番地

電話 044-200-2211

---

# Colors, Future!

いろいろって、未来。

多様性は、あたたかさ。多様性は、可能性。

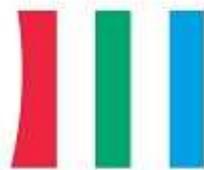
川崎は、1色ではありません。

あかるく。あざやかに。重なり合う。

明日は、何色の川崎と出会おう。

次の100年へ向けて。

あたらしい川崎を生み出していこう。



川崎市